都市計画データ標準製品仕様書

令和 6 年 5 月

国土交通省都市局

目次

都市計画データ製品仕様書 i

1 概覧 1
1.1 製品仕様の作成情報 1
1.2 目的 1
1.3 製品の範囲 2
1.3.1 空間範囲 2
1.3.2 時間範囲 2
1.4 引用規格等 2
1.5 用語と定義 3
1.6 略語 4

2 適用範囲 4

3 データ製品識別 5
3.1 データ製品の名称 5
3.2 データ製品の日付 5
3.3 データ製品の問合せ先 5
3.4 データ製品の地理記述 5

4 データの内容及び構造 6
4.1 はじめに 6
4.1.1 都市計画データ応用スキーマ 6
4.1.2 都市計画データ応用スキーマが対象とする LOD 6
4.1.3 応用スキーマクラス図の記法 7
4.1.4 応用スキーマ文書の読み方 10
4.1.5 都市計画データ応用スキーマパッケージ図 11
4.1.6 基本的なデータ型 13
4.1.7 データ集合 15
4.2 都市計画基本図モデル 17
4.2.1 都市計画基本図の地物とクラスとの対応 17
4.2.2 応用スキーマクラス図 22
4.2.3 応用スキーマ文書 36
4.2.4 都市計画基本図で使用するコードリスト及び列挙型 60
4.3 都市計画基礎調査情報モデル 69
4.3.1 都市計画基礎調査のデータ項目とクラスの対応 69
4.3.2 応用スキーマクラス図 71
4.3.3 応用スキーマ文書 106
4.3.4 都市計画基礎調査で使用するコードリスト及び列挙型 150
4.4 都市計画決定情報モデル 175
4.4.1 都市計画の区域とクラスとの対応 175
4.4.2 応用スキーマクラス図 178
4.4.3 応用スキーマ文書 195
4.4.4 都市計画決定情報で使用するコードリスト及び列挙型 385

4.5 空間スキーマプロファイル 400
4.5.1 応用スキーマクラス図 400
4.5.2 応用スキーマ文書 401
5 参照系 404
5.1 空間参照系 404
5.2 時間参照系 404
6 データ品質 405
6.1 標準製品仕様の品質要求 405
6.2 品質評価手順に関する共通事項 405
6.3 品質要求及び品質評価手順 406
6.3.1 都市計画基本図に対する品質要求及び品質評価手順 406
6.3.2 都市計画基礎調査情報に対する品質要求及び品質評価手順 413
6.3.3 都市計画決定情報に対する品質要求及び品質評価手順 416
7 データ製品配布 418
7.1 配布書式情報 418
7.1.1 書式名称 418
7.1.2 GML による符号化仕様 418
7.1.3 CSV による符号化仕様 420
7.1.4 文字集合 422
7.1.5 言語 422
7.1.6 CSV 形式テンプレート 422
7.2 配布媒体情報 423
7.2.1 ファイル単位 423
7.2.2 境界線上の地物の取り扱い 423
7.2.3 ファイル名称 424
7.2.4 フォルダ構成とフォルダ名称 426
7.2.5 媒体名 427
7.2.6 オープンデータのための配布媒体情報 427
8 メタデータ 428
8.1 メタデータの形式 428
8.2 メタデータの記載項目 428
8.3 メタデータの作成単位 429
8.4 メタデータのファイル名称 429
8.5 原典資料リストの仕様 430
9 その他 431
9.1 製品仕様のプロファイル 431
9.1.1 拡張規則 431
9.1.2 制限規則 432
9.2 データ取得 432
Annex A 都市計画データのための 拡張製品仕様書テンプレート 433
Annex B 都市計画基礎調査調書及び集計表のためのテンプレート 434

Annex C 原典資料一覧 CSV 形式テンプレート 456

1　概覧

1.1　製品仕様の作成情報

製品仕様の題名	都市計画データ標準製品仕様書　1.2 版
日付	2024/05/31
作成者	国土交通省都市局
言語	日本語
分野	都市
文書書式	PDF/WORD

1.2　目的

「都市計画データ」とは、都市計画情報（都市計画行政に必要となる都市計画基本図、都市計画基礎調査情報及び都市計画決定情報）の地理空間データである。「都市計画データ標準製品仕様書」（以下、「標準製品仕様書」と呼ぶ）は、都市計画データへの要求事項（製品仕様）をまとめた文書であり、各都市において都市計画データを整備する際に、その製品仕様を適切に決定でき、かつ、各都市の製品仕様に従って整備された都市計画データが、標準化されたものになることを目的として提供する標準文書である。

各都市で都市計画データを整備する場合、整備内容、整備範囲、整備機関等が異なるため、都市ごとに都市計画データの製品仕様書が必要となる。このとき、都市ごとに都市計画データの製品仕様書を作成する際に、データ構造、品質、ファイルフォーマット等は標準製品仕様書に準拠することで、各都市で個別に整備される都市計画データを標準化できる。各都市において標準製品仕様書に準拠し作成した各都市の都市計画データの製品仕様書を、「拡張製品仕様書」と呼ぶ。

標準製品仕様書には、地物や属性を抽出したり、追加したりするための規則を定めている。拡張製品仕様書を作成する際には、この規則に従い、必要な地物や属性のみを整備対象としたり、不足する地物や属性を追加したりすることができる。

1.3 製品の範囲

1.3.1 空間範囲

標準製品仕様書に基づくデータ製品の空間範囲は日本国内全域を含む範囲とする。

拡張製品仕様書において、都市ごとにその空間範囲を決定する必要があり、その範囲は行政区域となる。

なお、行政区域外の範囲を空間範囲に含める場合は、拡張製品仕様書において、その範囲や対象となる地物を記載すること。

1.3.2 時間範囲

標準製品仕様書に基づくデータ製品の時間範囲は任意であり、特に定めない。

拡張製品仕様書では、都市ごとにその時間範囲を決定する必要があり、その範囲はデータ製品に含まれる最も古い時点から新しい時点までの期間となる。

1.4 引用規格等

文書名	URL
3D 都市モデル標準製品仕様書　第 4.0 版	https://www.mlit.go.jp/plateau/libraries/
Data Encoding Specification of i-Urban Revitalization -Urban Planning ADE-ver.3.1　（内閣府地方創生推進事務局）	https://www.chisou.go.jp/tiiki/toshisaisei/itoshisaisei/iur/index.html
OpenGIS® OGC City Geography Markup Language（CityGML）Encoding Standard, Version 2.0, OGC document 12-019（Open Geospatial Consortium）	https://www.ogc.org/standards/citygml
OpenGIS® GML 3.1.1 simple dictionary profile, Version 1.0.0, OGC document 05-099r2（Open Geospatial Consortium）	https://www.ogc.org/standards/gml
作業規程の準則（付録 7　公共測量標準図式）　（国土地理院）	https://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/jyunsoku/index.html
地理情報標準プロファイル（JPGIS）2014　（国土交通省国土地理院）	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html
JMP2.0 仕様書（国土交通省国土地理院）	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html
品質の要求，評価及び報告のための規則（国土交通省国土地理院）	https://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-downloads.html
都市計画基礎調査実施要領（令和 5 年 6 月）	https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/kisotyousa001.html

引用規格等のうち、版の記載があるものは、その版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。

版の記載がないものは、その最新版（追補を含む。）を適用する。

1.5 用語と定義

標準製品仕様書で使用する用語を示す。以下に記載のない用語とその定義については、JPGIS 2014 付属書 5（規定）定義に従う。

Levels Of Detail (LOD)

詳細さの度合い（詳細度）であり、CityGML において定義されている、一つのオブジェクトの幾何をその利用や可視化の目的に応じて、複数の段階に抽象化することを可能とする、マルチスケールなモデリングの仕組みである。

［参考　OpenGIS® OGC CityGML Encoding Standard］

インスタンス

クラスを実現するオブジェクト。

［出典　JPGIS］

クラスが示すデータ構造に従って作成された地理空間データ。

応用スキーマ

一つ又は複数の応用システムによって要求されるデータのための概念スキーマ。

［出典　JPGIS］

クラス

同じ属性、演算、メソッド、関係及び意味を共有するオブジェクトの集合の記述。

［出典　JPGIS］

クラスは、地理空間データのデータ構造を定義する。

地物

現実世界の現象の抽象概念。

地物は型又はインスタンスとして存在できる。「地物型」又は「地物インスタンス」はいずれか一方を意味する場合に用いるべきである。

［出典　JPGIS］

「地物型」は地物のデータ構造の定義であり、「地物インスタンス」は地物型に従って作成された地理空間データのことである。

地物属性

地物の特性。

［出典　JPGIS］

地物関連

地物間の関係。

［出典　JPGIS］

関連役割とは、関連において相手の地物に対する自分の役割を指す。

［参考　地理情報標準プロファイル（JPGIS） Ver. 1.0　解説書］

都市計画情報

都市計画の立案やまちづくりの基礎となる情報。都市計画基本図、都市計画基礎調査情報及び都市計画決定情報から構成する。

［出典］都市計画情報のデジタル化・オープン化ガイダンス

都市計画データ

地理空間データとして整備された都市計画情報。

[出典] 都市計画情報のデジタル化・オープン化ガイダンス

1.6 略語

CityGML	City Geography Markup Language
GIS	Geographic Information System
GML	Geography Markup Language
i-UR	Data Encoding Specification of i-Urban Revitalization -Urban Planning ADE-
JPGIS	Japan Profile of Geographic Information Standards
LOD	Level Of Detail
UML	Unified Modeling Language

なお、都市計画データ標準製品仕様書で使用する以下の略語について、特段の記載がない場合は、それぞれ下表に示す版を指す。

略語	使用する版	備考
CityGML	CityGML 2.0	
GML	GML 3.1.1	ISO19136 に対応する GML の版は GML 3.2.1 であるが、CityGML 2.0 が参照する GML の版は、GML 3.1.1 である。そのため、GML 3.2.1 と矛盾のない範囲で GML 3.1.1 を使用する。
i-UR	i-UR 3.1	

2 適用範囲

都市計画データ標準製品仕様書が適用される範囲の名称は「都市計画データ標準製品仕様書適用範囲」とし、適用される範囲は「データ集合」とする。

各都市において作成される拡張製品仕様書においても、適用範囲の名称をつける。

適用範囲の名称は「[地方公共団体名]都市計画データ拡張製品仕様書適用範囲」とする。

[地方公共団体名]は、市区町村又は都道府県の名称とする。また、適用される範囲は「データ集合」とする。

3　データ製品識別

データ製品の識別は、次の通りとする。

3.1 データ製品の名称

データ製品の名称は、「都市計画データ_[地方公共団体コード]_[整備年度]_[オプション]」とする。

[地方公共団体コード]には、3.4 に示す 3D 都市モデルの地理記述に対応するコード（都道府県の場合は、JIS X0401 に示される 2 桁の都道府県コード、市区町村の場合は都道府県コードに JIS X0402 に示される市区町村コードを加えた 5 桁）を記述する。

[整備年度]には、データ製品が整備された年度（4 桁の西暦）を記述する。

[オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別するために使用する、半角英数字からなる任意の文字列とする。成果品が 1 種類の場合は、_[オプション]を省略する。

3.2 データ製品の日付

データ製品の日付は、都市計画データの整備にかかる業務の際の仕様書等により指定する。

3.3 データ製品の問合せ先

データ製品についての問合せ先として、都市計画データの整備主体となる都道府県又は市区町村の問合せ先を記載する。

3.4 データ製品の地理記述

都市計画データに含まれる都道府県又は市区町村の名前を記述する。

4　データの内容及び構造

4.1 はじめに

本項では、都市計画データに含まれるデータの内容及び構造に共通する事項を示す。

4.1.1都市計画データ応用スキーマ

都市計画データ応用スキーマは、都市計画データとして必要な地物の内容と構造を記述したものである。応用スキーマは、応用スキーマクラス図と応用スキーマ文書で構成する。応用スキーマクラス図では、地物や地物の属性、地物間の関係の概念的な構造を示し、応用スキーマ文書では、それらの定義や定義域等、応用スキーマクラス図では表現できない詳細な内容を示す。

都市計画データ応用スキーマの応用スキーマクラス図は、CityGML 及び i-UR から、都市計画データに必要な地物型、地物属性及び地物関連（以下、「地物型等」という）を抽出したプロファイルとして構成する。

4.1.2　都市計画データ応用スキーマが対象とする LOD

LOD（Level Of Detail）とは、詳細さの度合い（詳細度）である。

都市計画基本図は、全て LOD0 とする。

都市計画基礎調査情報は、点及び線で表現する場合は LOD0、面として表現する場合は LOD1 とする。また、メッシュ統計は−1（マイナス 1）※とする。

都市計画決定情報は、全て LOD1 とする。

表 4-1　都市計画データ応用スキーマが対象とする LOD

	LOD-1※	LOD0	LOD1	LOD2	LOD3	LOD4
都市計画基本図		○				
都市計画基礎調査情報	○	○	○			
都市計画決定情報			○			

※LOD-1 とは、i-UR において拡張された LOD の概念であり、個々の地物ではなく、統計データを用いた簡易な都市表現を指す。

4.1.3　応用スキーマクラス図の記法

応用スキーマクラス図は、UML クラス図（ISO/IEC 19505-2:2012, Information technology — Object Management Group Unified Modeling Language (OMG UML) — Part 2:Superstructure）により記述する。

都市計画データ応用スキーマの応用スキーマクラス図は、CityGML 及び i-UR からの引用により構成するが、それぞれの出典を明らかにするため、表 4-2 に示す記法を用いる。

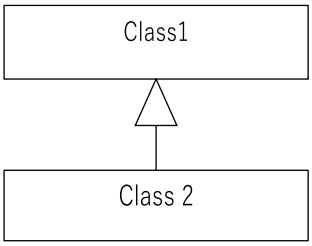
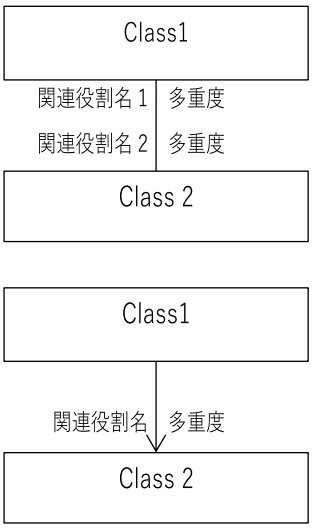
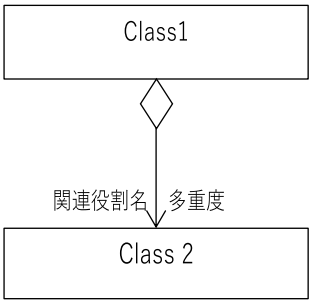
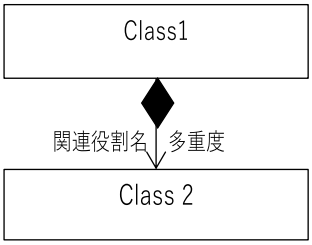
表 4-2　応用スキーマクラス図における出典の明示

出典	地物
GML	接頭辞：gml 色：緑　rgb (204, 255,204)
CityGML	接頭辞：core, bldg, luse, tran, frn, veg, wtr, dem, tun, brid, grp, gen 色：黄　rgb (255, 255,204)
i-UR	接頭辞：uro, urf, urg 色：赤　rgb (255, 204, 255)

都市計画データ応用スキーマで使用する UML クラス図の記法を表 4-3 に示す。

表 4-3　応用スキーマクラス図の表記

表記	意味
<<stereotype>> 接頭辞::Class1 attr1 :xs::integer[0..1]	クラス。 クラスは 3 段の箱により記述する。 1 段目の箱には、ステレオタイプ（クラスの種類）とクラスの名前を記述する。クラスの名前には、表 4-2 に示す接頭辞を付ける。 接頭辞とクラスの名前とは、ダブルコロン（::）でつなぐ。 2 段目の箱には、クラスの属性を記述する。 3 段目の箱は使用しない。 クラスの属性は、属性の名前、属性の型及び属性の多重度から構成する。 属性の名前は、その属性を識別する名称であり、同じクラスの中では一意でなければならない。 属性の型は、属性が取る値の種類を指定する。xs::string（文字列型）のような基本的な型や gml::MultiSurface のような幾何形状を示すクラス、あるいは、応用スキーマで定義した別のクラスを指定できる。基本的な型は、4.1.6 に定義を示す。 属性の多重度は、その属性が繰り返し出現可能な回数を指定する。 [a..b]のように指定し、a 及び b は、a<=j<=b となる任意の整数 j を意味する。[a..a]は、[a]と同じとみなす。以下のような記載方法がある。 [0..1] ：0 又は 1 [0..*] ：0 以上 [1..*] ：1 以上 [m] ：m [m..n] ：m 以上 n [m,n] ：m 又は n なお、属性の多重度が[1]の場合は、記述を省略できる。

表記	意味
	継承。 元となるクラス（上位クラス）の特性を受け継ぐ新しいクラス（下位クラス）との関係を意味する。 継承を実装する場合、下位クラスのインスタンスは、自分自身に定義された属性や関連役割だけではなく、上位クラスに定義された属性や関連役割をもつ。 △が付く側（Class1）が元となるクラスである。
	関連。 二つのクラス間に関係性があることを意味する。 関連役割名は、この関連における役割を示す。また、関連には多重度を指定できる。 多重度は、相手のクラスのインスタンスが 1 存在した場合に、関連し得る自分のクラスのインスタンスの数を記載する。 多重度の記法は、属性の多重度と同じである。また、多重度が省略された場合は 1 となる。 関連を実装する場合、関連役割名をつけた属性として、他方のクラスのインスタンスへの参照をもたせる。 関連には向きをつけることができる。向きは矢印により記述する。関連に向きが付けられた場合、参照は片方向となる。すなわち、例図の場合にはClass1のインスタンスがClass2のインスタンスへの参照ともつが、Class2のインスタンスはClass1のインスタンスへの参照をもたない。
	集成。 二つのクラス間に全体と部分という関係がある関連である。全体となるクラス側に白いひし形を記述する。 関連役割名は、この関連における役割を示す。また、関連には多重度を指定できる。 多重度は、相手のクラスのインスタンスが 1 存在した場合に、関連し得る自分のクラスのインスタンスの数を記載する。 多重度の記法は、属性の多重度と同じである。また、多重度が省略された場合は 1 となる。また、向きをつけることができる。 集成を実装する場合、関連役割名をつけた属性として、他方のクラスのインスタンスへの参照をもたせる、または、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述する。 なお、都市計画データ標準製品仕様書では、集成の実装は、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述することを原則とする。 部品となるクラスのインスタンスは、参照により、他のクラスのインスタンスの部品となることもできる。
	合成。 二つのクラス間に全体と部分という関係がさらに強固な関連である。全体となるクラス側に黒いひし形を記述する。合成は、全体となるクラスのインスタンスが無くなった場合に、部分となるクラスのインスタンスも無くなる関係に用いる。 関連役割名や多重度の表記は、集成と同様である。 合成を実装する場合、部品となるクラスのインスタンスを、全体となるクラスのインスタンスの内部に記述する。合成では、部品となるクラスのインスタンスは、他のクラスのインスタンスの部品になることはできない。

また、各クラスのステレオタイプを表 4-4 に示す。

表 4-4　応用スキーマクラス図で使用するステレオタイプ

ステレオタイプ	説明
<<FeatureType>>	地物に適用するステレオタイプ。このステレオタイプをもつクラスは、応用スキーマのパッケージ内で定義される。[出典　JPGIS]
<<DataType>>	個々の出現ごとに区別する必要がなく、副作用のある操作（既にある値を変更する操作）はもたない、値の集合の記述子に適用するステレオタイプ。個々の出現ごとに区別する必要がないため、識別子をもたず、他から参照されることはない。データ型には、あらかじめ定義する型と使用者が定義できる型とがある。あらかじめ定義する型として、基本データ型がある。［出典　JPGIS］ 標準製品仕様書では、地物属性のまとまりに<<DataType>>を使用する。<<DataType>>で定義された型は地物の属性の型もしくは地物の部品として使用される。
<<Type>>	インスタンス（オブジェクト）の定義域（取りうる範囲）を、そのオブジェクトに適用できる操作と共に規定するために使用するステレオタイプ。タイプ型は、識別子をもち、他から参照することができる。また属性及び関連をもってもよい。［出典　JPGIS］ 標準製品仕様書では、GML や CityGML で定義された地物以外の型のうち、識別子をもつ型に<<Type>>を使用する。 識別子をもつ地物以外の型として、gml::MultiSurface のような幾何形状を定義するクラスがある。
<<BasicType>>	値を表現するための基本的な型。［出典　JPGIS］ 標準製品仕様書では、GML や CityGML において、文字列型や整数型等の基本的な型から使用可能な値の範囲を狭めるために定義した型に<<BasicType>>を使用する。
<<Enumeration>>	そのインスタンスが、名前付けしたリテラルの一覧を形成するデータ型に適用するステレオタイプ。通常は列挙名及びリテラルの両方を宣言する。列挙（Enumeration）は、そのクラスの値として許される、十分合意が得られた値の一覧を意味する。[出典　JPGIS] 標準製品仕様書では、地物属性の定義域が固定となる場合に、定義域に含まれる値を列挙した型に<<Enumeration>>を使用する。 <<Enumeration>>は定義域が固定されるため、拡張製品仕様書において定義域が拡張される可能性のある場合には、コードリスト（gml::CodeType）を使用する。
<<Union>>	指定したいくつかの型のうちの一つだけが選択される共用体に適用するステレオタイプ。［出典　JPGIS］ 標準製品仕様書では、複数の属性のうち、いずれか一つを選択して値を記述したい場合に、複数の属性を列挙した型に<<Union>>を使用する。

4.1.4　応用スキーマ文書の読み方

応用スキーマ文書は、JIS X7109（ISO 19109）に示される一般地物モデルの構造に従い、応用スキーマクラス図に示す各クラスについて、クラスの定義及びクラスがもつ属性及び関連役割の定義を表形式で示す。

表に記載する属性名、属性の型及び多重度、また、関連役割、関連役割の型（関連の相手クラス）及び多重度は、クラス図と一致する。

属性及び関連役割のうち、属性名又は関連役割名に括弧が付され着色されているものは、標準製品仕様書で使用しない属性及び関連役割である。これらの属性及び関連役割は、ユースケースにより必要な場合に、拡張製品仕様書において使用できる。

なお、地物定義では、具象型（インスタンスを作成できる型）のみを示す。抽象型（インスタンスを作成できない型）の定義は省略するが、抽象型から継承する属性や関連役割は、継承する属性又は継承する関連役割として示す。

表 4-5　定義文書の構成

クラスの定義	クラスの定義を記載。	
上位の型	クラスが他のクラスを継承している場合、上位のクラスの名称を記載する。	
ステレオタイプ	クラスのステレオタイプを記載する。	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
継承によりもつ属性の名称	属性の型と多重度 多重度は以下のように記載する。 [1]　必ず 1　[0..1]　0 又は 1 [0..*] 0 以上　[1..*] 1 以上	継承する属性の定義。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
自身に定義された属性の名称	属性の型と多重度	自身に定義された属性の定義。
(使用しない属性の名称)		定義済みの属性のうち、標準製品仕様書で使用しない属性。 属性名称に括弧を付け、属性名の欄を着色している。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
継承によりもつ関連役割の名称	関連の相手クラスと多重度	関連役割の定義。
（使用しない関連役割の名称)		定義済みの関連役割のうち、標準製品仕様書で使用しない関連役割。 関連役割名称に括弧を付け、関連役割名の欄を着色している。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
自分自身に定義された関連役割の名称	関連の相手クラスと多重度	関連役割の定義。

クラス名、属性名及び関連役割には、それらが定義されたパッケージの接頭辞を付す。

接頭辞とクラス名、属性名及び関連役割名との区切り文字には「:」（コロン）を用いる。

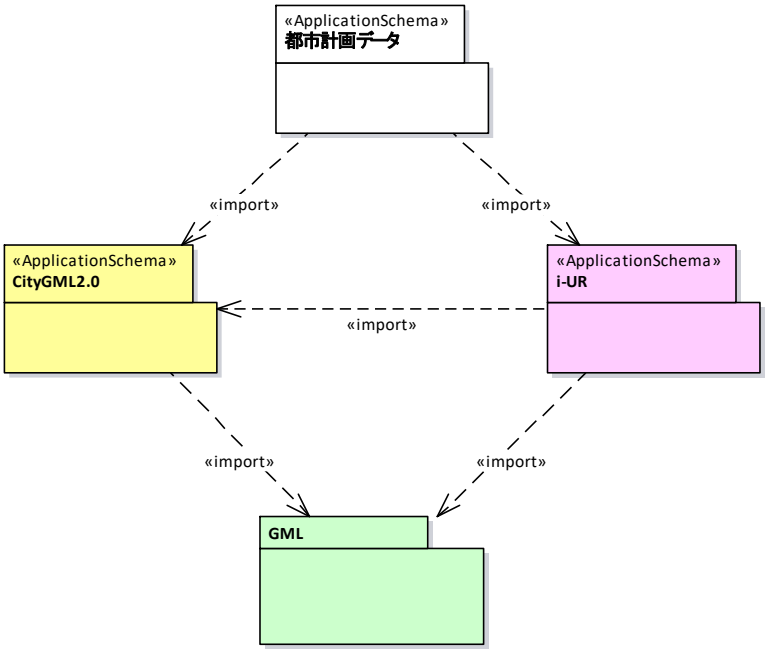
4.1.5　都市計画データ応用スキーマパッケージ図

応用スキーマクラス図はパッケージの中に記述する。パッケージとは関係するクラスの集合であり、パッケージに含まれるクラスは他のパッケージに含まれない。UML クラス図ではクラス間の関係を記述するが、パッケージ図により、パッケージ間の参照関係を記述することで、作成すべき地理空間データの全体像を明確にする。

(1) 都市計画データ応用スキーマと CityGML 及び i-UR との関係

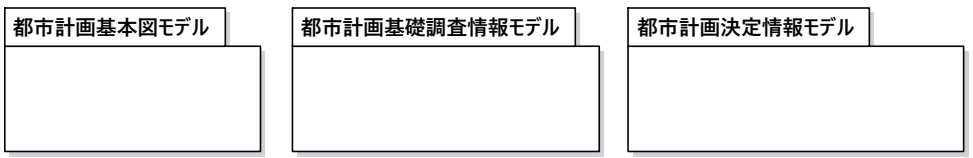
都市計画データ応用スキーマは、CityGML 及び i-UR を引用する。

CityGML はさらに GML を引用し、i-UR は CityGML 及び GML を引用する。



(2) 都市計画データ応用スキーマ

都市計画データ応用スキーマは、都市計画基本図、都市計画基礎調査情報及び都市計画決定情報のそれぞれに必要な地物型等を格納した 3 パッケージから構成する。各パッケージは、都市計画基本図、都市計画基礎調査情報及び都市計画決定情報のそれぞれに必要な地物型等を、CityGML 及び i-UR から引用している。



(from 3D都市モデル)

都市計画決定情報は、3D 都市モデル応用スキーマ（3D 都市モデル製品仕様書において定義される、3D 都市モデルに必要な地物の概念構造を記述した応用スキーマ）において定義する都市計画情報モデルを引用する。

都市計画データ応用スキーマの各パッケージと、CityGML 及び i-UR に定義されたパッケージとの関係を表 4-6 に示す。

表 4-6　都市計画データが引用する CityGML 及び i-UR のパッケージ

	GML	CityGML													i-UR		
		Core	Appearance	Bridge	Building	CityFurniture	CityObjectGroup	Generics	LandUse	Relief	Transportation	Tunnel	Vegetation	WaterBody	Urban Object	Urban Function	Statistical Grid
都市計画基本図	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
都市計画基礎調査情報	✓	✓			✓		✓	✓	✓						✓	✓	✓
都市計画決定情報	✓	✓					✓	✓								✓	

4.1.6　基本的なデータ型

本項では、地物属性の型（値の種類）として使用される基本的なデータ型の定義を示す。各地物定義において特段記載のない場合には、本項に示す定義及び定義域（属性の値が取りうる範囲）を適用する。
なお、基本的なデータ型を型としてもつ属性を作成対象とする場合、かつ、その属性の値が不明である場合は、データ型ごとに指定する不明値を入力することを基本とする。

(1) 文字列型（xs::string）

漢字、平仮名、カタカナ、数字、アルファベット、記号により構成される任意の文字列に使用する。
漢字、平仮名、カタカナは全角、数字、アルファベットは半角を基本とする。
ただし、原典資料において半角のカタカナ、全角の数字・アルファベットが使用されており、これとの一致が必要となる場合には、この限りではない。
値が不明な場合は「Null」を入力する。

(2) コード型（gml::CodeType）

指定されたコードリストに定義されたコード又は任意の文字列のいずれかの値をとる。
標準製品仕様書では、コードにより記述する場合は、参照すべきコードリストの名称を示す。また、文字列により記述する場合は文字列で入力することを示す。
コードにより記述する場合で、値が不明な場合はコードリストに定義された不明を示すコードを選択する。
文字列により記述する場合で、値が不明な場合は文字列で「Null」を入力する。
なお、コード型として都道府県コードが指定されている場合、JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字となる。また、コード型として市区町村コードが指定されている場合、JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字と JIS X0402 に定義される 3 桁の半角数字とを組み合わせた 5 桁の半角数字となる。都道府県コード及び市区町村コードの記述には、コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）を使用する。
コード型として、小地域コードが指定されている場合、5 桁の市区町村コードと、町丁・字又は大字・町名を識別する 6 桁又は 4 桁のコードからなる 9 桁又は 11 桁のコードとする。

(3) 真偽値（xs::boolean）

真（true）の場合に“1”又は“true”、偽（false）の場合に“0”又は“false”とする。
不明な場合はデータを作成しない。

(4) 日付型（xs::date）

JIS X0301 により定義された暦日付により、拡張形式による完全表記（YYYY-MM-DD）を用いて記述する。
ここで、YYYY は暦年、MM は暦月、DD は暦日を示す。暦年は 4 桁、暦月は 2 桁、暦日は 2 桁の半角数字で記述する（1 桁日や 1 桁月は、01、02 のように 0 を付ける）。
年月日が分からない場合は、0001-01-01 とする。年が分かるが月日が分からない場合は、YYYY-01-01 とする。また、年月が分かるが日が分からない場合は、YYYY-MM-01 とする。

(5) グレゴリオ年型（xs::gYear）

グレゴリオ暦による年を 4 桁の半角数字で記述する。不明な場合は 0001 とする。

(6) グレゴリオ年月型（xs::gYearMonth）

グレゴリオ暦による年及び月を YYYY-MM により記述する。ここで、YYYY は暦年、MM は暦月を示す。暦年は 4 桁、暦月は 2 桁の半角数字で記述する（1 桁月は、01、02 のように 0 を付ける）。
年が不明な場合は 0001 とする。月が不明な場合は 01 とする。

(7) 整数型（xs::integer）、非負整数型（xs::nonNegativeInteger）

整数の値を記述する。非負整数型の場合は、正の整数のみを可とする。

整数型の値が不明な場合は-9999 とする。非負整数型の値が不明な場合は 9999 とする。

(8) 実数型（xs::double）

計測により新規に取得する場合には、小数点 1 桁とする（小数点 2 桁目を四捨五入）。原典資料から取得する場合には、原典資料の記載に一致させる。

原典資料との一致が必要な属性は、拡張製品仕様書の応用スキーマ文書において、属性の定義に記載すること。

値が不明な場合は-9999 とする。

(9) 単位付き計測値型（gml::MeasureType, gml::LengthType）

uom 属性を用いて、数値の単位を記載する。

原則として、長さの単位は m、面積の単位は m2、時間の単位は hour（時間）とする。

計測により新規に取得する場合には、小数点 1 桁とする（小数点 2 桁目を四捨五入）。ただし、原典資料において小数点 2 桁目以降の記載があり、これとの一致が必要となる場合には、この限りではない。

原典資料との一致が必要な属性は、拡張製品仕様書の応用スキーマ文書において、属性の定義に記載すること。

値が不明な場合は-9999 とする。このときの単位は、属性ごとに指定された単位とする。

(10) 単位付き数値又は Null 値リスト型（gml::MeasureOrNullListType）

単位付き数値又は Null 値のいずれかのリストにより値を構成する。

uom 属性を用いて、数値の単位を記載すること。使用する単位は(8)と同じとする。

Null 値をとる場合は、以下の定義域より選択する。

Null 値の定義域	説明
inapplicable	データ無
missing	欠測
template	追って提供
unknown	不明
withheld	保留

(11) 識別子型（xs::anyURI）

任意の URI（Universal Resource Identifier）。https による指定を原則とする。

値が不明な場合は、「Null」と入力する。

(12) 文字列又は参照型（gml::StringOrRefType）

漢字、平仮名、カタカナ、数字、アルファベット、記号により構成される任意の文字列、又は、xlink:href を用いたリモートの値により構成する。

値が不明な場合は、「Null」と入力する。

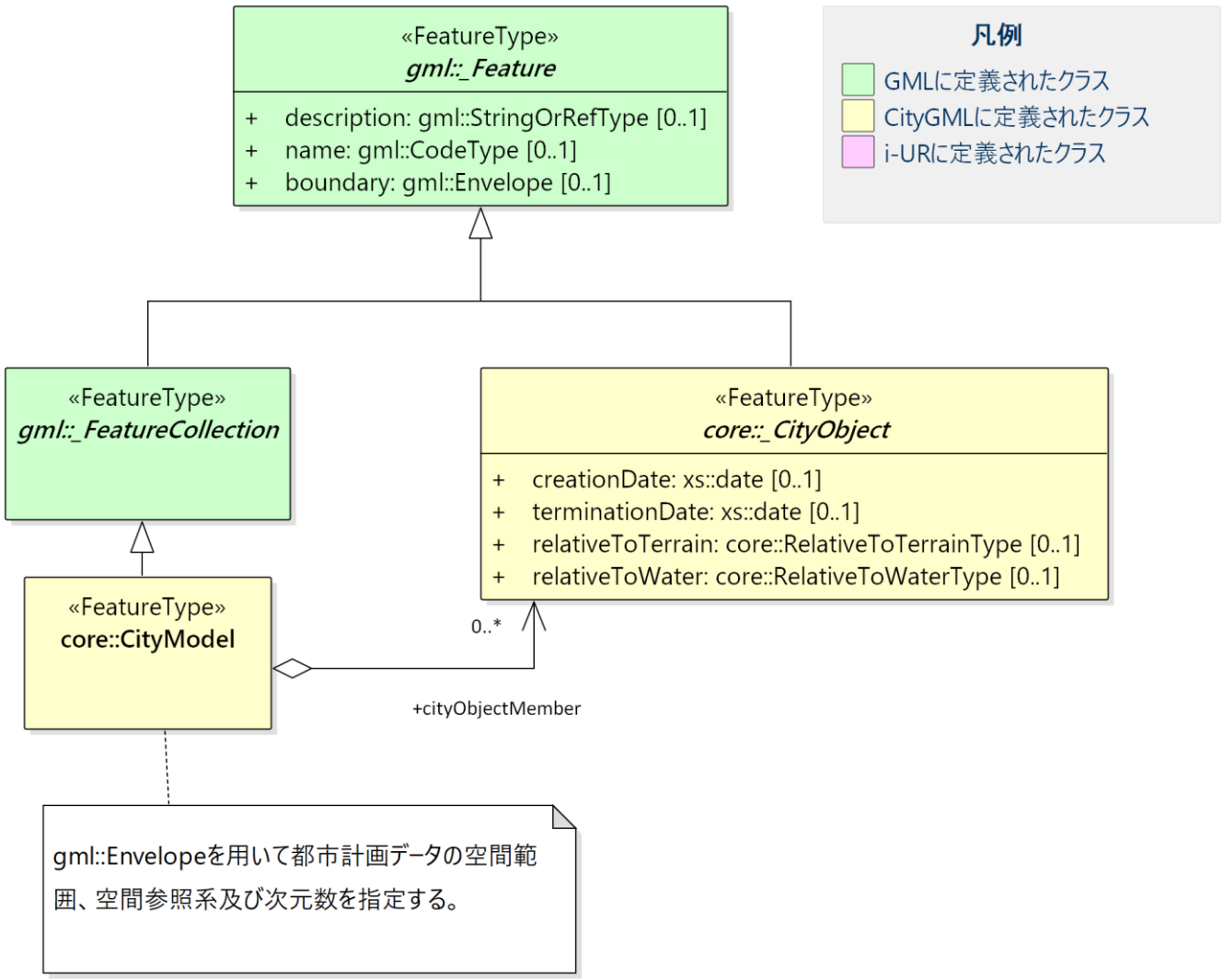
4.1.7　データ集合

core::CityModel は、都市計画データのデータ集合として使用するクラスであり、都市計画基本図モデル、都市計画基礎調査情報モデル、都市計画決定情報モデルそれぞれに含まれるクラスを束ねる役割をもつ。

core::CityModel の応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書を以下に示す。

CityGML 及び i-UR で定義される全ての地物を示すクラス（ステレオタイプが FeatureType）は、CityGML が定義する地物型の最上位クラスである *core::_CityObject* を継承する。

core::CityModel は *core::_CityObject* を包含する（関連役割 *cityObjectMember*）。そのため、CityGML 及び i-UR で定義される全ての地物型のインスタンスのデータ集合になることができる。



(1) core:CityModel

クラスの定義	都市計画データのための地物集合。core:_CityObject を継承する都市オブジェクト及びその幾何形状等はこの地物型の中に含める。	
上位の型	gm::_FeatureCollection	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画データの概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画データを識別する名前。 「都市計画データ_[地方公共団体コード]_[整備年度]とする。 [地方公共団体コード]には、3.4 に示す 3D 都市モデルの地理記述に対応するコード（データセットが都道府県単位の場合は、JIS X0401 に示される 2 桁の都道府県コード、市区町村単位の場合は、都道府県コードに JIS X0402 に示される市区町村コードを加えた 5 桁）を記述する。 [整備年度]には、データ製品が整備された年度（4 桁の西暦）を記述する。
gml:boundedBy	gml:Envelope [0..1]	都市計画データが含まれる空間範囲、都市計画データに適用される空間参照系及び都市計画データの次元数を記述する。 都市計画データに適用すべき空間参照系は、5.1 において指定する。 次元数は 2 となる。 多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
core:cityObjectMember	core:_CityObject [0..*]	都市計画データに含まれる都市オブジェクトへの参照。

4.2 都市計画基本図モデル

都市計画基本図モデルは、都市計画基本図（地図情報レベル 2500 の数値地形図データ）に図示する地物（例：建築物、道路）を CityGML 及び i-UR に定義されたクラスに対応付けている。

4.2.1 都市計画基本図の地物とクラスとの対応

都市計画基本図モデルは、作業規程の準則（付録 7　公共測量標準図式）に区分された各地物型を、CityGML 及び i-UR に定義された地物型に対応付ける。以下に示す表は、作業規程の準則（付録 7　公共測量標準図式）の地物型と CityGML 及び i-UR に定義された地物型との対応を示すものである。各都市において独自に図式の分類コードを定義した地物型は、拡張製品仕様書に追加できる。

(1) 境界等

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
1101	都道府県界	urf::Administration
1102	北海道の支庁界	urf::Administration
1103	郡市・東京都の区界	urf::Administration
1104	町村・指定都市の区界	urf::Administration
1106	大字・町・丁目界	urf::Administration
1110	所属界	urf::Administration

(2) 交通施設

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
2101	道路縁（街区線）	tran::Road
2103	徒歩道	tran::Track
2106	庭園路等	tran::Track
2109	建設中の道路	tran::Road
2203	道路橋（高架部）	brid::Bridge
2205	徒橋	brid::Bridge
2211	横断歩道橋	brid::Bridge
2213	歩道	tran::Road
2214	石段	frn::CityFurniture
2215	地下街・地下鉄の出入口	frn::CityFurniture
2219	道路のトンネル	tun::Tunnel
2226	分離帯	tran::Road
2228	道路の雪覆い等	tun::Tunnel
2238	並木	veg::SolitaryVegetationObject
2301	普通鉄道	tran::Railway
2303	路面鉄道	tran::Railway
2305	特殊鉄道	tran::Railway
2306	索道	tran::Railway
2309	建設中の鉄道	tran::Railway
2401	鉄道橋（高架部）	brid::Bridge
2411	跨線橋	brid::Bridge
2419	鉄道のトンネル	tun::Tunnel
2421	停留所	frn::CityFurniture
2424	プラットホーム	frn::CityFurniture
2428	鉄道の雪覆い等	tun::Tunnel

(3) 建物等

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
3001	普通建物	bldg::Building
3002	堅ろう建物	bldg::Building
3003	普通無壁舎	bldg::Building
3004	堅ろう無壁舎	bldg::Building
3401	門	frn::CityFurniture
3402	屋門	frn::CityFurniture
3503	官公署	bldg::Building
3504	裁判所	bldg::Building
3505	検察庁	bldg::Building
3507	税務署	bldg::Building
3509	郵便局	bldg::Building
3510	森林管理署	bldg::Building
3515	交番	bldg::Building
3516	消防署	bldg::Building
3517	職業安定所	bldg::Building
3519	役場支所及び出張所	bldg::Building
3521	神社	bldg::Building
3522	寺院	bldg::Building
3523	キリスト教会	bldg::Building
3524	学校	bldg::Building
3525	幼稚園・保育園	bldg::Building
3526	公会堂・公民館	bldg::Building
3530	老人ホーム	bldg::Building
3531	保健所	bldg::Building
3532	病院	bldg::Building
3534	銀行	bldg::Building
3536	協同組合	bldg::Building
3545	倉庫	bldg::Building
3546	火薬庫	bldg::Building
3548	工場	bldg::Building
3550	変電所	bldg::Building
3556	揚・排水機場	bldg::Building
3560	ガソリンスタンド	bldg::Building

(4) 小物体

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物
4201	墓碑	frn::CityFurniture
4202	記念碑	frn::CityFurniture
4203	立像	frn::CityFurniture
4204	路傍祠	frn::CityFurniture
4205	灯ろう	frn::CityFurniture
4207	鳥居	frn::CityFurniture
4208	自然災害伝承碑	frn::CityFurniture
4219	坑口	frn::CityFurniture
4221	独立樹（広葉樹）	veg::SolitaryVegetationObject

4222	独立樹（針葉樹）	veg::SolitaryVegetationObject
4225	油井・ガス井	frn::CityFurniture
4228	起重機	frn::CityFurniture
4231	タンク	frn::CityFurniture
4234	煙突	frn::CityFurniture
4235	高塔	frn::CityFurniture
4236	電波塔	frn::CityFurniture
4239	風車	frn::CityFurniture
4241	灯台	frn::CityFurniture
4243	灯標	frn::CityFurniture
4251	水位観測所	frn::CityFurniture
4261	輸送管（地上）	frn::CityFurniture
4262	輸送管（空中）	frn::CityFurniture
4265	送電線	frn::CityFurniture

(5) 水部等

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
5101	水涯線	wtr::WaterBody
5102	一条河川	wtr::WaterBody
―	かれ川	砂れき地（dmCode=6340）として取得する。
5105	湖池	wtr::WaterBody
5202	桟橋（鉄、コンクリート）	brid::Bridge
5203	桟橋（木製、浮桟橋）	brid::Bridge
5211	防波堤	uro::OtherConstruction
5221	渡船発着所	frn::CityFurniture
―	ダム	被覆及び人工斜面（dmCode=6110 及び 6101 として取得する。）
5226	滝	wtr::WaterBody
5227	せき	uro::OtherConstruction
5228	水門	uro::OtherConstruction
5231	不透過水制	被覆（dmCode=6110 として取得する。）
5232	透過水制	frn::CityFurniture
5239	敷石斜板	uro::OtherConstruction
5241	流水方向	uro::DmGeometricAttribute

(6) 土地利用等

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
6101	人工斜面	uro::OtherConstruction
6102	土堤	uro::OtherConstruction
6110	被覆	uro::OtherConstruction
6130	かき	frn::CityFurniture
6140	へい	frn::CityFurniture
6201	区域界	luse::LandUse
6212	駐車場	luse::LandUse
6214	園庭	luse::LandUse
―	墓地	墓碑（dmCode=4201）として取得する。
6216	材料置場	luse::LandUse
6217	太陽光発電設備	luse::LandUse

6221	噴火口・噴気口	luse::LandUse
6222	温泉・鉱泉	luse::LandUse
6301	植生界	veg::PlantCover
6302	耕地界	veg::PlantCover
6311	田	veg::PlantCover
6313	畑	veg::PlantCover
6314	さとうきび畑	veg::PlantCover
6315	パイナップル畑	veg::PlantCover
6317	桑畑	veg::PlantCover
6318	茶畑	veg::PlantCover
6319	果樹園	veg::PlantCover
6321	その他の樹木畑	veg::PlantCover
6323	芝地	veg::PlantCover
6331	広葉樹林	veg::PlantCover
6332	針葉樹林	veg::PlantCover
6333	竹林	veg::PlantCover
6334	荒地	veg::PlantCover
6335	はい松地	veg::PlantCover
6336	しの地（笹地）	veg::PlantCover
6337	やし科樹林	veg::PlantCover
6338	湿地	veg::PlantCover
6340	砂れき地	veg::PlantCover

(7) 地形等

分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
7101	等高線（計曲線）	dem::BreaklineRelief
7102	等高線（主曲線）	dem::BreaklineRelief
7103	等高線（補助曲線）	dem::BreaklineRelief
7105	凹地（計曲線）	dem::BreaklineRelief
7106	凹地（主曲線）	dem::BreaklineRelief
7107	凹地（補助曲線）	dem::BreaklineRelief
7199	凹地（矢印）	dem::BreaklineRelief
7201	土がけ（崩土）	dem::BreaklineRelief
7202	雨裂	dem::BreaklineRelief
7206	洞口	dem::BreaklineRelief
7211	岩がけ	dem::BreaklineRelief
7212	露岩	dem::BreaklineRelief
7213	散岩	dem::BreaklineRelief（線で取得する場合）
		dem::MassPointRelief（点で取得する場合）
7214	さんご礁	dem::BreaklineRelief
7301	三角点	frn::CityFurniture
7302	水準点	frn::CityFurniture
7303	多角点等	frn::CityFurniture
7304	公共基準点（三角点）	frn::CityFurniture
7304	公共基準点（水準点）	frn::CityFurniture
7305	公共基準点（多角点等）	frn::CityFurniture
7308	電子基準点	frn::CityFurniture
7311	標石を有しない標高点	dem::MassPointRelief

7212	図化機測定による標高点	dem::MassPointRelief

(8) 注記及び地図記号等

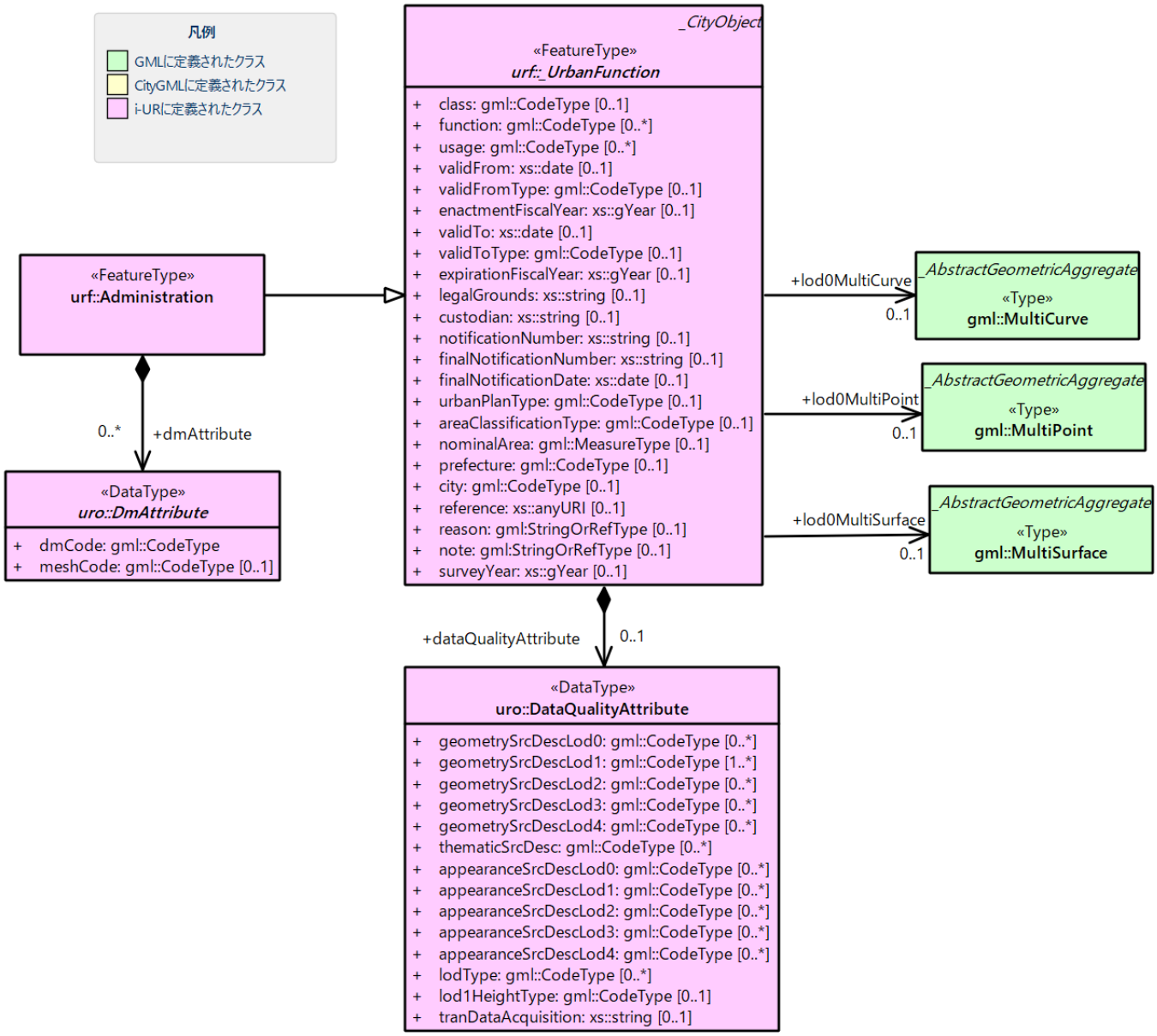
分類コード	名称	対応する CityGML 又は i-UR の地物型
8199	指示点	uro:DmGeometricAttribute
7101	等高線（計曲線）	uro::DmAnnotation
7102	等高線（主曲線）	uro::DmAnnotation
7103	等高線（補助曲線）	uro::DmAnnotation
7105	凹地（計曲線）	uro::DmAnnotation
7106	凹地（主曲線）	uro::DmAnnotation
7107	凹地（補助曲線	uro::DmAnnotation
7301	三角点	uro::DmAnnotation
7302	水準点	uro::DmAnnotation
7303	多角点	uro::DmAnnotation
7304	公共基準点（三角点）	uro::DmAnnotation
7305	公共基準点（水準点）	uro::DmAnnotation
7308	電子基準点	uro::DmAnnotation
7311	標石を有しない標高点	uro::DmAnnotation
7312	図化標高点	uro::DmAnnotation
8110	市・東京都の区	uro::DmAnnotation
8111	町村・指定都市の区	uro::DmAnnotation
8112	市町村の飛地	uro::DmAnnotation
8113	大区域	uro::DmAnnotation
8114	大字・町・丁目	uro::DmAnnotation
8115	小字・丁目	uro::DmAnnotation
8116	通り	uro::DmAnnotation
8121	道路の路線名	uro::DmAnnotation
8122	道路施設、坂、峠、インターチェンジ等	uro::DmAnnotation
8123	鉄道の路線名	uro::DmAnnotation
8124	鉄道施設、駅、停車場、信号所	uro::DmAnnotation
8125	橋	uro::DmAnnotation
8126	トンネル	uro::DmAnnotation
8131	建物の名称	uro::DmAnnotation
8142	その他の小物体	uro::DmAnnotation
8151	河川、湖池、滝等の水部	uro::DmAnnotation
8152	せき、水門、渡船発着所、堤防	uro::DmAnnotation
8162	資材置場、温泉等	uro::DmAnnotation
8163	植生	uro::DmAnnotation
8171	山、丘、谷、沢等の山地	uro::DmAnnotation
8181	説明注記（規定される以外の注記）	uro::DmAnnotation

4.2.2　応用スキーマクラス図

都市計画基本図モデルの応用スキーマクラス図を以下に示す。

(1)　境界等

境界等の記述には、*urf::Administration* を使用する。

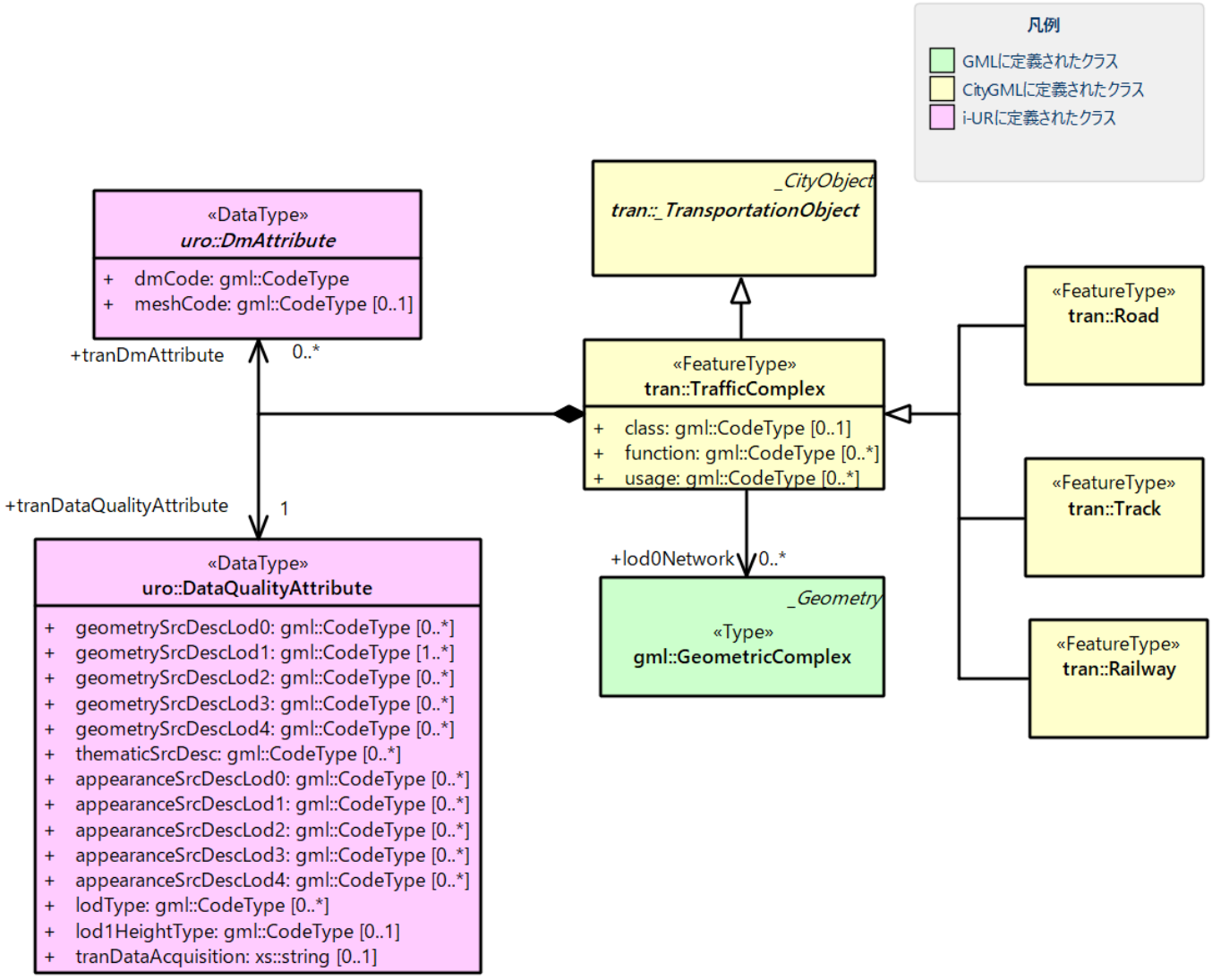


(2) 交通施設

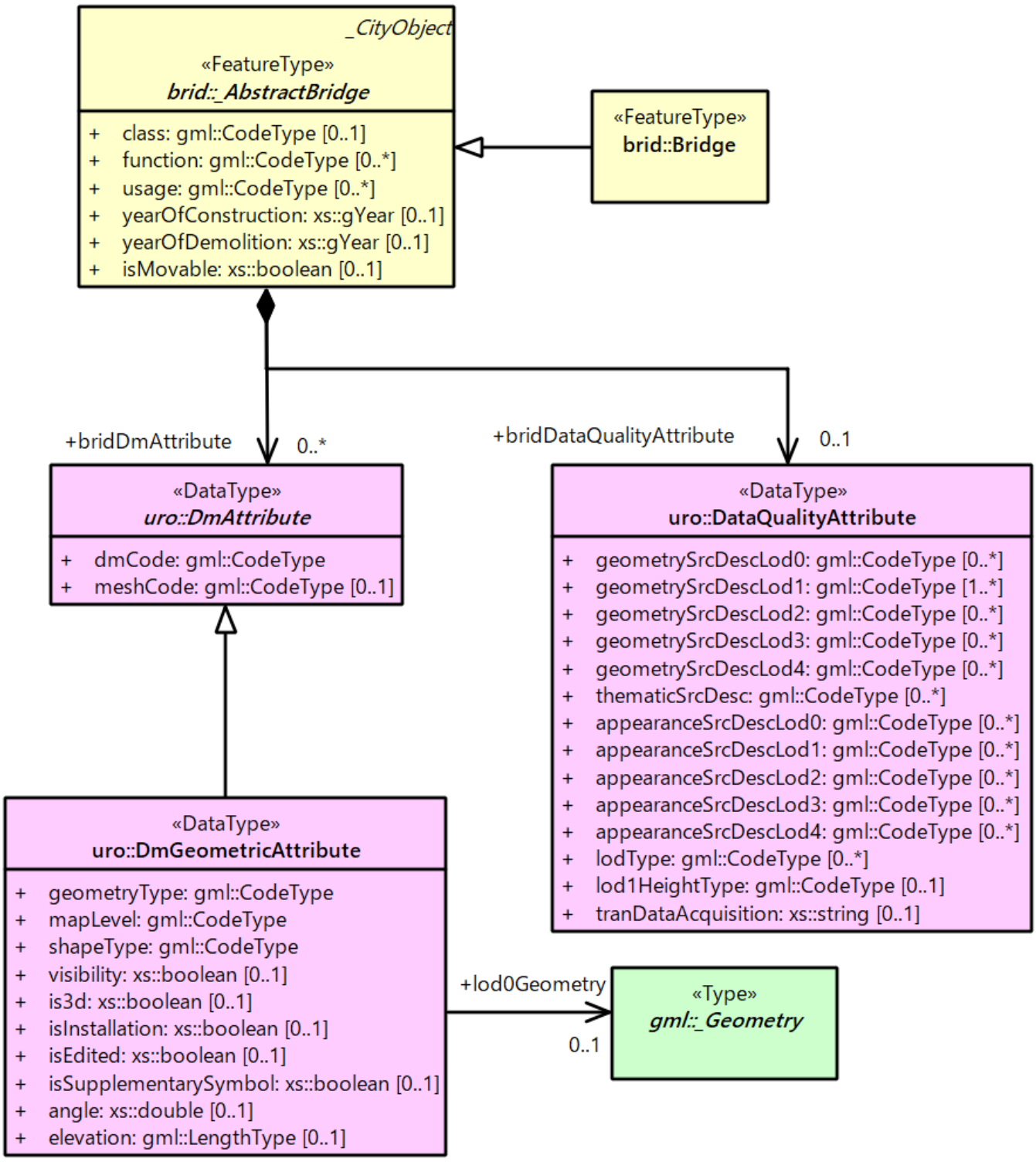
道路縁（街区線）、トンネル内の道路、建設中の道路、歩道及び分離帯の記述には、*tran::Road* を使用する。

徒歩道及び庭園路等の記述には、*tran::Track* を使用する。

普通鉄道、地下鉄地上部、路面鉄道、モノレール、特殊鉄道、索道、建設中の鉄道の記述には、*tran::Railway* を使用する。

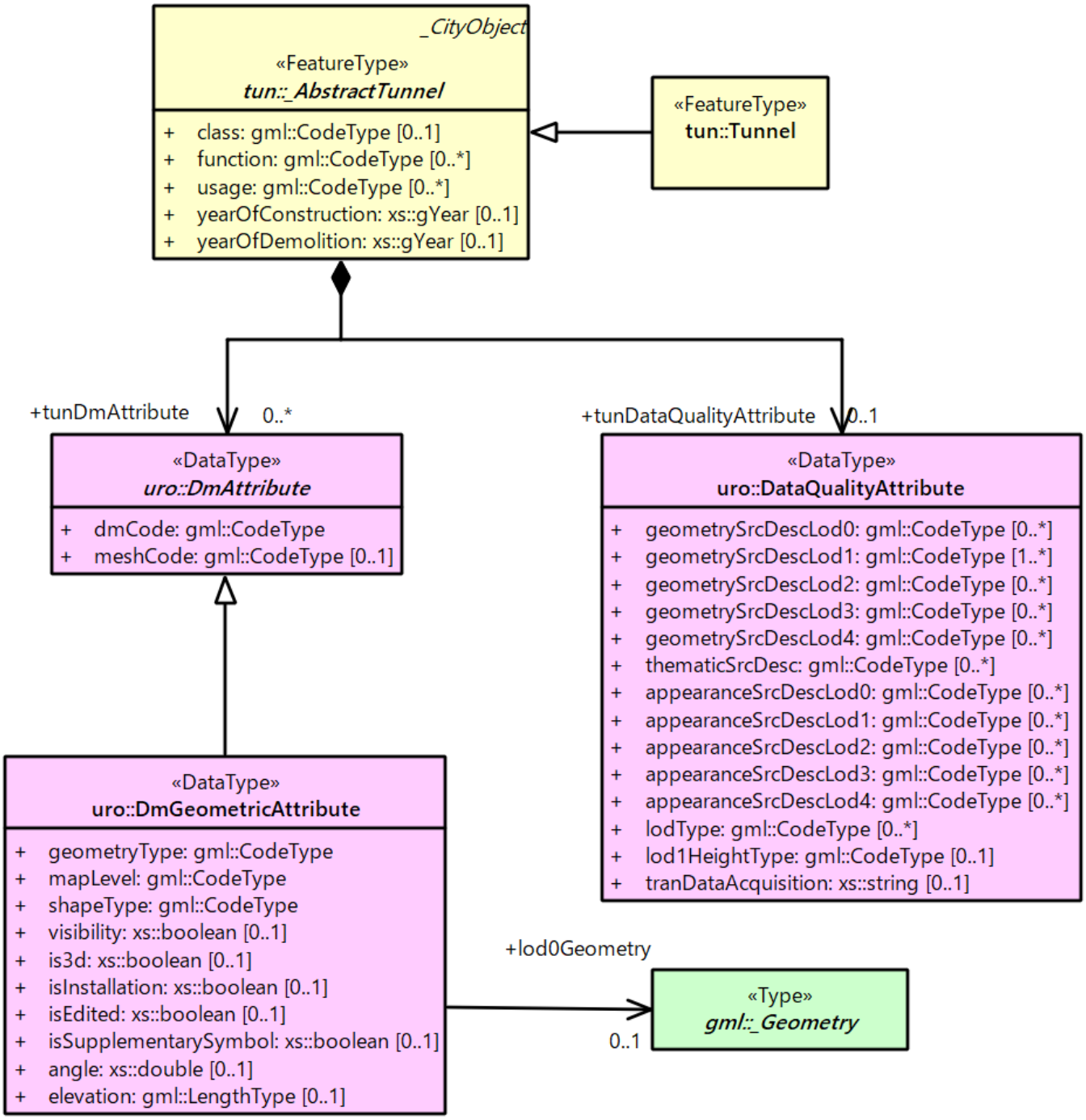


道路橋（高架部）、徒橋、横断歩道橋、鉄道橋（高架部）、跨線橋の記述には、*brid::Bridge* を使用する。

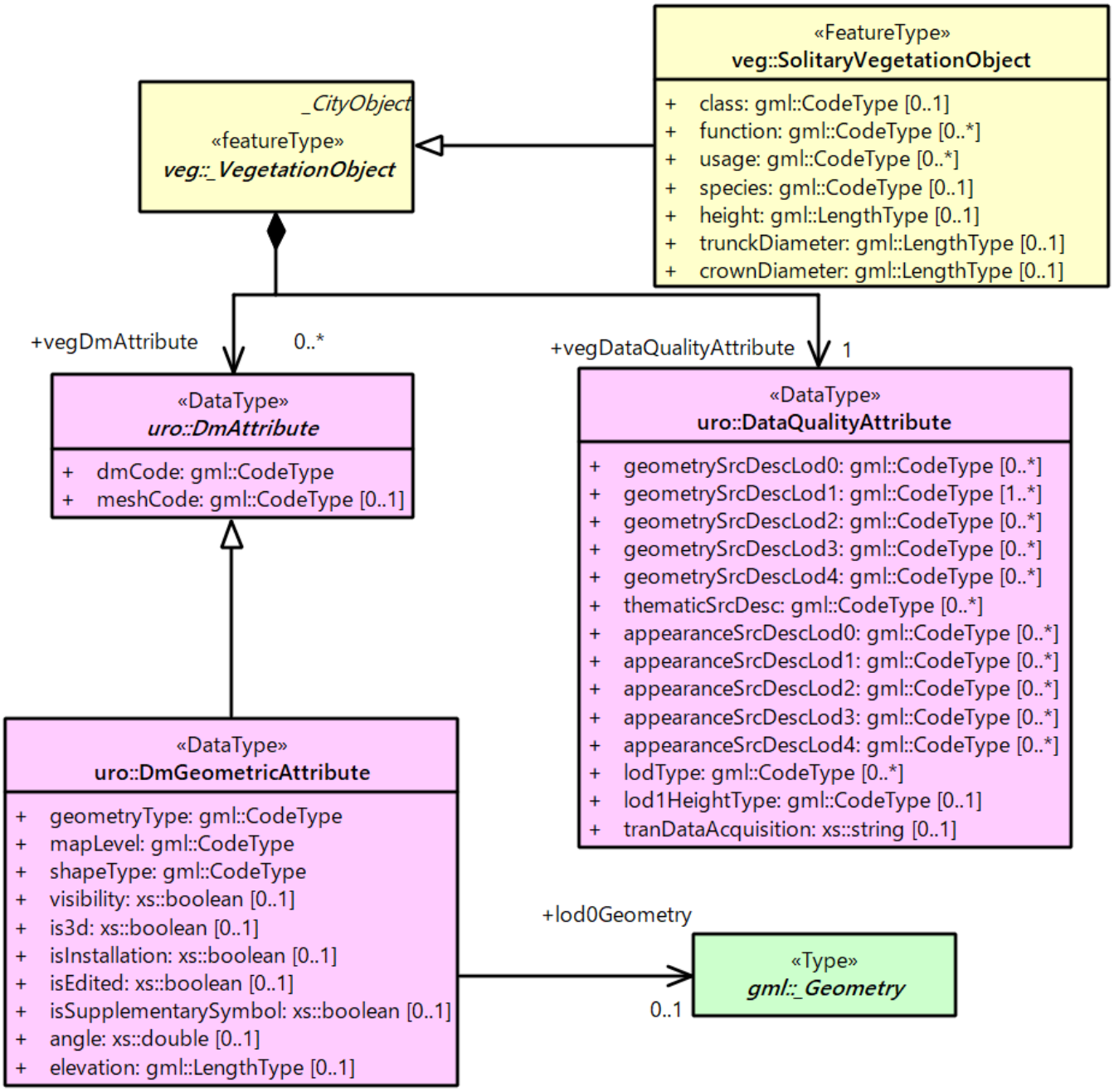


石段、地下街・地下鉄等出入口、停留所、プラットホームの記述には、*frn::CityFurniture* を使用する。*frn::CityFurniture* の応用スキーマクラス図は、小物体の応用スキーマクラス図を参照すること。

道路のトンネル、道路の雪覆い等、鉄道のトンネル、鉄道の雪覆い等の記述には、*tun::Tunnel*を使用する。

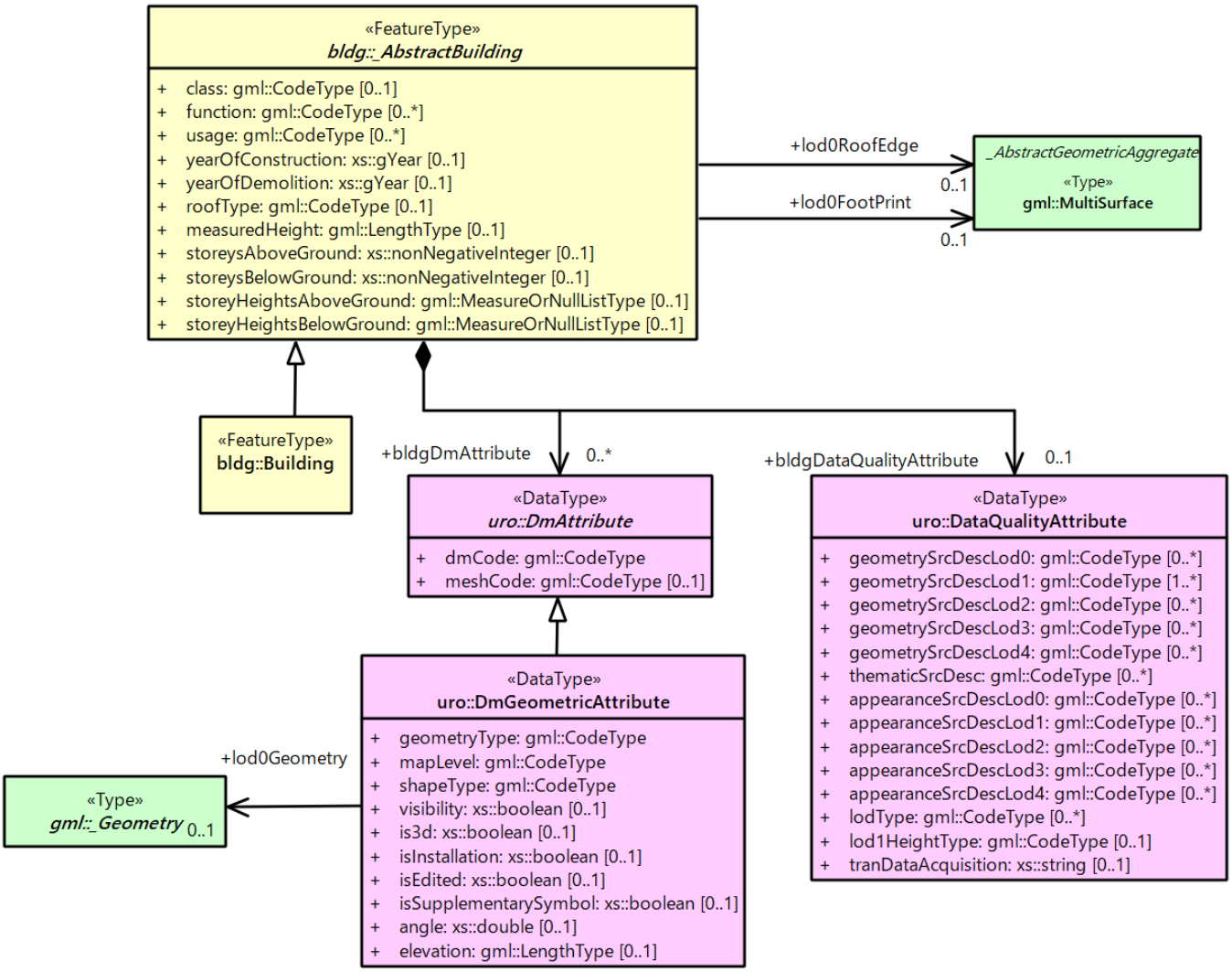


並木の記述には、*veg::SolitaryVegetationObject* を使用する。



(3) 建物等

建物及び建物記号の記述には、*bldg::Building* を使用する。

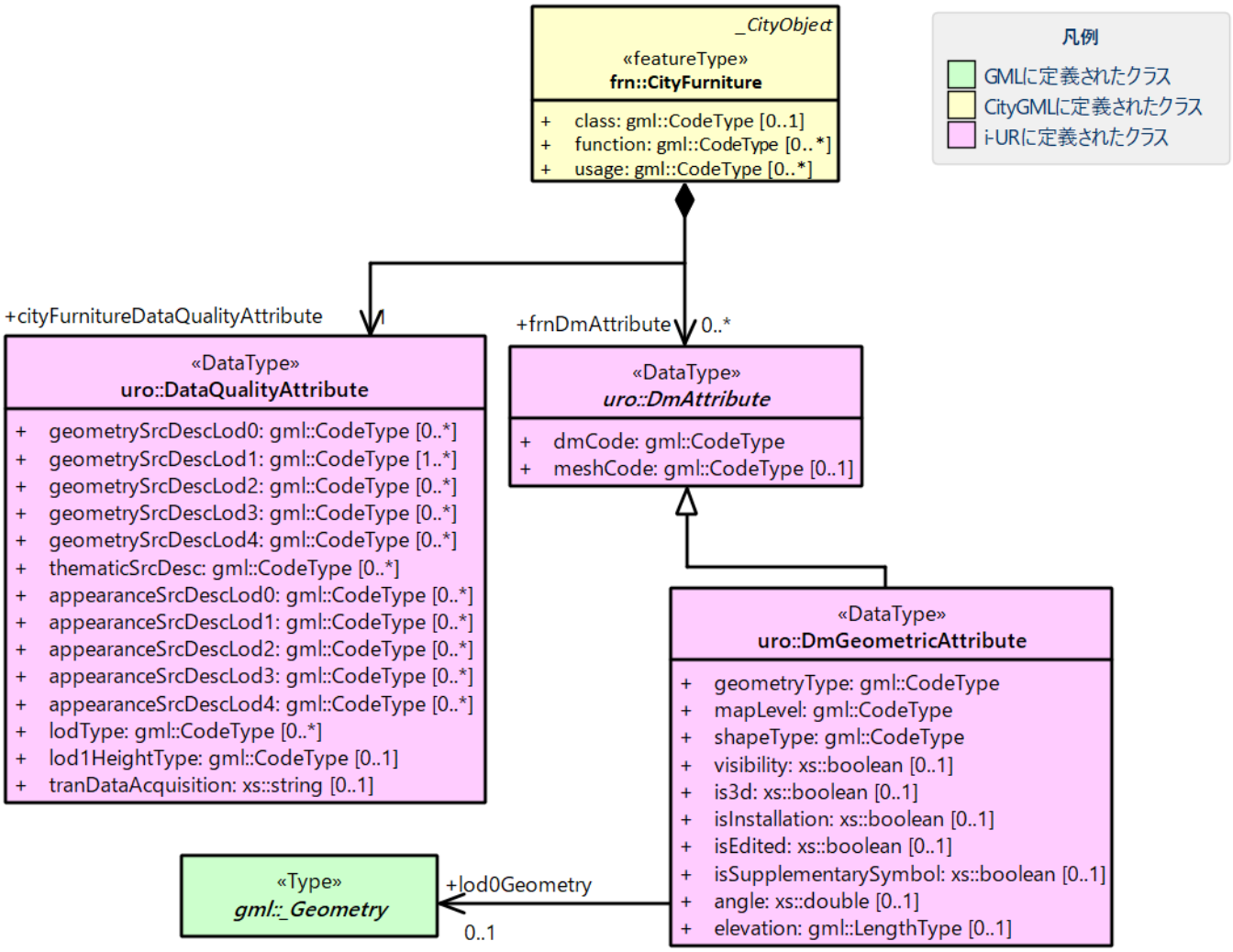


屋門及び門の記述には、*frn::CityFurniture* を使用する。*frn::CityFurniture* の応用スキーマクラス図は、小物体の応用スキーマクラス図を参照すること。

(4) 小物体

小物体の記述には、*frn::CityFurniture*を使用することを基本とする。

ただし、坑口の記述には、*tun::Tunnel* を使用する。また、独立樹（広葉樹）及び独立樹（針葉樹）の記述には、*veg::SolitaryVegetationObject*を使用する。



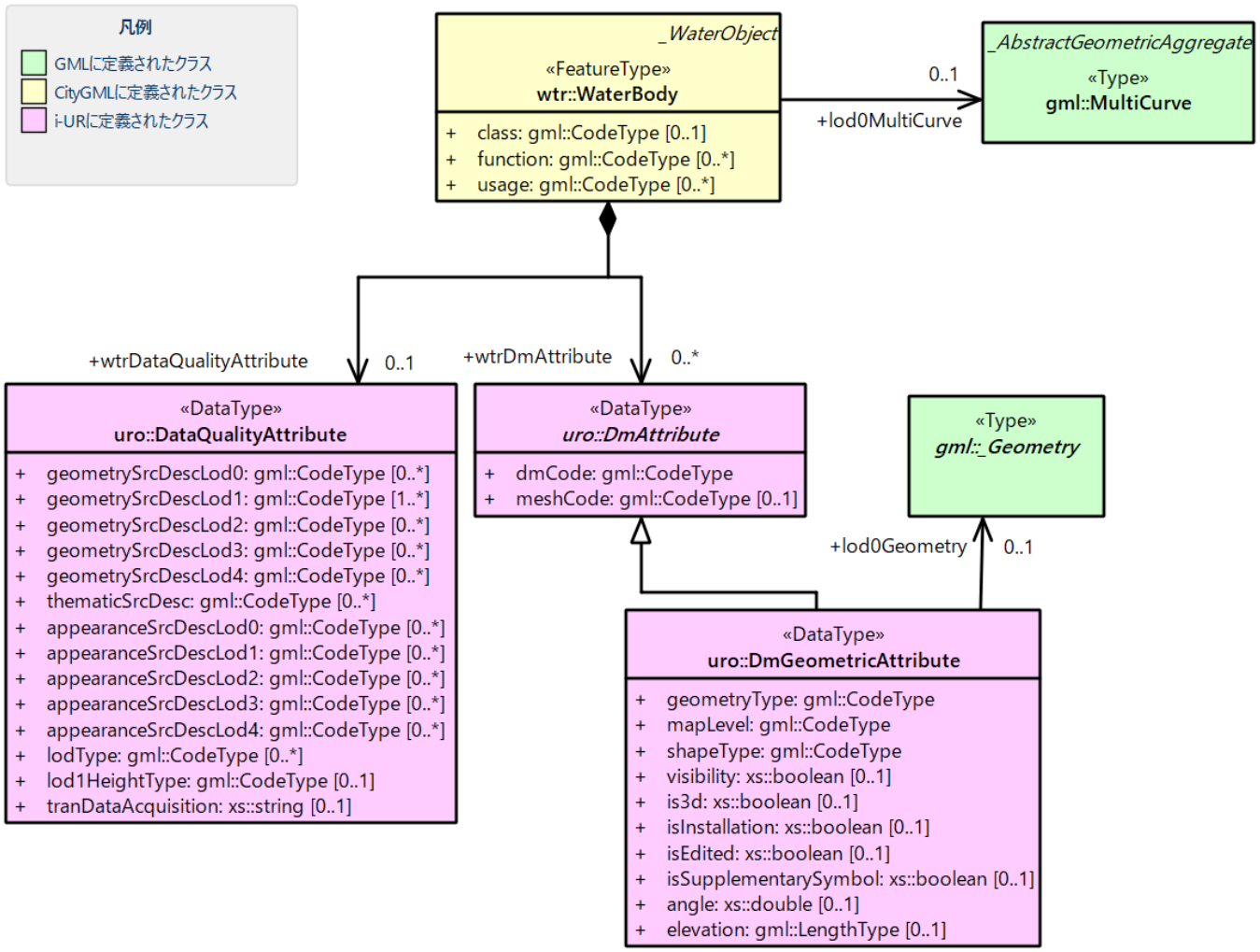
tun::Tunnel のクラス図は、道路のトンネル、道路の雪覆い等、鉄道のトンネル、鉄道の雪覆い等の応用スキーマクラス図を参照すること。

*veg::SolitaryVegetationObject*のクラス図は、並木の応用スキーマクラス図を参照すること。

(5) 水部等

水部、滝の記述には、wtr::WaterBody を使用する。

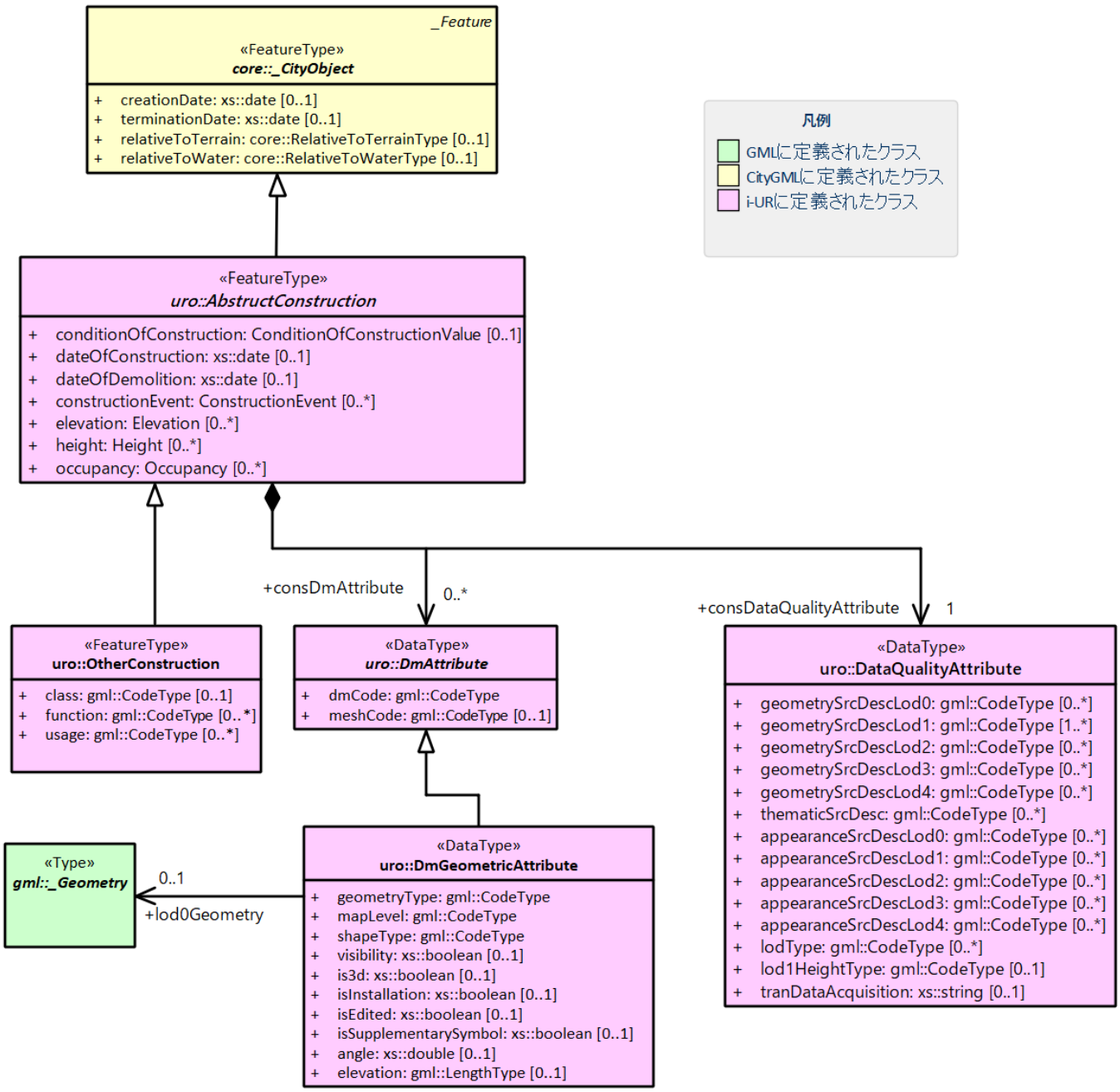
流水方向の記述には、uro::DmGeometricAttribute を使用する。



桟橋（木製・浮桟橋）、桟橋（鉄、コンクリート）の記述には、*brid::Bridge* を使用する。

brid::Bridge の応用スキーマクラス図は、道路橋（高架部）、徒橋、桟道橋、横断歩道橋、鉄道橋（高架部）、跨線橋の応用スキーマクラス図を参照すること。

防波堤、せき、水門、敷石斜板の記述には、*uro::OtherConstruction* を使用する。

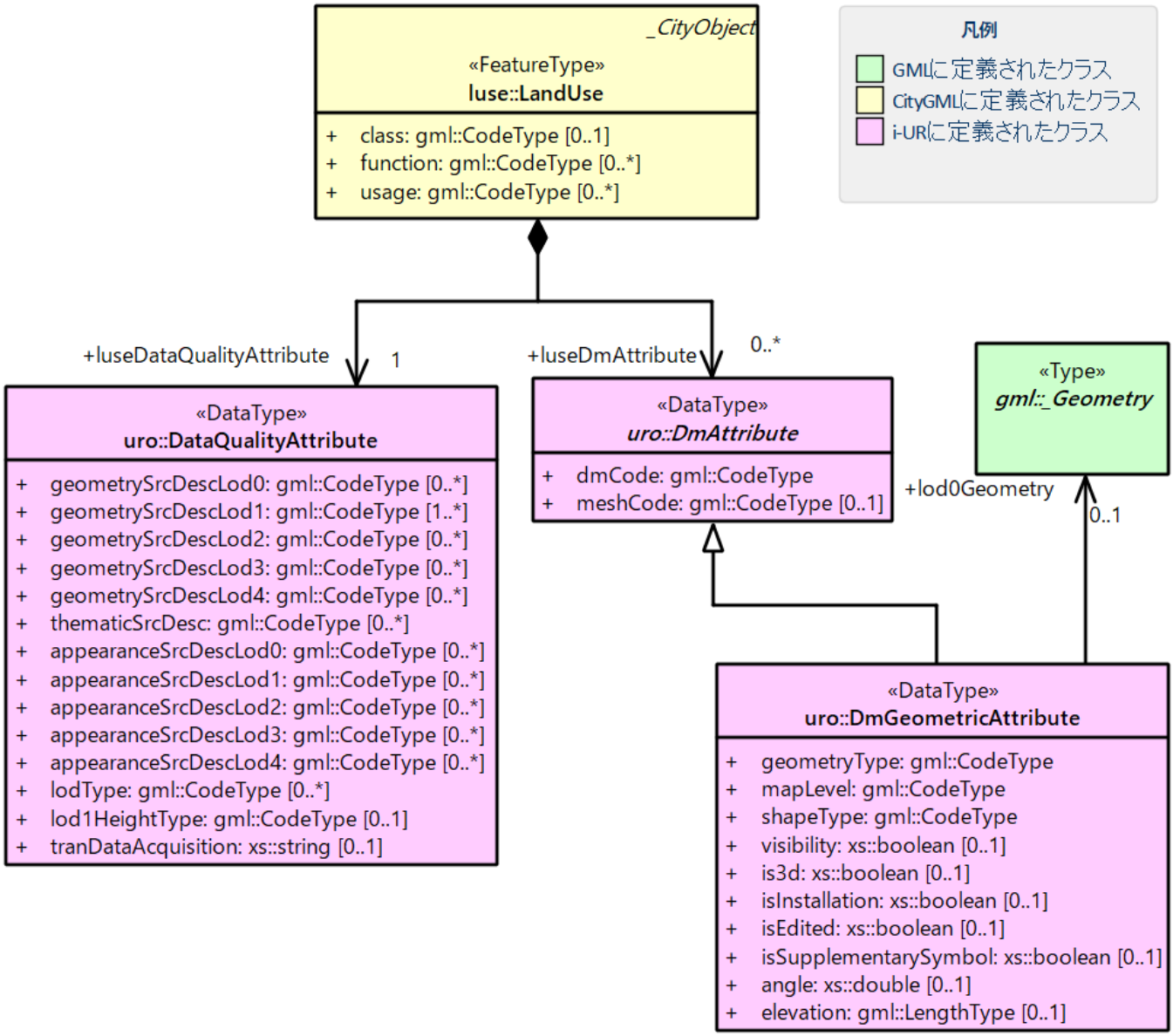


渡船発着所の記述には、*frn::CityFurniture* を使用する。

frn::CityFurniture の応用スキーマクラス図は、小物体の応用スキーマクラス図を参照すること。

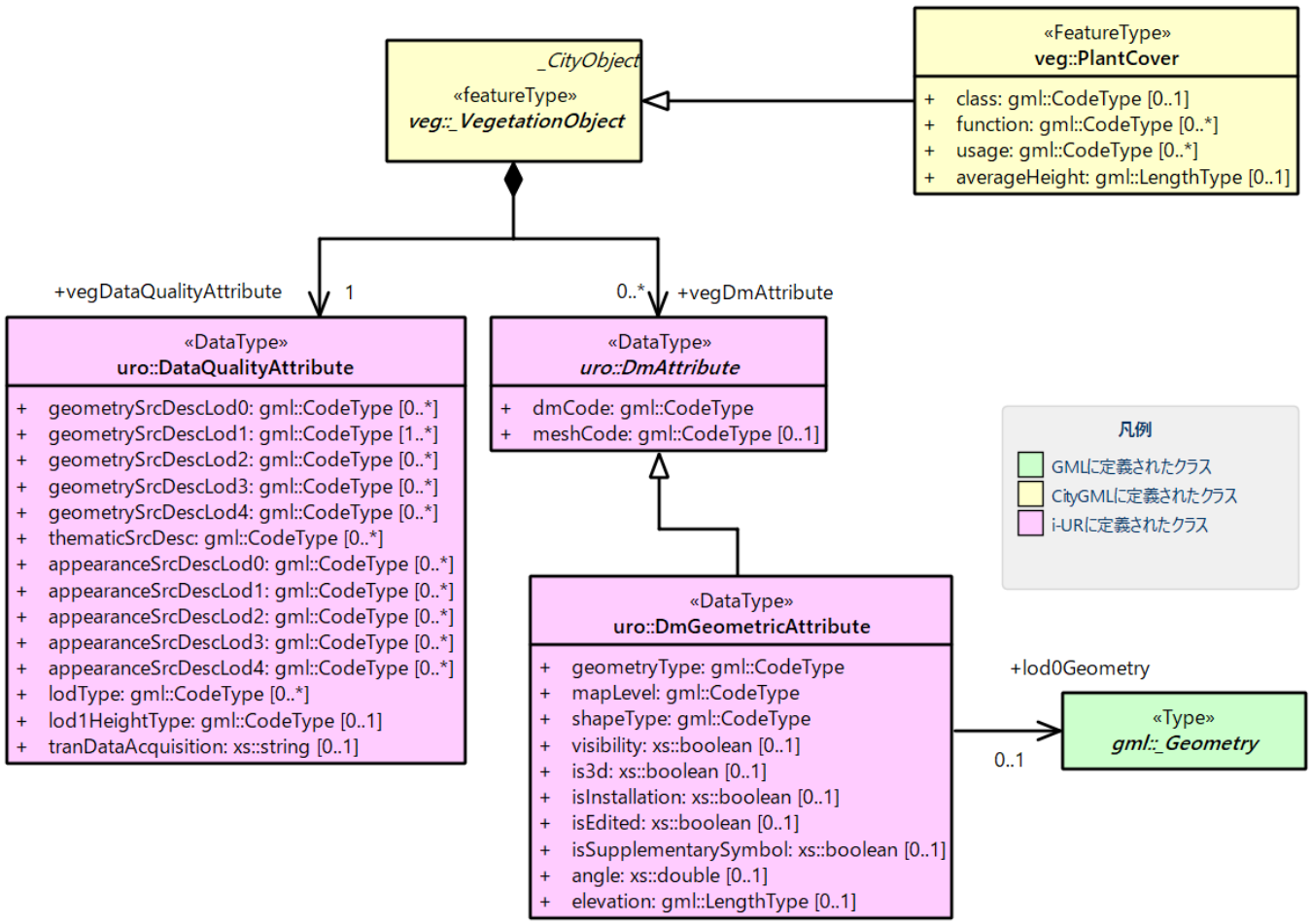
(6) 土地利用等

場地の記述には *luse::LandUse* を使用する。



法面の記述には、*uro::OtherConstruction* を使用する。*uro::OtherConstruction* の応用スキーマは、防波堤等の応用スキーマクラス図を参照すること。

植生の記述には、*veg::PlantCover* を使用する。



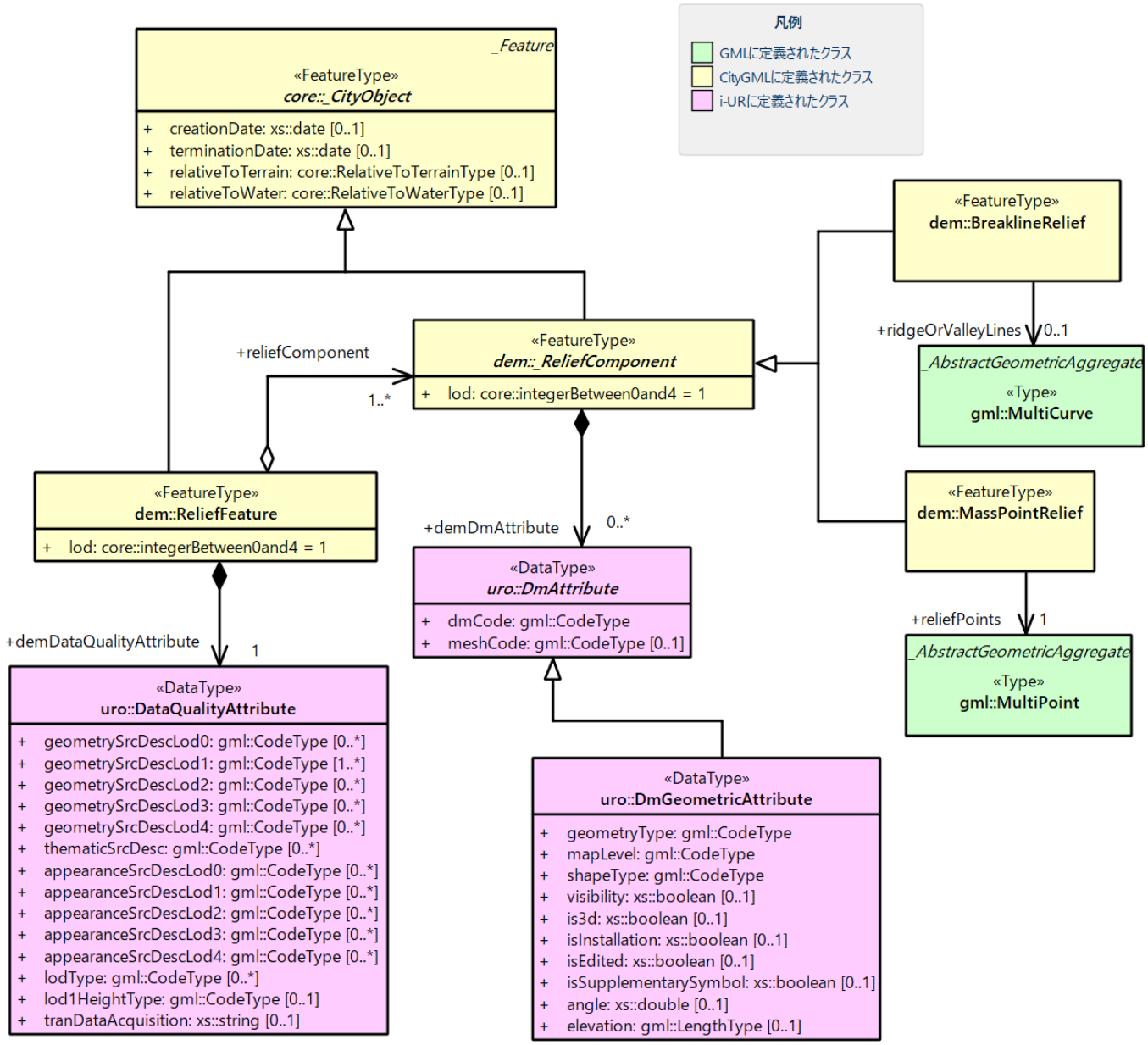
構囲の記述には、*frn::CityFurniture* を使用する。*frn::CityFurniture* の応用スキーマクラス図は、小物体の応用スキーマクラス図を参照すること。

(7) 地形等

等高線及び変形地の記述には、*dem::ReliefFeature* を使用し、*dem::reliefComponent* には *dem::BreaklineRelief* を使用することを基本とする。

ただし、変形地のうち洞口は *dem::MassPointRelief* を使用する。また、凹地（矢印）及び土がけ（崩土）の記号と、岩がけの記号は、*uro::DmGeometricAttribute* を使用する。

標高点の記述には、*dem::MassPointRelief* を使用する。



基準点（ただし、標高点を除く）の記述には、*frn::CityFurniture* を使用する。*frn::CityFurniture* の応用スキーマクラス図は、小物体の応用スキーマクラス図を参照すること。

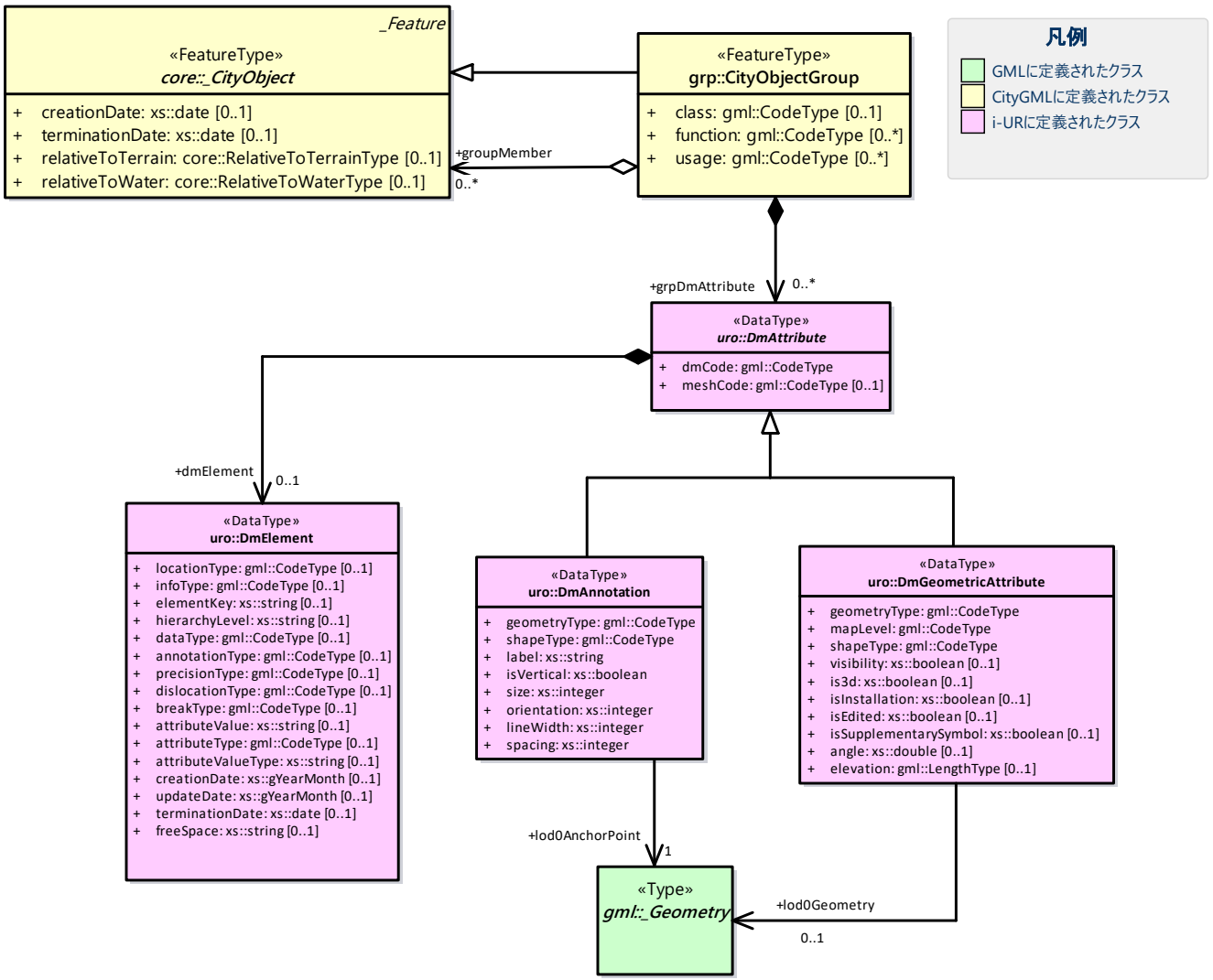
(8) 注記及び地図記号

注記は *uro::DmAnnotation*、指示点及び地図記号は *uro::DmGeometricAttribute* により記述する。

これらは都市計画基本図における地物の表現に必要な情報であり、都市計画データでは、地物の一部として扱う。

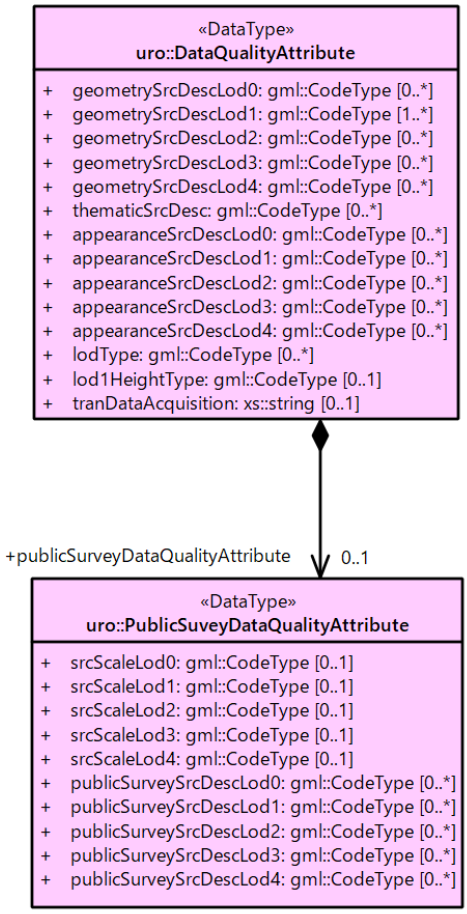
地物と独立して配置された注記及び地図記号は *grp::CityObjectGroup* によりグループ化する。

uro::DmElement は、数値地形図データ（DM）との互換性を保つため、DM に必要となる情報を格納するためのデータ型である。



(9) データ品質

地物のデータ品質は、*uro::DataQualityAttribute* により記述する。地物のデータが公共測量成果となる場合は、*uro::PublicSurveyDataQuality* を用いて使用した公共測量成果の説明を記述する。



4.2.3　応用スキーマ文書

都市計画基本図パッケージで使用するクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

(1)　Building（CityGML）

1)　bldg:Building

型の定義	居住その他の目的をもって構築された建築物とする。 建築物は、普通建物、堅ろう建物、普通無壁舎及び堅ろう無壁舎に区分する。普通建物とは、3 階未満の建物及び 3 階以上の木造等で建築された建物をいう。堅ろう建物とは、鉄筋コンクリート等で建築された建物で、地上 3 階以上又は 3 階相当以上の高さのものやスタンドを備えた競技場をいう。普通無壁舎とは、側壁のない建物、温室及び工場内の建物類似の構築物で、3 階未満のものをいう。堅ろう無壁舎とは、鉄筋コンクリート等で建築された側壁のない建物及び建物類似の構築物で、地上 3 階以上又は 3 階相当以上の高さのものをいう。[参考：作業規程の準則　付録 7　公共測量標準図式] 都市計画基本図に図示する普通建物、堅ろう建物、普通無壁舎、堅ろう無壁舎、分類しない建物、その他建物（取得分類コード 30XX）及び建物記号（取得分類コード 35XX）の記述に使用する。 なお、XX は数値地形図のデータ項目を示す 2 桁の半角数字とする。 都市計画基礎調査の建物利用現況の位置図に使用する。	
上位の型	bldg:_AbstractBuilding	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	建築物を識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	建築物の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	建築物と地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	建築物と水面との相対的な位置関係。
bldg:class	gml:CodeType [0..1]	建築物の形態による区分。 コードリスト（Building_class.xml）より選択する。
(bldg:function)	gml:CodeType [0..*]	建築物の主たる働き。
bldg:usage	gml:CodeType [0..*]	建築物の主な使い道。コードリスト（Building_usage.xml）より選択する。用途の区分は、都市計画基礎調査実施要領（国土交通省都市局）による区分とする。複数の建築物で一体の施設を構成しているものについては、一体としての用途とする。店舗等併用住宅、同共同住宅、作業所併用住宅は、1/3 以上が住宅のものとする。複合用途の建築物（商業系複合施設及び併用住宅を除く）については、主たる用途により分類する。複数の用途を記述する場合は、主たる用途を最初に記載する。
bldg:yearOfConstruction	xs:gYear [0..1]	建築物が建築された年。都市計画基礎調査の「建物利用現況」の「建築年」。
(bldg:yearOfDemolition)	xs:gYear [0..1]	建築物が解体された年。
(bldg:roofType)	gml:CodeType [0..1]	建築物の屋根形状の種類。
bldg:measuredHeight	gml:LengthType [0..1]	計測により取得した建築物の地上の最低点から最高点までの高さ。単位は m（uom="m"）とする。都市計画基礎調査の「建物利用現況」の「高さ」。ただし、計測以外の方法により高さを取得した場合は、gen:measureAttribute を用いて記述する。
bldg:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地上階の階数。都市計画基礎調査の「建物利用現況」の「階数・地上」。

bldg:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地下階の階数。都市計画基礎調査の「建物利用現況」の「階数・地下」。
(bldg:storeyHeightsAboveGround)	gml:MeasureOrNullListType [0..1]	地上の各階の高さを、地表に最も近い階から列挙する。
(bldg:storeyHeightsBelowGround)	gml:MeasureOrNullListType [0..1]	地下の各階の高さを、地表に最も近い階から列挙する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
bldg:lod0FootPrint	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の接地面での外形線により囲まれた面。中庭が存在する場合には、中空の面として作成する。 都市計画基礎調査の位置図に使用する建物外形として使用する。 bldg:lod0FootPrint 又は bldg:lod0RoofEdge のいずれかが出現する。
bldg:lod0RoofEdge	gml:MultiSurface [0..1]	建築物の屋根の外形線により囲まれた面。 bldg:lod0FootPrint 又は bldg:lod0RoofEdge のいずれか一方が出現する。中庭が存在する場合には、中空の面として作成する。 標準製品仕様書では、建築物の LOD0 の形状として、bldg:lod0RoofEdge を使用することを基本とする。 都市計画基礎調査の位置図に使用する建物外形として使用する。
bldg:address	core:Address [0..*]	建築物に付与された住所。最大 1 個作成する。
uro:buildingIDAttribute	uro:BuildingIDAttribute [1]	建築物の識別情報。必ず 1 個作成する。
uro:buildingDetailAttribute	uro:BuildingDetailAttribute [0..*]	建築物に関する基礎的な情報。都市計画基礎調査の「建物利用現況」の結果を付与する。
uro:largeCustomerFacilityAttribute	uro:LargeCustomerFacilityAttribute [0..*]	当該建築物が大規模小売店舗等である場合に、都市計画基礎調査の「大規模小売店舗等の立地状況」の結果を付与する。
uro:bldgDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記の文字列及び文字の表示に必要な情報を記述する。 外形、中庭線、棟割線、階層線、建物記号の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。中庭線、棟割線及び階層線がない建築物の場合、lod0RoofEdge と uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry の外形は、その形状が一致する。
uro:bldgDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。
(uro:bldgKeyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

(2) Bridge（CityGML）

1) brid:Bridge

型の定義	交通の障害となる河川、渓谷、湖沼、海峡、鉄道、水路、他の道路等の上方に、これを横断するために設置される構造物。 横断歩道橋及びペデストリアンデッキも含む。 都市計画基本図に図示する道路橋（高架部）、徒橋、横断歩道橋、鉄道橋（高架部）、跨線橋、桟橋（木橋、浮桟橋）の記述に使用する。	
上位の型	brid:_AbstractBridge	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	橋梁の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	橋梁を識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	橋梁の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(brid:class)	gml:CodeType [0..1]	橋梁の形態による区分。
(brid:function)	gml:CodeType [0..*]	橋梁の主たる働き。
(brid:usage)	gml:CodeType [0..*]	橋梁の主な使い道。
(brid:yearOfConstruction)	xs:gYear [0..1]	橋梁が建築された年。
(brid:yearOfDemolition)	xs:gYear [0..1]	橋梁が解体された年。
(brid:isMovable)	xs:boolen [0..1]	可動橋か否かの別。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
uro:bridDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 Bridge の種類により、以下を取得する。 道路橋（高架部）及び鉄道橋（高架部）の形状は、両側の縁線を取得する。 徒橋の形状は中心線を取得する。 横断歩道橋及び跨線橋は、外周を面として取得する。 桟橋（木製・浮桟橋）は外周を線として取得する。
uro:bridDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(3) CityFurniture（CityGML）

1) frn:CityFurniture

型の定義	都市の屋外（道路、住宅街、広場、造成地等）に設置されている、移動しない小規模な設備（例：街路灯、道路標識、交通信号機、花壇、広告板、ベンチ、境界杭、バス停）。 都市計画基本図に図示する石段、地下街・地下鉄等出入口、停留所、プラットホーム、門、屋門、小物体（ただし、坑口と独立樹を除く）、渡船発着所、せき、水門、透過水制、敷石斜板、構囲、基準点（ただし、標高点を除く）の記述に使用する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	都市設備の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	都市設備を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	都市設備の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(gml:description)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(gml:name)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(gml:boundedBy)		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(frn:class)	gml:CodeType [0..1]	都市設備の区分。
(frn:function)	gml:CodeType [0..*]	都市設備の種類。
(frn:usage)	gml:CodeType [0..*]	都市設備の主な使い道。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
uro:frnDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 CityFurniture の種類により、以下を形状として取得する。 石段の場合は、縁線及び石段の上段部、下端部、階段線をそれぞれ線として取得する。 地下街・地下鉄等出入口の場合は、外周を面として取得し、階段線（入口から 3 段）を線として取得する。 停留所は、安全島がある場合は外縁を面として取得し、安全島が無いもしくは狭小の場合は中心位置を点として取得する。 プラットホームは、外周を面として取得する。 門は、門柱が 1.25m 以上の場合は門柱の外周を面として取得し、1.25m 未満の場合は中心位置を点として取得する。

		屋門は、道路縁線を取得する。 小物体は、中心位置を点として取得することを基本とする。 輸送管は外周を面として取得し、送電線は中心線を取得する。 渡船発着所は中心位置を点として取得する。 透過水制及び敷石斜板は外周を面として取得する。 構囲は中心位置を線として取得する。 基準点（ただし、標高点を除く）は中心位置を点として取得する。
uro:frnDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(4) LandUse（CityGML）

1) luse:LandUse

型の定義	土地の利用の状態及び利用の仕方。 敷地を単位とする。敷地とは、同じ用途に供される土地の範囲とする。 都市計画基本図に図示する場地の記述に使用する。 都市計画基礎調査の土地利用現況の位置図に使用する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	土地利用を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
luse:class	gml:CodeType [0..1]	土地利用用途の大まかな区分。 土地利用用途の区分は、都市計画基礎調査実施要領（国土交通省都市局）による区分とする。 コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。
(luse:function)	gml:CodeType [0..*]	土地利用の機能。
(luse:usage)	gml:CodeType [0..*]	土地利用の用途。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
luse:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	土地利用が変化する境界により囲われた同一の土地利用の範囲。土地利用現況調査において作成する。

uro:landUseDetailAttribute	uro:LandUseDetailAttribute [0..1]	土地利用現況調査により得られた土地の詳細情報。
uro:luseDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 場地（区域界を除く）は記号表示位置を点として取得する。なお、場地のうち、墓地と太陽光発電設備について、概ね 75m×75m 以上の広さで、記号を定間隔に配列する場合には、各点を gml:MultiPoint により一つの幾何オブジェクトとして構成すること。 区域界は、場地等のうち特に他の地区と区別する必要のある場合で、その区域が地物縁で表示できない場合に、区域の界線を線として取得する。
uro:luseDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。
(uro:luseKeyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

(5) Relief（CityGML）

1) dem:ReliefFeature

型の定義	地形の凹凸を表現した地物。 dem:BreaklineReliefm 又は dem:BreaklineRelief を部品として保持する。 都市計画基本図に図示する等高線及び変形地の記述には、dem:BreaklineRelief を使用し、標高点の記述には、dem:MassPointRelief を使用することを基本とする。ただし、変形地のうち、洞口及び極小の散岩は dem:MassPointRelief を使用する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	地形の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	地形の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
dem:lod	core:integerBetween0and4 [1]	この地形に適用される LOD。0～4 までの半角数字のいずれかとする。LOD0 の場合は 0 となる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。

(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:reliefComopnent	dem:_ReliefComponent [1]	dem:BreaklineRelief 又は dem:MassPointRelief のいずれか 1 つのみをもつ。
uro:demDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

2) dem:BreaklineRelief

型の定義	線により地形の起伏を表現した地物。 都市計画基本図に図示する等高線及び変形地の記述に使用する。なお、変形地のうち洞口は dem:MassPointRelief を使用する。 また、凹地（矢印）、土がけ（崩土）の記号及び岩がけの記号は、uro:DmGeometricAttribute を使用する。	
上位の型	dem:_ReliefComponent	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	地形の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	地形の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
dem:lod	core:integerBetween0and4	この地形に適用される LOD。LOD0 の場合は 0 となる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
(dem:extent)	gml:Polygon [0..1]	空間範囲。
自身に定義された属性		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:ridgesOrValleyLines	gml:MultiCurve [0..1]	等高線となる線。標高（uro:dmAttribute により保持する uro:DmGeometricAttribute の属性 uro:elevation）が同じとなる線の集まりを 1 つの幾何オブジェクトとする。
uro:demDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。

3) dem:MassPointRelief

型の定義	点の集まりにより地形の起伏を表現した地物。

	都市計画基本図に図示する標高点及び洞口、極小の散岩の記述に使用する。	
上位の型	dem:_ReliefComponent	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	地形の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	地形の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
dem:lod	core:integerBetween0and4	この地形に適用される LOD。LOD0 の場合は 0 となる。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
(dem:extent)	gml:Polygon [0..1]	空間範囲。基準地域メッシュの四隅座標により構成する。
自身に定義された属性		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
dem:reliefPoints	gml:MultiPoint [1]	起伏を表現する点の集まり。 標高（uro:dmAttribute により保持する uro:DmGeometricAttribute の属性 uro:elevation）が同じとなる点の集まりを 1 つの幾何オブジェクトとする。
uro:demDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。

(6) Transportation（CityGML）

1) tran:Road

型の定義	一般交通の用に供する場所。 都市計画基本図に図示する道路縁（街区線）、トンネル内の道路、建設中の道路、歩道及び分離帯の記述に使用する。 都市計画基礎調査の「道路の状況」の位置図に使用する。	
上位の型	tran:TrafficComplex	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	道路の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	道路を識別する名称。道路法に基づき路線が指定又は認定された路線名。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(tran:class)	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
(tran:function)	gml:CodeType [0..*]	道路法における道路の区分及び建築基準法における道路の区分。
(tran:usage)	gml:CodeType [0..*]	道路の利用方法。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
(tran:trafficArea)	tran:TrafficArea [0..*]	道路を構成する要素のうち、車両や人が通行可能な領域。
(tran:auxiliaryTrafficArea)	tran:AuxiliaryTrafficArea [0..*]	道路を構成する要素のうち、交通領域の機能を補助するために設けられた領域。
tran:lod0Network	gml:GeometricComplex [0..1]	道路の連続性を表現する線。ネットワークを構成する。 都市計画基礎調査モデルの「道路の状況」において道路ネットワークの記述に使用する。 地図情報レベル 2500 では、道路縁（街区線）、トンネル内の道路、建設中の道路は道路敷の外線によりその形状を表現するため、都市計画基本図モデルでは lod0Network を使用しない。道路縁（街区線）、トンネル内の道路、建設中の道路の形状は、uro:DmGeometricAttribute により記述する。
uro:tranDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 形状は、道路縁線を取得する。
uro:tranDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。
(uro:tranKeyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。
自身に定義された属性		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
uro:roadStructureAttribute	uro:RoadStructureAttribute [0..1]	当該道路の道路構造に関する情報。
uro:trafficVolumeAttribute	uro:TrafficVolumeAttribute [0..1]	当該道路を通行する車両の量に関する情報。 都市計画基礎調査の「主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度」の結果を付与する。
uro:roadStatus	uro:RoadType [0..1]	当該道路の状況。 都市計画基礎調査の「道路の状況」の結果を付与する。

2) tran:Railway

型の定義	専用の用地にレールを敷設した線路上を、動力を用いた車両を運転し、人や物を迅速・安全に運搬する陸上交通機関。 都市計画基本図に図示する普通鉄道、路面鉄道、特殊鉄道、索道、建設中の鉄道の記述に使用する。
上位の型	tran:TrafficComplex

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	鉄道の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	鉄道を識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(tran:class)	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
(tran:function)	gml:CodeType [0..*]	鉄道の区分。
(tran:usage)	gml:CodeType [0..*]	鉄道の利用方法。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
(tran:trafficArea)	tran:TrafficArea [0..*]	鉄道を構成する要素のうち、車両や人が通行可能な領域への参照。
(tran:auxiliaryTrafficArea)	tran:AuxiliaryTrafficArea [0..*]	鉄道を構成する要素のうち、交通領域の機能を補助するために設けられた領域への参照。
tran:lod0Network	gml:GeometricComplex [0..1]	鉄道の連続性を表現する線。 普通鉄道、路面鉄道、特殊鉄道、索道の中心線を取得する。 建設中の鉄道は uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用して形状を記述するため、lod0Network は使用しない。
uro:tranDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 建設中の鉄道は、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用し、形状を記述する。 建設中の鉄道は、外周を線として取得する。 なお、普通鉄道、路面鉄道、特殊鉄道、索道の形状は、tran:lod0Network により記述し、uro:DmGeometricAttribute の uro:lod0Geometry は使用しない。
uro:tranDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。
(uro:tranKeyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

3) tran:Track

型の定義	公園、住宅地等で自動車の通行を規制している道路及び工場等特定の敷地内の道路及び幅員 2.5m 未満かつ以下のいずれかを満たす道路。 ・道路縁及び軽車道に接続するもの ・登山、観光等に利用されるもの ・神社等の主要な地点へ到達するもの ・耕地の区画等の景観を表現するために必要なもの 徒歩道及び庭園路の記述に使用する。	
上位の型	tran:TrafficComplex	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	徒歩道等の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	徒歩道等を識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(tran:class)	gml:CodeType [0..1]	交通の分類。
(tran:function)	gml:CodeType [0..*]	徒歩道等の区分。
(tran:usage)	gml:CodeType [0..*]	徒歩道等の利用方法。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
(tran:trafficArea)	tran:TrafficArea [0..*]	徒歩道等を構成する要素のうち、車両や人が通行可能な領域への参照。
(tran:auxiliaryTrafficArea)	tran:AuxiliaryTrafficArea [0..*]	徒歩道等を構成する要素のうち、交通領域の機能を補助するために設けられた領域への参照。
tran:lod0Network	gml:GeometricComplex [0..1]	徒歩道等の連続性を表現する線。 徒歩道の場合は、中心線とする。 庭園路等は、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用して形状を記述するため、lod0Network は使用しない。
uro:tranDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 庭園路等は、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用し、形状を記述する。 庭園路等の形状は、道路縁線を取得する。 徒歩道は、lod0Network を使用して形状を記述するため、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用しない。
uro:tranDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(7) Tunnel（CityGML）

1) tun:Tunnel

型の定義	２地点間の交通と物資の輸送あるいは貯留などを目的とし、建設される地下の空間。雪崩又は落石等を防ぐために、道路又は鉄道上に設けられた覆いを含む。 都市計画基本図に図示する道路のトンネル、道路の雪覆い等、鉄道のトンネル、鉄道の雪覆い等の記述に使用する。	
上位の型	tun:_AbstractTunnel	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	トンネルの概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	トンネルを識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	トンネルの範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(tun:class)	gml:CodeType [0..1]	トンネルの形態による区分。
(tun:function)	gml:CodeType [0..*]	トンネルの主たる働き。
(tun:usage)	gml:CodeType [0..*]	トンネルの主な使い道。
(tun:yearOfConstruction)	xs:gYear [0..1]	トンネルが建築された年。
(tun:yearOfDemolition)	xs:gYear [0..1]	トンネルが解体された年。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
uro:tunDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 道路のトンネル及び鉄道のトンネルの形状は、真形による表現を行う場合は、坑口部分の外周を面又は線として取得する。極小表現を行う場合は、坑口の中心位置を点として取得し、向きを角度として取得する。 道路の雪覆い等及びトンネルの雪覆い等の形状は、外周を面として取得する。
uro:tunDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(8) Vegetation（CityGML）

1) veg:SolitaryVegetationObject

型の定義	独立した樹木。 都市計画基本図に図示する並木、独立樹（広葉樹）及び独立樹（針葉樹）の記述に使用する。	
上位の型	veg:_VegetationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	樹木の説明。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	樹木を識別する管理番号や名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(veg:class)	gml:CodeType [0..1]	高木、中木、低木の別。
(veg:function)	gml:CodeType [0..*]	常緑、落葉の別、及び針葉、広葉の別。
(veg:usage)	gml:CodeType [0..*]	樹木の用途。
(veg:species)	gml:CodeType [0..1]	樹木の樹種。
(veg:height)	gml:LengthType [0..1]	樹高。
(veg:trunkDiameter)	gml:LengthType [0..1]	樹径。幹周を 3.14 で除算した数値。
(veg:crownDiameter)	gml:LengthType [0..1]	樹木の四方面に伸長した枝(葉)の幅。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
uro:vegDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 中心位置を点として取得する。
uro:vegDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

2) veg:PlantCover

型の定義	植被。芝生や茂みのように、植生に覆われた範囲を指し、個々の樹木を識別しない。 都市計画基本図に図示する植生の記述に使用する。	
上位の型	veg:_VegetationObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	植被の説明。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	植被を識別する管理番号や名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(veg:class)	gml:CodeType [0..1]	植被を構成する主な樹種による分類。
(veg:function)	gml:CodeType [0..*]	植被の機能。
(veg:usage)	gml:CodeType [0..*]	植被の用途。
(veg:averageHeight)	gml:LengthType [0..1]	平均高さ。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
uro:vegDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 記号表示位置又は記号代表点を点として取得する。
uro:vegDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(9) WaterBody（CityGML）

1) wtr:WaterBody

型の定義	河川や湖沼のように陸地内に存在する水の存在する部分及び海。水路や貯水槽、プールのような人工的に存在する水を含む。 都市計画基本図に図示する水部、滝の記述に使用する。 河川は、平水時において流水部の幅が 1m 以上のものを対象とする。ただし、主要な河川等にあっては、流水部の幅 1m 未満であっても対象としてよい。 湖池等とは、湖、池、沼等（人工的に貯水したものを含む。）をいい、おおむね 12.5m2 以上のものを対象とする。	
上位の型	wtr:_WaterObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	水部の説明。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	水部を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(wtr:class)	gml:CodeType [0..1]	水部の分類。
(wtr:function)	gml:CodeType [0..*]	水部の機能。
(wtr:usage)	gml:CodeType [0..*]	水部の利用方法。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
wtr:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	水部の水の流れを示す線。 一条河川の形状の記述に使用する。流水部の中心線を取得する。 水涯線、かれ川、湖沼は、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用し形状を記述するため、lod0MultiCurve は使用しない。
uro:wtrDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 水涯線、かれ川、湖沼は、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用し、形状を記述する。 水涯線、湖沼は界線を取得する。かれ川は範囲を示す縁線を取得する。 水涯線は、河川、湖池等の水涯線及び海岸線の正射影を表示する。 水涯線の地下部は、uro:DmGeometricAttribute の uro:visibility を 0（不可視）とする。 河川は、平水時における水涯線とし、海岸線は、満潮時における海岸の水涯線の正射影を表示する。
uro:wtrDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

(10) CityObjectGroup（CityGML）

型の定義	都市オブジェクトの集まり。 都市計画基本図の描画情報（注記、建物記号、指示点）をグループ化する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	グループの概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	グループを識別する名称。文字列により記述する。 注記の集まりの場合は「注記」とする。 建物記号の集まりの場合は「建物記号」とする。 指示点の集まりの場合は「指示点」とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	グループの範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(grp:class)	gml:CodeType [0..1]	グループの区分。
(grp:function)	gml:CodeType [0..*]	グループの機能。
(grp:usage)	gml:CodeType [0..*]	グループの主な使い道。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(grp:groupMember)	core:_CityObject [0..*]	グループに含まれる都市オブジェクト。
uro:grpDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	数値地形図を構成するための情報への参照。

(11) Urban Object（i-UR）

都市計画基本図モデルで使用する、Urban Object モジュールで定義されたクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

1) uro:DmGeometricAttribute

型の定義	都市計画基本図として、地物の形状を公共測量標準図式に従って表現するためのデータ型。 uro:DmGeometrictAttribute は、地物の実体を表す図形だけではなく、地物を図式に従って表現する際に必要な情報（例：建物記号、建物の棟割線、記号の方向、指示点）を含む。	
上位の型	uro:DmAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:dmCode	gml:CodeType	DM の図式分類コード。レイヤ番号（2 桁）とデータ項目（2 桁）からなる 4 桁の半角数字の列。 コードリスト（Common_dmCode.xml）より選択する。
uro:dmMeshCode	gml:CodeType [0..1]	数値地形図データが含まれる国土基本図の図郭識別番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:geometryType	gml:CodeType	レコードタイプ。 コードリスト（Common_geometryType.xml）より選択する。
uro:mapLevel	gml:CodeType	地図情報レベル。 コードリスト（Common_MapLevel.xml）より選択する。都市計画基本図の場合は、2500 となる。
uro:shapeType	gml:CodeType	図形区分。 コードリスト（Common_shapeType.xml）より選択する。
uro:visibility	xs:boolean [0..1]	可視性。上空から見た場合に、他の地物に遮蔽されておらず、上空から見えている（地図上に表現される）ことを示すフラグ。仮想的に設定された付属図形で描画対象としない場合にもこのフラグを 0 にする。 1 ：他の地物に遮蔽されていない。（省略時値） 0：他の地物に遮蔽されている。
uro:is3d	xs:boolean [0..1]	この図形の座標値が 3 次元データであることを示すフラグ。 1 ：この図形の座標値は 3 次元データである。 0：この図形の座標値は 2 次元データである。（省略時値） uro:is3d=0 の場合、z 値に示された”0”は意味を持たない。
uro:isInstallation	xs:boolean [0..1]	この図形が地物の付属図形であることを示すフラグ。 付属図形とは、地物の本質的な実体ではないが、描画処理などで地物を図形表現する際に利用可能な図形である。 1 ：この図形は付属図形である。 0：この図形は付属図形ではない。（省略時値） uro:isInstallation の値が 1 の場合、uro:dmShapeType の値は、0 以外となる。
uro:isEdited	xs:boolean [0..1]	個別の編集処理がおこなわれたことを示すフラグ。 1：編集処理が行われた。 0：編集処理が行われていない。（省略時値）

uro:isSupplementarySymbol	xs:boolean [0..1]	この図形が地物の補助記号であることを示すフラグ。 補助記号とは、公共測量標準図式において自動発生が可能とされる図形を指す。自動発生が不可能な場合で図形を作成する必要がある場合にのみ使用する。 1：この図形は補助記号である。 0：この図形は補助記号ではない。（省略時値）
uro:angle	xs:double [0..1]	図形の角度。真北を 0 とし、時計まわりを正とする。 uro:dmGeometryType の値が E7（方向）の場合に多重度は任意となっているが、必須とする。
uro:elevation	gml:LengthType [0..1]	この図形の標高。単位は m とする。 uro:dmCode のレイヤ番号が 73 の場合は、必須とする。
継承する関連役割		
関連役割名	属性の型及び多重度	定義
uro:dmElement	uro:DmElement [0..1]	数値地形図データファイル仕様に基づく要素レコードの情報。 数値地形図データファイルの要素レコード情報を保持したい場合に必須とする。
自身に定義された関連役割		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:lod0Geometry	gml:_Geometry [0..1]	地物の形状を示す幾何オブジェクト。 参照先の幾何オブジェクトの型は、uro:dmCode の値に応じて、gml:Point（点）, gml:MultiPoint（1 個以上の点）、gml:MultiCurve（線）、又は gml:MultiSurface（面）のいずれかとする。 いずれの幾何オブジェクトの型をとるか、またその取得方法は、各都市の公共測量作業規程において定められた図式に従う。

2) uro:DmElement

型の定義	数値地形図（DM）データの要素レコードの情報を保持するためのデータ型。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:locationType	gml:CodeType [0..1]	地域分類。必要に応じて利用者が任意に定義するコード。文字列により記述する。
uro:infoType	xs:string [0..1]	情報分類。必要に応じて利用者が任意に定義するコード。
uro:elementKey	xs:string [0..1]	要素識別番号。
uro:hierarchyLevel	xs:string [0..1]	階層レベル。
uro:dataType	gml:CodeType [0..1]	実データ区分。コードリスト（DmElement_dataType.xml）から選択する。
uro:annotationType	gml:CodeType [0..1]	注記区分。コードリスト（DmElement_annotationType.xml）から選択する。
uro:precisionType	gml:CodeType [0..1]	精度区分。コードリスト（DmElement_precisionType.xml）から選択する。
uro:dislocationType	gml:CodeType [0..1]	転位区分。コードリスト（DmElement_dislocationType.xml）から選択する。
uro:breakType	gml:CodeType [0..1]	間断区分。コードリスト（DmElement_breakType.xml）から選択する。
uro:attributeValue	xs:string [0..1]	属性数値。
uro:attributeType	gml:CodeType [0..1]	属性区分。利用者が独自に設ける区分。文字列により記述する。

uro:attributeValueType	xs:string [0..1]	属性データ書式。属性レコードを持つ場合の、そのレコードに記述されている内容の書式を Fortran 形式で記述する。
uro:creationDate	xs:gYearMonth [0..1]	取得年月。
uro:updateDate	xs:gYearMonth [0..1]	更新年月。
uro:terminationDate	xs:gYearMonth [0..1]	削除年月。
uro:freeSpace	xs:string [0..1]	空き領域。数値地形図データファイル形式で空き領域にデータが設定されている場合には、この属性を用いて保持する。

3) uro:DmAnnotation

型の定義	都市計画基本図として、注記を表現するために必要な情報のデータ型。	
上位の型	uro:DmAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:dmCode	gml:CodeType	公共測量標準図式の図式分類コード。レイヤ番号（2 桁）とデータ項目（2 桁）からなる 4 桁の半角数字の列。 コードリスト（Common_dmCode.xml）より選択する。
uro:dmMeshCode	gml:CodeType [0..1]	数値地形図データファイル仕様にもとづいて設定される図郭識別番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:geometryType	gml:CodeType	レコードタイプ。 コードリスト（Common_geometryType.xml）より選択する。 注記の場合は E7 となる。
uro:shapeType	gml:CodeType	図形区分。 コードリスト（Common_shapeType.xml）より選択する。 注記の場合は 0 となる。
uro:label	xs:string	注記の文字列。
uro:isVertical	xs:boolean	縦書きか否か。 1：縦書き 0：横書き
uro:size	xs:integer	字の大きさ。単位は 10 分の 1 ミリメートル。
uro:orientation	xs:integer	注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は－135°～-45°、横書きの場合は-45°～+45°とする。
uro:linewidth	xs:integer	注記の線の太さ。線号の号数を記述する。
uro:spacing	xs:integer	字の間隔。単位は 10 分の 1 ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。
自身に定義された関連役割		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:lodGeometry	gml:Geometry [0..1]	注記を配置する位置。 点（gml:Point）を使用して記述する。

4) uro:OtherConstruction

型の定義	構造物のうち、建築物（bldg:Building）、橋梁（brid:Bridge）及びトンネル（tun:Tunnel）以外のもの。ここでいう構造物とは「目的とする機能を持ち、作用に対して抵抗することを意図として人為的に構築されるもの」を指す。 都市計画基本図に図示する、防波堤、せき、水門、敷石斜坂、人工斜面、土堤、被覆の記述に使用する。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	構造物の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	構造物を識別する名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	構造物の範囲及び適用される空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(brid:class)	gml:CodeType [0..1]	構造物の形態による区分。
(brid:function)	gml:CodeType [0..*]	構造物の主たる働き。
(brid:usage)	gml:CodeType [0..*]	構造物の主な使い道。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
uro:consDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmGeometricAttribute を使用し、図形の表示に必要な情報を記述する。また、uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry を使用する。 防波堤は外周を線として取得する。 せきは、真形の上流部及び下流部を線として取得することを基本とし極小の場合は中心位置を点として取得する。 水門は真形を線として取得する。 敷石斜坂は外周を面として取得する。 人工斜面及び被覆は、上端線（低い方を右に取得）及び下端線（高い方を右に取得）を線として取得する。 土堤は上端線を取得する。
uro:consDataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成するデータの品質に関する情報。必須とする。

5) uro:DataQualityAttribute

型の定義	都市オブジェクトの品質を記述するためのデータ型。
上位の型	—

ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:geometrySrcDescLod0	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。
uro:geometrySrcDescLod1	gml:CodeType [1..*]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。「未作成」を示すコード「999」を選択する。
(uro:geometrySrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性の作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml）より選択する。 主題属性が作成対象となっている場合は必須とする。
(uro:appearanceSrcDescLod0)	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod1)	gml:CodeType [0..*]	LOD1 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:lodType)	gml:CodeType[0..*]	幾何オブジェクトに適用された LOD の詳細な区分。
(uro:lod1HeightType)	gml:CodeType [0..1]	LOD1 の立体図形を作成する際に使用した高さの算出方法。
(uro:tranDataAcquisition)	xs:string [0..1]	「道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書（案）」（平成 27 年 5 月）に定める「取得レベル(level)」を記述するための属性。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
uro:publicSurveyDataQualityAttribute	uro:PublicSurveyDataQualityAttribute [0..1]	使用した公共測量成果の地図情報レベルと種類。 各 LOD の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類に関する属性（uro:geometrySrcDescLod0 等）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）となっている場合は、必須とする。

6) uro:PublicSurveyDataQualityAttribute

型の定義	使用した公共測量成果の地図情報レベルと種類を、LOD ごとに記述するためのデータ型。

上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScaleLod0	gml:CodeType [0..1]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。 コードリスト（PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml）より選択する。 「LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類に関する属性」（uro:geometrySrcDescLod0）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）のみの場合は、必須とする。
(uro:srcScaleLod1)	gml:CodeType [0..1]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod2)	gml:CodeType [0..1]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod3)	gml:CodeType [0..1]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod4)	gml:CodeType [0..1]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
uro:publicSurveySrcDescLod0	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。コードリスト（PublicSurveyDataQualityAttribute_publicSurveySrcDesc.xml）より選択する。 「LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類についての属性」（uro:geometrySrcDescLod0）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）のみの場合は、必須とする。 複数の種類の原典資料を使用した場合は、それぞれを記述する。
(uro:publicSurveySrcDescLod1)	gml:CodeType [0..*]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。

(12) Urban Function （i-UR）

都市計画基本図パッケージで使用する、UrbanFunction モジュールで定義されたクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

1) urf:Administration

型の定義	行政区域。都道府県及び市区町村。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都道府県又は市区町村の名称。市区町村の場合は、都道府県名も記載する。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画基礎調査の実施主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	公式な面積。単位は ha（uom="ha"）と基本する。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	境界線の位置。高さを 0 とする。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	代表点の位置。高さを 0 とする。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:urfDmAttribute	uro:DmAttribute [0..*]	都市計画基本図の図式情報。 uro:DmAnnotation を使用し、注記を記述する。 形状の記述には、lod0MultiCurve 又は lodMultiPoint を使用するため、uro:DmGeometricAttribute の lod0Geometry は使用しない。

4.2.4　都市計画基本図で使用するコードリスト及び列挙型

コードリスト及び列挙型は、属性の型として使用されるクラスである。ここで指定されたコード又は値から選択し、属性の値とする。本項で示すコードリスト及び列挙型は標準製品仕様書で使用するもののみである。拡張製品仕様書においてコードリストを追加又は変更した場合には、それぞれの拡張製品仕様書においてそのリストを示さなければならない。ただし、列挙型は変更できない。

(1)　Common_dmCode.xml

ファイル名	Common_dmCode.xml
コード	説明
1101	都府県界
1102	北海道の支庁界
1103	郡市・東京都の区界
1104	町村・指定都市の区界
1106	大字・町（丁）界
1110	所属界
2101	真幅道路
2103	徒歩道
2106	庭園路
2109	建設中の道路
2203	道路橋
2205	徒橋
2211	横断歩道橋
2213	歩道
2214	石段
2215	地下街・地下鉄等出入口
2219	道路のトンネル
2226	分離帯
2228	道路の雪覆い等
2238	並木
2301	普通鉄道
2303	路面電車
2305	特殊鉄道
2306	索道
2309	建設中の鉄道
2401	鉄道橋
2411	跨線橋
2419	鉄道のトンネル
2421	停留所
2424	プラットホーム
2428	鉄道の雪覆い等
3000	分類しない建物
3001	普通建物
3002	堅ろう建物
3003	普通無壁舎
3004	堅ろう無壁舎
3401	門
3402	屋門
4201	墓碑
4202	記念碑

ファイル名	Common_dmCode.xml
コード	説明
4203	立像
4204	路傍祠
4205	灯ろう
4207	鳥居
4208	自然災害伝承碑
4219	坑口
4221	独立樹　(広葉樹)
4222	独立樹　(針葉樹)
4225	油井・ガス井
4228	起重機
4231	タンク
4234	煙突
4235	高塔
4236	電波塔
4241	灯台
4243	灯標
4251	水位観測所
4261	輸送管　(地上)
4262	輸送管　(空間)
4265	送電線
5101	水がい線（河川）(湖池等)（海岸線）
5102	一条河川
5299	桟橋（鉄、ｺﾝｸﾘｰﾄ）
5203	桟橋（木製・浮桟橋）
5221	渡船発着所
5226	滝
5227	せき
5228	水門
5232	透過水制
5239	敷石斜坂
5241	流水方向
6101	人工斜面
6102	土堤等
6110	被覆
6130	かき
6140	へい
6201	区域界
6212	駐車場
6214	園庭
6215	墓地
6216	材料置場
6217	太陽光発電設備
6221	噴火口・噴気口
6222	温泉・鉱泉
6301	植生界
6302	耕地界
6311	田

ファイル名	Common_dmCode.xml
コード	説明
6313	畑
6314	さとうきび畑
6315	パイナップル畑
6317	桑畑
6318	茶畑
6319	果樹園
6321	その他の樹木畑
6323	芝地
6331	広葉樹林
6332	針葉樹林
6333	竹林
6334	荒地
6335	はい松地
6336	しの地（笹地）
6337	やし科樹林
6338	湿地
6340	砂れき地
7101	等高線（計曲線）
7102	等高線（主曲線）
7103	等高線（補助曲線）
7105	凹地（計曲線）
7106	凹地（主曲線）
7107	凹地（補助曲線）
7199	凹地（矢印）
7201	土がけ
7202	雨裂
7206	洞口
7211	岩がけ
7212	露岩
7213	散岩
7214	さんご礁
7301	三角点
7302	水準点
7303	多角点等
7304	公共基準点（三角点）
7305	公共基準点（水準点）
7308	電子基準点
7311	標石を有しない標高点
7312	図化機測定による標高点
3503	官公署
3504	裁判所
3505	検察庁
3507	税務署
3509	郵便局
3510	森林管理署
3515	交番・駐在所
3516	消防署

ファイル名	Common_dmCode.xml
コード	説明
3517	職業安定所
3519	役場支所及び出張所
3521	神社
3522	寺院
3523	キリスト教会
3524	学校
3525	幼稚園・保育園
3526	公会堂・公民館
3530	老人ホーム
3531	保健所
3532	病院
3534	銀行
3536	協同組合
3545	倉庫
3546	火薬庫
3548	工場
3550	変電所
3556	揚排水ポンプ場
3560	ガソリンスタンド
8100	注記（未分類）
8110	市・東京都の区
8111	町・村・指定都市の区
8112	市町村の飛び地
8113	大区域
8115	大字・町・丁目
8116	小字・丁目
8117	その他の地名（大）
8118	その他の地名（中）
8119	その他の地名（小）
8121	道路の路線名
8122	道路施設、坂、峠、インターチェンジ
8123	鉄道の路線名
8124	鉄道施設、駅、操車場、信号所
8125	橋
8126	トンネル
8131	建物の名称
8134	建物の付属物
8140	マンホール
8141	電柱
8142	その他小物体
8151	水部
8152	水部施設
8153	地下水部
8161	法面、構囲
8162	諸地、場地
8163	植生
8171	山地

ファイル名	Common_dmCode.xml
コード	説明
8173	標高注記
8181	説明注記
8199	指示点

(2) Common_geometryType.xml

ファイル名	Common_geometryType.xml
コード	説明
E1	面
E2	線
E5	点
E6	方向
E7	注記

(3) Common_MapLevel.xml

ファイル名	Common_MapLevel.xml
値	説明
500	地図情報レベル 500
1000	地図情報レベル 1000
2500	地図情報レベル 2500
5000	地図情報レベル 5000
10000	地図情報レベル 10000
25000	地図情報レベル 25000

(4) Common_shapeType.xml

ファイル名	Common_shapeType.xml
コード	説明
0	非区分（下記に該当しない全データ）
11	射影部の上端
12	射影部の下端
21	高欄
22	橋脚
23	親柱
26	ガードレール
27	ガードパイプ
31	中庭線
32	棟割線
33	階層線
34	外付階段
35	ポーチ・ひさし
46	両側敷地のへい
47	輸送管（空間）

(5) DmElement_annotationType.xml

ファイル名	DmElement_annotationType.xml
コード	説明

0	区分しない
1	漢字
2	英数カナ文字

(6) DmElement_breakType.xml

ファイル名	DmElement_breakType.xml
コード	説明
0	間断しない
1～9	間断する（数値は優先順位）

(7) DmElement_dataType.xml

ファイル名	DmElement_dataType.xml
コード	説明
0	実データなし（地形表面の高さを計測したもの）
1	実データなし（人口構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの）
2	二次元座標レコード
3	三次元座標レコード（地形表面の高さを計測したもの）
4	注記レコード
5	属性レコード
6	三次元座標レコード（人口構造物等の地形表面以外の高さを計測したもの）

(8) DmElement_dislocationType.xml

ファイル名	DmElement_dislocationType.xml
コード	説明
0	転位しない
1～9	座標列の方向に対して右側に転位する
-1～-9	座標列の方向に対して左側に転位する

(9) DmElement_precisionType.xml

ファイル名	DmElement_precisionType.xml	
コード	説明（上位桁：数値化区分）	説明（下位桁：地図情報レベル）
1	基準点測量成果を用いる方法	1～50
2	TS 等を用いた数値実測	～100
3	数値図化法・他の数値地形図データの利用	～250
4	既成図数値化（無伸縮図面を使用）*	～500
5	既成図数値化（伸縮図面を使用）*	～1000
6	航空レーザ測量成果を用いる方法	～2500
7		～5000
8		～10000
9	その他	その他

出典：作業規程の準則（付録７　公共測量標準図式）

(10) DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果
101	（公共測量ではない）現地測量の測量成果
102	（公共測量ではない）UAV 写真測量の測量成果
103	（公共測量ではない）空中写真測量の測量成果
104	（公共測量ではない）既成図数値化の測量成果
105	（公共測量ではない）修正測量の測量成果
106	（公共測量ではない）写真地図作成の測量成果
107	（公共測量ではない）地図編集の測量成果
108	（公共測量ではない）地上レーザ測量の測量成果
109	（公共測量ではない）UAV 写真点群測量の測量成果
110	（公共測量ではない）UAV レーザ測量の測量成果
111	（公共測量ではない）車載写真レーザ測量の測量成果
112	（公共測量ではない）航空レーザ測量の測量成果
113	（公共測量ではない）航空レーザ測深測量の測量成果
114	（公共測量ではない）路線測量の測量成果
115	（公共測量ではない）河川測量の測量成果
116	（公共測量ではない）用地測量の測量成果
117	（公共測量ではない）その他の応用測量の測量成果
118	（公共測量ではない）LidarSLAM 計測の測量成果
119	（公共測量ではない）高密度航空レーザ測量の測量成果
120	（公共測量ではない）写真点群測量の測量成果
121	（公共測量ではない）三次元数値図化の測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ
500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
700	その他の資料
801	現地調査
803	GIS データ演算
901	推定
999	未作成

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

(11) DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果

022	基盤地図情報
023	数値地形図データ
100	公共測量成果ではない測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ
500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
600	統計データ
701	建築計画概要書
700	その他の資料
801	現地調査
802	写真判読
803	GIS データ演算
999	未作成

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

(12) PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml

ファイル名	PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

(13) PublicSurveyDataQualityAttribute_publicSurveySrcDesc.xml

ファイル名	PublicSurveyDataQualityAttribute_publicSurveySrcDesc.xml
コード	説明
001	現地測量の測量成果
002	UAV 写真測量の測量成果
003	空中写真測量の測量成果
004	既成図数値化の測量成果
005	修正測量の測量成果
006	写真地図作成の測量成果
007	地図編集の測量成果
008	地上レーザ測量の測量成果
009	UAV 写真点群測量の測量成果
010	UAV レーザ測量の測量成果
011	車載写真レーザ測量の測量成果
012	航空レーザ測量の測量成果
013	航空レーザ測深測量の測量成果
014	路線測量の測量成果

015	河川測量の測量成果
016	用地測量の測量成果
017	その他の応用測量の測量成果
018	LidarSLAM 計測の測量成果
019	高密度航空レーザ測量の測量成果
020	写真点群測量の測量成果
021	三次元数値図化の測量成果
022	基盤地図情報
023	数値地形図データ

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル

4.3 都市計画基礎調査情報モデル

都市計画基礎調査情報モデルは、都市計画基礎調査実施要領に示された各データ項目で作成する位置図又は分布図に図示する地物、また、調書及び集計表を構成する表と表に含まれるレコードを、CityGML 及び i-UR に定義されたクラスに対応付けている。

4.3.1 都市計画基礎調査のデータ項目とクラスの対応

都市計画基礎調査の各データ項目について、位置図又は分布図に対応づく CityGML 及び i-UR のクラスを以下に示す。

なお、全ての調書は表を示すデータ型の *urf::UrbanPlanningBasicSurveyTable* 及びレコードを示すデータ型の *urf::ItemRecordType*、全ての集計表は表を示すデータ型の *urf::UrbanPlanningBasicSurveyTable* 及びレコードを示す *urf::SummaryRecordType* に対応づく。

各調書及び集計表の記載内容は、Annex B に示す。

都市計画基礎調査データ項目	対応するクラス		備考
C0101：人口規模	人口分布図（メッシュ）	urg::Population	
	人口分布図（小地域）	urf::CensusBlock	属性（人口）の記述には、urf::PopulationType を使用する。
C0102：DID	DID	urf::DID	
C0103：将来人口	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0104：人口増減	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0105：通勤・通学移動	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0106：昼間人口	昼間人口分布図（メッシュ）	urg::Population	
	昼間人口分布図（小地域）	urf::CensusBlock	属性（昼間人口）の記述には、urf::DaytimePopulationType を使用する。
C0201：産業・職業分類別就業者数	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0202：事業所数・従業者数・売上金額	事業所数分布図（メッシュ） 従業者数分布図（メッシュ） 売上金額分布図（メッシュ）	urg::OfficesAndEmployees	
	事業所数分布図（小地域） 従業者数分布図（小地域） 売上金額分布図（小地域）	urf::CensusBlock	属性（事業所数、従業者数及び売上金額）の記述には、urf::DaytimePopulationType を使用する。
C0301：区域区分の状況	都市計画区域	urf::UrbanPlanningArea	
	準都市計画区域	urf::QuasiUrbanPlanningArea	
	市街化地域 市街化調整地域	urf::AreaClassification,	
	非線引き用途地域	urf::UnclassifiedUseDistrict	
	非線引き用途白地	urf::UnclassifiedBlankDistrict	
	居住誘導区域	urf::ResidenceAttractionArea	
	都市機能誘導区域	urf::UrabanFunctionAttractionArea	
C0302：土地利用状況	土地利用現況	luse::LandUse	
C0303：国公有地の状況	国公有地の状況	uro::PublicLand	
C0304：宅地開発状況	宅地開発状況	urf::DevelopmentProject	属性の記述には、urf::UrbanDevelopmentProjectType（市街地開発事業等の場合）又は urf::ResidentialDevelopmentType（開発許可による開発の場合）を使用する。
C0305：農地転用状況	農地転用状況	urf::LandUseDiversion	属性（農地転用状況）の記述には、urf::FarmlandConversionType を使用する。

都市計画基礎調査データ項目	対応するクラス		備考
C0306：林地転用状況	林地転用状況	urf::LandUseDiversion	属性（農地転用状況）の記述には、urf::ForestConversionTypeを使用する。
C0307：新築動向	新築動向	urf::NewHousing	
C0308：条例・協定	条例・協定	urf::Agreement	
C0309：農林漁業関係施策適用状況	農林漁業関係施策適用状況	urf::DevelopmentProject	属性（農林漁業関係施策適用状況）の記述には、urf::AgriculturalDevelopmentType を使用する。
C0401：建物利用現況	建物利用現況	bldg::Building	属性（建物利用現況）の記述には、urf::BuildingDetailAttributeを使用する。
C0402：大規模小売店舗等の立地状況	大規模小売店舗等の立地状況	bldg::Building	属性（大型小売店舗等の立地状況）の記述には、urf::LargeCustomerAttribute を使用する。
C0403：住宅の所有関係別建て方別世帯数	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0501：都市施設の位置・内容等	都市施設の位置・内容等	urf::UrbanFacilityStatus	
C0502 : 道路の状況	道路の状況	tran::Road	属性（幅員）の記述には、uro::RoadStructureAttribute を使用する。
C0601：主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	tran::Road	属性（断面交通量、混雑度、旅行速度等）の記述には、uro::TrafficVolumeAttribute を使用する。
C0602：自動車流動量	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0603：鉄道・路面電車等の状況	鉄道・路面電車等の状況	urf::PublicTransitFacility	
C0604：バスの状況	バスの状況	urf::PublicTransitFacility	
C0701：地価の状況	地価の状況	urf::LandPrice	
C0801：地形・水系・地質条件	地形・水系・地質条件	urf::NaturalConditions	
C0802：気象状況	―		位置図又は分布図を作成しない。
C0803：緑の状況	緑の状況	urf::GreenSpace	
C0804：動植物調査	動植物調査	urf::DistributionOfFloraAndFauna	
C0901：災害の発生状況	災害の発生状況	urf::DisasterDamage	
	がけ崩れ発生回数図	urg::LandSlideDisaster	
C0902：防災施設の位置及び整備の状況	防災施設の位置及び整備の状況	urf::DisasterPreventationBase	
C1001：観光の状況	観光の状況	urg::StatusOfSightseeing	
C1002：景観・歴史資源等の状況	景観・歴史資源等の状況	urf::ScenicResource	
C1003：レクリエーション施設の状況	レクリエーション施設の状況	urf::Recreations	
C1004：公害の発生状況	公害の発生状況	urf::Pollution	

標準製品仕様書では、都市計画基礎調査実施要領に示す全てのデータ項目に対応するクラスを示している。

拡張製品仕様書では作成対象とするデータ項目を示す必要がある。

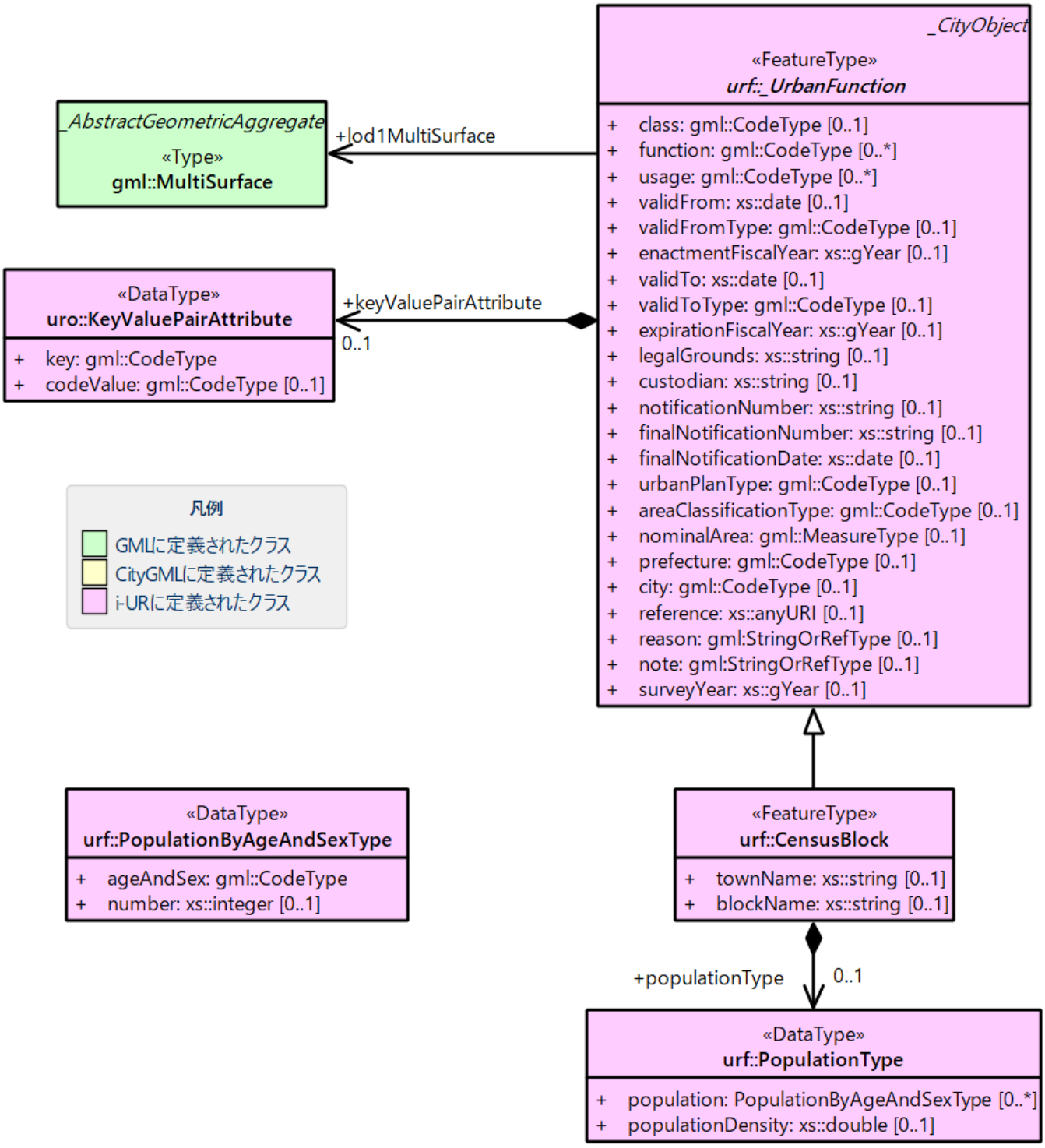
4.3.2　応用スキーマクラス図

(1)　位置図のための応用スキーマクラス図

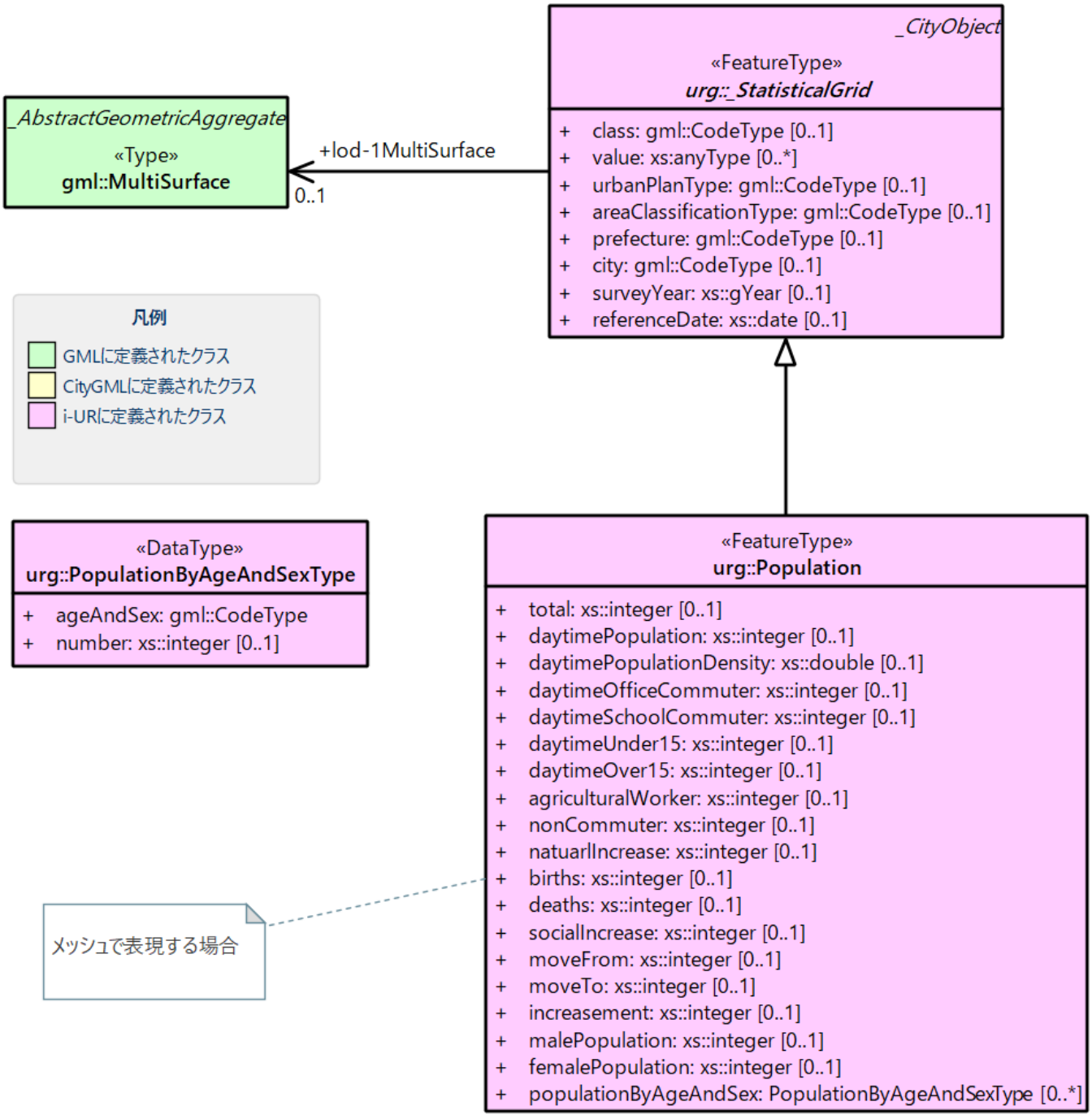
位置図の表現には、図上の図形表現に使用する地物の空間属性及び図上の色分け等に使用する地物の属性が必要である。応用スキーマクラス図では、地物の空間属性を、地物型からの幾何オブジェクト（例：*gml::MultiSurface*）への関連として記述する。

1)　C0101 人口規模

位置図を小地域単位で作成する場合は、*urf::CensusBlock*（小地域）を使用する。

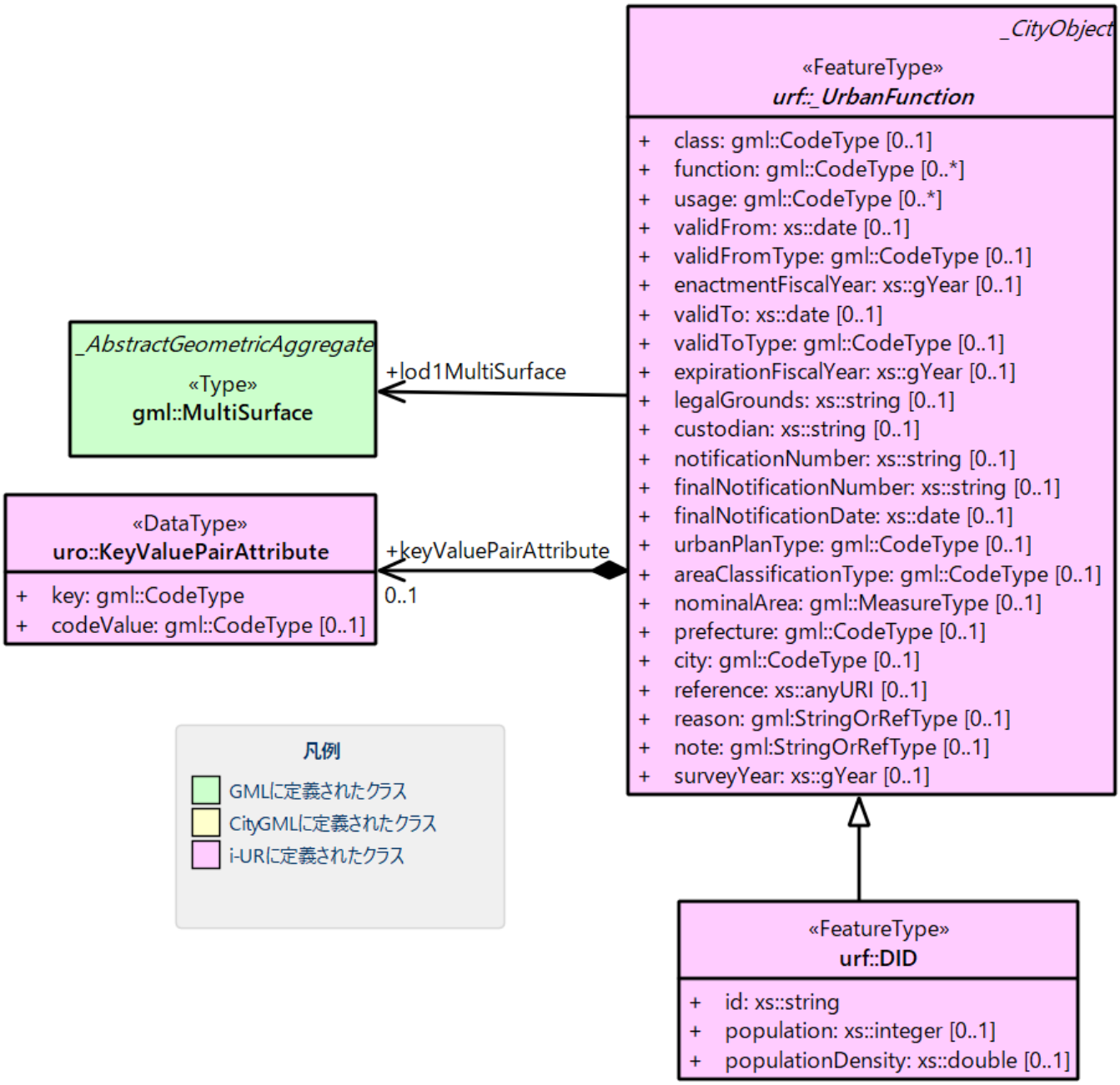


また、位置図をメッシュ単位で作成する場合には、*urg::Population* を使用する。



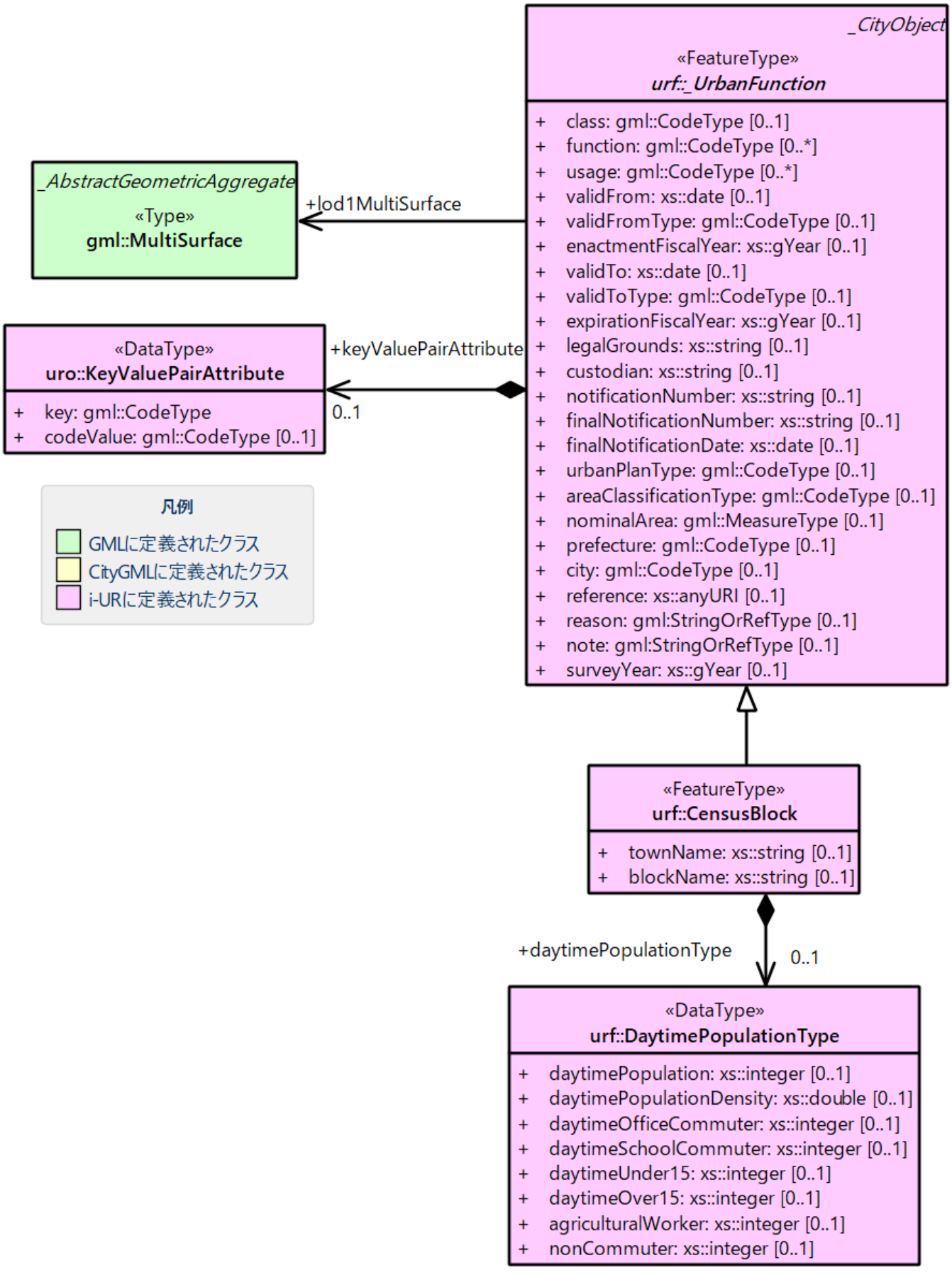
2)　C0102　DID

位置図は、*urf::DID* を使用する。



3)　C0106　昼間人口

位置図を小地域単位で作成する場合は、*urf::CensusBlock* を使用する。

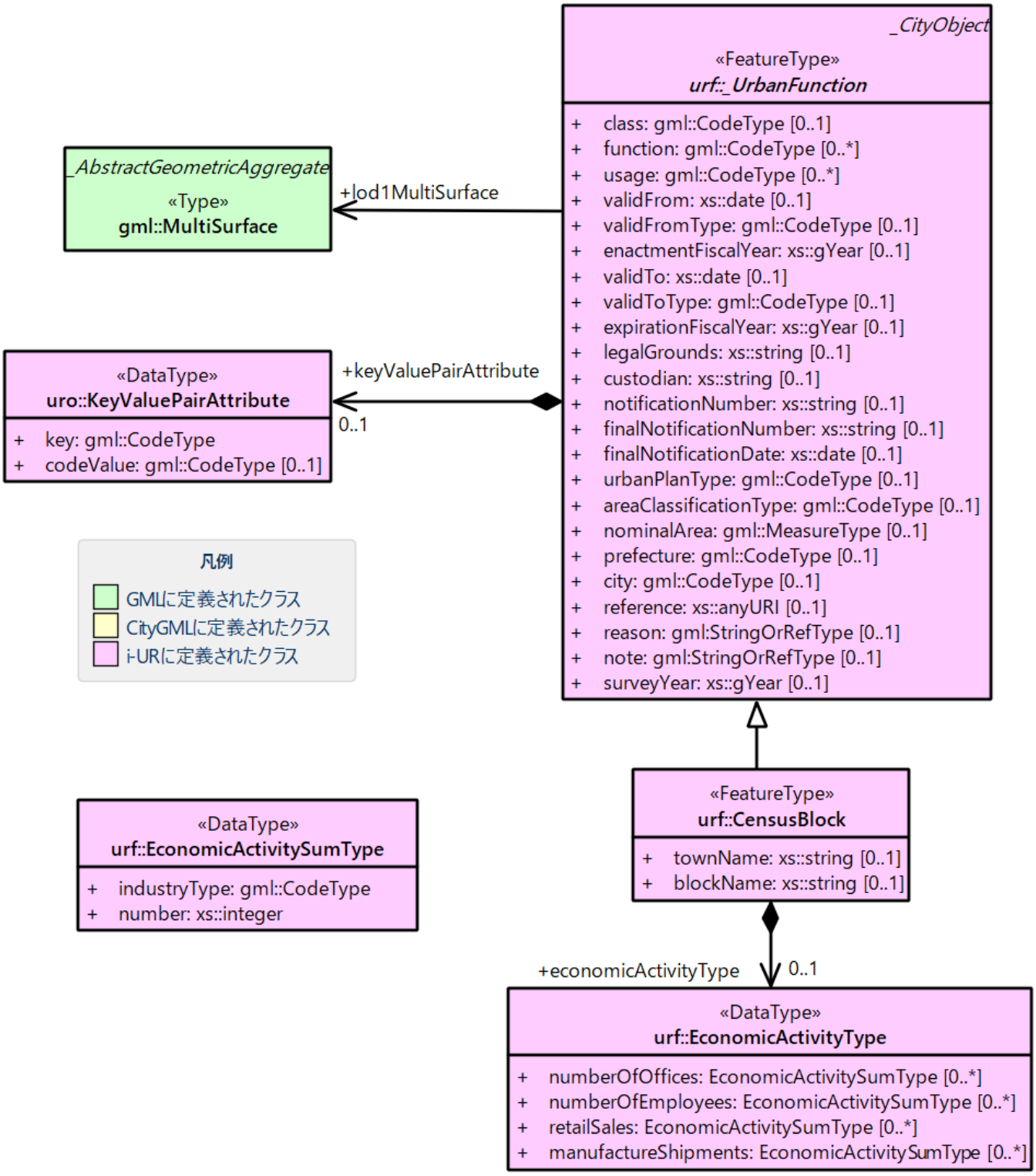


また、位置図をメッシュ単位で作成する場合には、*urg::Population* を使用する。

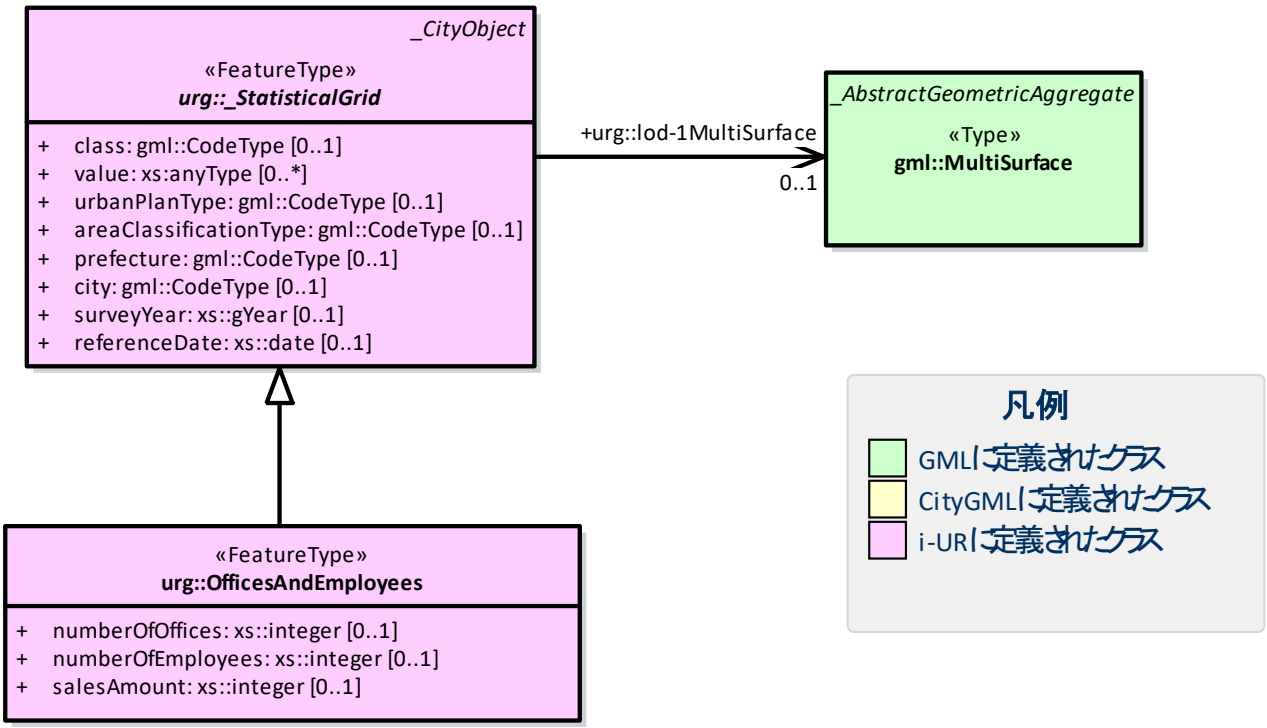
urg::Population のクラス図は、C0101 人口規模を参照のこと。

4)　C0202　事業所数・従業者数・売上金額

位置図を小地域単位で作成する場合は、*urf::CensusBlock* を使用する。

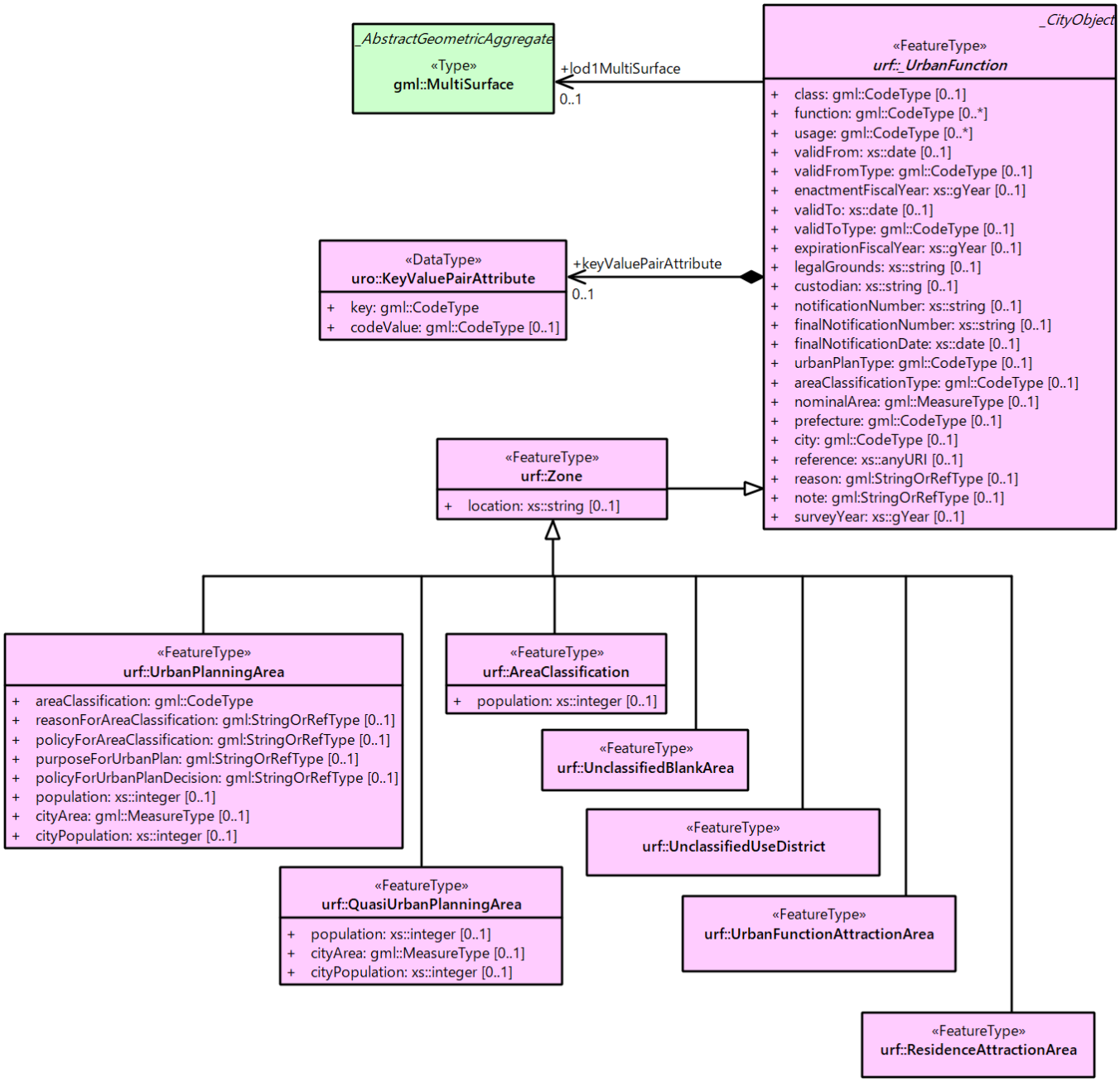


メッシュ単位の位置図には *urg::OfficeAndEmployees* を使用する。



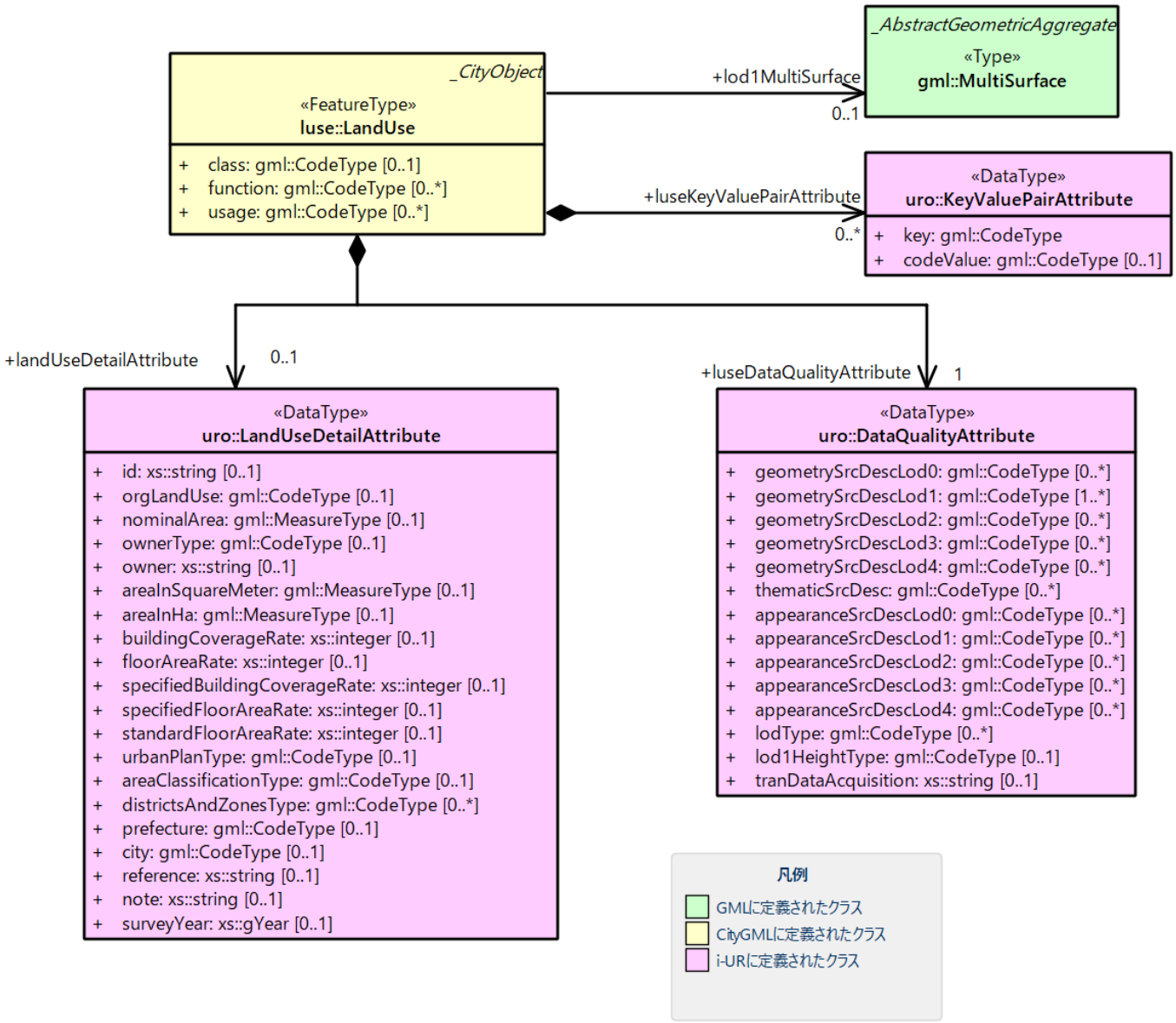
5)　C0301　区域区分の状況

位置図には、*urf::UrbanPlanningArea*（都市計画区域）、*urf::QuasiUrbanPlanningArea*（準都市計画区域）、*urf::AreaClassification*（区域区分）、*urf::UnclassifiedUseDistrict*（非線引き用途地域）、*urf::UnclaccifiedBlankArea*（非線引き用途白地）*urf::ResidenceAttractionArea*（居住誘導区域）及び *urf::UrbanFunctionAttarctionArea*（都市機能誘導区域）を使用する。



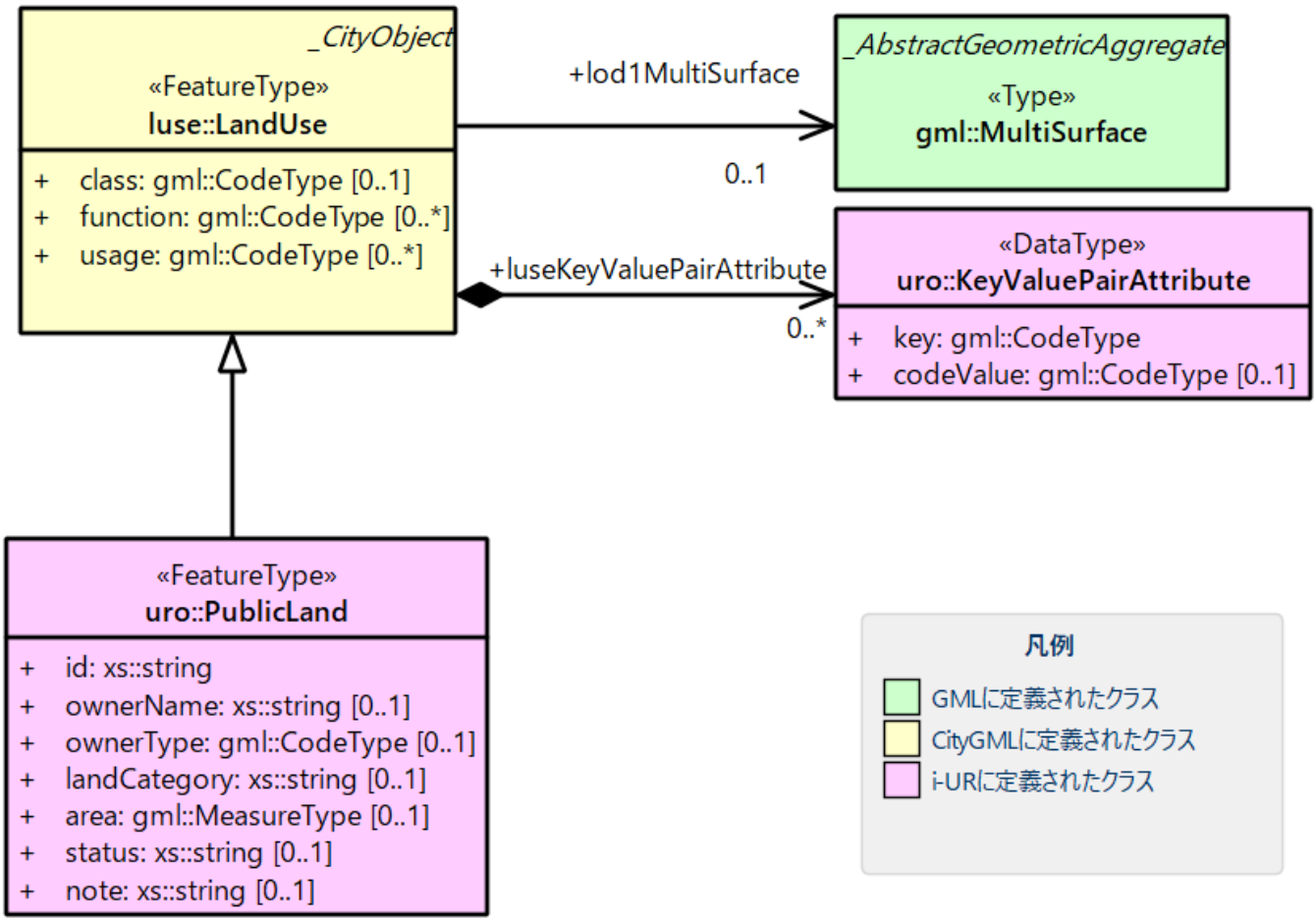
6)　C0302　土地利用現況

位置図には、*luse::LandUse*（土地利用）を使用する。*uro::LandUseDetailAttribute* は、土地利用に付与する属性を格納するデータ型である。また、*uro::DataQualityAttribute* は、土地利用の境界を取得した原典資料の種類を格納するためのデータ型である。



7)　C0303 国公有地の状況

位置図には、*uro::PublicLand*（国公有地）を使用する。

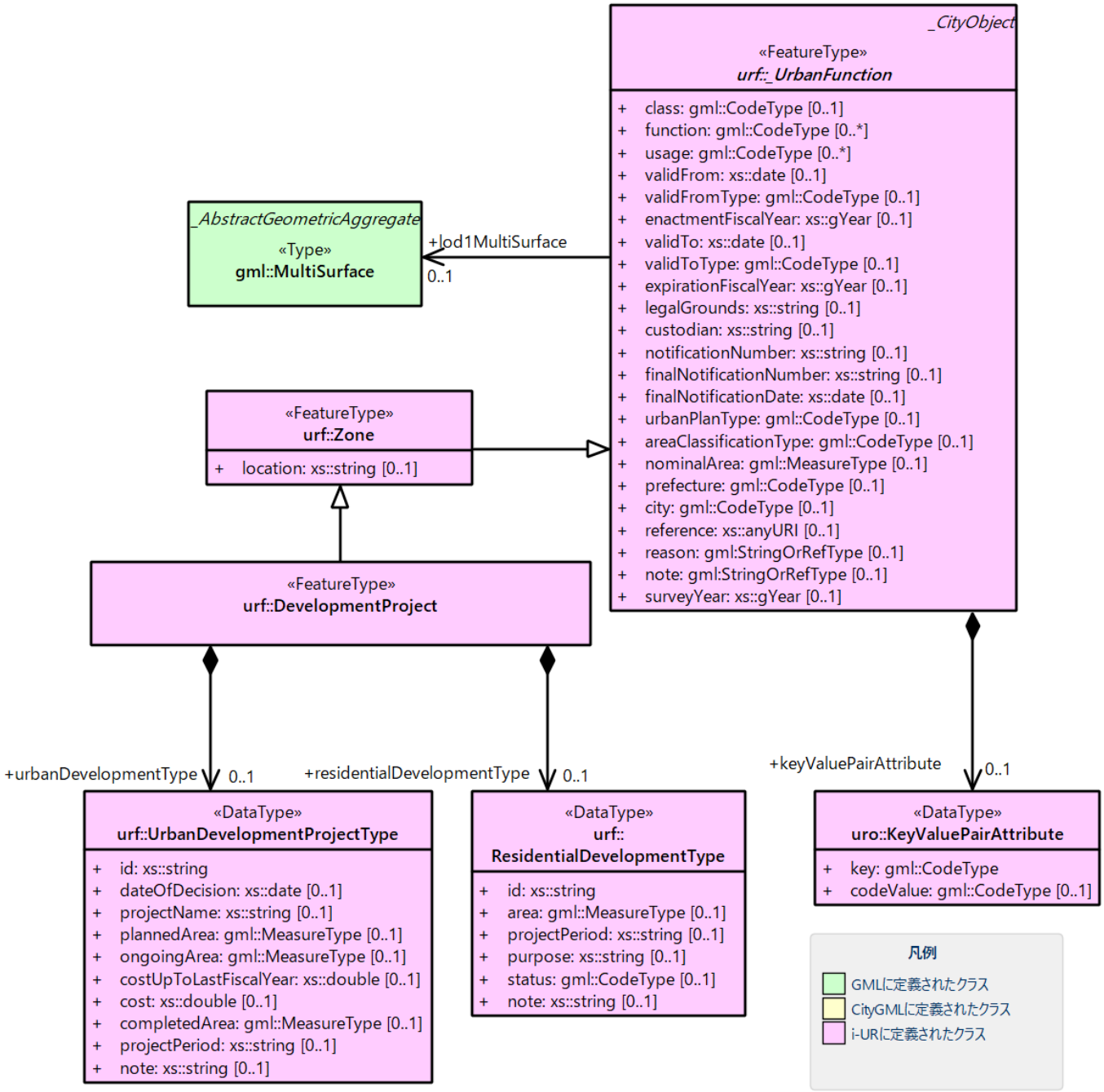


8)　C0304　宅地開発状況

位置図には、*urf::DevelopmentProject* を使用する。

属性を格納するデータ型として、市街地開発事業等の場合は、*urf::UrbanDevelopmentProjectType*、開発許可による開発の場合は *urf::ResidentialDevelopmentType* を使用する。

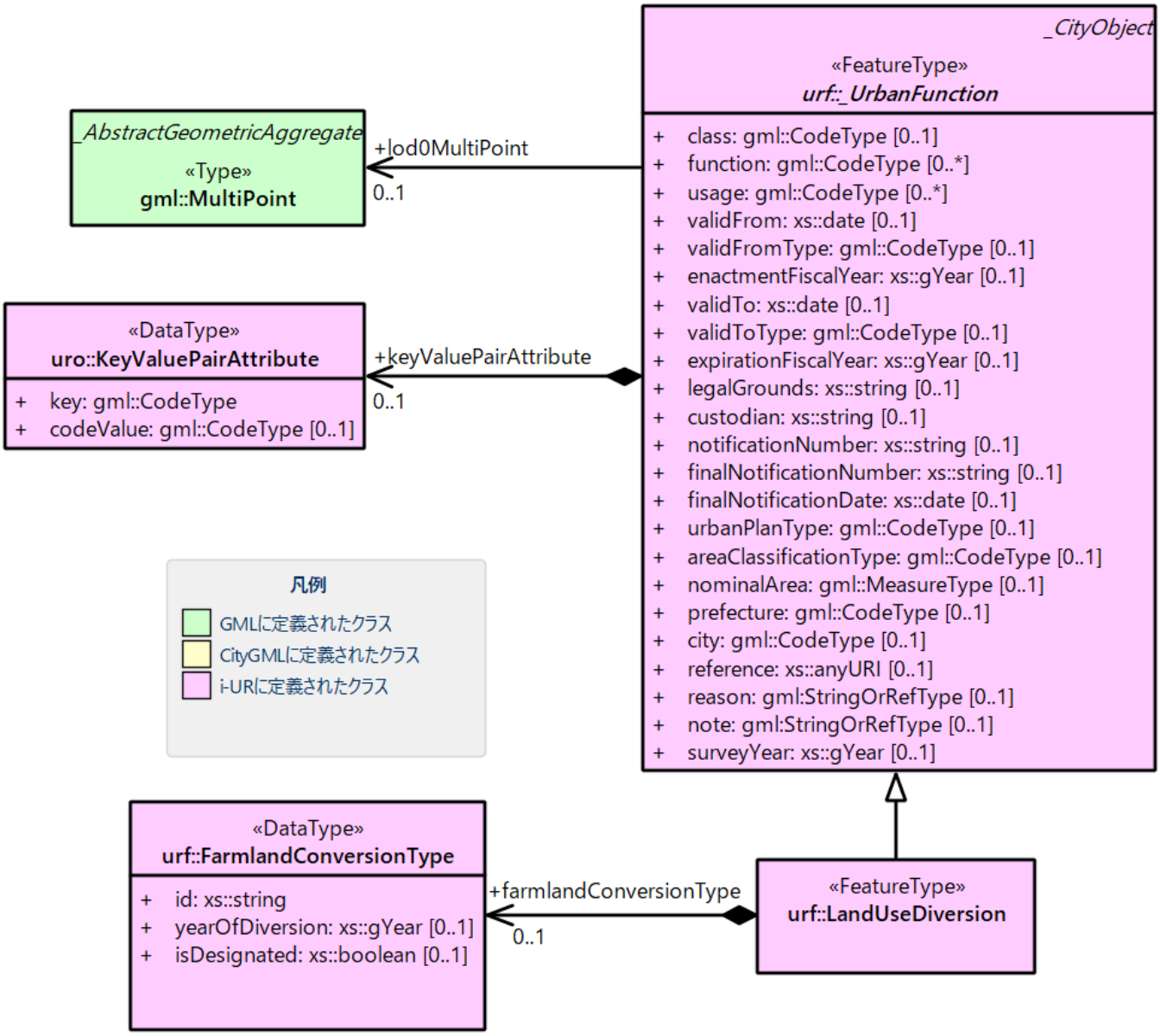
市街地開発事業の場合は、その形状を gml::MultiSurface により記述し、開発許可による開発の場合には、gml::MultiPoint により記述する。



9)　C0305　農地転用状況

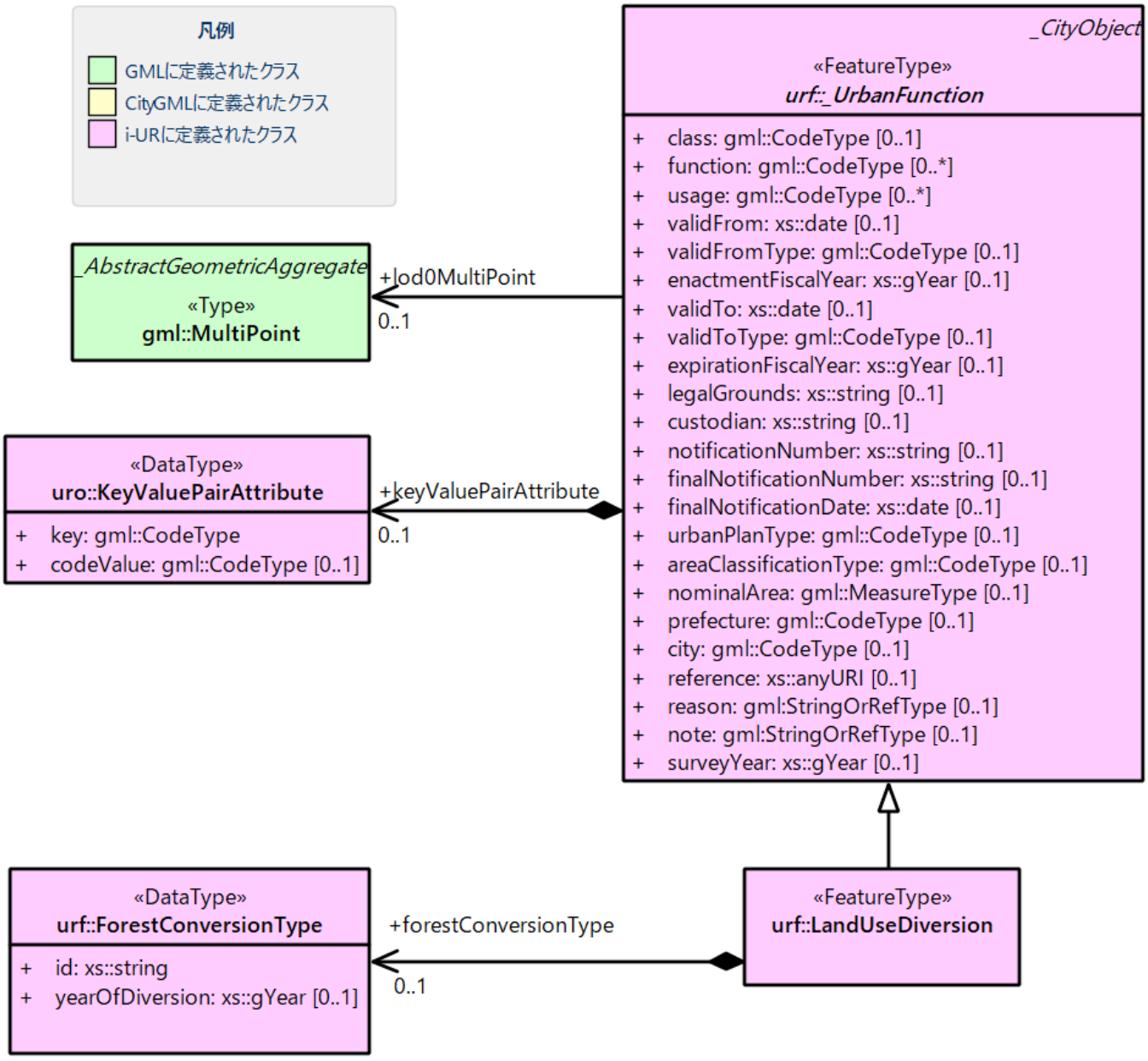
位置図には、*urf::LandUseDiversion* を使用する。

属性を格納するデータ型として、*urf::FarmlandConversionType* を使用する。



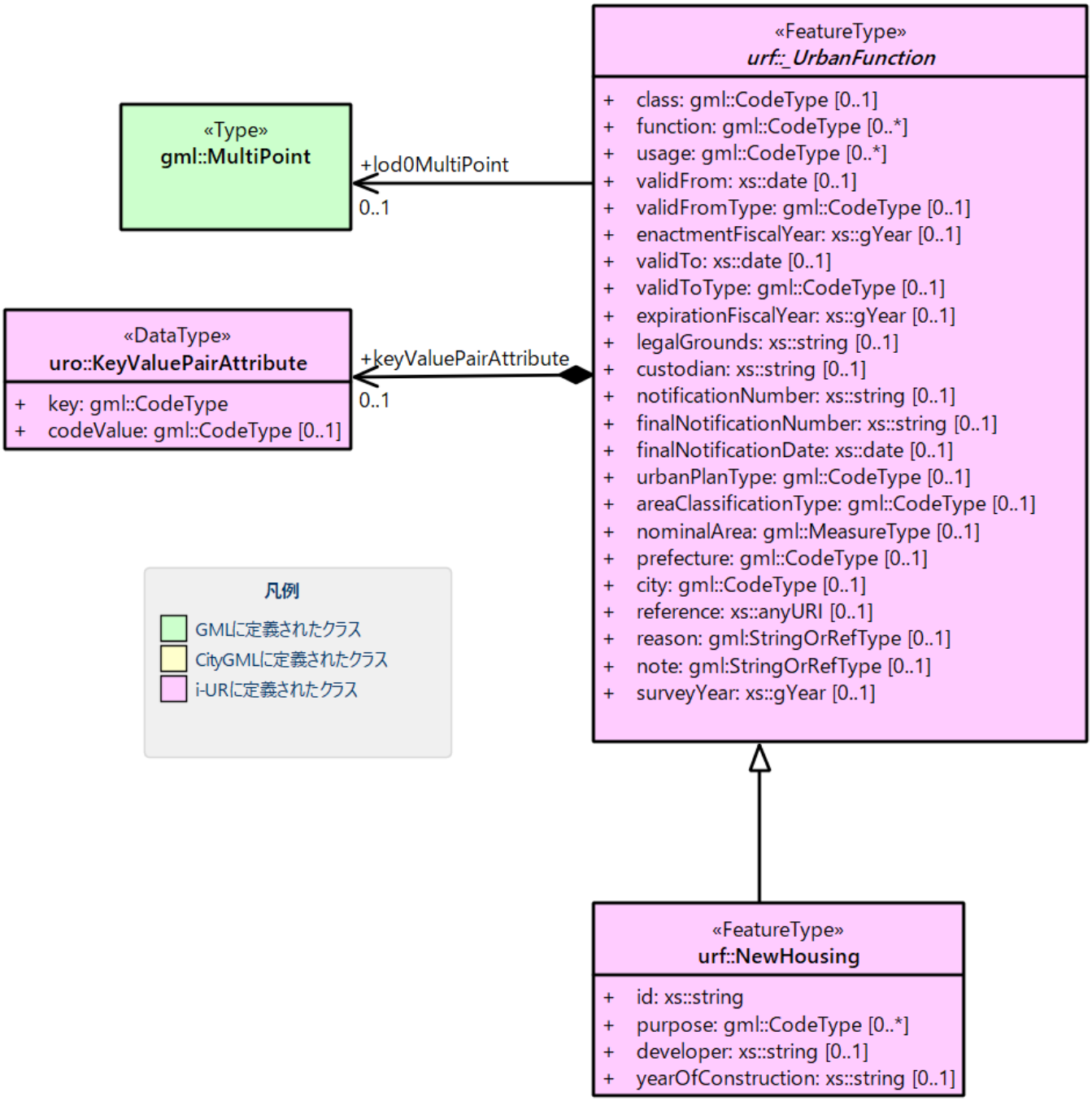
10) C0306　林地転用状況

位置図には、*urf::LandUseDiversion* を使用する。属性を格納するデータ型として、*urf::ForestConversionType* を使用する。



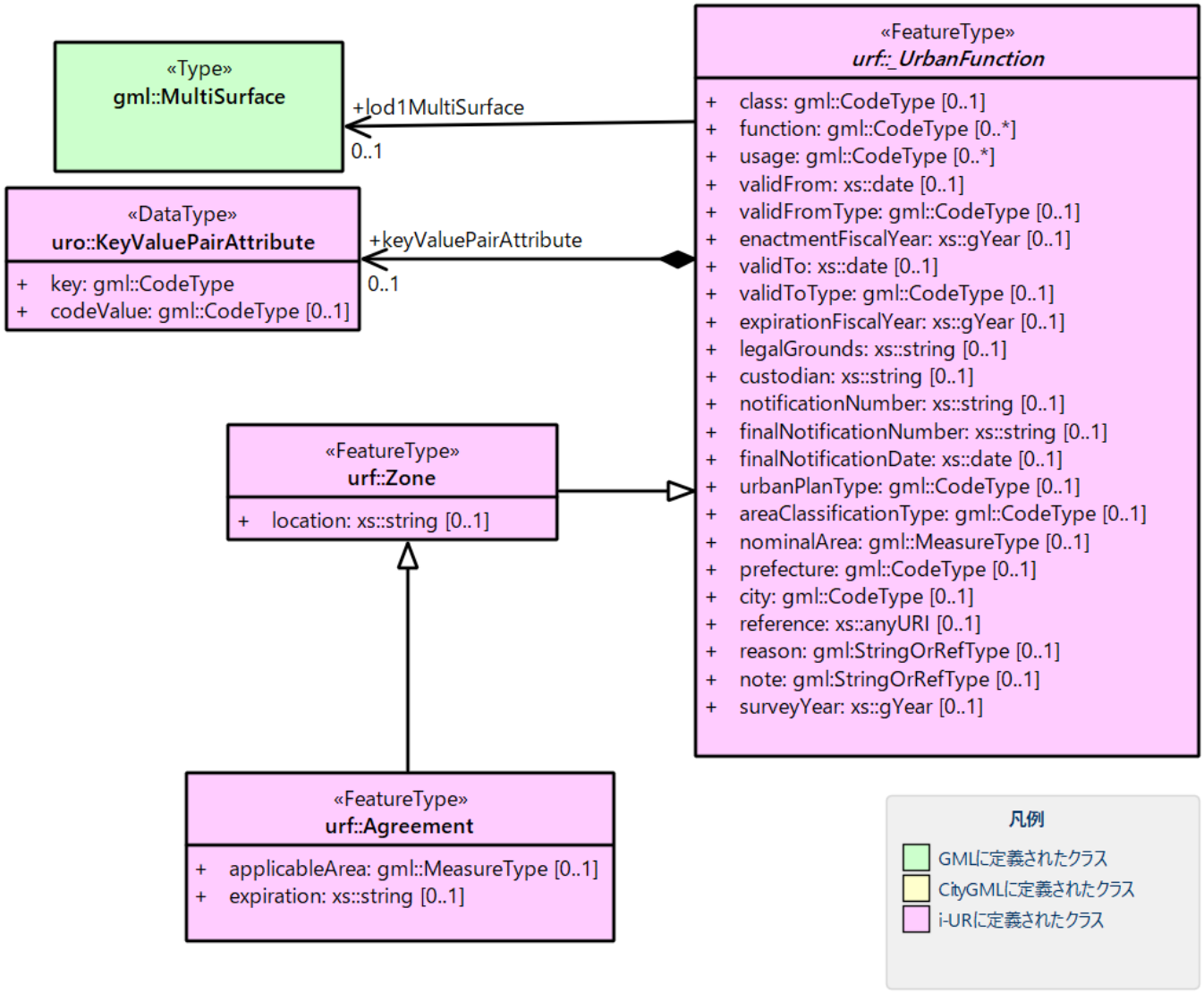
11） C0307　新築動向

位置図には、*urf::NewHousing*を使用する。



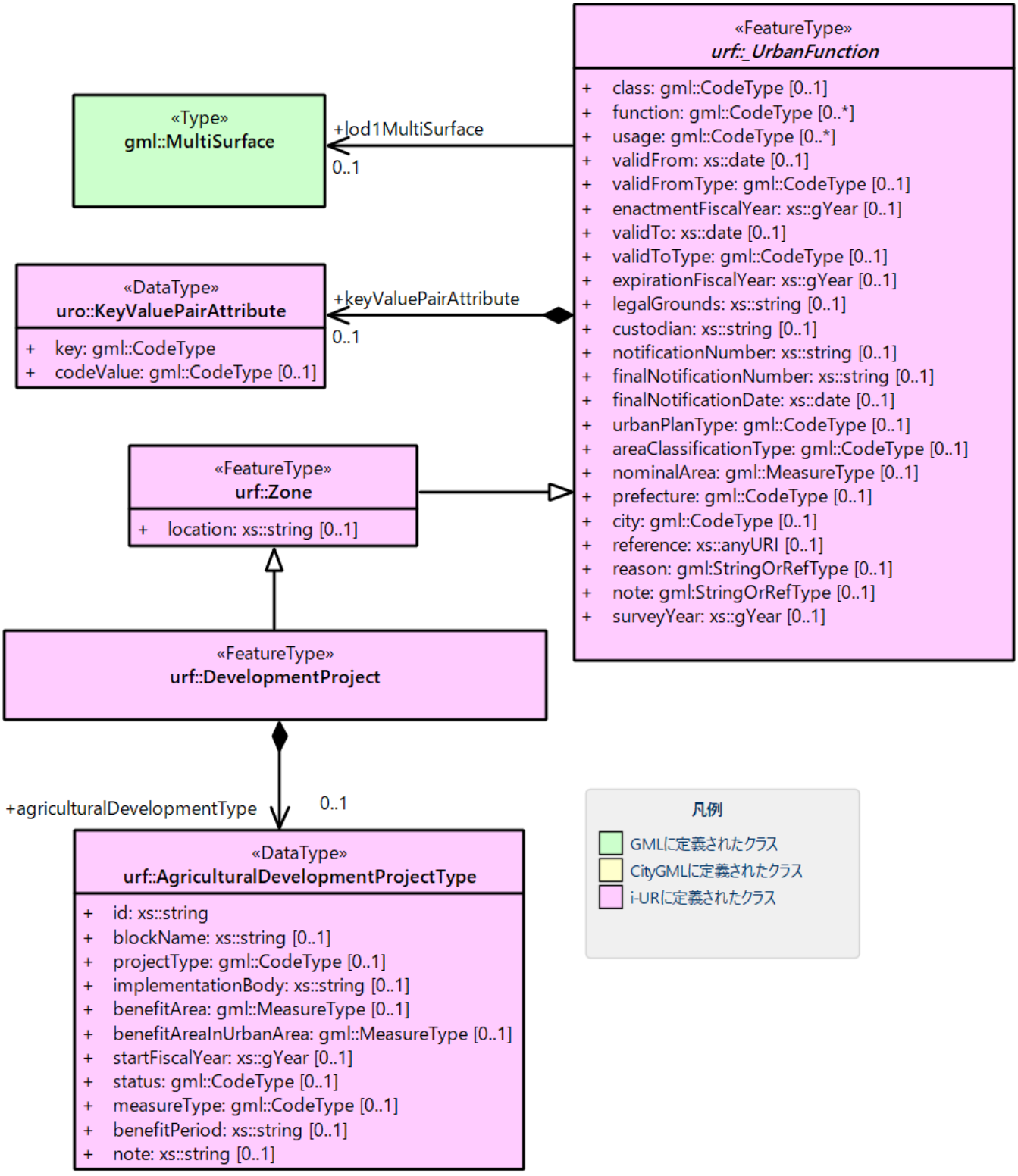
12) C0308 条例・協定

位置図には、*urf::Agreement* を使用する。



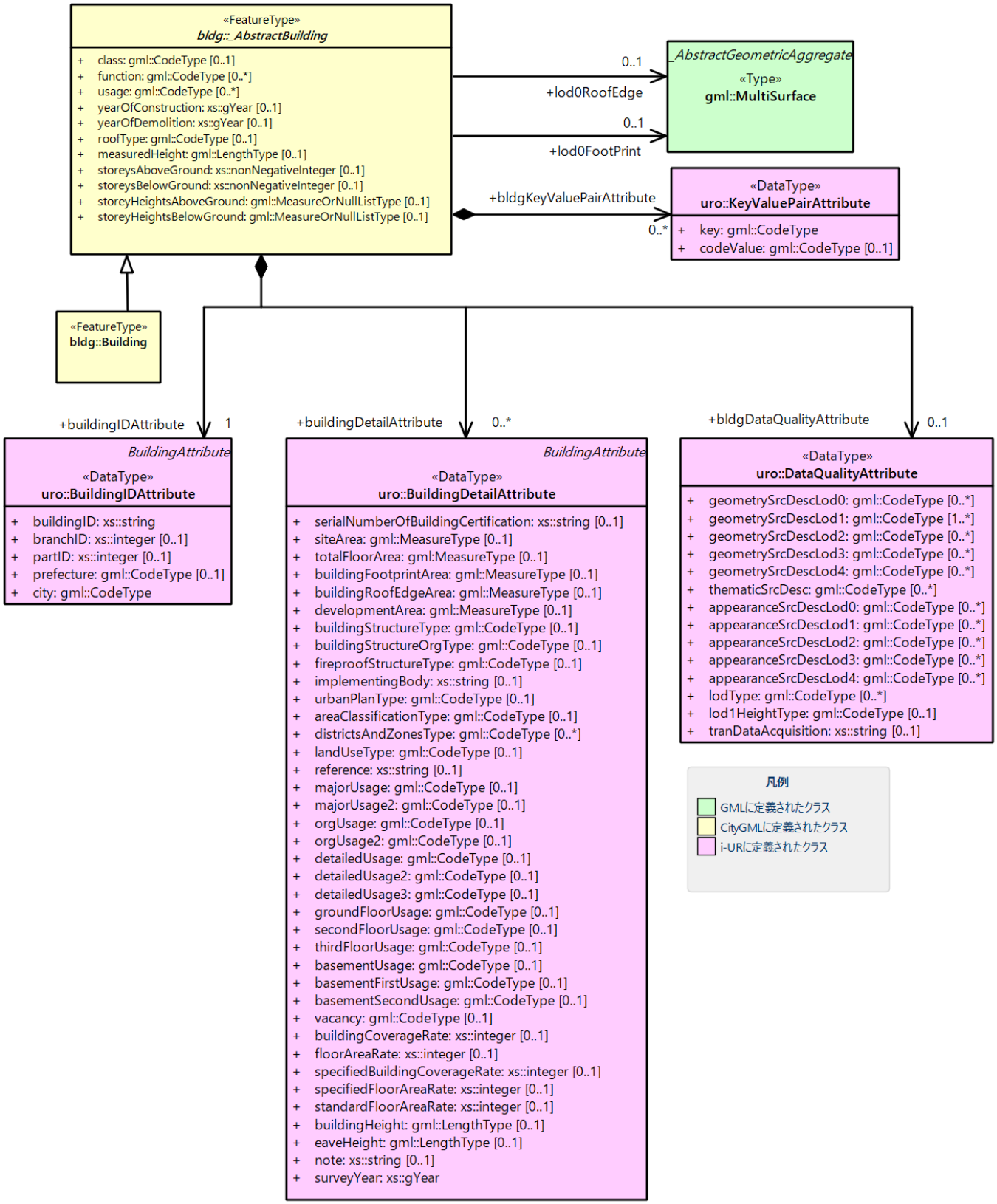
13) C0309　農林漁業関係施策適用状況

位置図には、*urf::DevelopmentProject* を使用し、属性を格納するデータ型には、*urf::AgriculturalDevelopmentType* を使用する。



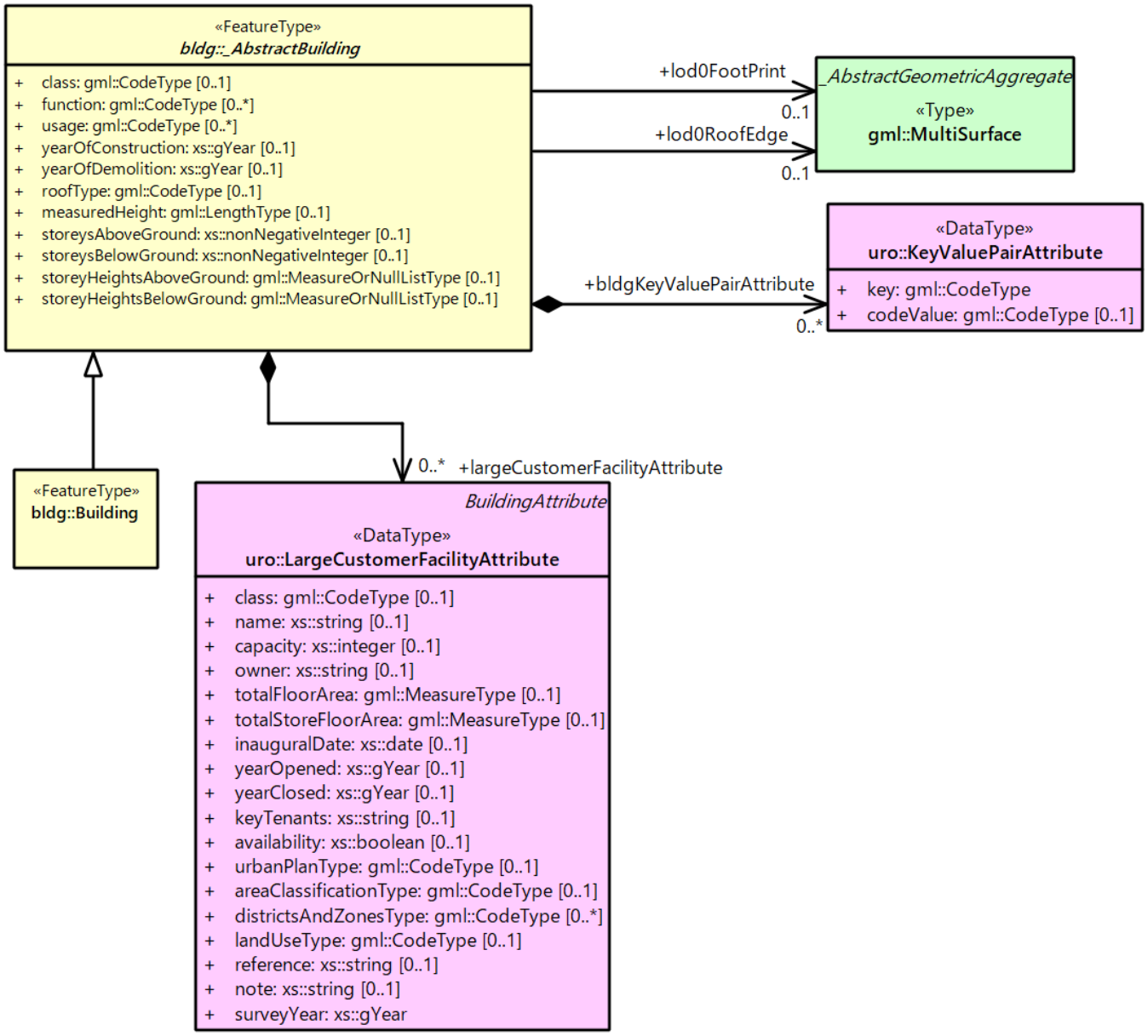
14) C0401　建物利用現況

位置図には、*bldg::Building* を使用し、属性を格納するデータ型には、*uro::BuildingDetailAttribute* 及び *uro::BuildingIdAttribute* を使用する。また、*uro::DataQualityAttribute* には、建物利用現況の位置図に使用する建築物の外形に使用した原典資料の種類を記述する。



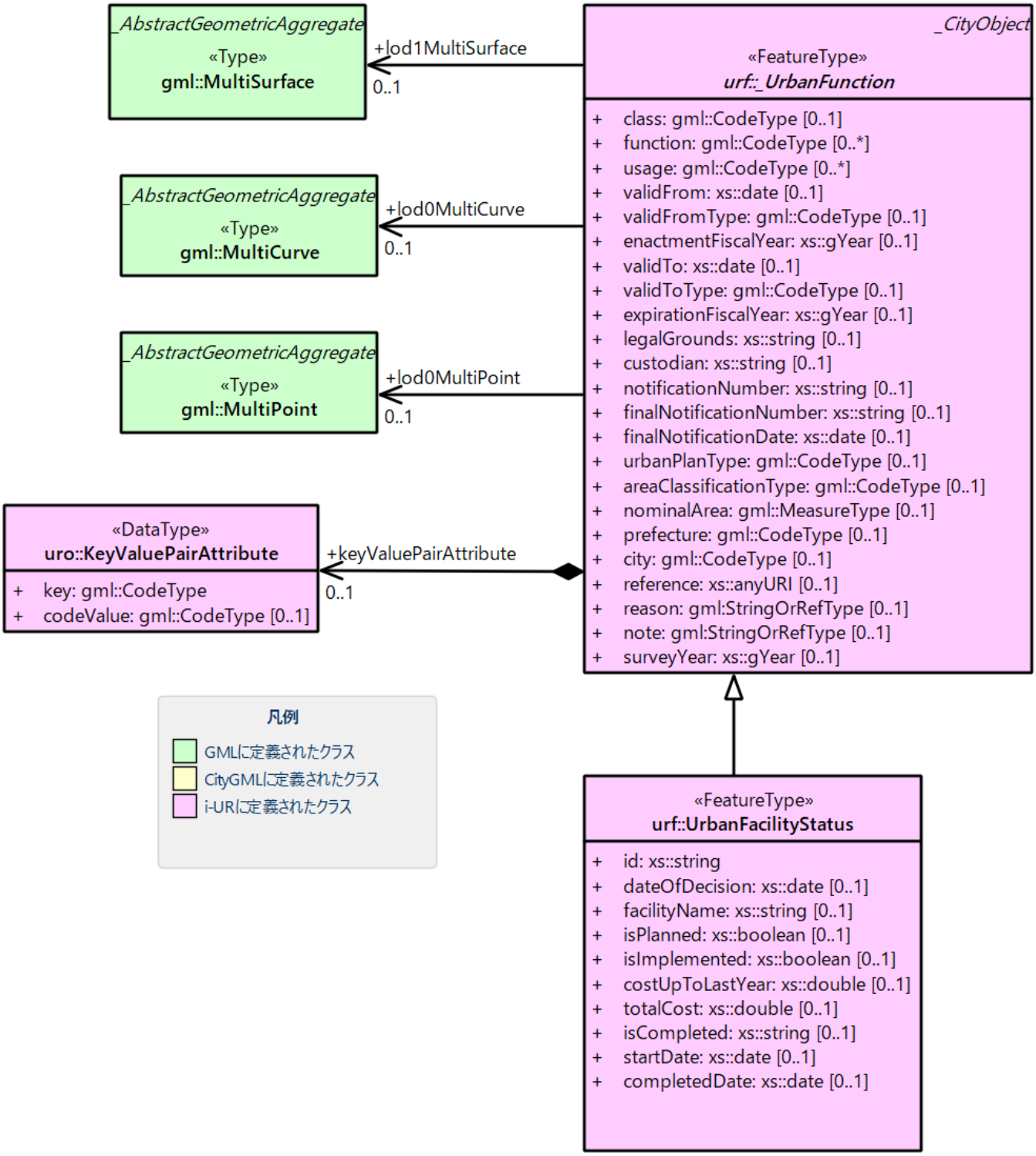
15) C0402 大規模小売店舗等の立地状況

位置図には、*bldg::Building* 及び *uro::LargeCustomerFacilityAttribute* を使用する。また、*uro::DataQualityAttribute* には、大規模小売店舗等の立地状況の位置図に使用する建築物の外形の取得に使用した原典資料の種類を記述する。



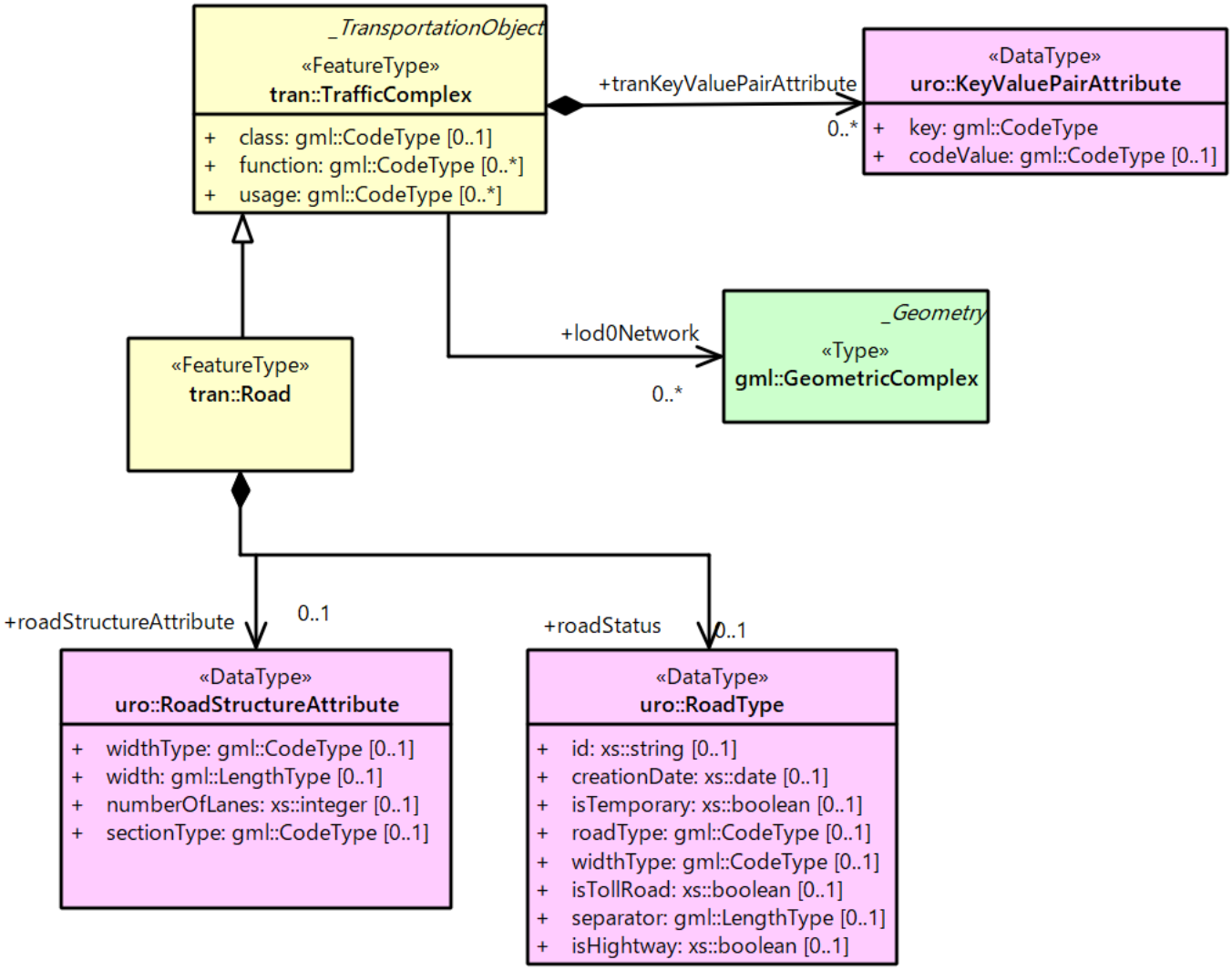
16) C0501　都市施設の位置及び内容

位置図には、*urf::UrbanFacilityStatus* を使用する。



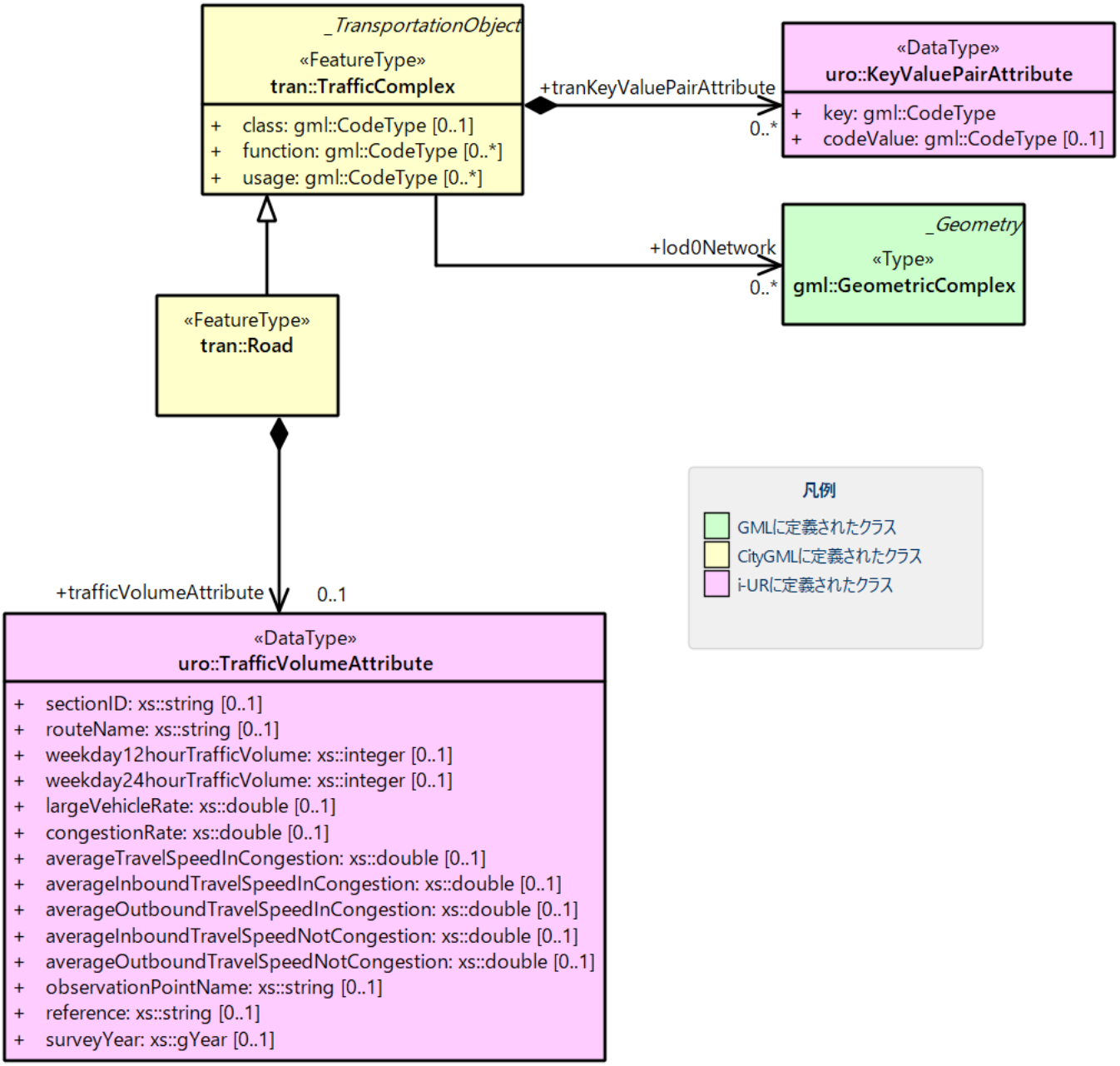
17) C0502　道路の状況

位置図には、*tran::Road* を使用し、属性を格納するデータ型には、*uro::RoadStructureAttribute* を使用する。



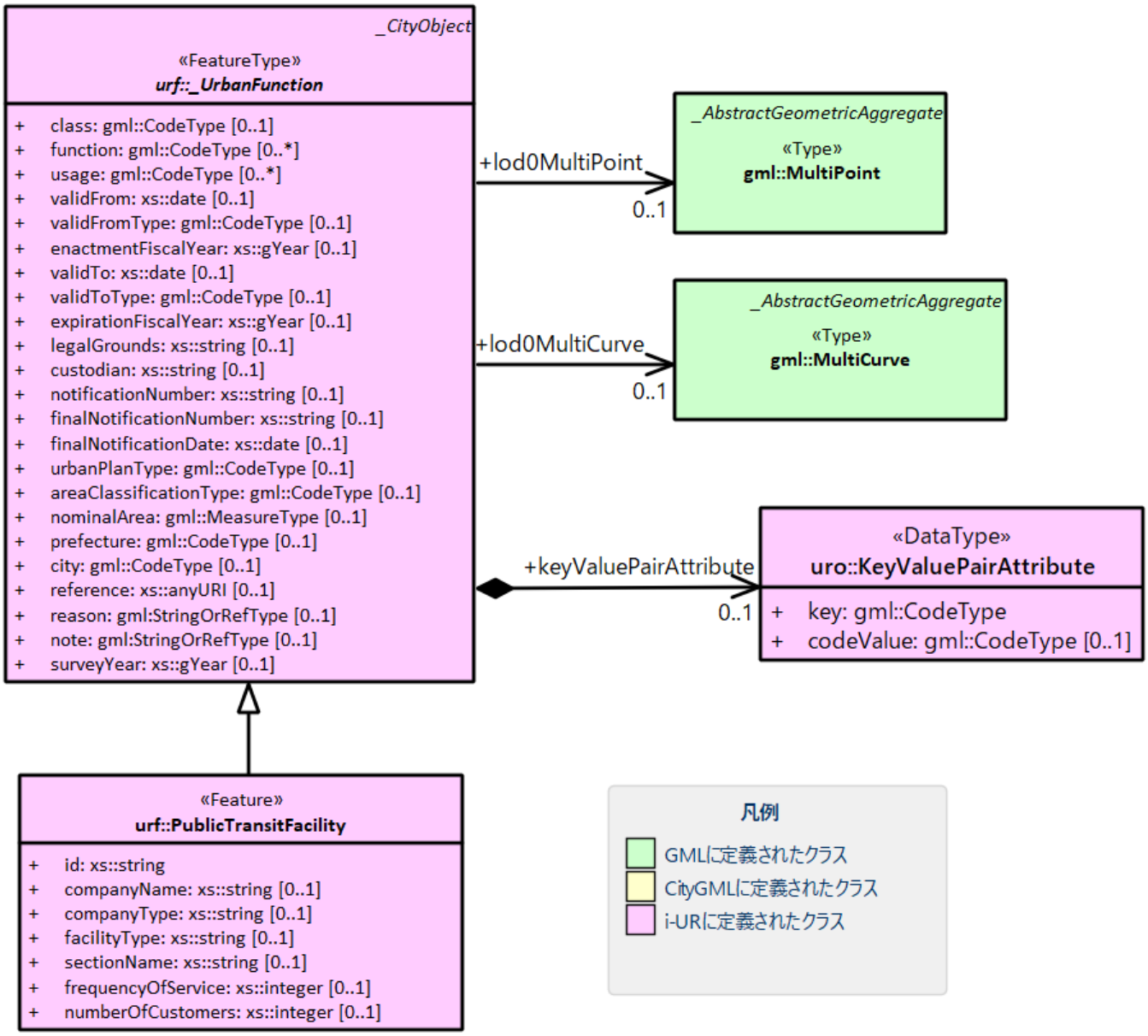
18) C0601　主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

位置図には、*tran::Road* を使用し、属性を格納するデータ型として、*uro::TrafficVolumeType* を使用する。



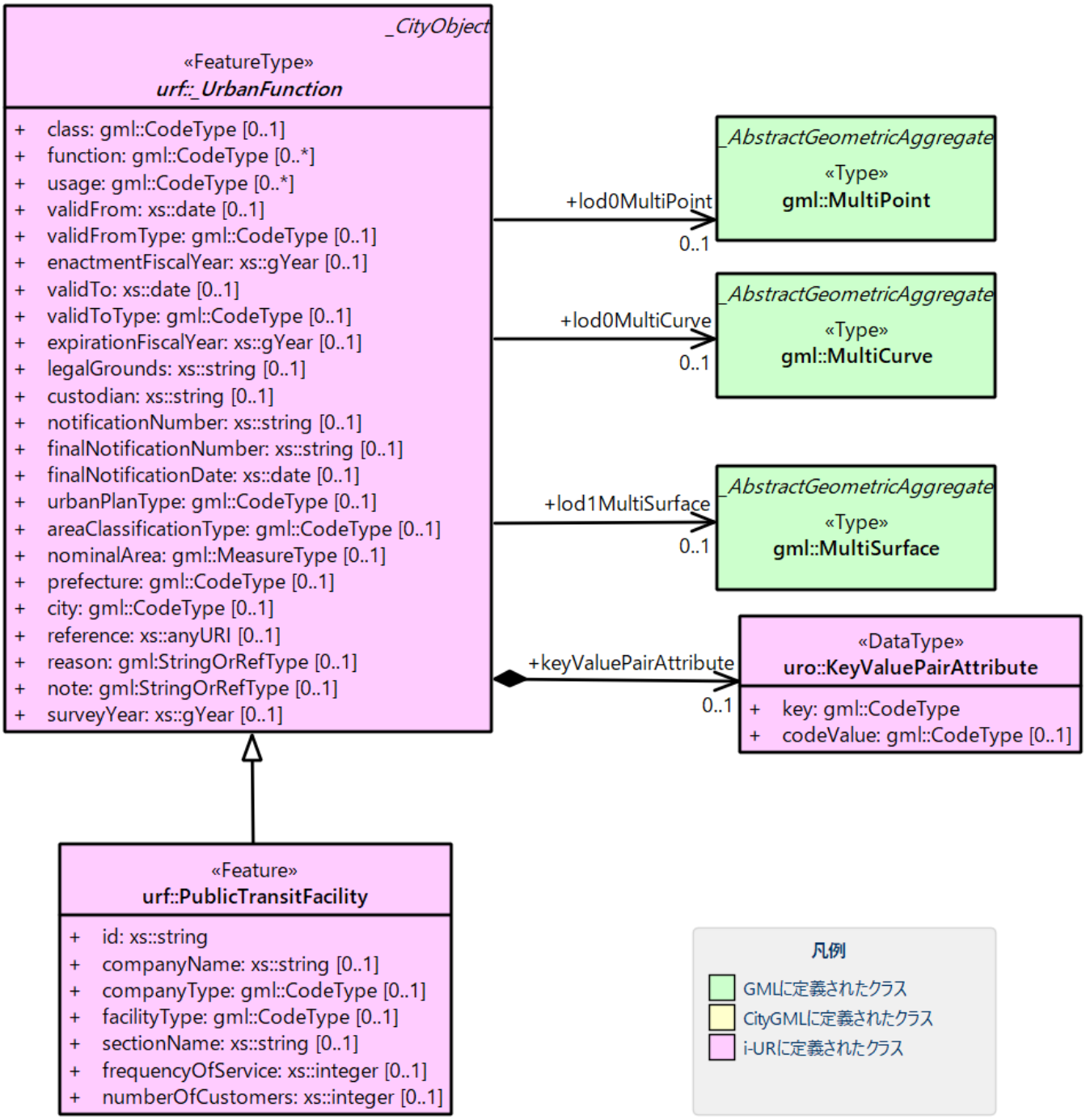
19) C0603　鉄道・路面電車等の状況

位置図には、*urf::PublicTransitFacility* を使用する。



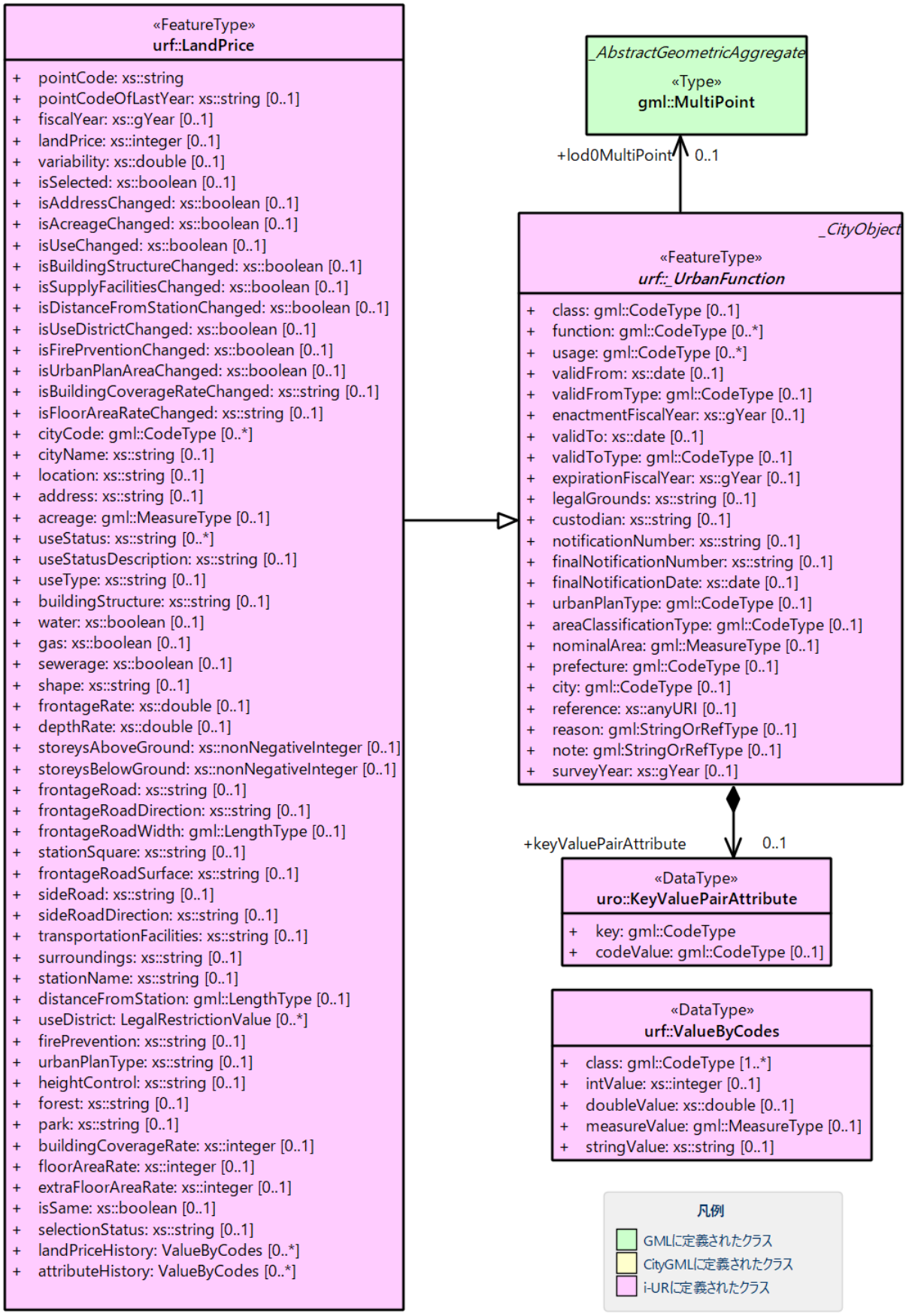
20) C0604　バスの状況

位置図には、*urf::PublicTransitFacility* を使用する。



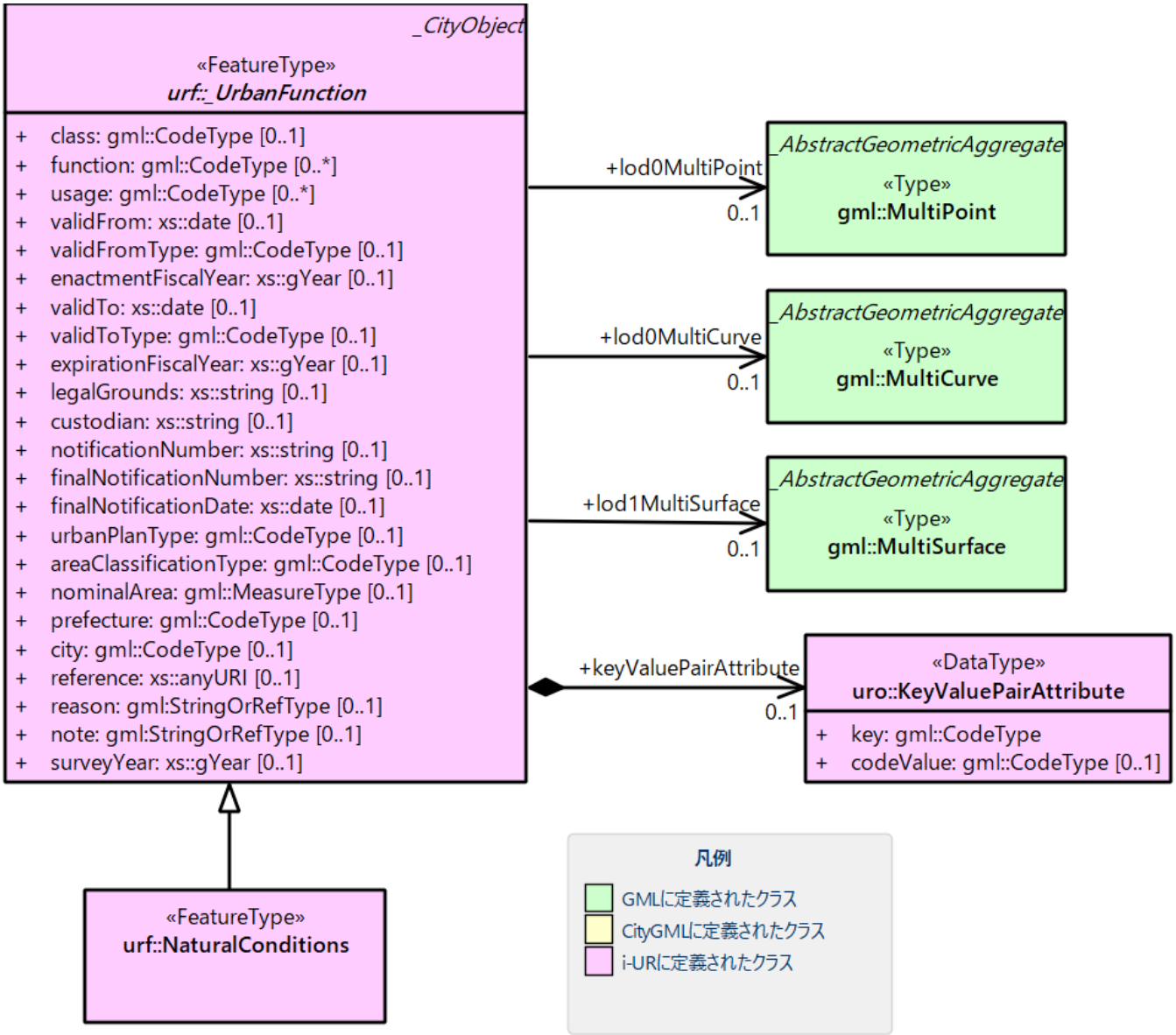
21） C0701　地価の状況

位置図には、*urf::LandPrice* を使用する。



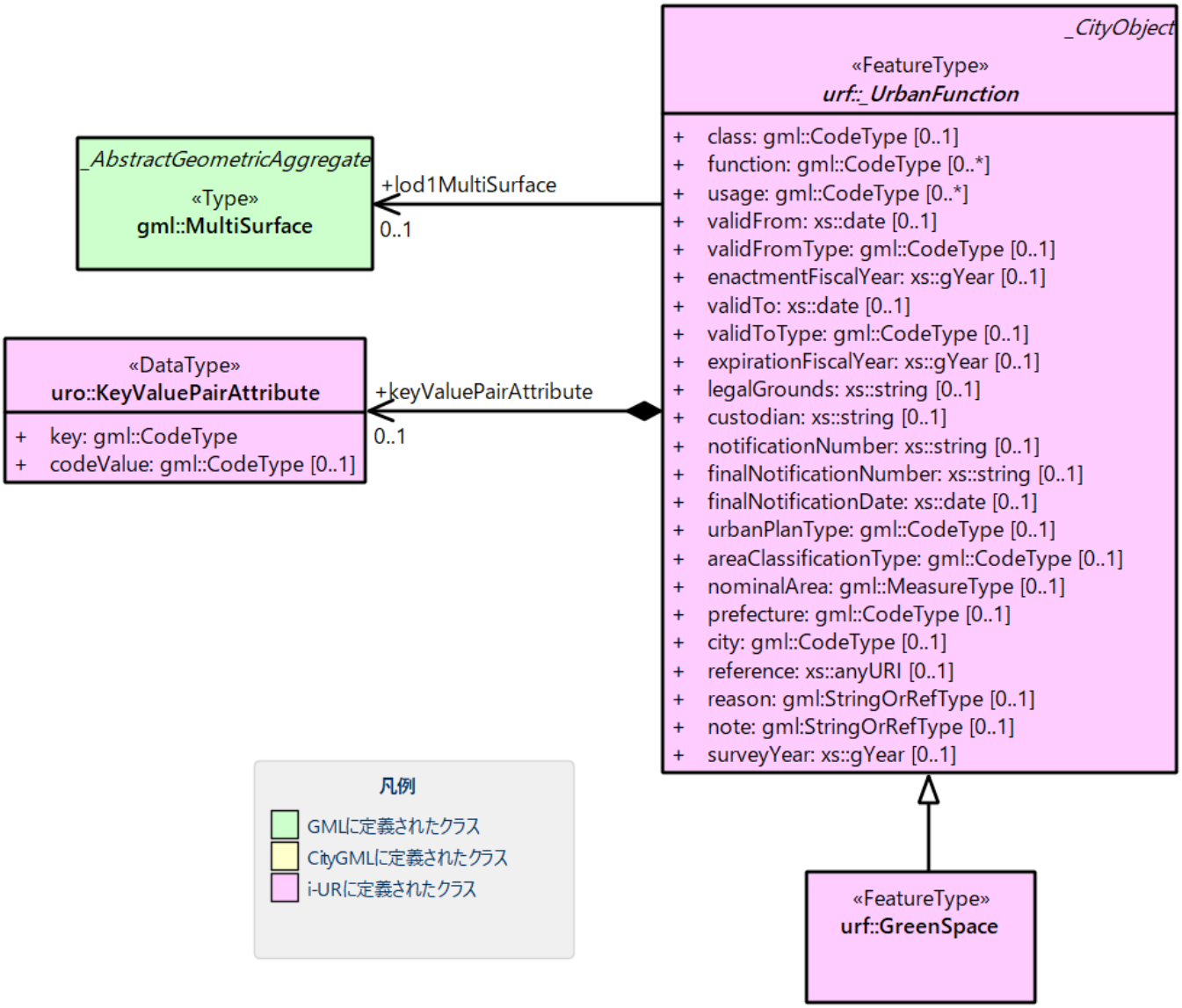
22) C0801　地形・水系・地質条件

位置図には、*urf::NaturalCondition* を使用する。



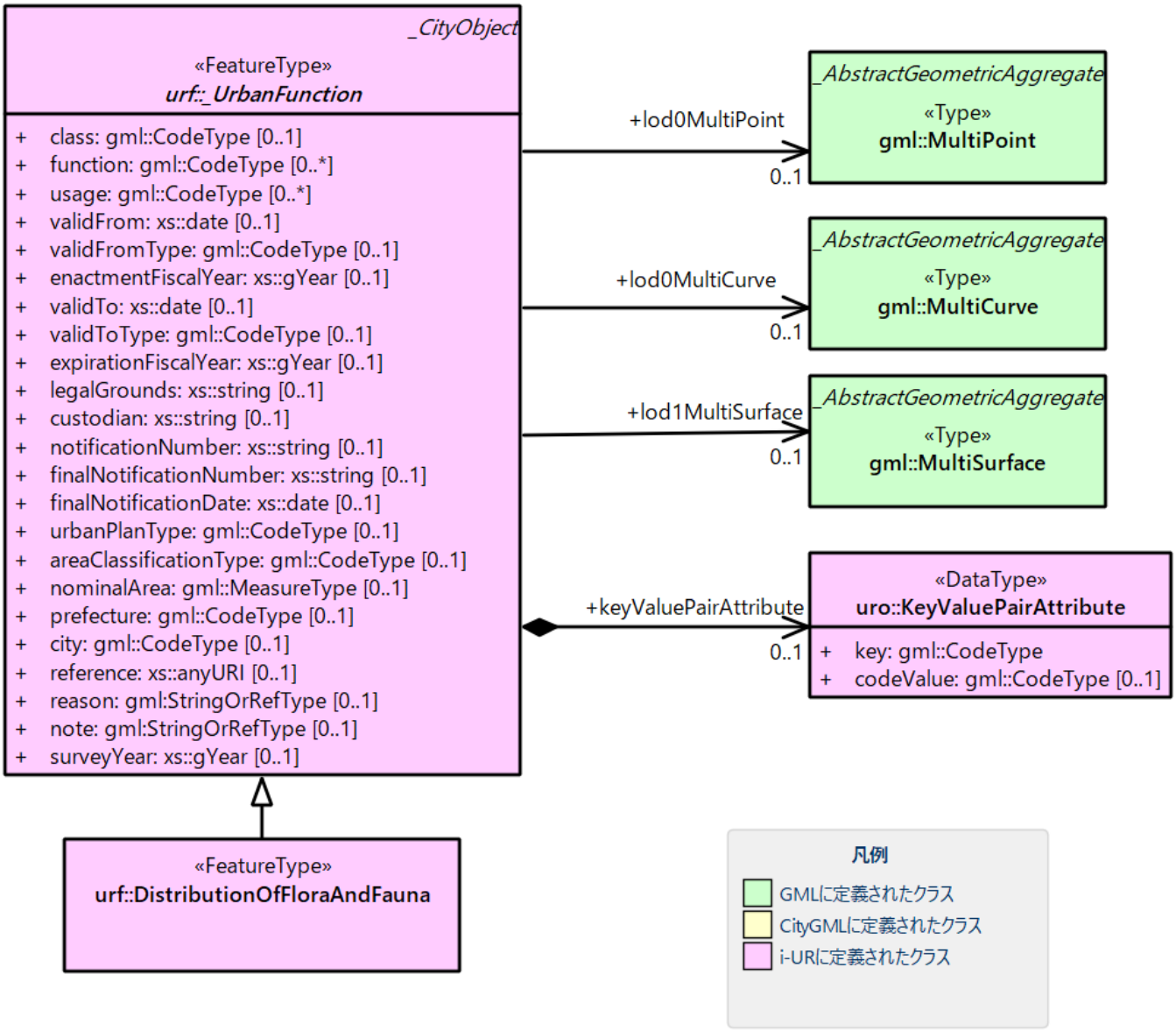
23) C0803　緑の状況

位置図には、*urf::GreenSpace* を使用する。



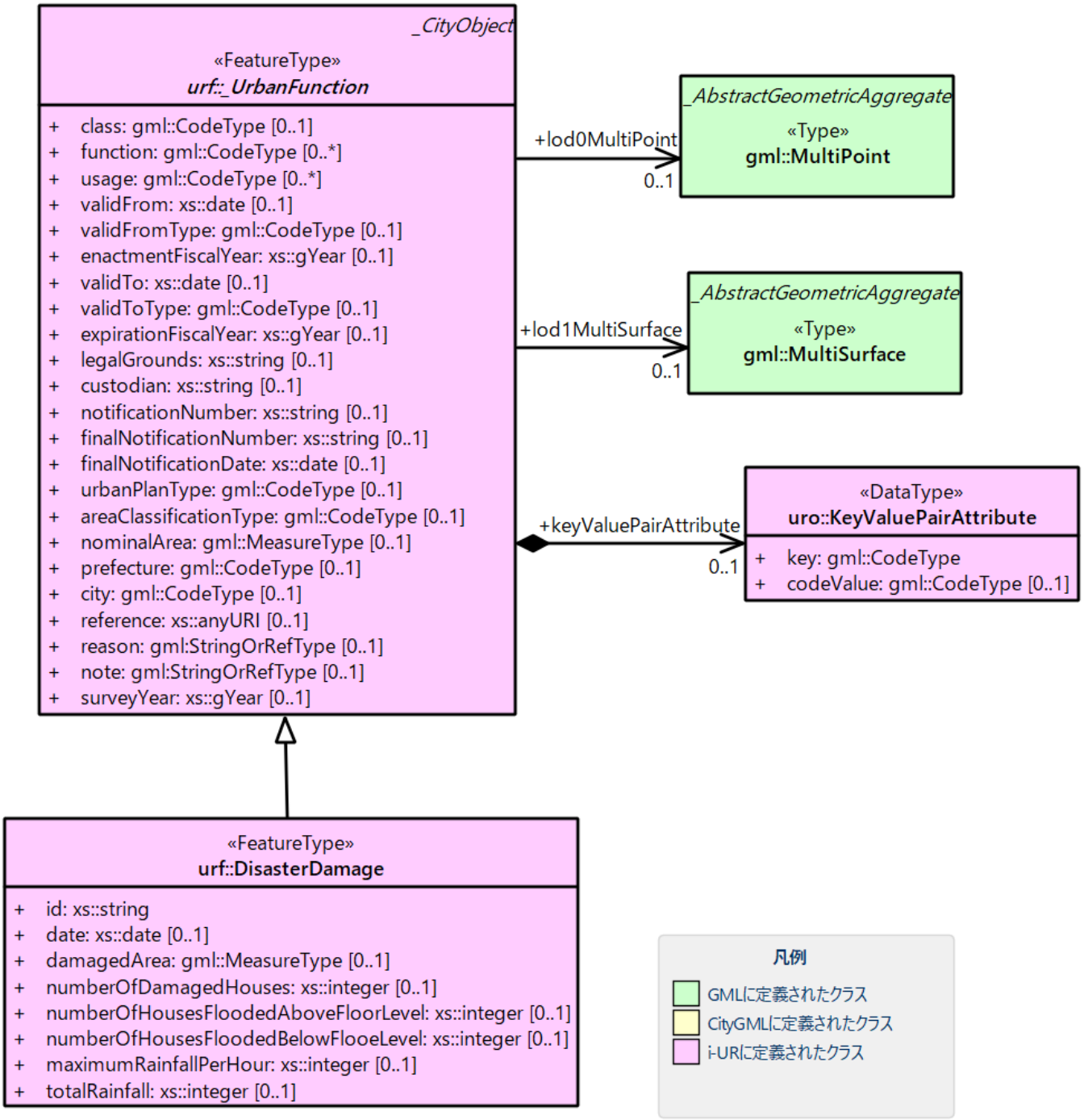
24) C0804　動植物調査

位置図には、*urf:DistributionOfFloraAndFauna* を使用する。

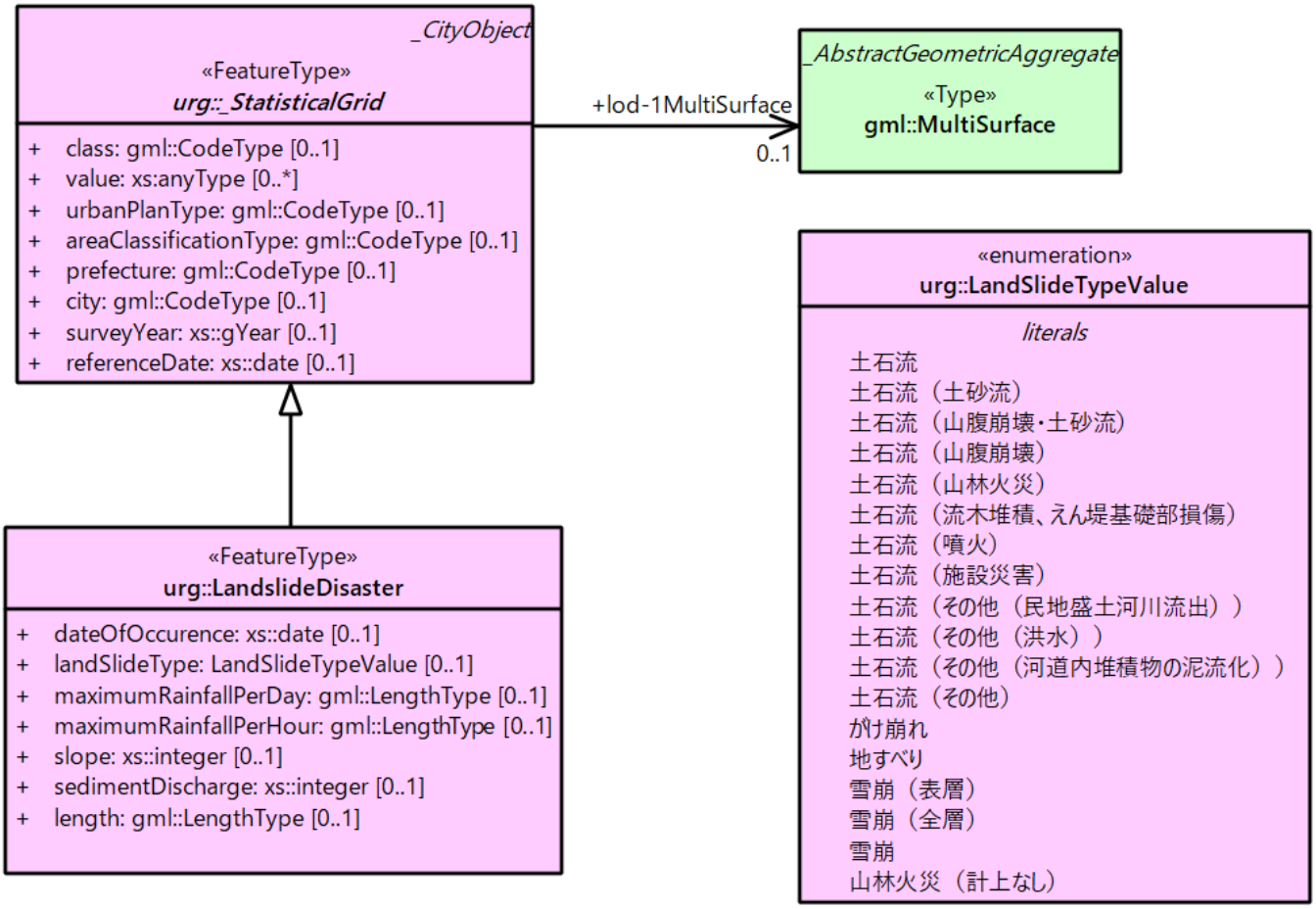


25) C0901　災害の発生状況

位置図は、*urf::DisasterDamage* を使用する。

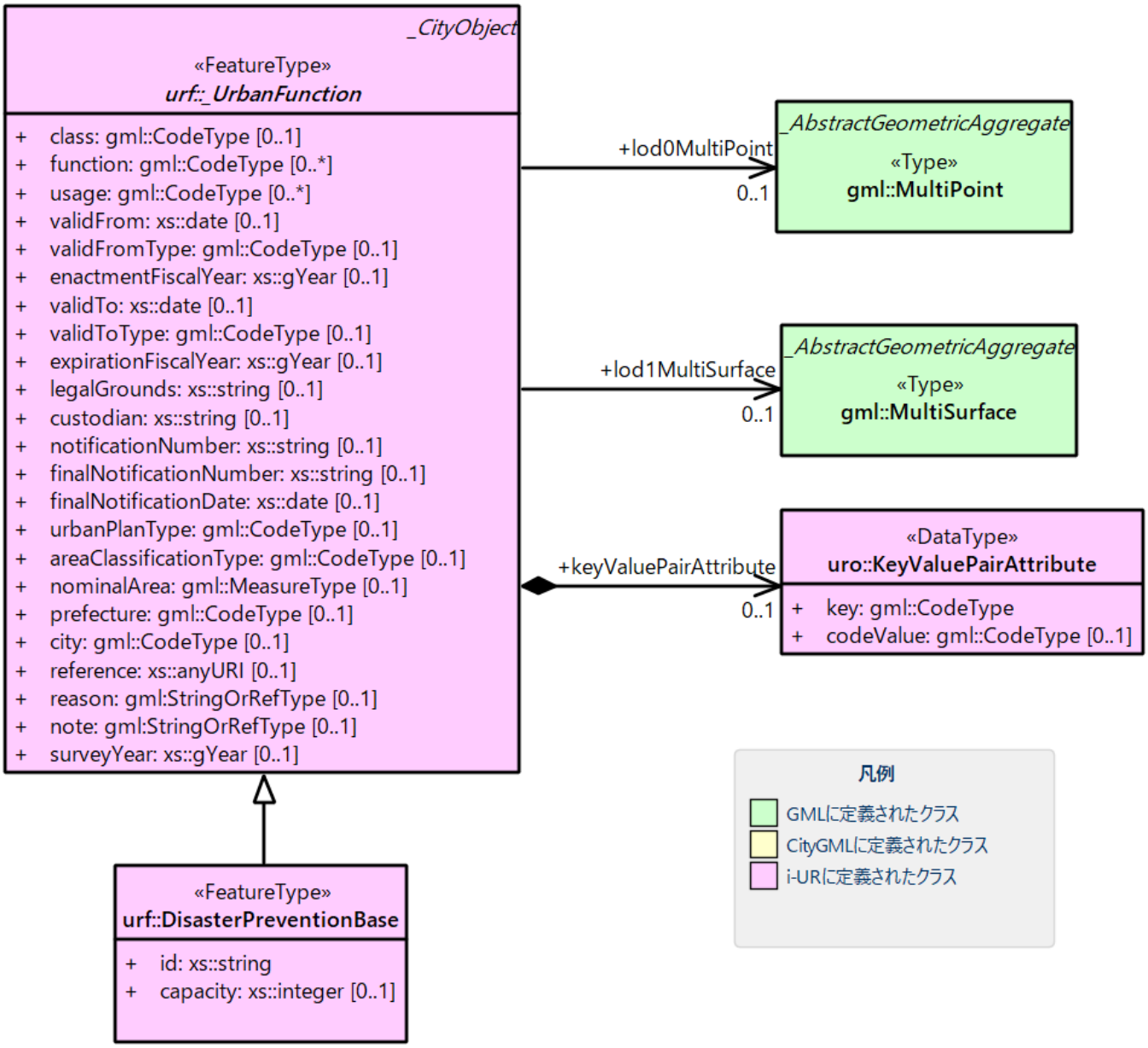


崖崩れ発生回数図をメッシュで作成する場合は、*urg::LandSlideDisaster* を使用する。



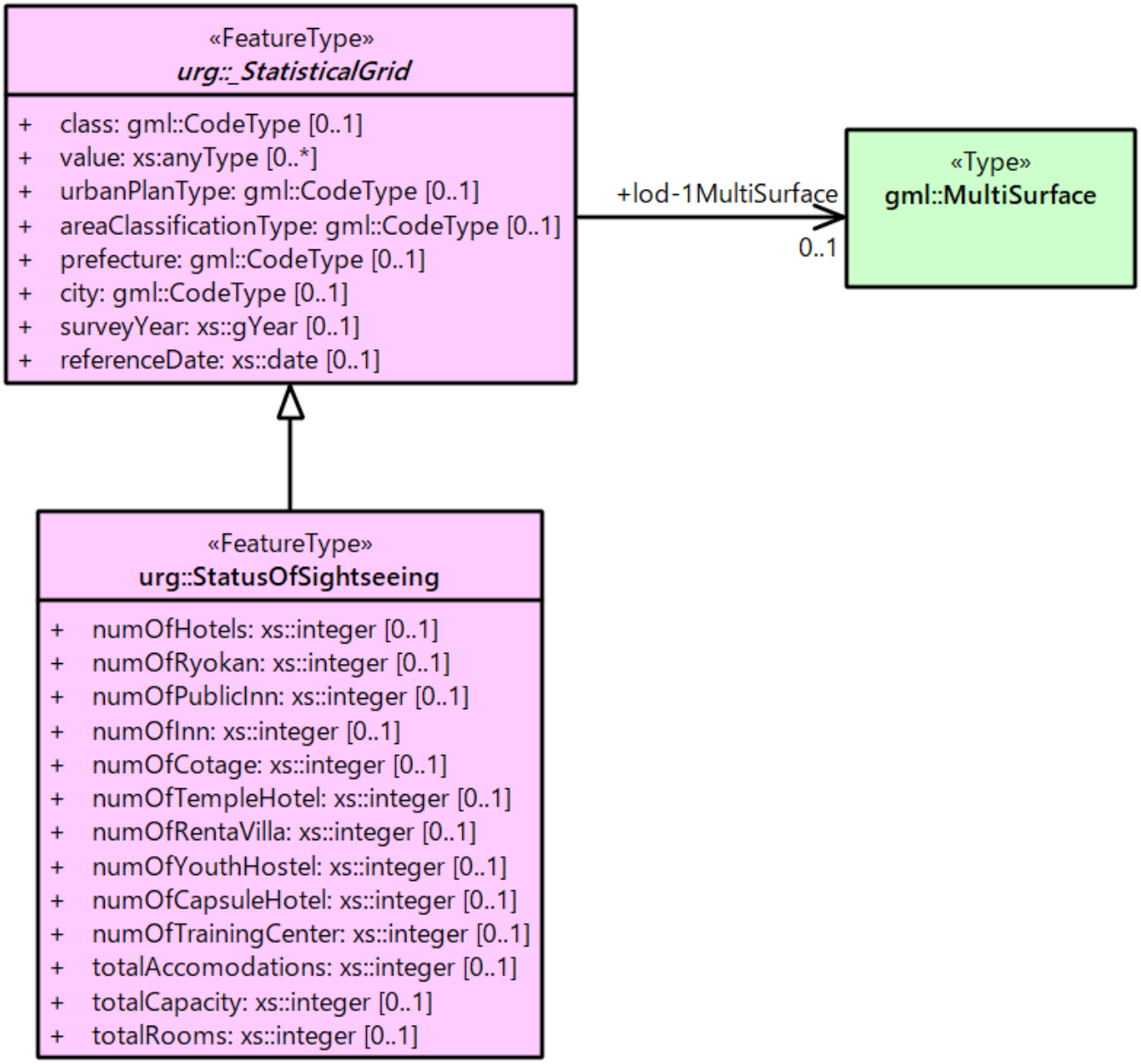
26) C0902　防災施設の位置及び整備の状況

位置図には、*urf::DisasterPreventionBase* を使用する。



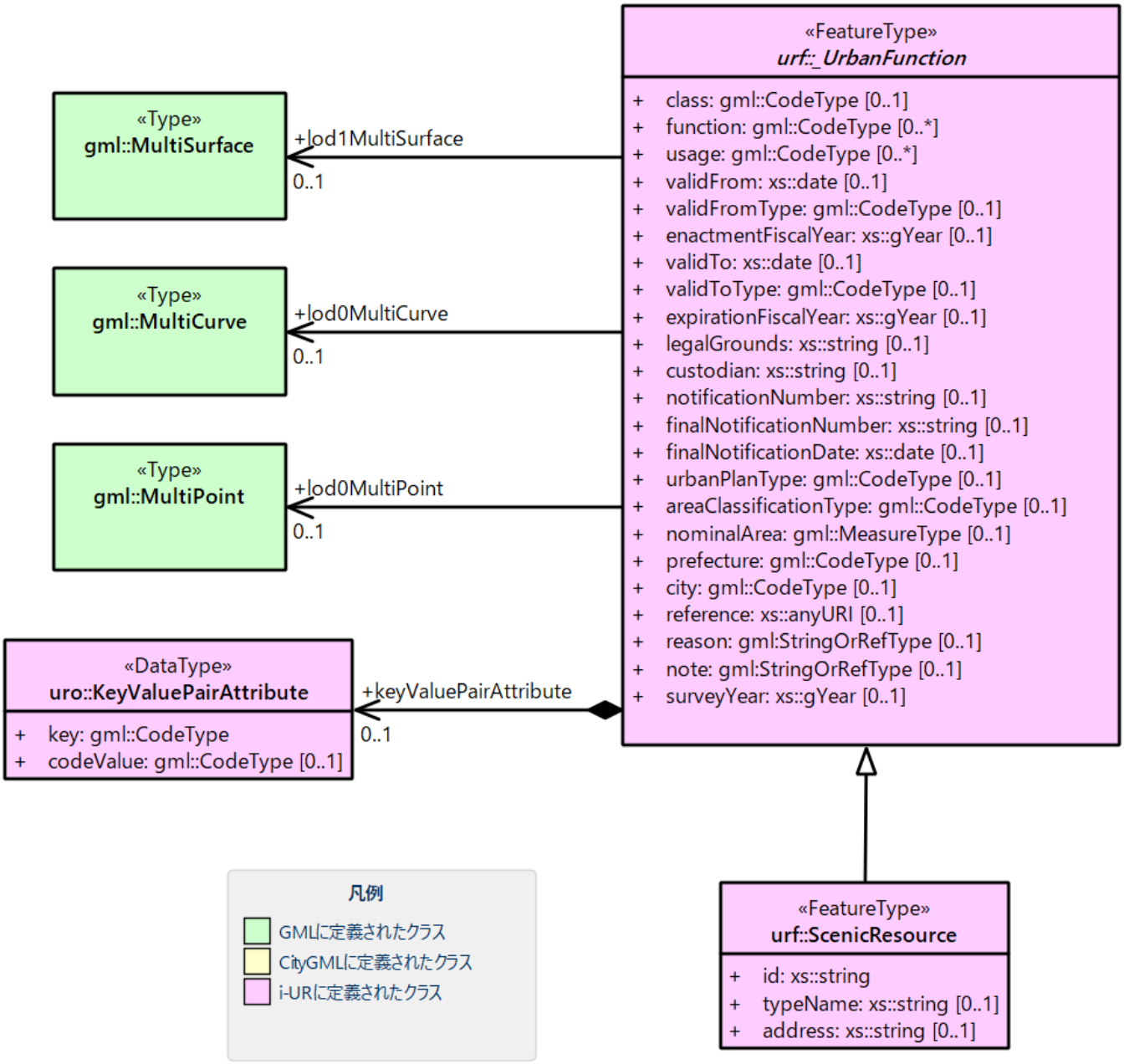
27) C1001　観光の状況

宿泊施設総数メッシュ図には、*urg::StatusOfSightseeing*を使用する。



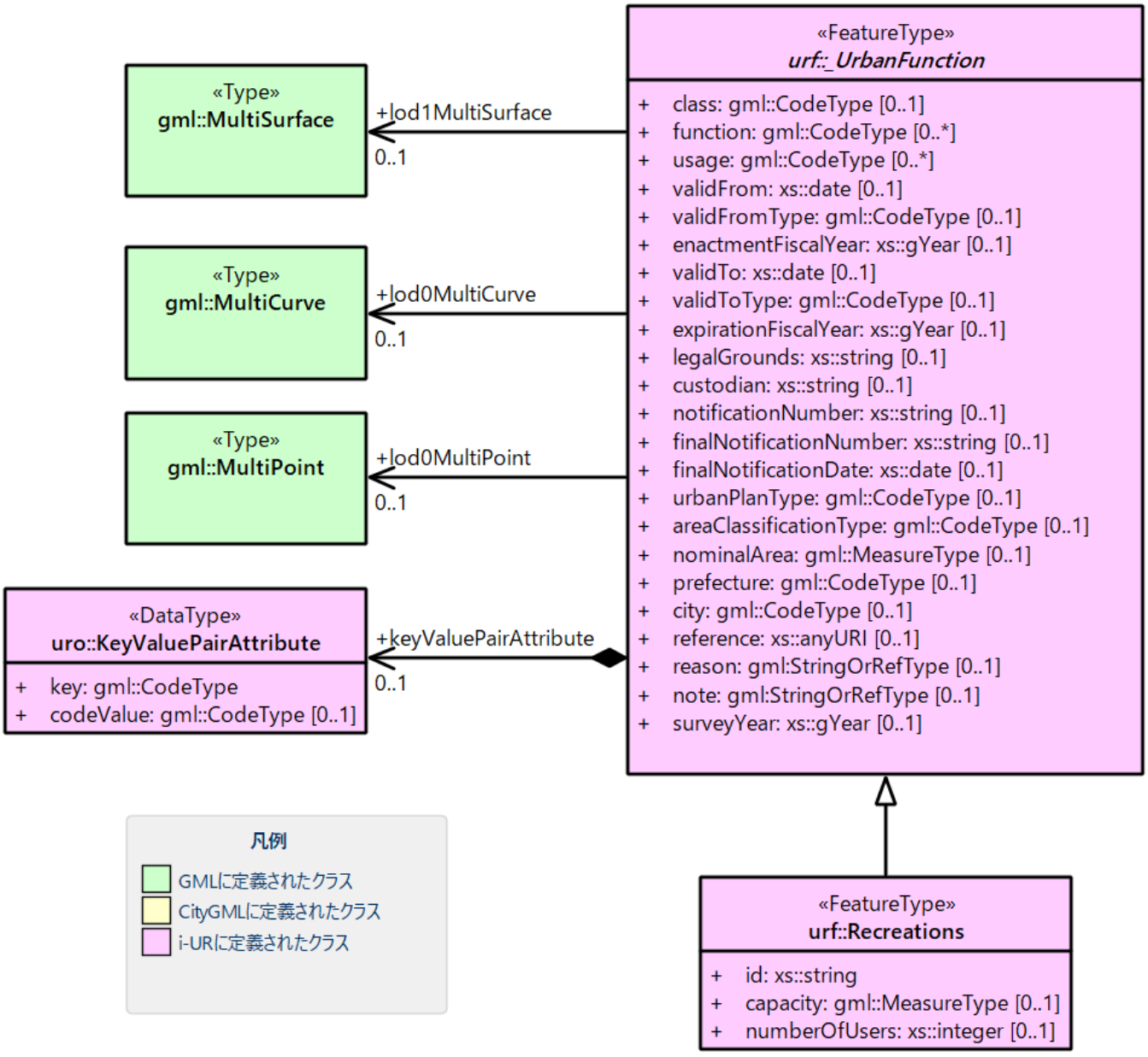
28) C1002　景観・歴史資源の状況

位置図には、*urf::ScenicResource* を使用する。



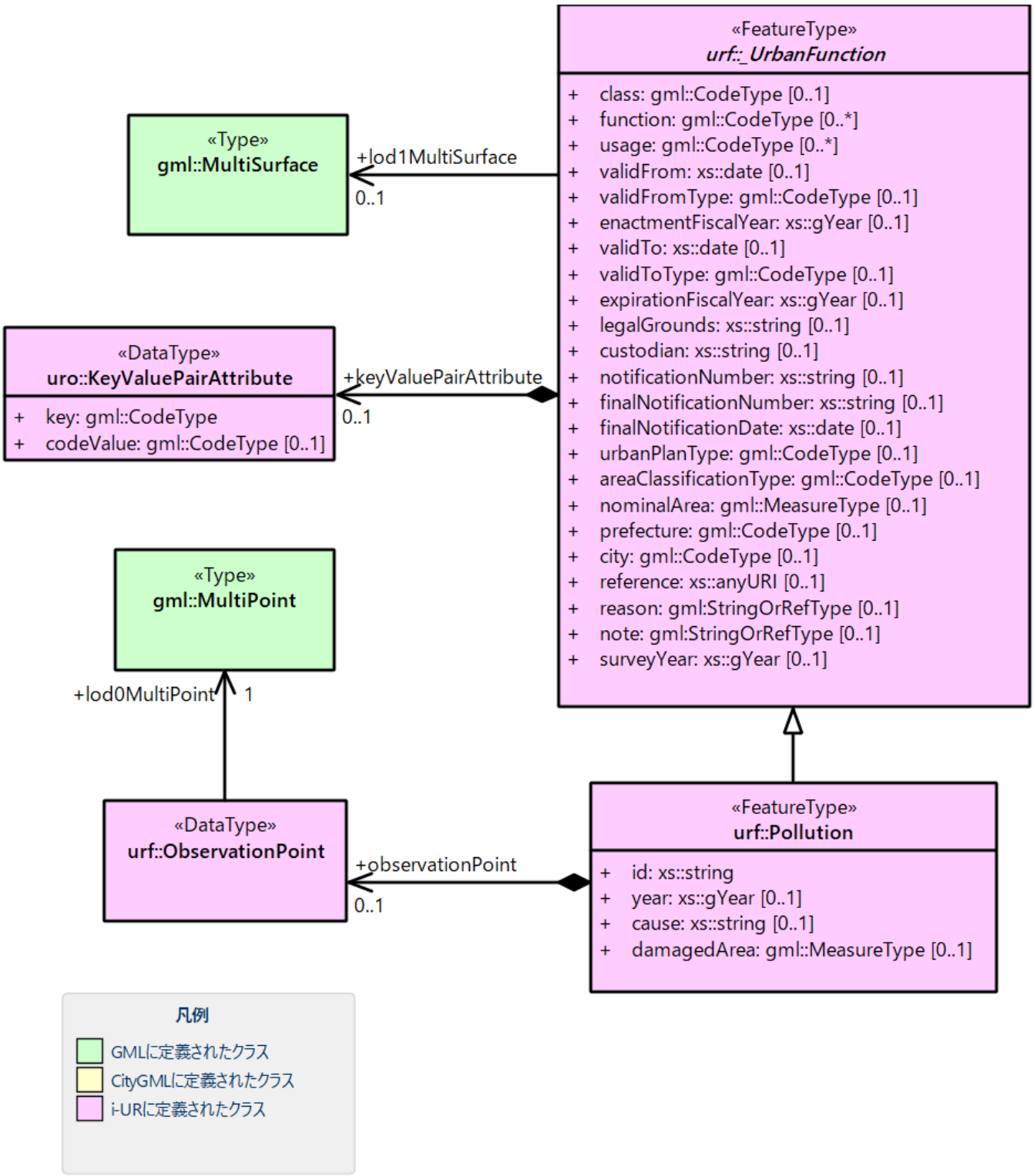
29) C1003　レクリエーション施設の状況

位置図には、*urf::Recreations* を使用する。



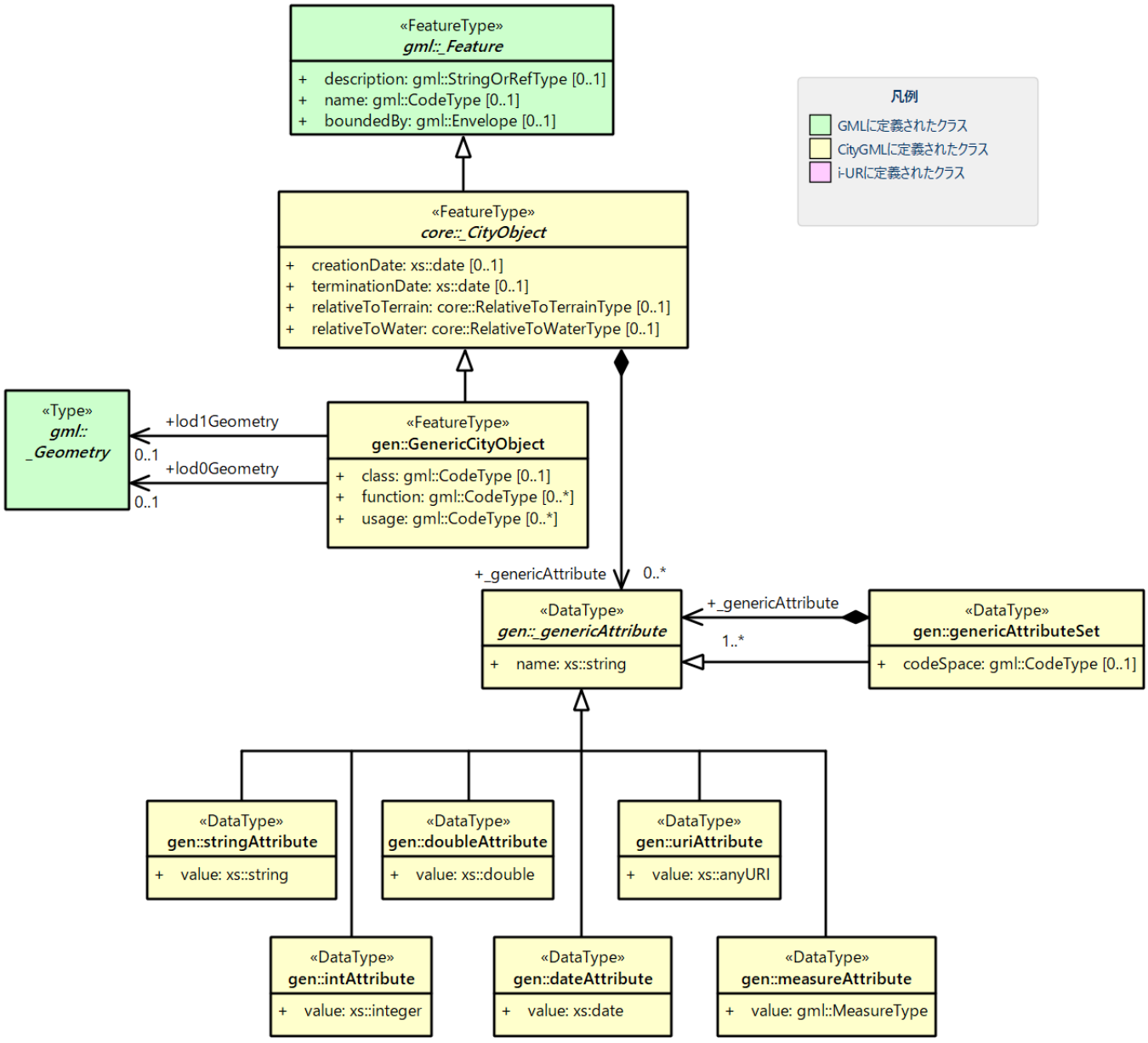
30) C1004　公害の発生状況

位置図には、*urf::Pollution* を使用する。



31) 汎用都市オブジェクト及び汎用属性

gen::GenericCityObject は、CityGML 又は i-UR に定義されていない地物を表現する場合に使用する地物型である。また、*gen::_genericAttribute* 及びその下位型は、CityGML 又は i-UR に定義されていない属性を追加する場合に使用するデータ型である。

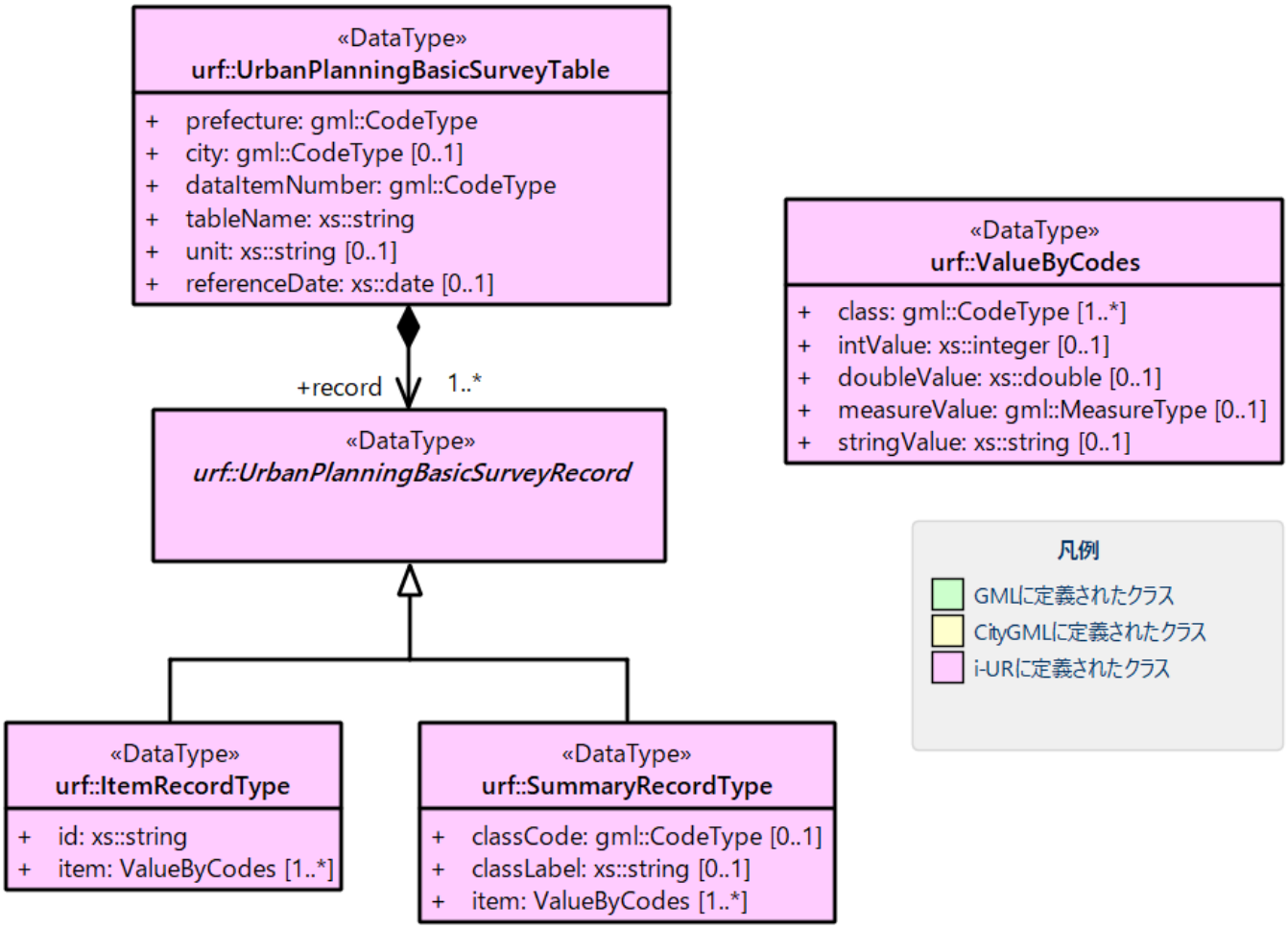


(2) 調書及び集計表のための応用スキーマクラス図

調書及び集計表の表現には、調書や集計表の個々のレコードを示す型と、レコードを束ねて 1 つの表として統合する型が必要となる。応用スキーマクラス図では、これらをそれぞれデータ型（ステレオタイプが DataType）として記述する。

urf::UrbanPlanningBasicSurveyTable は、調書又は集計表の表を示すデータ型である。また、このデータ型のインスタンスには、調書のレコードである *urf::ItemRecordType* 又は集計表のレコードである *urf::SummaryRecordType* のいずれかのインスタンスが格納される。

都市計画基礎調査で作成する全ての調書及び集計表は、これらのデータ型を使用して記述する。



4.3.3 応用スキーマ文書

都市計画基礎調査パッケージで使用するクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

なお、CityGML で定義された *bldg:Building*, *luse:LandUse*, *tran:Road* の応用スキーマ文書は、4.2.3 を参照すること。また、都市計画決定情報（*urf:UrbanPlanningArea*, *urf:QuasiUrbanPlanningArea*, *urf:AreaClassification*, *urf:UrbanFunctionAttractionArea* 及び *urf:ResidenceAttractionArea*）は 4.4.3 を参照すること。

(1) UrbanObject（i-UR）

都市計画基礎調査パッケージで使用する、Urban Object モジュールで定義されたクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

1) uro:BuildingDetailAttribute

型の定義	都市計画法に基づき実施される都市計画基礎調査において収集された、建築物に関する基礎的な情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:serialNumberOfBuildingCertification	xs:string [0..1]	建築確認申請番号。
uro:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	当該建築物が立地する敷地の面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	当該建築物の各階の床面積の合計。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:buildingFootprintArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の壁や柱の中心線で囲まれた部分の水平投影面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:buildingRoofEdgeArea	gml:MeasureType [0..1]	屋根を含む建築物の水平投影面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:developmentArea	gml:MeasureType [0..1]	開発された面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:buildingStructureType	gml:CodeType [0..1]	構造種別。コードリスト（BuildingDetailAttribute_buildingStructureType.xml）より選択する。
uro:buildingStructureOrgType	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の構造種別。コードリスト（BuildingDetailAttribute_buildingStructureOrgType.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:fireproofStructureType	gml:CodeType [0..1]	耐火構造区分。コードリスト（BuildingDetailAttribute_fireproofStructureType.xml）より選択する。
uro:implementingBody	xs:string [0..1]	建築物建築の実施主体の名称。
uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	建築物が立地する土地が属する地域地区の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:landUseType	gml:CodeType [0..1]	建築物が立地する土地の土地利用区分。コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。
uro:reference	xs:string [0..1]	建築物の位置を示す図面上の番号。
uro:majorUsage	gml:CodeType [0..1]	建物利用現況（中分類）よりも粗い区分による都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_majorUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:majorUsage2	gml:CodeType [0..1]	建物利用現況（中分類）よりも粗い区分による都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_majorUsage2.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。

uro:orgUsage	gml:CodeType [0..1]	都市計画基礎調査実施要領（国土交通省都市局）に示された建築物の用途分類に相当する都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_orgUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:orgUsage2	gml:CodeType [0..1]	都市計画基礎調査実施要領（国土交通省都市局）に示された建築物の用途分類のうち、商業施設、文教厚生施設、運輸倉庫施設、工場が詳細化された区分に相当する都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_orgUsage2.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:detailedUsage	gml:CodeType [0..1]	建物利用現況（小分類）よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、本製品仕様書に示すコードリストを必要に応じて加工すること。
uro:detailedUsage2	gml:CodeType [0..1]	建物利用現況（詳細分類）よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_detailedUsage2.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:detailedUsage3	gml:CodeType [0..1]	建物利用現況（詳細分類 2）よりも細かい区分による都市独自の分類。コードリスト（BuildingDetailAttribute_detailedUsage3.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:groundFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物 1 階の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_groundFloorUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:secondFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の 2 階又は 2 階以上の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_secondFloorUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:thirdFloorUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の 3 階又は 3 階以上の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_thirdFloorUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:basementUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_basementFloorUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:basementFirstUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下 1 階の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_basementFirstUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:basementSecondUsage	gml:CodeType [0..1]	都市ごとの独自の区分に基づく建築物の地下 2 階の用途。コードリスト（BuildingDetailAttribute_basementSecondUsage.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:vacancy	gml:CodeType [0..1]	空き家か否かの別。コードリスト（BuildingDetailAttribute_vacancy.xml）より選択する。
uro:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建蔽率（敷地面積に対する建築面積の割合）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:floorAreaRate	xs:double [0..1]	容積率（敷地面積に対する延床面積の割合）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	指定建蔽率（用途地域別に定められている建蔽率）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedFloorAreaRate	xs:double [0..1]	指定容積率（都市計画で定められる容積率の最高限度）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:standardFloorAreaRate	xs:double [0..1]	基準容積率（前面道路の幅員が 12m未満の場合に、前面道路の幅員による限度により算出される容積率）。全体を「1」とする割合で記述する。

uro:buildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築基準法施行令第 2 条に定義される地盤面からの建築物の高さ。単位は m（uom="m"）とする。
uro:eaveHeight	gml:LengthType [0..1]	建築基準法施行令第 2 条に定義される建築物の地盤面から軒桁までの高さ。単位は m（uom="m"）とする。
uro:note	xs:string [0..1]	その他建築物に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear	建物利用現況調査の実施年（西暦）。

2) uro:BuildingIDAttribute

型の定義	建築物を識別するための情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:buildingID	xs:string [1]	主たる建築物を識別するための番号。 [市区町村コード]-[接頭辞]-[オブジェクト連番] とする。 [市区町村コード] は、当該地物が存在する市区町村に該当するコード。複数の市区町村に跨る場合には、代表的な市区町村のコードとする。先頭の 0 は省略せず、5 桁で記述する。 [接頭辞]は地物型の区分を示す 3 桁又は 4 桁のコードとする。 建築物の場合は、bldg とする。 [オブジェクト連番]は半角数字の連番とする。
uro:branchID	xs:integer [0..1]	主たる建築物に対して付帯する建築物を識別するための番号。
(uro:partID)	xs:integer [0..1]	主たる建築物を複数の bldg:BuildingPart に分けて記述する場合の、建築物部分を識別するための番号。
uro:prefecture	gml:CodeType [0..1]	建築物が所在する都道府県の都道府県コード。JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字。コードリストより選択する。
uro:city	gml:CodeType [1]	建築物が所在する市区町村の市区町村コード。JIS X0401 に定義される 2 桁の半角数字と JIS X0402 に定義される 3 桁の半角数字とを組み合わせた 5 桁の半角数字。コードリストより選択する。 政令市の場合は、区の市区町村コードとする。 i-UR では多重度が[0..1]となっているが、建築物の位置の把握に使用するため、標準製品仕様書では多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

3) uro:DataQualityAttribute

型の定義	都市オブジェクトの品質を記述するためのデータ型。 建物利用現況調査及び土地利用現況調査において作成する幾何オブジェクト（図形）や主題属性の原典資料の種類を示す。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:geometrySrcDescLod0	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。LOD0 の幾何オブジェクトを作成していない場合は、「未作成」を示すコード「999」を選択する。

uro:geometrySrcDescLod1	gml:CodeType [1..*]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。LOD1 の幾何オブジェクトを作成していない場合は、「未作成」を示すコード「999」を選択する。
(uro:geometrySrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性の作成に使用した原典資料の種類。 コードリスト（DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml）より選択する。 主題属性が作成対象となっている場合は必須とする。
(uro:appearanceSrcDescLod0)	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod1)	gml:CodeType [0..*]	LOD1 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:lodType)	gml:CodeType[0..*]	幾何オブジェクトに適用された LOD の詳細な区分。
(uro:lod1HeightType)	gml:CodeType [0..1]	LOD1 の立体図形を作成する際に使用した高さの算出方法。
(uro:tranDataAcquisition)	xs:string [0..1]	「道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書（案）」（平成 27 年 5 月）に定める「取得レベル(level)」を記述するための属性。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
uro:publicSurveyDataQualityAttribute	uro:PublicSurveyDataQualityAttribute [0..1]	使用した公共測量成果の地図情報レベルと種類。 各 LOD の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類に関する属性（uro:geometrySrcDescLod0 等）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）となっている場合は、必須とする。

4) uro:LargeCustomerFacilityAttribute

型の定義	都市計画法に基づき実施される都市計画基礎調査において収集された、大規模小売店舗や大規模集客施設に関する基礎的な情報。	
上位の型	uro:BuildingAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

uro:class	gml:CodeType [0..1]	集客施設の種類。コードリスト（LargeCustomerFacilityAttribute_class.xml）より選択する。
uro:name	xs:string [0..1]	集客施設の名称。
uro:capacity	xs:integer [0..1]	集客施設の収容人数。（病院の場合は、病床数、大学等の場合は学生数とする。）
uro:owner	xs:string [0..1]	施設の所有者の名称。
uro:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	集客施設各階における床面積を合計した面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:totalStoreFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	集客施設各階における店舗の床面積を合計した面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:inauguralDate	xs:date [0..1]	集客施設が運営を開始した年月日。
uro:yearOpened	xs:gYear [0..1]	開設年。
uro:yearClosed	xs:gYear [0..1]	廃止年。
uro:keyTenants	xs:string [0..1]	集客施設が商業施設の場合の、主要なテナントの名称。
uro:availability	xs:oolean [0..1]	集客施設が医療施設の場合の、3 次医療圏規模の有無。
uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	集客施設が立地する土地が属する地域地区の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:landUseType	gml:CodeType [0..1]	集客施設が立地する土地の土地利用区分。コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。
uro:reference	xs:string [0..1]	図面対照番号。集客施設の位置を示す図面上の番号。
uro:note	xs:string [0..1]	その他集客施設に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear [0..1]	集客施設の立地状況調査の実施年（西暦）。運用上多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

5) uro:LandUseDetailAttribute

型の定義	都市計画に関する基礎調査の一つとして、土地利用の現況と変化の動向を把握すること を目的とし都市計画法第 6 条の規 定に基づき実施される調査の結果。	
上位の型	uro:LandUseAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:id	xs:string [0..1]	土地利用現況図における識別子。
uro:orgLandUse	gml:CodeType [0..1]	都市独自の分類による土地利用用途。コードリスト（LandUseDetailAttribute _orgLandUse.xml）より選択する。本属性を使用する場合は、コードリストを作成すること。
uro:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積を調整した値。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:ownerType	gml:CodeType [0..1]	土地所有者の区分。コードリスト（Common_ownerType.xml）より選択する。
uro:owner	xs:string [0..1]	土地所有者の名称。
uro:areaInSquareMeter	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
uro:areaInHa	gml:MeasureType [0..1]	図上計測面積（ha 換算数）。単位は ha（uom=" ha"）とする。
uro:buildingCoverageRate	xs:double [0..1]	建蔽率（敷地面積に対する建築面積の割合）。全体を「1」とする割合で記述する。

uro:floorAreaRate	xs:double [0..1]	容積率（敷地面積に対する延床面積の割合）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedBuildingCoverageRate	xs:double [0..1]	指定建蔽率（用途地域別に定められている建蔽率）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:specifiedFloorAreaRate	xs:double [0..1]	指定容積率（都市計画で定められる容積率の最高限度）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:standardFloorAreaRate	xs:double [0..1]	基準容積率（前面道路の幅員が 12m未満の場合に、前面道路の幅員による限度により算出される容積率）。全体を「1」とする割合で記述する。
uro:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	土地が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
uro:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	土地が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
uro:districtsAndZonesType	gml:CodeType [0..*]	土地が属する地域地区の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xm）より選択する。建築物が複数の地域地区に含まれる場合は、複数を列挙する。
uro:prefecture	gml:CodeType [0..1]	土地が所在する都道府県の都道府県コード。
uro:city	gml:CodeType [1]	土地が所在する市区町村の市区町村コード。運用上必須とする。
uro:reference	xs:string [0..1]	土地の位置を示す図面上の番号。
uro:note	xs:string [0..1]	その他土地に関して特筆すべき事項。
uro:surveyYear	xs:gYear [0..1]	土地利用現況調査の実施年（西暦）。

6) uro:PublicLand

型の定義	国公有地。	
上位の型	luse:LandUse	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	国公有地の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	国公有地を識別する名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(luse:class)	gml:CodeType [0..1]	土地利用用途の大まかな区分。
(luse:function)	gml:CodeType [0..*]	土地利用の機能。
(luse:usage)	gml:CodeType [0..*]	土地利用の用途。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:id	xs:string	識別子。
uro:ownerName	xs:string [0..1]	所有者名。
uro:ownerType	gml:CodeType [0..1]	所有者の区分。コードリスト（Common_ownerType.xml）より選択する。
uro:landCategory	xs:string [0..1]	地目。
uro:area	gml:MeasureType [0..1]	面積。単位は ha とする。
uro:status	xs:string [0..1]	利用状況。
uro:note	xs:string [0..1]	備考。

継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(gen:stringAttribute)	gen:stringAttribute [0..*]	文字列型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:intAttribute)	gen:intAttribute [0..*]	整数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:doubleAttribute)	gen:doubleAttribute [0..*]	実数型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:dateAttribute)	gen:dateAttribute [0..*]	日付型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:uriAttribute)	gen:uriAttribute [0..*]	URI 型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:measureAttribute)	gen:measureAttribute [0..*]	単位付き数値型属性。属性を追加したい場合に使用する。
(gen:genericAttributeSet)	gen:GenericAttributeSet [0..*]	汎用属性のセット（集合）。使用しない。
luse:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	国公有地の敷地の外周を面として取得する。

7) uro:PublicSurveyDataQualityAttribute

型の定義	使用した公共測量成果の地図情報レベルと種類を、LOD ごとに記述するためのデータ型。 建物利用現況調査で作成する建物の形状を、公共測量成果を使用して作成している場合に、公共測量成果の種類を記述する。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:srcScaleLod0	gml:CodeType [0..1]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。 コードリスト（PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml）より選択する。 「LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類に関する属性」（uro:geometrySrcDescLod0）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）のみの場合は、必須とする。
(uro:srcScaleLod1)	gml:CodeType [0..1]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod2)	gml:CodeType [0..1]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod3)	gml:CodeType [0..1]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
(uro:srcScaleLod4)	gml:CodeType [0..1]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の地図情報レベル。
uro:publicSurveySrcDescLod0	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。コードリスト（PublicSurveyDataQualityAttribute_publicSurveySrcDesc.xml）より選択する。 「LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類についての属性」（uro:geometrySrcDescLod0）のコード値（コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択される）が公共測量成果（コード「000」）のみの場合は、必須とする。 複数の種類の原典資料を使用した場合は、それぞれを記述する。

(uro:publicSurveySrcDescLod1)	gml:CodeType [0..*]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:publicSurveySrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。

8) uro:RoadStructureAttribute

型の定義	道路を、路線、同等以上の道路との交差点、道路構造の変化点（トンネル、橋梁）で変化する場所で区切った区間における、道路の構造。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:width	gml:LengthType [0..1]	中央帯、車道、路肩、植樹帯、歩道等及び環境施設帯（環境施設帯の中の路肩、植樹帯、歩道等の部分を除いた部分）の幅員を合計した幅員。単位は m（uom="m"）とする。
uro:widthType	gml:CodeType [0..1]	幅員の区分。コードリスト（RoadStructureAttribute_widthType.xml）より選択する。都市計画基礎調査で収集されている場合にのみ作成する。
(uro:numberOfLanes)	xs:integer [0..1]	上下線の合計（一方通行区間の場合を除く）の車線数。
(uro:sectionType)	gml:CodeType [0..1]	道路構造の種別。

9) uro:RoadType

型の定義	道路の状況	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:id	xs:string [0..1]	道路の識別子。
uro:creationDate	xs:date [0..1]	地物が生成された年月日。
uro:isTemporary	xs:boolean [0..1]	現状の確認が行われておらず、暫定的に整備された地物の場合に 1 とする。
uro:roadType	gml:CodeType [0..1]	道路の種類。 国道、都道府県道、市区町村道等、高速自動車国道等、その他、不明のいずれかとする。
uro:widthType	gml:CodeType [0..1]	幅員の区分。コードリスト（RoadStructureAttribute_widthType.xml）より選択する。
uro:isTollRoad	xs:boolean [0..1]	有料の場合に 1。
uro:separator	xs:double [0..1]	分離帯の幅。単位は m。
uro:isHighway	xs:boolean [0..1]	高速道路の場合に 1。

10) uro:TrafficVolumeAttribute

型の定義	道路の交通量に関する情報。全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査の対象となる高速自動車国道、都市高速道路、一般国道、主要地方道である都道府県道及び指定市の市道、一般都道府県道、指定市の一部の一般市道を対象とする。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:sectionID	xs:string [0..1]	交通量調査において、調査の単位となる交通調査基本区間に付与される番号。原則として「都道府県（2 桁）」+「道路種別（1 桁）」+「路線番号（4 桁）」+「順番号（4 桁）」からなる 11 桁の番号。
uro:routeName	xs:string [0..1]	路線名。
uro:weekday12hourTrafficVolume	xs:integer [0..1]	平日 7 時~19 時までに通過する車両台数。単位は台とする。
uro:weekday24hourTrafficVolume	xs:integer [0..1]	平日 7 時~翌朝 7 時又は 0 時~翌日 0 時までに通過する車両台数。単位は台とする。
uro:largeVehicleRate	xs:double [0..1]	自動車類交通量に対する大型車交通量の割合。 単位は%とする。
uro:congestionRate	xs:double [0..1]	交通調査基本区間の交通容量に対する交通量の比。 単位は%とする。
uro:averageTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯（7 時～ 9 時）又は夕方のラッシュ時間帯（17 時～19 時）において平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。 都市計画基礎調査で収集されている場合にのみ作成する。 単位は km/h とする。
uro:averageInboundTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯（7 時～ 9 時）又は夕方のラッシュ時間帯（17 時～19 時）において上り線における平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。 単位は km/h とする。
uro:averageOutboundTravelSpeedInCongestion	xs:double [0..1]	朝のラッシュ時間帯（7 時～ 9 時）又は夕方のラッシュ時間帯（17 時～19 時）において下り線における平均旅行速度を集計し、その遅い方の時間帯の旅行速度。 単位は km/h とする。
uro:averageInboundTravelSpeedNotCongestion	xs:double [0..1]	昼間非混雑時（9～17 時）における上り線の平均旅行速度。 単位は km/h とする。
uro:averageOutboundTravelSpeedNotCongestion	xs:double [0..1]	昼間非混雑時（9～17 時）における下り線平均旅行速度。 単位は km/h とする。
uro:observationPointName	xs:string [0..1]	交通量等を観測した地点の名称。
uro:reference	xs:string [0..1]	参照した資料の名称。
uro:surveyYear	xs:gYear [0..1]	調査が実施された年。

11) uro:KeyValuePairAttribute

型の定義	都市オブジェクトに付与する追加情報。都市オブジェクトが継承する属性及び都市オブジェクトに定義された属性以外にコード型の属性を追加したい場合に使用する。 属性名称と属性の値の対で構成される。コード値以外の属性を追加する場合は、gen:_GenericAttribute を使用すること。
上位の型	—
ステレオタイプ	<<DataType>>
自身に定義された属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:key	gml:CodeType [1]	拡張する属性の名称。名称は、コードリスト（KeyValuePairAttribute_key.xml）を作成し、選択する。
uro:codeValue	gml:CodeType [1]	拡張された属性の値。値は、コードリスト（KeyValuePairAttribute_key[key].xml）を作成し、選択する。 [key]は、属性 uro:key の値に一致する。

(2) Urban Function （i-UR）

都市計画基礎調査パッケージで使用する、UrbanFunction モジュールで定義されたクラスの応用スキーマ文書を以下で示す。

1) urf:Agreement

型の定義	条例・協定の適用状況。C0308 の位置図に使用する。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	条例又は協定の名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	都道府県による決定か市区町村による決定かを区別する。 コードリスト（Agreement_custodianType.xml）より選択する。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	決定主体。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	条例や協定が適用される区域。単位は ha。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。

urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
(urf:location)	xs:string [0..1]	位置。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:applicableArea	gml:MeasureType [0..1]	条例が適用される区域の面積。単位は ha。
urf:expiration	xs:string [0..1]	有効となる期限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	条例・協定の適用される地域の外形線により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

2) urf:AgriculturalDevelopmentProjectType

型の定義	農林漁業関連施策の詳細。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上の識別子。
urf:blockName	xs:string [0..1]	地区名。
urf:projectType	gml:CodeType [0..1]	事業種別。文字列により記述する。 例：かんがい排水事業、ほ場整備事業、その他事業（構造改善事業、農業近代化事業等）
urf:implementationBody	xs:string [0..1]	事業の実施主体の名称。
urf:benefitArea	gml:MeasureType [0..1]	受益面積。単位は ha。
urf:benefitAreaInUrbanArea	gml:MearureType [0..1]	市街化区域内の受益面積。単位は ha。
urf:startFiscalYear	xs:fYear [0..1]	着工年度。4 桁の西暦とする。
urf:status	gml:CodeType [0..1]	進行状況。文字列により記述する。
urf:measureType	gml:CodeType [0..1]	施策種別。文字列により記述する。 例：直轄、補助、融資等
urf:benefitPeriod	xs:string [0..1]	受益期間。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。

3) urf:CensusBlock

型の定義	国勢調査の集計単位として使用される町丁・字等により細分する小地域。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [1]	小地域を識別するコード。文字列により記述する。

		5 桁の市区町村コードと、町丁・字又は大字・町名を識別する 6 桁又は 4 桁のコードからなる 9 桁又は 11 桁のコード。 運用上必須とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画基礎調査の実施主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	公式な面積。単位は ha（uom="ha"）と基本する。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:townName	xs:string [0..1]	大字・町名。
urf:blockName	xs:string [0..1]	小字・丁目名。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	小地域の外周により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:populationType	urf:PopulationType [0..1]	小地域の人口に関する情報。
urf:daytimePopulationType	urf:DaytimePopulationType [0..1]	小地域の昼間人口に関する情報。
urf:economicActivityType	urf:EconomicActivityType [0..1]	小地域の事業所数・従業者数・売上金額に関する情報。

4) urf:DaytimePopulationType

型の定義	昼間人口（C0106）の属性を記述するためのデータ型。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:daytimePopulation	xs:integer [0..1]	昼間人口（総数）。単位は人。
urf:daytimePopulationDensity	xs:double [0..1]	昼間人口の人口密度。単位は人/km2。
urf:daytimeOfficeCommuter	xs:integer [0..1]	昼間従業者数。単位は人。
urf:daytimeSchoolCommuter	xs:integer [0..1]	昼間通学者数。単位は人。
urf:daytimeUnder15	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者。15 歳未満。単位は人。
urf:daytimeOver15	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者。15 歳以上。単位は人。
urf:agriculturalWorker	xs:integer [0..1]	農林漁業従業者。単位は人。
urf:nonCommuter	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者合計。単位は人。

5) urf:DevelopmentProject

型の定義	開発事業の状況。C0304 宅地開発状況、C0309 農林漁業関係施策事業に使用する。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	開発事業の名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	開発事業の分類。文字列により記述する。 宅地開発動向、農林漁業関係施策事業のいずれかとする。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。

(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	開発事業区域の範囲。 市街地開発事業等、農林漁業関係施策事業の場合は面で取得する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	開発事業が実施される概ねの位置。 開発許可による開発は点で取得する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:urbanDevelopmentType	urf:UrbanDevelopmentProjectType [0..1]	市街地開発事業の詳細情報。
urf:residentialDevelopmentType	urf:ResidentialDevelopmentType [0..1]	開発許可による開発の詳細情報。
urf:agriculturalDevelopmentType	urf:AgriculturalDevelopmentProjectType [0..1]	農林漁業関係施策事業の詳細情報。

6) urf:DID

型の定義	人口集中地区（DID）。国勢調査の基本単位区を基礎単位とし、市区町村の境域内で人口密度の高い地域。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	DID の地区名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画基礎調査の実施主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	DID の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	DID を識別する識別子。
urf:population	xs:integer [0..1]	DID 内の人口。
urf:populationDensity	xs:double [0..1]	DID 内の人口密度。　単位は人/ha とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	DID の外周により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

7)　urf:DistributionOfFloraAndFauna

型の定義	動植物の分布状況。 都市計画基礎調査 C0804 に示される動植物調査の分布図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。文字列により記述する。 植物、動物
urf:function	gml:CodeType [0..*]	植物又は動物の分布状況として示される区分。コードリスト（C0804_function.xml）を作成する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。

(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。一定の範囲をもつ地物の記述に使用する。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	線。延長の長い地物や地物の外形を示す場合に使用する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。概ねの位置や特定の位置を示す場合に使用する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

8) urf:DisasterDamage

型の定義	災害の被害状況。 都市計画基礎調査 C0901 に示される災害の発生状況の位置図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称・地区名。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	災害の区分。コードリスト（C0901_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	災害を識別する識別子。
urf:date	xs:date [0..1]	災害発生年月日。
urf:damagedArea	gml:MeasureType [0..1]	浸水面積又は被害面積。単位は ha。
urf:numberOfDamagedHouses	xs:integer [0..1]	被害建物棟数。単位は戸。
urf:numberOfHousesFloodedAboveFloorLevel	xs:integer [0..1]	床上浸水（戸）。
urf:numberOfHousesFloodedBelowFloorLevel	xs:integer [0..1]	床下浸水（戸）。
urf:maximumRainfallPerHour	xs:integer [0..1]	最大時間雨量。単位は㎜/h。
urf:totalRainfall	xs:integer [0..1]	総雨量。単位は mm。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。外水被害区域（河川の氾濫や堤防の決壊等により堤内地に生じた被害区域）及び内水被害区域（中小河川、下水道等の排水不良のため堤内地に生じた湛水による被害区域）の範囲を示す。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。土石流、がけ崩れの発生地点を示す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

9) urf:DisasterPreventionBase

型の定義	防災施設。 都市計画基礎調査 C0902 に示される防災施設の位置及び整備の状況の位置図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	防災施設の名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	防災施設の区分。コードリスト（C0902_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	施設を識別する識別子。
urf:capacity	xs:integer [0..1]	収容可能人数。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。一時避難地、広域避難地の外形に囲まれた範囲を示す。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。避難所、防災拠点、消防水利の中心位置を示す。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

10) urf:EconomicActivityType

型の定義	事業所数・従業者数・売上金額（C0202）の属性を記述するためのデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:numberOfOffices	urf:EconomicActivitySumType [0..*]	事業所数。
urf:numberOfEmployees	urf:EconomicActivitySumType [0..*]	従業者数。
urf:retailSales	urf:EconomicActivitySumType [0..*]	小売販売額。
urf:manufactureShipments	urf:EconomicActivitySumType [0..*]	製造品出荷額。

11) urf:EconomicActivitySumType

型の定義	事業所数・従業者数・売上金額（C0202）で使用する、産業分類と値の対となるデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:industryType	gml:CodeType [1]	産業分類。コードリスト（C0202_item.xml）から選択する。
urf:number	xs:integer [1]	産業分類に対応する事業所数、従業者数、小売販売額、又は製造品出荷額。

12) urf:FarmlandConversionType

型の定義	農地転用状況（C0305）の属性を記述するためのデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	転用箇所を識別するための識別子。
urf:yearOfDiversion	xs:gYear [0..1]	転用年。
urf:isDesignated	xs:boolean [0..1]	農業振興地域の整備に関する法律による指定の有無。 1：指定有り 0：指定なし

13) urf:ForestConversionType

型の定義	林地転用状況（C0306）の属性を記述するためのデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	転用箇所を識別するための識別子。

urf:yearOfDiversion	xs:gYear [0..1]	転用年。

14) urf:GreenSpace

型の定義	緑の状況（C0803）。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	緑被地の区分。コードリスト（GreenSpace_function.xml）から選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	緑被地の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	緑被地の外形線に囲まれた範囲を取得する。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

15) urf:ItemRecordType

型の定義	調書のレコード。 都市計画基礎調査のデータ項目のうち、調書を作成する必要があるものについて、urf:class 及び urf:item のコードとして取るべき値は、Annex B に示す。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<Union>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	調書内でレコードを一意に識別するためのラベル。
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	レコードに付与された値と、値の意味を示すコードの組合せ。

16) urf:LandPrice

型の定義	地価公示法に基づき調査・公示される各年 1 月 1 日時点の全国の標準地の情報及び国土利用計画法施行令に基づき、各都道府県知事によって行われた各年 7 月 1 日時点の地価調査結果。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	調査地点名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:pointCode	xs:string	基準地コード又は標準地コード。
urf:pointCodeOfLastYear	xs:string	前年度の基準地コード又は標準地コード。
urf:fiscalYear	xs:gYear [0..1]	対象とする地価調査の年度。西暦（半角数字 4 桁）とする。
urf:landPrice	xs:integer [0..1]	基準地の地価。単位を「円/m2」とする。ただし、林地の場合は[円/10a]とする。
urf:variability	xs:double [0..1]	対前年変動率
urf:isSelected	xs:boolean [0..1]	選定状況の変化有無。
urf:isAddressChanged	xs:boolean [0..1]	住居漢字の変化有無。
urf:isAcreageChanged	xs:boolean [0..1]	地積の変化有無。
urf:isUseChanged	xs:boolean [0..1]	利用の現況の変化有無。
urf:isBuildingStructureChanged	xs:boolean [0..1]	建物構造の変化有無。
urf:isSupplyFacilitiesChanged	xs:boolean [0..1]	供給施設の変化有無。
urf:isDistanceFromStationChanged	xs:boolean [0..1]	駅からの距離の変化有無。
urf:isUseDistrictChanged	xs:boolean [0..1]	用途区分の変化有無。
urf:isFirePreventionChanged	xs:boolean [0..1]	防火区分の変化有無。
urf:isUrbanPlanAreaChanged	xs:boolean [0..1]	都市計画区分の変化有無。
urf:isBuildingCoverageRateChanged	xs:boolean [0..1]	建ぺい率の変化有無。
urf:isFloorAreaRateChanged	xs:boolean [0..1]	容積率の変化有無。
urf:cityCode	gml:CodeType [0..*]	基準地行政区域コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:cityName	xs:string [0..1]	基準地市区町村名称。
urf:location	xs:string [0..1]	所在及び地番。
urf:address	xs:string [0..1]	住居表示。
urf:acreage	gml:MeasureType [0..1]	地積。単位は m2 とする。
urf:useStatus	xs:string [0..*]	利用現況。以下から選択する。 住宅、店舗、事務所、銀行、旅館、給油所、工場、倉庫、農地、山林、医院、空地、作業場、原野、その他、用材、雑木
urf:useStatusDescription	xs:string [0..1]	「利用現況」が“その他”の場合の利用状況（自由記述）
urf:useType	xs:string [0..1]	地目による利用区分。
urf:buildingStructure	xs:string [0..1]	標準地の建築物の構造による区別。 以下に示す「建物構造略号」＋「建物階数」で示す。ただし、建築物に地下階層がある場合は、地上階数の後に「F」、地下階数の後に「B」を記述する。 建物構造略号： SRC：鉄骨・鉄筋コンクリート RC：鉄筋コンクリート S：鉄骨造

		LS：軽量鉄骨造 B：ブロック造 W：木造 記述例） 木造で地上 2 階建の場合： W2 鉄筋コンクリートで地上 3 階地下 1 階建ての場合： RC3F1B
urf:water	xs:boolean [0..1]	供給施設有無（水道） 1：有 0：無
urf:gas	xs:boolean [0..1]	供給施設有無（ガス） 1：有 0：無
urf:sewerage	xs:boolean [0..1]	供給施設有無（下水） 1：有 0：無
urf:shape	xs:string [0..1]	基準地の形状区分
urf:frontageRate	xs:double [0..1]	間口比率（短い方を基準値 1.0 とする）
urf:depthRate	xs:double [0..1]	奥行比率（短い方を基準値 1.0 とする）
urf:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地上階層。不明な場合は 0 とする。
urf:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	地下階層。不明な場合は 0 とする。
urf:frontageRoad	xs:string [0..1]	前面道路の状況。
urf:frontageRoadDirection	xs:string [0..1]	前面道路の方位。
frontageRoadWidth	gml:LengthType [0..1]	前面道路の幅員。単位は m とする。駅前広場の場合は 999.9 とする。
urf:stationSquare	xs:string [0..1]	前面道路の駅前状況。
urf:frontageRoadSurface	xs:string [0..1]	前面道路の舗装状況。
urf:sideRoad	xs:string [0..1]	側道状況。
urf:sideRoadDirection	xs:string [0..1]	側道の方位。
urf:transportationFacilities	xs:string [0..1]	交通施設との近接状況。
urf:surroundings	xs:string [0..1]	周辺の土地利用の状況。
urf:stationName	xs:string [0..1]	最寄りの駅名。
urf:distanceFromStation	gml:LengthType	駅からの距離。単位は m とする。近接の場合は 0 とする。
urf:useDistrict	urf:LegalRestrictionValue [0..*]	用途区分。
urf:firePrevention	xs:string [0..1]	防火区分。
urf:urbanPlanType	xs:string [0..1]	都市計画区分。
urf:heightControl	xs:string [0..1]	高度地区。
urf:forest	xs:string [0..1]	森林区分。森林法の制限を受けているか。
urf:park	xs:string [0..1]	公園区分。公園法の制限を受けているか。
urf:buildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	建ぺい率。単位は%。
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	容積率。単位は%。
urf:extraFloorAreaRate	xs:string [0..1]	建築物の高さ制限容積率より減額割合の適用の区別。
urf:isSame	xs:boolean [0..1]	前年度地価公示の調査地点と共通かどうかの区別。 1：同じ 0：異なる
urf:selectionStatus	xs:string [0..1]	選定年次ビット。 昭和 58 年から最新年までの選定対象の状況について、 1：選定対象年である 0：選定対象年ではない を順番に列挙する。
urf:landPriceHistory	urf:ValueByCodes [0..*]	各年の地価。単位は円/m2 とする。

urf:attributeHistory	urf:ValueByCodes [0..*]	各年の属性移動。 コードは各年（西暦 4 桁）とする。 属性移動の下記の 14 項目について、属性移動の区分を順番に列挙する。（桁数は 14 桁） 「選定状況、住居表示、地積、利用現況、建物構造、供給施設、駅からの距離、用途区分、防火区分、都市計画区分、森林区分、公園区分、建蔽率、容積率」 「選定状況」について、 1:継続 2:標準地・基準地番号変更 4:新設・選定替えで当該年追加 ※過年度に標準地・基準地のない場合のコードは“0”となる。 「選定状況」以外について、 0:前年から変更無し 1:前年から変更有り を順番に列挙する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	地価の調査地点。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

17) urf:LandUseDiversion

型の定義	土地利用の転用。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	農地転用又は林地転用の区分。文字列により記述する。 農地が転用された場合は、農地、林地が転用された場合は林地とする。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	転用用途。 コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。

(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画基礎調査の実施主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	転用面積。単位は m2 とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	転用された土地の概ねの中心位置。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。
自身に定義された関連役割		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:farmlandConversionType	urf:FarmlandConversionType [0..1]	農地転用状況の詳細情報。
urf:forestConversionType	urf:ForestConversionType [0..1]	林地転用状況の詳細。

18) urf:NaturalConditions

型の定義	地形・水系・地質条件。 都市計画基礎調査 C0801 に示される地形・水系・地質条件の位置図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。文字列により記述する。 地形図、水系図、地質条件
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地形図、水系図又は地質条件として示される区分。コードリスト（C0801_function.xml）を作成する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。一定の範囲をもつ地物の記述に使用する。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	線。延長の長い地物や地物の外形を示す場合に使用する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。概ねの位置や特定の位置を示す場合に使用する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

19) urf:NewHousing

型の定義	C0307 新築動向。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。

(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	開発面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	建築物の識別子。
urf:purpose	gml:CodeType [0..*]	主な用途。Building_usage.xml より選択する。
urf:developer	xs:string [0..1]	事業主体。
urf:yearOfConstruction	xs:gYear [0..1]	新築年。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	概ねの位置。1 点を指定する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

20) urf:ObservationPoint

型の定義	公害の観測地点。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [1]	公害を観測した位置。

21) urf:Pollution

型の定義	公害。 都市計画基礎調査 C1004 に示される公害の発生状況の位置図の作成に使用する。

上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	被害の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	公害の種類。コードリスト（C1004_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	設置主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	事業面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上で識別する識別子。
urf:year	xs:gYear [0..1]	公害の発生年。
urf:cause	xs:string [0..1]	公害の発生源。主たる発生原因と考えられる施設等を記載。
urf:damagedArea	gml:MeasureType [0..1]	被害面積。単位は ha。 被害面積が明らかな場合に記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	被害区域。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:observationPoint	urf:ObservationPoint [0..1]	公害の観測地点。

22) urf:PopulationType

型の定義	人口規模（C0101）の属性を記述するためのデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:population	urf:PopulationByAgeAndSexType [0..*]	性別年代別人口。単位は人。
urf:populationDensity	xs:double [0..1]	人口密度。単位は人/km2

23) urf:PopulationByAgeAndSexType

型の定義	性別年齢別と人口との対となるデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:ageAndSex	gml:CodeType [1]	性別と年齢階級との組。コードリスト（Common_ageAndSex.xml）より選択する。
urf:number	xs:integer [0..1]	人口（単位：人）。

24) urf:PublicTransitFacility

型の定義	公共交通機関。鉄道路線及びバス路線を指す。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称。線路の場合は路線名、駅の場合は駅名とする。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
urf:class	gml:CodeType [0..1]	分類。コードリスト（PublicTransitFacility_class.xml）より選択する。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	機能。コードリスト（PublicTransitFacility_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上で識別する識別子。
urf:companyName	xs:string [0..1]	事業者名。
urf:companyType	gml:CodeType [0..1]	事業者区分。コードリスト（PublicTransitFacility_companyType.xml）より選択する。
urf:facilityType	gml:CodeType [0..1]	鉄道の区分。コードリスト（PublicTransitFacility_railwayType.xml）より選択する。
urf:sectionName	xs:string [0..1]	区間名。
urf:frequencyOfService	xs:integer [0..1]	1 日当たりの運行本数
urf:numberOfCustomers	xs:integer [0..1]	1 日当たりの旅客数。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	バス路線の範囲。デマンドバスのように、ルートが定められてない場合に、運行可能な範囲を面で示す。 urf:function の値が 1 の場合は線又は面で取得する。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	鉄道又はバス路線の中心線。urf:function の値が 1 の場合は線又は面で取得する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	駅又は停留所の概ねの位置。鉄道又はバス路線の中心線上に存在する。urf:function の値が 2 の場合は線で取得する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

25) urf:ResidentialDevelopmentType

型の定義	宅地開発動向（C0304）の詳細。開発許可による開発の場合に使用する属性のデータ型。調書のレコードの型としても使用する。
上位の型	urf:UrbanPlanningSurveyRecord

ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上の識別子。
urf:area	gml:MeasureType [0..1]	事業面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:projectPeriod	xs:string [0..1]	事業期間。
urf:purpose	xs:string [0..1]	主な用途。
urf:status	gml:CodeType [0..1]	進行状況。文字列により記述する。 開発許可による開発の場合は、以下の分類に沿って記述する。 ａ： 調査実施時点で完了しているもの ｂ： 現在施行中のもの、又は開発審査会による開発許可を受けたもの
urf:note	xs:string [0..1]	備考。市街化調整区域内の開発については、その旨を記す。

26) urf:Recreations

型の定義	レクリエーション施設。 野球場、陸上競技場、サッカー場・ラグビー場、テニスコート、 ゴルフ場、水泳プール、その他スポーツ施設、ボート場、ヨットハーバー、 海水浴場・潮干狩、遊園地、動物園、植物園、競輪・競馬場、観光有料道路、サイクリングコース、ハイキング・登山コース、自然歩道、キャンプ場 等。 都市計画基礎調査 C1003 に示されるレクリエーション施設の状況の位置図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	施設名。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	施設種別。 コードリスト（C1003_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	設置主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。

(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上で識別する識別子。
urf:capacity	gml:MeasureType [0..1]	施設の規模。単位は面積の場合は m2 とし、長さの場合は km とする。
urf:numberOfUsers	xs:integer [0..1]	年間利用者数（単位は人/年）。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。一定の範囲をもつ地物の記述に使用する。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	線。延長の長い地物や地物の外形を示す場合に使用する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。概ねの位置や特定の位置を示す場合に使用する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

27) urf:ScenicResource

型の定義	景観・歴史資源。 景観地区、風致地区、歴史的風致形成建造物、国宝・重要文化財（建造物）、重要有形民俗文化財、史跡、名勝、重要伝統的建造物群保存地区、伝統的建造物群保存地区、国登録有形文化財（建造物）、埋蔵文化財包蔵地、景観重要建造物、景観重要樹木、その他都道府県や市町村が選定した資源。 都市計画基礎調査 C1002 に示される景観・歴史資源等の状況の位置図の作成に使用する。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	景観・歴史資源の名称。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。以下のいずれかの値をとる。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	景観・歴史資源の区分。コードリスト（ScenicResource_function.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。

(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	有効となる期間の終了年月日を。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType	面積。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
(urf:note)	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上で識別する識別子。
urf:typeName	xs:string [0..1]	観光資源の種別名。
urf:address	xs:string [0..1]	観光資源の所在地住所。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	面。一定の範囲をもつ地物の記述に使用する。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	線。延長の長い地物や地物の外形を示す場合に使用する。
urf:lod0MultiPoint	gml:MultiPoint [0..1]	点。概ねの位置や特定の位置を示す場合に使用する。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

28) urf:SummaryRecordType

型の定義	集計表のレコード。 都市計画基礎調査のデータ項目のうち、集計表を作成する必要があるものについて、urf:class 及び urf:item のコードとして取るべき値は、Annex B に示す。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<Union>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	集計表内でレコードを一意に識別するためのコード。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	集計表内でレコードを一意に識別するためのラベル。
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	レコードに付与された値と、値の意味を示すコードの組合せ。

29) urf:UnclassifiedBlankArea

型の定義	非線引き用途白地。

上位の型	urf:_Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	公式な面積。単位は m2。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の境界線により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

30) urf:UnclassifiedUseDistrict

型の定義	非線引き用途地域。
上位の型	urf:_Zone

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	決定主体。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	公式な面積。単位は m2。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:reference)	xs:anyURI	位置図対応番号。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の境界線により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

31) urf:UrbanFacilityStatus

型の定義	都市計画基礎調査 C0501 に示される都市施設の位置・内容。 都市計画の変更を行った場合は、当初と変更のそれぞれについて作成する。
上位の型	urf:_UrbanFunction
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（(34)UrbanFacility_function.xml）に定義されていない都市施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で定められる都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は「Null」とする。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。
(urf:reference)	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	xs:string [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	計画決定時にすでに完成しているものは、事業期間は記入せずその旨を備考欄に記入する。 また、認可を受けていないものについてはその旨を備考欄に記入する。 区間・区域別に事業化されているものは、区間、区域別の事業期間を記入し、備考欄に区間区域を記入する。 都市計画の変更を行った場合、その目的について備考欄に記入する。
urf:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
自身に定義された属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	都市施設の識別子。
urf:dateOfDecision	xs:date [0..1]	決定又は変更年月日。都市計画決定情報と同一となる。
urf:facilityName	xs:string [0..1]	都市施設名称。
urf:isPlanned	xs:boolean [0..1]	計画中の場合に 1 とする。
urf:isImplemented	xs:boolean [0..1]	事業中の場合に 1 とする。
urf:costUpToLastYear	xs:double [0..1]	過年度末までの事業費。
urf:totalCost	xs:double [0..1]	総事業費。
urf:isCompleted	xs:string [0..1]	以下の改良済・概成済の延長等を含んで記載する。 改良済：用地が計画のとおり確保されており、供用している。 概成済：改良済以外の区間のうち、都市計画施設と同程度の機能している。
urf:startDate	xs:date [0..1]	事業開始年月日。現在事業中のものは記入する。事業に着手されていないもの、計画決定時にすでに完成しているものは記入しない。
urf:completedDate	xs:date [0..1]	事業完了年月日。現在事業中のものは事業 期間を記入する。事業に着手されていないもの、計画決定時にすでに完成しているものは記入しない。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市施設の区域の境界線に囲まれた範囲。
urf:lod0MultiCurve	gml:MultiCurve [0..1]	都市施設の区域の中心線。 雨水管渠、汚水管渠、合流管渠、都市下水路は線で記述する。また、座標列は流下方向に一致する。
(urf:lod0MultiPoint)	gml:MultiPoint [0..1]	都市施設の区域の代表位置。 面または線で記述するため、使用しない。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード型の属性を拡張するための仕組み。都市計画基礎調査において、標準製品仕様書では定義されていないコード型の属性を追加したい場合に使用できる。

32) urf:UrbanDevelopmentProjectType

型の定義	宅地開発状況（C0304）の詳細。市街地開発事業等による開発の場合に使用する属性のデータ型。	
上位の型	urf:UrbanPlanningSurveyRecord	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string [1]	位置図上の識別子。
urf:dateOfDecision	xs:date [0..1]	決定年月日。当初決定、変更を含む。
urf:projectName	xs:string [0..1]	市街地開発事業等の名称。
urf:plannedArea	gml:MeasureType [0..1]	計画面積。（単位は ha）
urf:ongoingArea	gml:MeasureType [0..1]	事業中面積。（単位は ha）
urf:costUpToLastFiscalYear	xs:double [0..1]	過年度までの事業費。単位は百万円。
urf:cost	xs:double [0..1]	総事業費用。 市街地開発事業等の場合は、総事業費を記述する。 単位は百万円。
urf:completedArea	gml:MeasureType [0..1]	整備済み面積。（単位は ha）
urf:projectPeriod	xs:string [0..1]	事業期間。現在事業中のものは認可を受けた事業期間を記入する。事業に着手されていないものは記入しない。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。土地区画整理事業の場合は、仮換地指定時を記述する。

33) urf:UrbanPlanningBasicSurveyTable

型の定義	都市計画基礎調査のデータ項目ごとに定められた調書又は集計表を示すデータ型。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:prefecture	gml:CodeType [1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:dataItemNumber	gml:CodeType [1]	この調書又は集計表が作成されるデータ項目の番号。コードリスト（UrbanPlanningBasicSurveyTable _dataItemNumber.xml）より選択する。
urf:tableName	xs:string [1]	この調書又は集計表の名称。 各データ項目で作成する調書及び集計表の名称を、B.2 に示す。
urf:unit	xs:string [0..1]	この調書又は集計表の作成単位。一つのデータ項目に対して、複数の調書又は集計表が作成される場合に、各々の調書又は集計表の作成する単位を記す。 例えば、C0101（人口規模）の場合、調書は「小地域」「4 分の 1 地域メッシュ」のいずれかとなる。C0106（昼間人口）の場合、調書は「小地域」「2 分の 1 地域メッシュ」のいずれかとなる。また、C0201（産業・職業分類別就業者数）の場合は、「常住地別就業者数」又は「従業地別就業者数」となる。 各データ項目について、いずれの作成単位となるかは、B.2 に示す。
urf:referenceDate	xs:date [0..1]	この調書又は集計表が作成された基準日。 C0302 土地利用現況や C0401 建物利用現況のように、市区町村が独自に実施する調査により情報を収集・整理した場合には基準日を記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:record	urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecord [1..*]	この調書又は集計表に含まれるレコード。 urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecord は抽象データ型であり、調書又は集計表に含まれる実際のレコードは、urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecord を継承する具象データ型となる。 調書の場合は、urf:ItemRecordType、集計表の場合は、urf:SummaryRecordType となる。

34) urf:ValueByCodes

型の定義	コードの組合せと値の組。 値は「整数型」、「実数型」、「単位付き計測値型」又は「文字列型」から一つを選択する。 例えば、C0101 の人口規模の場合は、性別と年齢区分の組合せが「コードの組合せ」となり、これに対応する「人数」が値となる。この時、値は「整数型」となる。
上位の型	―
ステレオタイプ	<<DataType>>

自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:class	gml:CodeType [1..*]	一つ以上のコードの組。
urf:intValue	xs:integer [0..1]	整数。
urf:doubleValue	xs:double [0..1]	実数。
urf:measureValue	gml:MeasureType [0..1]	単位付き計測値。
urf:stringValue	xs:string [0..1]	文字。

(3) Statistical Grid（i-UR）

1) urg:Population

型の定義	人口分布を示すメッシュデータ。	
上位の型	urf:_StatisticalGrid	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	メッシュコード。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urg:class)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータの区分。
(urg:value)	xs:anyType [0..*]	メッシュデータの値。
(urg:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータが属する都市計画区域の区分。
(urg:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータ が属する区域区分。
(urg:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。
(urg:city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。
urg:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urg:referenceDate	xs:date [0..1]	基準となる年月日。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urg:total	xs:integer [0..1]	総人口。
urg:daytimePopulation	xs:integer [0..1]	昼間人口。
urg:daytimePopulationDensity	xs:double [0..1]	昼間人口密度。
urg:daytimeOfficeCommuter	xs:integer [0..1]	昼間従業者数。単位は人。
urg:daytimeSchoolCommuter	xs:integer [0..1]	昼間通学者数。単位は人。
urg:daytimeUnder15	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者。15 歳未満。単位は人。
urg:daytimeOver15	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者。15 歳以上。単位は人。
urg:agriculturalWorker	xs:integer [0..1]	農林漁業従業者。単位は人。
urg:nonCommuter	xs:integer [0..1]	昼間に従業も通学もしない者合計。単位は人。
urg:naturalIncrease	xs:integer [0..1]	自然増減。
urg:births	xs:integer [0..1]	出生者数。
urg:deaths	xs:integer [0..1]	死者数。
urg:socialIncrease	xs:integer [0..1]	社会増減。
urg:moveFrom	xs:integer [0..1]	転入者数。
urg:moveTo	xs:integer [0..1]	転出者数。
urg:increasement	xs:integer [0..1]	人口増減。
urg:malePopulation	xs:integer [0..1]	男性人口。

urg:femalePopulation	xs:integer [0..1]	女性人口。
urg:populationByAgeAndSex	urg:PopulationByAgeAndSexType [0..*]	性別年齢別人口。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urg:lod-1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	メッシュデータの四隅座標により構成される面。

2) urg:PopulationByAgeAndSexType

型の定義	性別年齢別と人口との対となるデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urg:ageAndSex	gml:CodeType [1]	性別と年齢階級との組。コードリスト（Common_ageAndSex.xml）より選択する。
urg:number	xs:integer [0..1]	人口（単位：人）。

3) urg:OfficesAndEmploees

型の定義	事業所数、従業員数、売上金額を示すメッシュデータ。	
上位の型	urf:_StatisticalGrid	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	メッシュコード。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urg:class)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータの区分。
(urg:value)	xs:anyType [0..*]	メッシュデータの値。
(urg:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータが属する都市計画区域の区分。
(urg:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータ が属する区域区分。
(urg:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。
(urg:city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。
urg:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urg:referenceDate	xs:date [0..1]	基準となる年月日。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urg:numberOfOffice	xs:nonNegativeInteger [0..1]	事業所数。
urg:numberOfEmploees	xs:nonNegativeInteger [0..1]	従業員数。
urg:salesAmount	xs:nonNegativeInteger [0..1]	売上金額。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urg:lod-1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	メッシュデータの四隅座標により構成される面。

4) urg:LandSlideDisaster

型の定義	がけ崩れの発生回数を示すメッシュデータ。	
上位の型	urf:_StatisticalGrid	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	メッシュコード。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urg:class)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータの区分。
urg:value	xs:anyType [0..*]	土砂災害発生回数。
(urg:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータが属する都市計画区域の区分。
(urg:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータ が属する区域区分。
(urg:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。
(urg:city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。
urg:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urg:referenceDate	xs:date [0..1]	基準となる年月日。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(urg:dateOfOccurence)	xs:date [0..1]	発生日。
(urg:landSlideType)	urg:LandSlideTypeValue [0..1]	災害の種類。
(urg:maximumRainfallPerDay)	gml:LengthType [0..1]	当該土砂災害や雪崩が発生した際の 24 時間雨量の最大値（mm/24hr）。
(urg:maximumRainfallPerHour)	gml:LengthType [0..1]	時間あたり最大雨量（mm/h）。
(urg:slope)	xs:integer [0..1]	当該土砂災害や雪崩が発生した際の斜面勾配（○度もしくは 1／○）。
(urg:sedimentDischarge)	xs:integer [0..1]	当該土砂災害や雪崩が発生した際に流出した土砂量（m3）。
(urg:length)	gml:LengthType [0..1]	当該土砂災害や雪崩が発生した際の移動長さ（m）。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urg:lod-1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	メッシュデータの四隅座標により構成される面。

5) urg:StatusOfSightseeing

型の定義	宿泊施設数を示すメッシュデータ。 都市計画基礎調査 C1001　観光の状況の宿泊施設総数メッシュ図に使用する。	
上位の型	urf:_StatisticalGrid	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	メッシュコード。文字列により記述する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。

(urg:class)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータの区分。
(urg:value)	xs:anyType [0..*]	メッシュデータの値。
(urg:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータが属する都市計画区域の区分。
(urg:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	メッシュデータ が属する区域区分。
(urg:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。
(urg:city)	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。
urg:surveyYear	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urg:referenceDate	xs:date [0..1]	基準となる年月日。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urg:numOfHotels	xs:integer [0..1]	施設数（ホテル）。
urg:numOfRyokan	xs:integer [0..1]	施設数（旅館）。
urg:numOfPublicInn	xs:integer [0..1]	施設数（公共宿泊施設）。
urg:numOfInn	xs:integer [0..1]	施設数（民宿）。
urg:numOfCotage	xs:integer [0..1]	施設数（ペンション）。
urg:numOfTempleHotel	xs:integer [0..1]	施設数（宿坊）。
urg:numOfRentaVilla	xs:integer [0..1]	施設数（コテージ、貸別荘、山荘）。
urg:numOfYouthHostel	xs:integer [0..1]	施設数（ユースホステル）。
urg:numOfCapsuleHotel	xs:integer [0..1]	施設数（カプセルホテル）。
urg:numOfTrainingCenter	xs:integer [0..1]	施設数（研修センター）。
urg:totalAccomodations	xs:integer [0..1]	総宿泊施設数。
urg:totalCapacity	xs:integer [0..1]	総収容人数。
urg:totalRooms	xs:integer [0..1]	総部屋数。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urg:lod-1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	メッシュデータの四隅座標により構成される面。

(4) Generics（CityGML）

1) gen:GenericCityObject

型の定義	CityGML に定義されていない地物を定義するための汎用的な地物型。	
上位の型	core:_CityObject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(gml:description)	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称。コードで記述する。コードは、コードリスト（GenericCityObject_name.xml）を作成する。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:class	gml:CodeType [0..1]	汎用都市オブジェクトの区分。コードで記述する。コードは、コードリスト（GenericCityObject_class.xml）を作成する。
gen:function	gml:CodeType [0..*]	汎用都市オブジェクトの機能。コードで記述する。

		コードは、コードリスト（GenericCityObject_function.xml）を作成する。
gen:usage	gml:CodeType [0..*]	汎用都市オブジェクトの用途。コードで記述する。 コードは、コードリスト（GenericCityObject_usage.xml）を作成する。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
lod0Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD0 の形状。点又は線とする。
lod1Geometry	gml:_Geometry [0..1]	LOD1 の形状。平面とする。

2) gen:stringAttribute

型の定義	文字列型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない文字列型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:string [1]	汎用属性の値。

3) gen:intAttribute

型の定義	整数型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない整数型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:integer [1]	汎用属性の値。

4) gen:doubleAttribute

型の定義	実数型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない実数型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:double [1]	汎用属性の値。

5) gen:dateAttribute

型の定義	日付型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない日付型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:date [1]	汎用属性の値。

6) gen:uriAttribute

型の定義	URI 型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない URI 型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	xs:anyURI[1]	汎用属性の値。

7) gen:measureAttribute

型の定義	単位付き計測値型の汎用属性。CityGML 又は i-UR に定義されていない単位付き計測値型の属性を追加したい場合に使用する。	
上位の型	gen:_genericAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:name	xs:string [1]	汎用属性の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gen:value	gml:MeasureType [1]	汎用属性の値。必ず計測の単位（uom）を付ける。

4.3.4　都市計画基礎調査で使用するコードリスト及び列挙型

コードリスト及び列挙型は、属性の型として使用されるクラスである。ここで指定されたコード又は値から選択し、属性の値とする。本項で示すコードリスト及び列挙型は標準製品仕様書で使用するもののみである。拡張製品仕様書においてコードリストを追加又は変更した場合には、それぞれの拡張製品仕様書においてそのリストを示さなければならない。また、列挙型は変更することができない。

(1) Agreement_custodianType.xml

ファイル名	Agreement_custodianType.xml
コード	説明
1	都道府県
2	市区町村

(2) Building_class.xml

ファイル名	Building_class.xml
コード	説明
3001	普通建物
3002	堅ろう建物
3003	普通無壁舎
3004	堅ろう無壁舎
3000	分類しない建物

出典：地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書（案）

(3) Building_usage.xml

ファイル名	Building_usage.xml
コード	説明
401	業務施設
402	商業施設
403	宿泊施設
404	商業系複合施設
411	住宅
412	共同住宅
413	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
421	官公庁施設
422	文教厚生施設
431	運輸倉庫施設
441	工場
451	農林漁業用施設
452	供給処理施設
453	防衛施設
454	その他
461	不明

(4) BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml

ファイル名	BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml
コード	説明
401	業務施設
401101	事務所

401102	銀行
401103	会議場・展示場
401104	郵便局
401105	電話局
401106	民間研究所
401107	研修所
402	商業施設
4021	商業施設 1（百貨店、小売店、卸売店、ガソリンスタンド 等）
402101	百貨店
402102	小売店
402103	卸売店
402104	ガソリンスタンド
4022	商業施設 2（食堂、喫茶店、弁当屋・宅配 等）
402201	食堂
402202	喫茶店
402203	弁当屋・宅配
4023	商業施設 3（理容店、美容院、レンタル業、宴会場、結婚式場、習い事教室、予備校、自動車教習所、住宅展示場、その他のサービス施設）
402301	理容店
402302	美容院
402303	レンタル業
402304	宴会場
402305	結婚式場
402306	習い事教室
402307	予備校
402308	自動車教習所
402309	住宅展示場
402310	その他サービス施設
4024	商業施設 4（料理店、キャバレー、クラブ、バー、飲み屋 等）
402401	料理店
402402	キャバレー
402403	クラブ
402404	バー
402405	飲み屋
4025	商業施設 5（劇場、映画館 等）
402501	劇場
402502	映画館
4026	商業施設 6（ボーリング場、バッティングセンター、ゴルフ練習場、フィットネス、カラオケボックス、インターネットカフェ 等）
402601	ボーリング場
402602	バッティングセンター
402603	ゴルフ練習場
402604	フィットネス

402605	カラオケボックス
402606	インターネットカフェ
4027	商業施設 7（マージャン屋、パチンコ屋、馬券・車券発売所 等）
402701	マージャン屋
402702	パチンコ店
402703	馬券・車券発売所
403	宿泊施設
403101	ホテル
403102	旅館
403103	民宿
403104	ラブホテル
404	商業系複合施設
4041	商業系複合施設
411	住宅
4111	専用住宅（住宅に付随する物置、車庫を含む）
412	共同住宅
412101	アパート
412102	マンション
412103	長屋
412104	寮
413	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
421	官公庁施設
421101	国県市町村庁舎
421102	裁判所
421103	税務署
421104	警察署
421105	消防署
421106	駐在所
422	文教厚生施設
4221	文教厚生施設 1（大学、高等専門学校、各種学校、公的研究所 等）
422101	大学
422102	高等専門学校
422103	各種学校
422104	公的研究所
4222	文教厚生施設 2（小・中・高等学校、保育所 等）
422201	小・中・高等学校
422202	保育所
4223	文教厚生施設 3（図書館、博物館、文化ホール、集会所、動物園 等）
422301	図書館
422302	博物館
422303	文化ホール

422304	集会所
422305	動物園
4224	文教厚生施設 4（体育館、水泳場、野球場、陸上競技場その他のスポーツ施設（主に公共施設））
422401	体育館
422402	水泳場
422403	野球場
422404	陸上競技場その他のスポーツ施設（主に公共施設）
4225	文教厚生施設 5（病院）
4226	文教厚生施設 6（診療所、老人ホーム、介護福祉施設、公衆浴場、公衆便所 等）
422601	診療所
422602	老人ホーム
422603	介護福祉施設
422604	公衆浴場
422605	公衆便所
4227	文教厚生施設 7（神社、寺院、教会 等）
422701	神社
422702	寺院
422703	教会
431	運輸倉庫施設
4311	運輸倉庫施設 1（駅舎、電車車庫、バスターミナル、港湾・空港施設 等）
431101	駅舎
431102	電車車庫
431103	バスターミナル
431104	港湾・空港施設
4312	運輸倉庫施設 2（卸売市場、倉庫、トラックターミナル 等）
431201	卸売市場
431202	倉庫
431203	トラックターミナル
4313	運輸倉庫施設 3（立体駐車場、駐輪施設 等）
431301	立体駐車場
431302	駐輪施設
441	工場
4411	工場 1（危険物の製造、液化ガスの製造、塩素･臭素等の製造、肥料の製造、製紙、製革、アスファルトの精製、セメントの製造、金属の溶融 等（準工業地域において立地不可））
441101	危険物の製造
441102	液化ガスの製造
441103	塩素・臭素等の製造
441104	肥料の製造
441105	製紙
441106	製革
441107	アスファルトの精製
441108	セメントの製造
441109	金属の溶解

4412	工場 2（原動機を使用する 150 ㎡を超える工場、引火性溶剤を用いるドライクリー ニング、原動機を使用する岩石の粉砕、レディミクストコンクリートの製造、陶磁器・ガラスの製造 等（商業地域において立地不可））
441201	原動機を使用する 150 ㎡を超える工場
441202	引火性溶剤を用いるドライクリー ニング
441203	原動機を使用する岩石の粉砕
441204	レディミクストコンクリートの製造
441205	陶磁器・ガラスの製造
4413	工場 3（原動機を使用する 50 ㎡を超える工場、原動機を使用する魚肉の練製品の製造･セメント製品の製造･金属の加工・印刷、木工所、めっき 等（住居地域において立地不可）
441301	原動機を使用する 50 ㎡を超える工場
441302	原動機を使用する魚肉の練製品の製造･セメント製品の製造･金属の加工・印刷
441303	木工所
441304	めっき
4414	工場 4（50 ㎡以内のパン屋、米屋、豆腐屋、菓子屋その他これらに類する食品製造業を営む工場 等）
441401	50 ㎡以内のパン屋
441402	米屋
441403	豆腐屋
441404	菓子屋その他これらに類する食品製造業を営む工場
4415	工場 5（自動車修理工場）
451	農林漁業用施設
451101	農業用納屋
451102	畜舎
451103	温室
451104	船小屋
451105	農林漁業用作業場
452	供給処理施設
452101	処理場
452102	浄水場
452103	ポンプ場
452104	火葬場
452105	発電所
452106	変電所
452107	ガス・熱供給施設
453	防衛施設
454	その他
461	不明
471	空家

(5) BuildingDetailAttribute_buildingStructureType.xml

ファイル名	BuildingDetailAttribute_buildingStructureType.xml
コード	説明
601	木造・土蔵造

602	鉄骨鉄筋コンクリート造
603	鉄筋コンクリート造
604	鉄骨造
605	軽量鉄骨造
606	レンガ造・コンクリートブロック造・石造
610	非木造
611	不明

(6) BuildingDetailAttribute_fireproofStructureType.xml

ファイル名	BuildingDetailAttribute_fireproofStructureType.xml
コード	説明
1001	耐火
1002	準耐火造
1003	その他
1011	不明

(7) BuildingDetailAttribute_vacancy.xml

ファイル名	BuildingDetailAttribute_vacancy.xml
コード	説明
1	空き家
0	空き家以外

(8) C0104_class.xml

ファイル名	C0104_class.xml
値	
10	自然増減
11	出生数
12	死亡者数
20	社会増減
21	転入者数
22	転出者数
30	その他増減
40	人口増減計

(9) C0202_item.xml

ファイル名	C0202_item.xml
コード	説明
1A	事業所数;A 農業，林業
1B	事業所数;B 漁業
1C	事業所数;C 鉱業，採石業，砂利採取業
1D	事業所数;D 建設業
1E	事業所数;E 製造業
1F	事業所数;F 電気・ガス・熱供給・水道業
1G	事業所数;G 情報通信業
1H	事業所数;H 運輸業，郵便業
1I	事業所数;I 卸売業，小売業

ファイル名	C0202_item.xml
コード	説明
1J	事業所数;J 金融業，保険業
1K	事業所数;K 不動産業，物品賃貸業
1L	事業所数;L 学術研究，専門・技術サービス業
1M	事業所数;M 宿泊業，飲食サービス業
1N	事業所数;N 生活関連サービス業，娯楽業
1O	事業所数;O 教育，学習支援業
1P	事業所数;P 医療，福祉
1Q	事業所数;Q 複合サービス事業
1R	事業所数;R サービス業（他に分類されないもの）
1S	事業所数;S 公務（他に分類されるものを除く）
1T	事業所数;T 分類不能の産業
1Total	事業所数;総数
2A	従業者数;A 農業，林業
2B	従業者数;B 漁業
2C	従業者数;C 鉱業，採石業，砂利採取業
2D	従業者数;D 建設業
2E	従業者数;E 製造業
2F	従業者数;F 電気・ガス・熱供給・水道業
2G	従業者数;G 情報通信業
2H	従業者数;H 運輸業，郵便業
2I	従業者数;I 卸売業，小売業
2J	従業者数;J 金融業，保険業
2K	従業者数;K 不動産業，物品賃貸業
2L	従業者数;L 学術研究，専門・技術サービス業
2M	従業者数;M 宿泊業，飲食サービス業
2N	従業者数;N 生活関連サービス業，娯楽業
2O	従業者数;O 教育，学習支援業
2P	従業者数;P 医療，福祉
2Q	従業者数;Q 複合サービス事業
2R	従業者数;R サービス業（他に分類されないもの）
2S	従業者数;S 公務（他に分類されるものを除く）
2T	従業者数;T 分類不能の産業
2Total	従業者数;総数
3A	小売販売額;A 農業，林業
3B	小売販売額;B 漁業
3C	小売販売額;C 鉱業，採石業，砂利採取業
3D	小売販売額;D 建設業
3E	小売販売額;E 製造業
3F	小売販売額;F 電気・ガス・熱供給・水道業
3G	小売販売額;G 情報通信業
3H	小売販売額;H 運輸業，郵便業
3I	小売販売額;I 卸売業，小売業
3J	小売販売額;J 金融業，保険業
3K	小売販売額;K 不動産業，物品賃貸業
3L	小売販売額;L 学術研究，専門・技術サービス業
3M	小売販売額;M 宿泊業，飲食サービス業
3N	小売販売額;N 生活関連サービス業，娯楽業

ファイル名	C0202_item.xml
コード	説明
3O	小売販売額;O 教育，学習支援業
3P	小売販売額;P 医療，福祉
3Q	小売販売額;Q 複合サービス事業
3R	小売販売額;R サービス業（他に分類されないもの）
3S	小売販売額;S 公務（他に分類されるものを除く）
3T	小売販売額;T 分類不能の産業
3Total	小売販売額;総数
4A	製造品出荷額;A 農業，林業
4B	製造品出荷額;B 漁業
4C	製造品出荷額;C 鉱業，採石業，砂利採取業
4D	製造品出荷額;D 建設業
4E	製造品出荷額;E 製造業
4F	製造品出荷額;F 電気・ガス・熱供給・水道業
4G	製造品出荷額;G 情報通信業
4H	製造品出荷額;H 運輸業，郵便業
4I	製造品出荷額;I 卸売業，小売業
4J	製造品出荷額;J 金融業，保険業
4K	製造品出荷額;K 不動産業，物品賃貸業
4L	製造品出荷額;L 学術研究，専門・技術サービス業
4M	製造品出荷額;M 宿泊業，飲食サービス業
4N	製造品出荷額;N 生活関連サービス業，娯楽業
4O	製造品出荷額;O 教育，学習支援業
4P	製造品出荷額;P 医療，福祉
4Q	製造品出荷額;Q 複合サービス事業
4R	製造品出荷額;R サービス業（他に分類されないもの）
4S	製造品出荷額;S 公務（他に分類されるものを除く）
4T	製造品出荷額;T 分類不能の産業
4Total	製造品出荷額;総数

(10) C0304_item.xml

ファイル名	C0304_item.xml
コード	説明
1A	青地・件数
1B	青地・面積
2A	白地・件数
2B	白地・面積
3A	住宅用地・件数
3B	住宅用地・面積
4A	商業用地・件数
4B	商業用地・面積
5A	工業用地・件数
5B	工業用地・面積
6A	公共施設用地・件数
6B	公共施設用地・面積
7A	その他・件数
7B	その他・面積
8A	不明・件数

ファイル名	C0304_item.xml
コード	説明
8B	不明・面積
9B	前年末の農地面積

(11) C0401_buildingArea.xml

ファイル名	C0401_buildingArea.xml
コード	説明
701	50m2 以下
702	75 m2 以下
703	150 m2 以下
704	500 m2 以下
705	1500 m2 以下
706	1500 m2 超
711	不明
721	合計面積
722	平均面積

(12) C0401_constructionYear.xml

ファイル名	C0401_constructionYear.xml
コード	説明
901	昭和 46 年以前
902	昭和 47～昭和 56 年
903	昭和 57 年～平成元年
904	平成 2 年～平成 11 年
905	平成 12 年～平成 22 年
906	平成 22 年～平成 31 年（令和元年）
907	令和 2 年～
911	不明

(13) C0401_fireproof.xml

ファイル名	C0401_fireproof.xml
コード	説明
1001	耐火
1002	準耐火造
1003	その他
1011	不明

(14) C0401_floor.xml

ファイル名	C0401_floor.xml
コード	説明
501	地下階なし_地上 1 階
502	地下階なし_地上 2 階
503	地下階なし_地上 3 階
504	地下階なし_地上 4-5 階
505	地下階なし_地上 6-7 階
506	地下階なし_地上 8-10 階
507	地下階なし_地上 11-15 階

508	地下階なし_地上 16 階以上
511	地下階あり_地上 1 階
512	地下階あり_地上 2 階
513	地下階あり_地上 3 階
514	地下階あり_地上 4-5 階
515	地下階あり_地上 6-7 階
516	地下階あり_地上 8-10 階
517	地下階あり_地上 11-15 階
518	地下階あり_地上 16 階以上
521	不明

(15) C0401_floorArea.xml

ファイル名	C0401_floorArea.xml
コード	説明
801	50m2 以下
802	75 m2 以下
803	150 m2 以下
804	500 m2 以下
805	1500 m2 以下
806	3000m2 以下
807	3000 m2 超
811	不明
821	合計面積
822	平均面積

(16) C0401_height.xml

ファイル名	C0401_height.xml
コード	説明
1101	5m 以下
1102	10m 以下
1103	12m 以下
1104	15m 以下
1105	20 m 以下
1106	25 m 以下
1107	30 m 以下
1108	35 m 以下
1109	40 m 以下
1110	45 m 以下
1111	45m 超
1112	不明

(17) C0401_structure.xml

ファイル名	C0401_structure.xml
コード	説明
601	木造・土蔵造
602	鉄骨鉄筋コンクリート造
603	鉄筋コンクリート造
604	鉄骨造

605	軽量鉄骨造
606	レンガ造・コンクリートブロック造・石造
610	非木造
611	不明

(18) C0401_sumTarget.xml

ファイル名	C0401_sumTarget.xml
コード	説明
1	棟数
2	建築面積
3	延床面積
4	合計面積
5	平均面積

(19) C0401_total.xml

ファイル名	C0401_total.xml
コード	説明
1	棟数
2	建築面積
3	延床面積

(20) C0401_use.xml

ファイル名	C0401_use.xml
コード	説明
401	業務施設
402	商業施設
403	宿泊施設
404	商業系複合施設
411	住宅
412	共同住宅
413	店舗等併用住宅
414	店舗等併用共同住宅
415	作業所併用住宅
421	官公庁施設
422	文教厚生施設
431	運輸倉庫施設
441	工場
451	農林漁業用施設
452	供給処理施設
453	防衛施設
454	その他
461	不明
471	空家

(21) C0403_ownership.xml

ファイル名	C0403_ownership.xml
コード	説明
04019	住宅に居住する一般世帯数

ファイル名	C0403_ownership.xml
コード	説明
04020	持ち家世帯数
04021	公営・都市機構・公社の借家
04022	民営の借家
04023	給与住宅
04017	間借り
04018	その他

(22) C0403_structure.xml

ファイル名	C0403_structure.xml
コード	説明
04019	主世帯数
04020	一戸建
04021	長屋建
04022	共同住宅（1～2 階建）
04023	共同住宅（3～5 階建）
04024	共同住宅（6～10 階建）
04025	共同住宅（11 階建以上）
04026	その他

(23) C0701_useType.xml

ファイル名	C0701_useType.xml
コード	説明
1	住宅地
2	商業地
3	工業地
4	準工業地
5	宅地見込地
6	林地

(24) C0801_function.xml

都市ごとにコードリストを作成する。

ファイル名	C0801_function.xml
コード	説明
1	山地・丘陵地
2	台地
3	自然堤防
4	旧川微高地
	・・・

(25) C0804_function.xml

都市ごとにコードリストを作成する。

ファイル名	C0804_function.xml
コード	説明
1	アカマツ植林
	・・・

ファイル名	C0804_function.xml
コード	説明

(26) C0901_function.xml

ファイル名	C0901_function.xml
コード	説明
1	水害（外水（洪水、高潮、津波））
2	水害（内水）
3	土砂災害（土石流、がけ崩れ等）

(27) C0902_function.xml

ファイル名	C0902_function.xml
コード	説明
1	一時避難地
2	広域避難地
3	避難所
4	防災拠点
5	消防水利

(28) C1001_accomodation.xml

ファイル名	C1001_accomodation.xml
コード	説明
1	ホテル
2	旅館
3	公共宿泊施設
4	民宿
5	ペンション
6	宿坊
7	コテージ・貸別荘・山荘
8	ユースホステル
9	カプセルホテル
10	研修センター

(29) C1001_consumption.xml

ファイル名	C1001_consumption.xml
コード	説明
1	入込客数/ 県内居住/宿泊
2	入込客数/ 県内居住/日帰り
3	入込客数/ 県外居住/宿泊
4	入込客数/ 県外居住/日帰り
5	観光消費額/ 県内居住/宿泊
6	観光消費額/ 県内居住/日帰り
7	観光消費額/ 県外居住/宿泊
8	観光消費額/ 県外居住/日帰り

(30) C1003_function.xml

ファイル名	C1003_function.xml
コード	説明
1	野球場
2	陸上競技場
3	サッカー場・ラグビー場
4	テニスコート
5	ゴルフ場
6	水泳プール
7	その他スポーツ施設
8	ボート場
9	ヨットハーバー
10	海水浴場、潮干狩り
11	遊園地
12	動物園
13	植物園
14	競輪、競馬場
15	観光有料道路
16	サイクリングコース
17	ハイキング、登山コース
18	自然歩道
19	キャンプ場
20	その他

(31) C1004_function.xml

ファイル名	C1004_function.xml
コード	説明
1	大気汚染
2	水質汚濁
3	騒音
4	振動
5	地盤沈下
6	悪臭
7	土壌汚染
8	その他

(32) Common_ageAndSex.xml

ファイル名	Common_ageAndSex.xml
コード	説明
0101	総数、年齢「不詳」を含む
0102	総数 0-4 歳
0103	総数 5-9 歳
0104	総数 10-14 歳
0105	総数 15-19 歳
0106	総数 20-24 歳
0107	総数 25-29 歳
0108	総数 30-34 歳
0109	総数 35-39 歳
0110	総数 40-44 歳

0111	総数 45-49 歳
0112	総数 50-54 歳
0113	総数 55-59 歳
0114	総数 60-64 歳
0115	総数 65-69 歳
0116	総数 70-74 歳
0117	総数 15 歳未満
0118	総数 15～64 歳
0119	総数 65 歳以上
0120	総数 75 歳以上
2101	男性総数、年齢「不詳」を含む
2102	男性 0-4 歳
2103	男性 5-9 歳
2104	男性 10-14 歳
2105	男性 15-19 歳
2106	男性 20-24 歳
2107	男性 25-29 歳
2108	男性 30-34 歳
2109	男性 35-39 歳
2110	男性 40-44 歳
2111	男性 45-49 歳
2112	男性 50-54 歳
2113	男性 55-59 歳
2114	男性 60-64 歳
2115	男性 65-69 歳
2116	男性 70-74 歳
2117	男性 15 歳未満
2118	男性 15～64 歳
2119	男性 65 歳以上
2120	男性 75 歳以上
3101	女性総数、年齢「不詳」を含む
3102	女性 0-4 歳
3103	女性 5-9 歳
3104	女性 10-14 歳
3105	女性 15-19 歳
3106	女性 20-24 歳
3107	女性 25-29 歳
3108	女性 30-34 歳
3109	女性 35-39 歳
3110	女性 40-44 歳
3111	女性 45-49 歳
3112	女性 50-54 歳
3113	女性 55-59 歳
3114	女性 60-64 歳
3115	女性 65-69 歳
3116	女性 70-74 歳
3117	女性 15 歳未満
3118	女性 15～64 歳
3119	女性 65 歳以上

3120	女性 75 歳以上

(33) Common_ageGroupClass.xml

ファイル名	Common_ageGroupClass.xml
コード	説明
0101	総数
0102	0-4 歳
0103	5-9 歳
0104	10-14 歳
0105	15-19 歳
0106	20-24 歳
0107	25-29 歳
0108	30-34 歳
0109	35-39 歳
0110	40-44 歳
0111	45-49 歳
0112	50-54 歳
0113	55-59 歳
0114	60-64 歳
0115	65-69 歳
0116	70-74 歳
0117	15 歳未満
0118	15～64 歳
0119	65 歳以上
0120	75 歳以上

(34) Common_industryType.xml

ファイル名	Common_industryType.xml
コード	説明
A	A 農業，林業
B	B 漁業
C	C 鉱業，採石業，砂利採取業
D	D 建設業
E	E 製造業
F	F 電気・ガス・熱供給・水道業
G	G 情報通信業
H	H 運輸業，郵便業
I	I 卸売業，小売業
J	J 金融業，保険業
K	K 不動産業，物品賃貸業
L	L 学術研究，専門・技術サービス業
M	M 宿泊業，飲食サービス業
N	N 生活関連サービス業，娯楽業
O	O 教育，学習支援業
P	P 医療，福祉
Q	Q 複合サービス事業
R	R サービス業（他に分類されないもの）
S	S 公務（他に分類されるものを除く）

ファイル名	Common_industryType.xml
コード	説明
T	T 分類不能の産業

出典：日本標準産業分類

(35) Common_landUseType.xml

ファイル名	Common_landUseType.xml
コード	説明
201	田（水田）
202	畑（畑、樹園地、採草地、養鶏（牛・豚）場）
203	山林（樹林地）
204	水面（河川水面、湖沼、ため池、用水路、濠、運河水面）
205	その他自然地（原野・牧野、荒れ地（耕作放棄地等自然的状況のもの）、低湿地、河川敷・河原、海浜、湖岸）
211	住宅用地（住宅、共同住宅、店舗等併用住宅、店舗等併用共同住宅、作業所併用住宅）
212	商業用地（業務施設、商業施設、宿泊施設、商業系複合施設）
213	工業用地（工場）
219	農林漁業施設用地（農林漁業用施設）
214	公益施設用地（官公庁施設、文教厚生施設、供給処理施設）
215	道路用地（道路、駅前広場、私有地内に存在する沿道用途の「私道」または、私有地の一部分であるものの公共の通行に供されている土地の部分）
216	交通施設用地（運輸倉庫施設）
217	公共空地（公園・緑地、広場、運動場、墓園）
218	その他公的施設用地（防衛施設用地）
220	その他①（ゴルフ場）
221	その他②（太陽光発電のシステムを直接整備している土地）
222	その他③（平面駐車場）
223	その他④（その他①～③以外の用途に供されている都市的土地利用（建物跡地、資材置場、改変工事中の土地）、法面（道路、造成地等の主利用に含まれない法面））
224	低未利用土地（用途に供されていない空地、空家・空き店舗・空施設の存する土地等）
231	不明
251	可住地
252	非可住地
260	農地（田、畑の区分がない）
261	宅地（住宅用地、商業用地等の区分が無い）
262	道路・鉄軌道敷（道路と交通施設用地が混在）
263	空地（その他①～④の区分が無い）

(36) Common_occupationType.xml

ファイル名	Common_occupationType.xml
コード	説明
A	A 管理的職業従事者
B	B 専門的・技術的職業従事者
C	C 事務従事者
D	D 販売従事者
E	E サービス職業従事者

F	F 保安職業従事者
G	G 農林漁業従事者
H	H 生産工程従事者
I	I 輸送・機械運転従事者
J	J 建設・採掘従事者
K	K 運搬・清掃・包装等従事者
L	L 分類不能の職業

出典：日本標準職業分類

(37) Common_ownerType.xml

ファイル名	Common_ownerType.xml
コード	説明
1010	国
1020	都道府県
1030	市区町村
1040	公社等
9000	未調査
9010	調査対象外
9020	不明

(38) Common_sex.xml

ファイル名	Common_sex.xml
コード	説明
T	総数
M	男性
F	女性

(39) Common_urbanAreaClass.xml

ファイル名	Common_urbanAreaClass.xml
コード	説明
00	行政区域
21	都市計画区域
22	市街化区域
23	市街化調整区域
24	非線引き用途地域
25	非線引き用途白地
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外
31	居住誘導区域
32	都市機能誘導区域

(40) DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果
101	（公共測量ではない）現地測量の測量成果
102	（公共測量ではない）UAV 写真測量の測量成果
103	（公共測量ではない）空中写真測量の測量成果

104	（公共測量ではない）既成図数値化の測量成果
105	（公共測量ではない）修正測量の測量成果
106	（公共測量ではない）写真地図作成の測量成果
107	（公共測量ではない）地図編集の測量成果
108	（公共測量ではない）地上レーザ測量の測量成果
109	（公共測量ではない）UAV 写真点群測量の測量成果
110	（公共測量ではない）UAV レーザ測量の測量成果
111	（公共測量ではない）車載写真レーザ測量の測量成果
112	（公共測量ではない）航空レーザ測量の測量成果
113	（公共測量ではない）航空レーザ測深測量の測量成果
114	（公共測量ではない）路線測量の測量成果
115	（公共測量ではない）河川測量の測量成果
116	（公共測量ではない）用地測量の測量成果
117	（公共測量ではない）その他の応用測量の測量成果
118	（公共測量ではない）LidarSLAM 計測の測量成果
119	（公共測量ではない）高密度航空レーザ測量の測量成果
120	（公共測量ではない）写真点群測量の測量成果
121	（公共測量ではない）三次元数値図化の測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ
500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
700	その他の資料
801	現地調査
803	GIS データ演算
901	推定
999	未作成

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

(41) DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果
022	基盤地図情報
023	数値地形図データ
100	公共測量成果ではない測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ

500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
600	統計データ
701	建築計画概要書
700	その他の資料
801	現地調査
802	写真判読
803	GIS データ演算
999	未作成

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

(42) GenericCityObject_name.xml

ファイル名	GenericCityObject_name.xml
コード	説明
20	
21	
22	
…	

（GenericCityObject を使用する場合に作成する）

(43) GenericCityObject_class.xml

ファイル名	GenericCityObject_class.xml
コード	説明

（GenericCityObject の属性 class を使用する場合に作成する）

(44) GenericCityObject_function.xml

ファイル名	GenericCityObject_function.xml
コード	説明

（GenericCityObject の属性 function を使用する場合に作成する）

(45) GenericCityObject_usage.xml

ファイル名	GenericCityObject_usage.xml
コード	説明

（GenericCityObject の属性 function を使用する場合に作成する）

(46) GreenSpace_function.xml

ファイル名	GreenSpace_function.xml
コード	説明
1	樹林地
2	草地
3	農地
4	水面

(47) LargeCustomerFacilityAttribute_class.xml

ファイル名	LargeCustomerFacilityAttribute_class.xml
コード	説明
1	大規模小売店舗（食品スーパー）
2	大規模小売店舗（百貨店・スーパー・ショッピングセンター・寄合百貨店・小売市場）
3	大規模小売店舗（ホームセンター・専門店（家具・家電・書籍等））
4	大規模小売店舗（その他）
5	大規模集客施設（ 床面積１万㎡超の店舗、映画館、アミューズメント施設、展示場等）

(48) LegalRestrictionValue

列挙型	LegalRestrictionValue
コード	説明
1 低専	第 1 種低層住居専用地域
2 低専	第 2 種低層住居専用地域
1 中専	第 1 種中高層住居専用地域
2 中専	第 2 種中高層住居専用地域
1 住居	第 1 種住居地域
2 住居	第 2 種住居地域
準住居	準住居地域
田園住	田園住居地域
近商	近隣商業地域
商業	商業地域
準工	準工業地域
工業	工業地域
工専	工業専用地域
防火	防火地域
準防	準防火地域
調区	市街化調整区域
都市	市街化区域及び市街化調整区域以外の都市計画区域
都計外	都市計画区域外
準都計	準都市計画区域
地森計	地域森林計画対象区域
国立公（普通）	国立公園
国立公（2 種）	国立公園第二種特別地域
国立公（3 種）	国立公園第三種特別地域
国定公（2 種）	国定公園第二種特別地域
国定公（3 種）	国定公園第三種特別地域
国定公（普通）	国定公園
1 住専	第一種住居専用地域

列挙型	LegalRestrictionValue
コード	説明
2 住専	第二種住居専用地域
住居	住居地域
住専	住居専用地域

(49) PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml

ファイル名	PublicSurveyDataQualityAttribute_srcScale.xml
コード	説明
1	地図情報レベル 2500
2	地図情報レベル 1000
3	地図情報レベル 500

(50) PublicSurveyDataQualityAttribute_publicSurveySrcDesc.xml

ファイル名	PublicSurveyDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
001	現地測量の測量成果
002	UAV 写真測量の測量成果
003	空中写真測量の測量成果
004	既成図数値化の測量成果
005	修正測量の測量成果
006	写真地図作成の測量成果
007	地図編集の測量成果
008	地上レーザ測量の測量成果
009	UAV 写真点群測量の測量成果
010	UAV レーザ測量の測量成果
011	車載写真レーザ測量の測量成果
012	航空レーザ測量の測量成果
013	航空レーザ測深測量の測量成果
014	路線測量の測量成果
015	河川測量の測量成果
016	用地測量の測量成果
017	その他の応用測量の測量成果
018	LidarSLAM 計測の測量成果
019	高密度航空レーザ測量の測量成果
020	写真点群測量の測量成果
021	三次元数値図化の測量成果
022	基盤地図情報
023	数値地形図データ

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル

(51) PublicTransitFacility_class.xml

ファイル名	PublicTransitFacility_class.xml
コード	説明
1	鉄道路線

2	バス路線

(52) PublicTransitFacility_function.xml

ファイル名	PublicTransitFacility_function.xml
コード	説明
1	路線
2	駅・停留所

(53) PublicTransitFacility_companyType.xml

ファイル名	PublicTransitFacility_companyType.xml
コード	説明
01	新幹線
02	JR 在来線
03	公営鉄道
04	民営鉄道
05	第三セクター
11	路線バス（民営）
12	路線バス（公営）
13	コミュニティバス
14	デマンドバス
15	その他

(54) PublicTransitFacility_railwayType.xml

ファイル名	PublicTransitFacility_railwayType.xml
コード	説明
11	普通鉄道 JR
12	普通鉄道
13	鋼索鉄道
14	懸垂式鉄道
15	跨座式鉄道
16	案内軌条式鉄道
17	無軌条鉄道
21	軌道
22	懸垂式モノレール
23	跨子規モノレール
24	案内軌条式
25	浮上式

(55) RoadStructureAttribute_widthType.xml

ファイル名	RoadStructureAttribute_widthType.xml
コード	説明
1	15m 以上
2	6m 以上 15m 未満
3	4m 以上 6m 未満
4	4m 未満
5	不明

(56) ScenicResource_function.xml

ファイル名	ScenicResource_function.xml
コード	説明
1	自然（行催事・イベント）
2	歴史・文化
3	温泉・健康
4	スポーツ・レクリエーション
5	都市型観光・買物・食
6	その他

出典：国土数値情報

(57) UrbanPlanningBasicSurvey_class.xml

ファイル名	UrbanPlanningBasicSurvey_class.xml
コード	説明
1	人口
2	産業
3	土地利用
4	建物
5	都市施設
6	交通
7	地価
8	自然環境等
9	災害
10	その他（景観・歴史資源等）

(58) UrbanPlanningBasicSurveyTable _dataItemNumber.xml

ファイル名	UrbanPlanningBasicSurveyTable _dataItemNumber.xml
コード	説明
C0101	人口規模
C0102	DID
C0103	将来人口
C0104	人口増減
C0105	通勤・通学移動
C0106	昼間人口
C0201	産業・職業分類別就業者数
C0202	事業所数・従業者数・売上金額
C0301	区域区分の状況
C0302	土地利用現況
C0303	国公有地の状況
C0304	宅地開発状況
C0305	農地転用状況
C0306	林地転用状況
C0307	新築動向
C0308	条例・協定
C0309	農林漁業関係施策適用状況
C0401	建物利用現況
C0402	大規模小売店舗等の立地状況
C0403	住宅の所有関係別・建て方別世帯数
C0501	都市施設の位置・内容等
C0502	道路の状況

ファイル名	UrbanPlanningBasicSurveyTable _dataItemNumber.xml
コード	説明
C0601	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度
C0602	自動車流動量
C0603	鉄道・路面電車等の状況
C0604	バスの状況
C0701	地価の状況
C0801	地形・水系・地質条件
C0802	気象状況
C0803	緑の状況
C0804	動植物調査
C0901	災害の発生状況
C0902	防災施設の位置及び整備の状況
C1001	観光の状況
C1002	景観・歴史資源等の状況
C1003	レクリエーション施設の状況
C1004	公害の発生状況

4.4 都市計画決定情報モデル

都市計画決定情報モデルは、都市計画法及び関連法令に示された、都市計画図書（計画図及び計画書）に含まれる情報を地物及びその属性として定義する。

4.4.1 都市計画の区域とクラスとの対応

都市計画の区域	対応するクラス	クラス図
都市計画区域	urf:UrbanPlanningArea	(2)
準都市計画区域	urf:QuasiUrbanPlanningArea	
区域区分	urf:AreaClassification	(3)
地域地区	urf:DistrictsAndZones	(4)
用途地域	urf:UseDistrict	
特別用途地区	urf:SpecialUseDistrict	
特定用途制限地域	urf:SpecialUseRestrictionDistrict	
特例容積率適用地区	urf:ExceptionalFloorAreaRateDistrict	
高層住居誘導地区	urf:HighRiseResidentialAttractionDistrict	
高度地区	urf:HeightControlDistrict	
高度利用地区	urf:HighLevelUseDistrict	
特定街区	urf:SpecifiedBlock	
都市再生特別地区	urf:SpecialUrbanRenaissanceDistrict	
居住調整地域	urf:HousingControlArea	
居住環境向上用途誘導地区	urf:ResidentialEnvironmentImprovementDistrict	
特定用途誘導地区	urf:SpecialUseAttractionDistrict	
防火地域又は準防火地域	urf:FirePreventionDistrict	
特定防災街区整備地区	urf:SpecifiedDisasterPreventionBlockImprovementZone	
景観地区	urf:LandscapeZone	
風致地区	urf:ScenicDistrict	
駐車場整備地区	urf:ParkingPlaceDevelopmentZone	
臨港地区	urf:PortZone	
歴史的風土特別保存地区	urf:SpecialZoneForPreservationOfHistoricalLandscape	
第一種歴史的風土保存地区又は第二種歴史的風土保存地区	urf:ZoneForPreservationOfHistoricalLandscape	
緑地保全地域	urf:GreenSpaceConservationDistrict	
特別緑地保全地域	urf:SpecialGreenSpaceConservationDistrict	
緑化地域	urf:TreePlantingDistrict	
流通業務地区	urf:DistributionBusinessZone	
生産緑地地区	urf:ProductiveGreenZone	
伝統的建造物群保存地区	urf:ConservationZoneForClustersOfTraditionalStructures	
航空機騒音障害防止地区又は航空機騒音障害防止特別地区	urf:AircraftNoiseControlZoneurf:AircraftNoiseControlZone	
促進区域	urf:ProjectPromotionArea	(5)

	市街地再開発促進区域	urf:UrbanRedevelopmentPromotionArea	
	土地区画整理促進区域	urf:LandReadjustmentPromotionArea	
	住宅街区整備促進区域	urf:ResidentialBlockConstructionPromotionArea	
	拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域	urf:LandReadjustmentPromotionAreasForCoreBusinessUrbanDevelopment	
遊休土地転換利用促進地区		urf:UnusedLandUsePromotionArea	(6)
被災市街地復興推進地域		urf:UrbanDisasterRecoveryPromotionArea	(7)
都市施設		urf:UrbanFacility	(8)
	交通施設	urf:TrafficFacility	(9)
	公共空地	urf:OpenSpaceForPublicUse	(10)
	供給施設及び処理施設	urf:SupplyFacility, urf:TreatmentFacility	(11)
	水路	urf:Waterway	(12)
	教育文化施設	urf:EducationalAndCulturalFacility	(13)
	医療施設及び社会福祉施設	urf:MedicalFacility, urf:SocialWelfareFacility	(14)
	市場、と畜場、火葬場	urf:MarketsSlaughterhousesCrematoria	(15)
	一団地の住宅施設	urf:CollectiveHousingFacilities	(8)
	一団地の官公庁施設	urf:CollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities	
	流通業務団地	urf:DistributionBusinessPark	
	一団地の津波防災拠点市街地形成施設	urf:CollectiveFacilitiesForTsunamiDisasterPrevention	
	一団地の復興再生拠点市街地形成施設	urf:CollectiveFacilitiesForReconstructionAndRevitalization	
	一団地の復興拠点市街地形成施設	urf:CollectiveFacilitiesForReconstruction	
	一団地の都市安全確保拠点施設	urf:CollectiveUrbanDisasterPreventionFacilities	
	政令で定める都市施設	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
	電気通信施設	urf:TelecommunicationFacility	
	防風施設	urf:WindProtectionFacility	
	防火施設	urf:FireProtectionFacility	
	防潮施設	urf:TideFacility	
	防水施設	urf:FloodPreventionFacility	
	防雪施設	urf:SnowProtectionFacility	
	防砂施設	urf:SandControlFacility	
市街地開発事業		urf:UrbanDevelopmentProject	(16)
	土地区画整理事業	urf:LandReadjustmentProject	
	新住宅市街地開発事業	urf:NewHousingAndUrbanDevelopmentProject	
	工業団地造成事業	urf:IndustrialParkDevelopmentProject	
	市街地再開発事業	urf:UrbanRedevelopmentProject	
	新都市基盤整備事業	urf:NewUrbanInfrastructureProject	
	住宅街区整備事業	urf:ResidentialBlockConstructionProject	
	防災街区整備事業	urf:DisasterPreventionBlockImprovementProject	
	市街地改造事業	urf:UrbanRenewalProject	
市街地開発事業等の予定区域		urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	(17)
	新住宅市街地開発事業の予定区域	urf:ScheduledAreaForNewHousingAndUrbanDevelopmentProjects	
	工業団地造成事業の予定区域	urf:ScheduledAreaForIndustrialParkDevelopmentProjects	
	新都市基盤整備事業の予定区域	urf:ScheduledAreaForNewUrbanInfrastructureProjects	

	一団地の住宅施設の予定区域	urf:ScheduledAreaForCollectiveHousingFacilities	
	一団地の官公庁施設の予定区域	urf:ScheduledAreaForCollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities	
	流通業務団地の予定区域	urf:ScheduledAreaForDistributionBusinessPark	
地区計画等			(18)
	地区計画	urf:DistrictPlan	
	地区整備計画	urf:DistrictDevelopmentPlan	
	地区施設	urf:DistrictFacilityurf:DistrictFacility	
	沿道地区計画	urf:RoadsideDistrictPlan	
	沿道地区整備計画	urf:RoadsideDistrictImprovementPlan	
	沿道地区施設	urf:RoadsideDistrictFacility	
	集落地区計画	urf:RuralDistrictPlan	
	集落地整備計画	urf:RuralDistrictImprovementPlan	
	集落施設	urf:RuralDistrictFacility	
	歴史的風致維持向上地区計画	urf:HistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrictPlan	
	歴史的風致維持向上地区整備計画	urf:DistrictImprovementPlanForHistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrict	
	防災街区整備地区計画	urf:DisasterPreventionBlockImprovementZonePlan	
	特定建築物地区整備計画	urf:SpecifiedBuildingZoneImprovementPlan	
	特定地区防災施設	urf:ZonalDisasterPreventionFacility	
	防災街区整備地区整備計画	urf:DistrictImprovementPlanForDisasterPreventionBlockImprovementZonePlan	
	地区防災施設	urf:ZonalDisasterPreventionFacility	
立体的な範囲		urf:ThreeDimensionalExtent	(19)
境界		urf:Boundary	(19)
立地適正化計画			(20)
	都市機能誘導区域	urf:UrbanFunctionAttractionArea	
	居住誘導区域	urf:ResidenceAttractionArea	

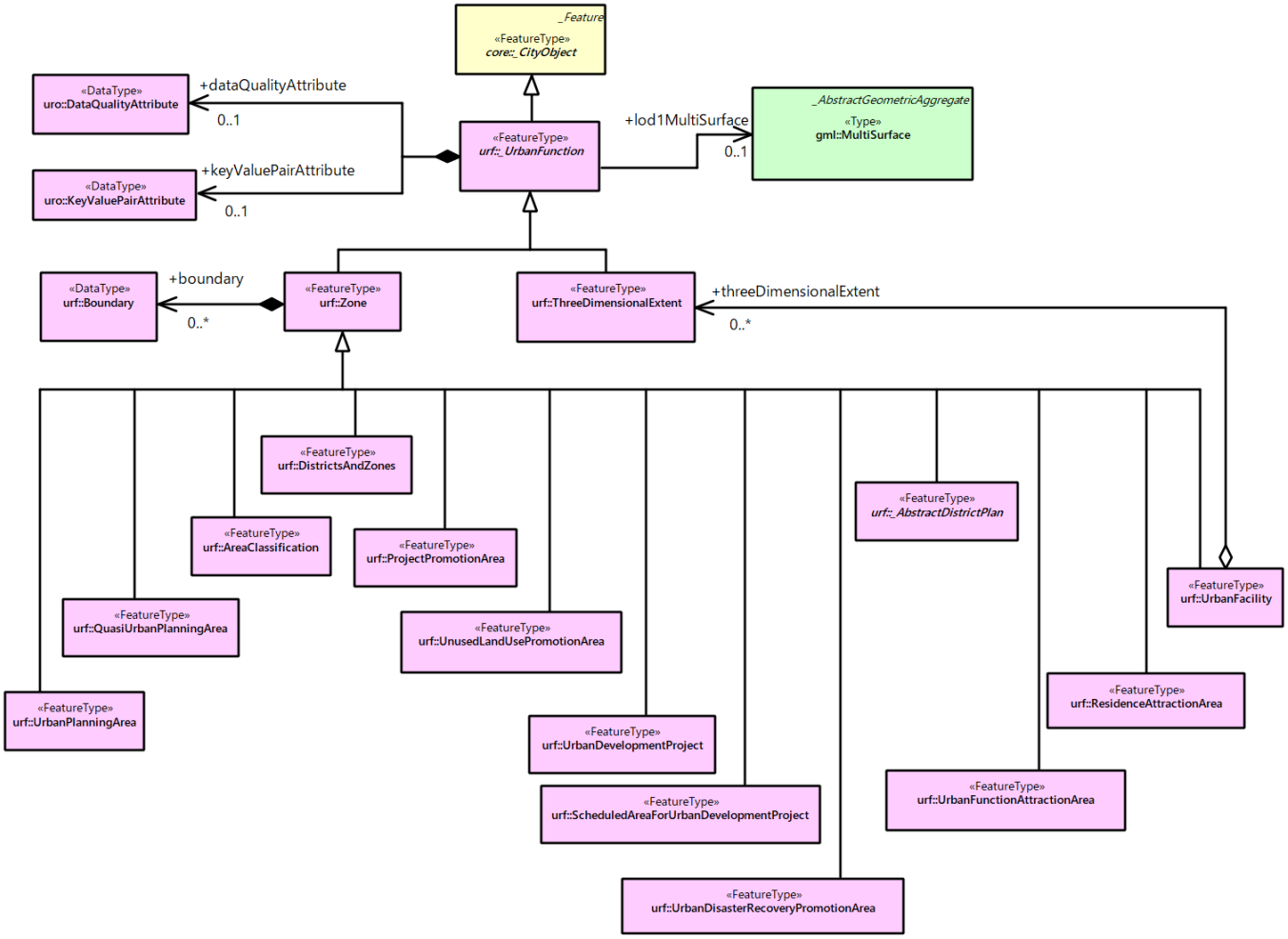
4.4.2　応用スキーマクラス図

(1)　都市計画決定情報の概要

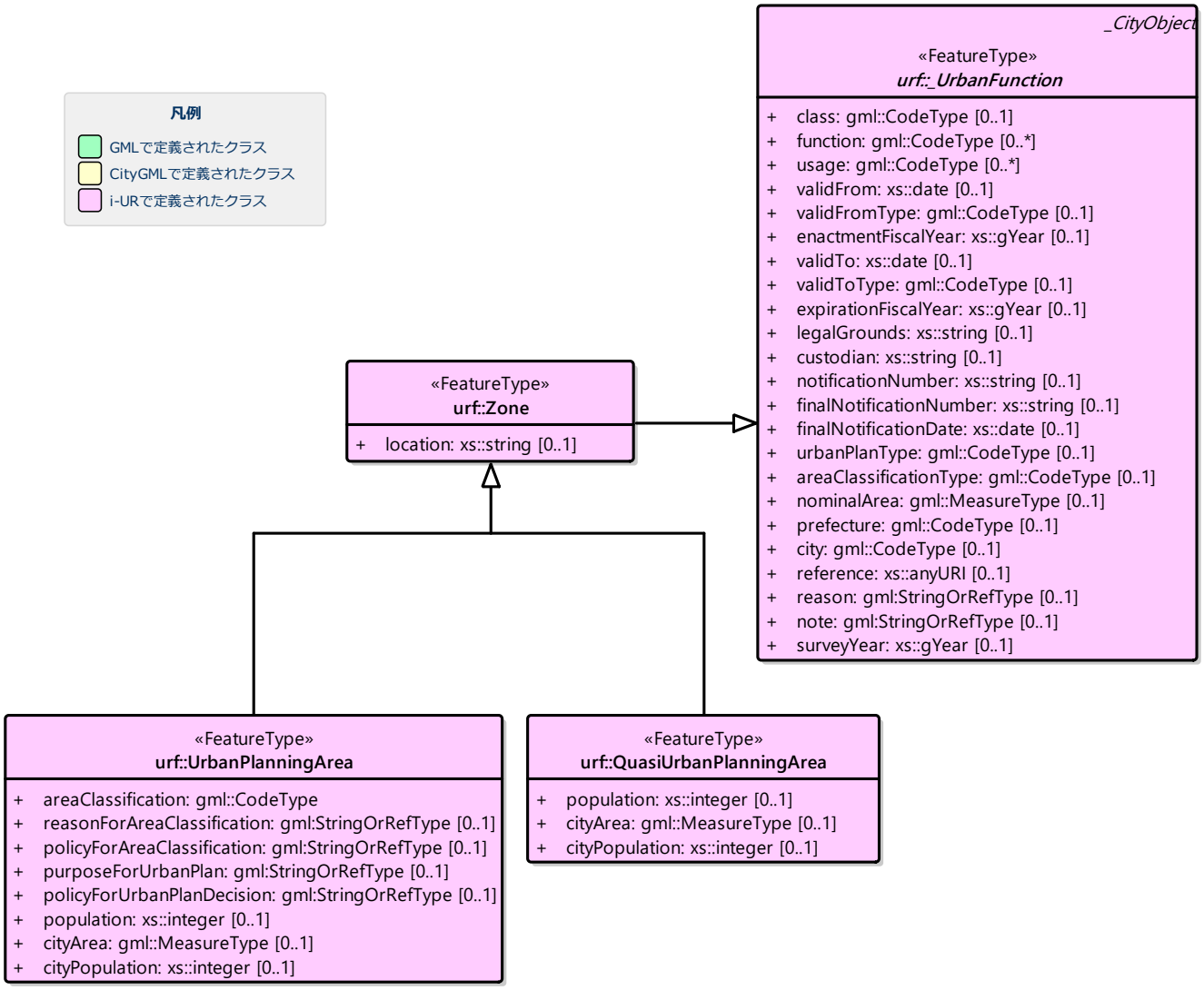
都市計画決定情報の各地物型は、法的な区域である urf:Zone を継承し、都市計画区域（urf:UrbanPlanningArea）、区域区分（urf:AreaClassification）など、都市計画の区域として定義される。これらの区域には立地適正化計画で定められる区域も含む。

都市計画の区域は、境界（urf:Boundary）をもつことができる。また、都市施設（urf:UrbanFacility）は立体的な範囲（urf:ThreeDimensionExtent）をもつことができる。

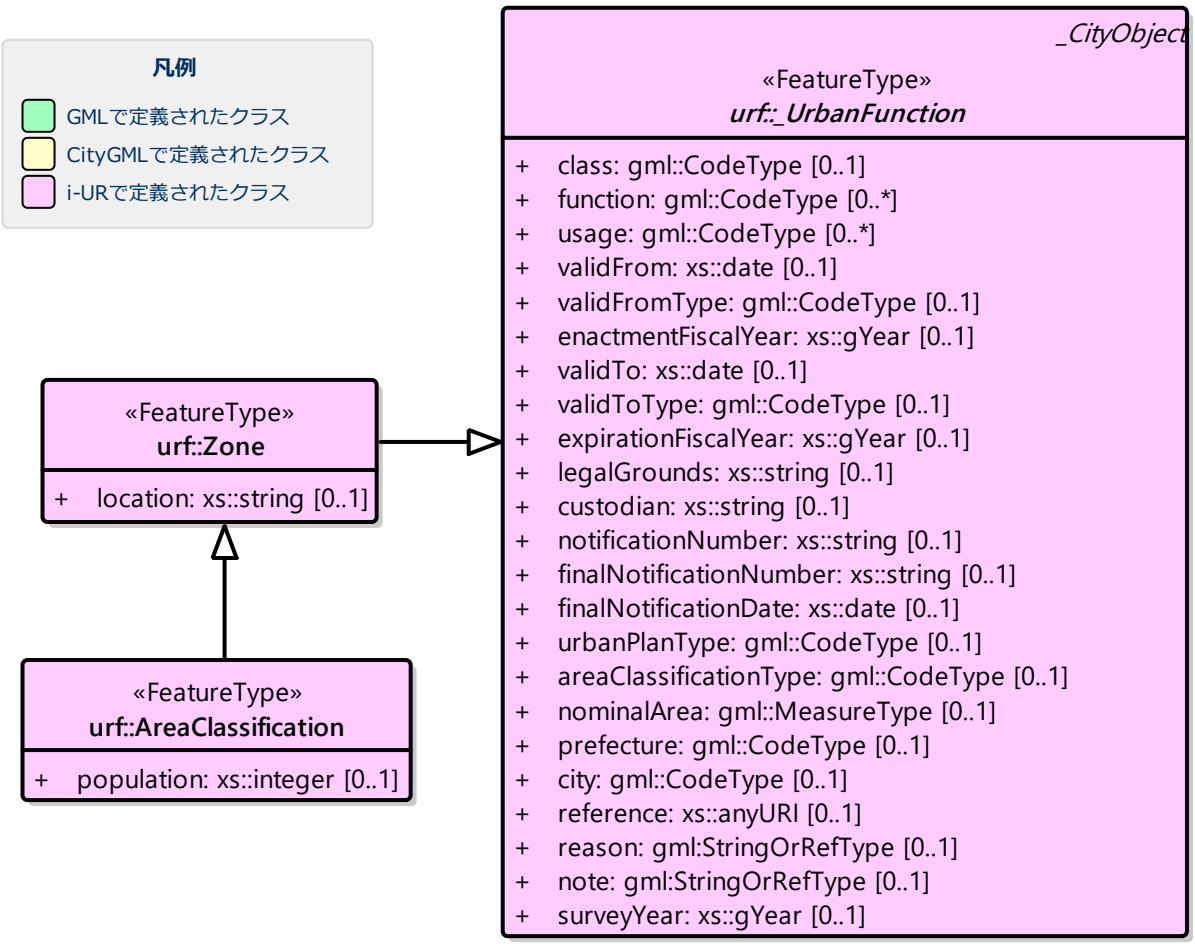
さらに、作成に使用する原典資料を品質情報（uro:DataQualityAttribute）として記録したり、不足する属性を追加（uro:KeyValuePairAttribute）を追加したりできる。



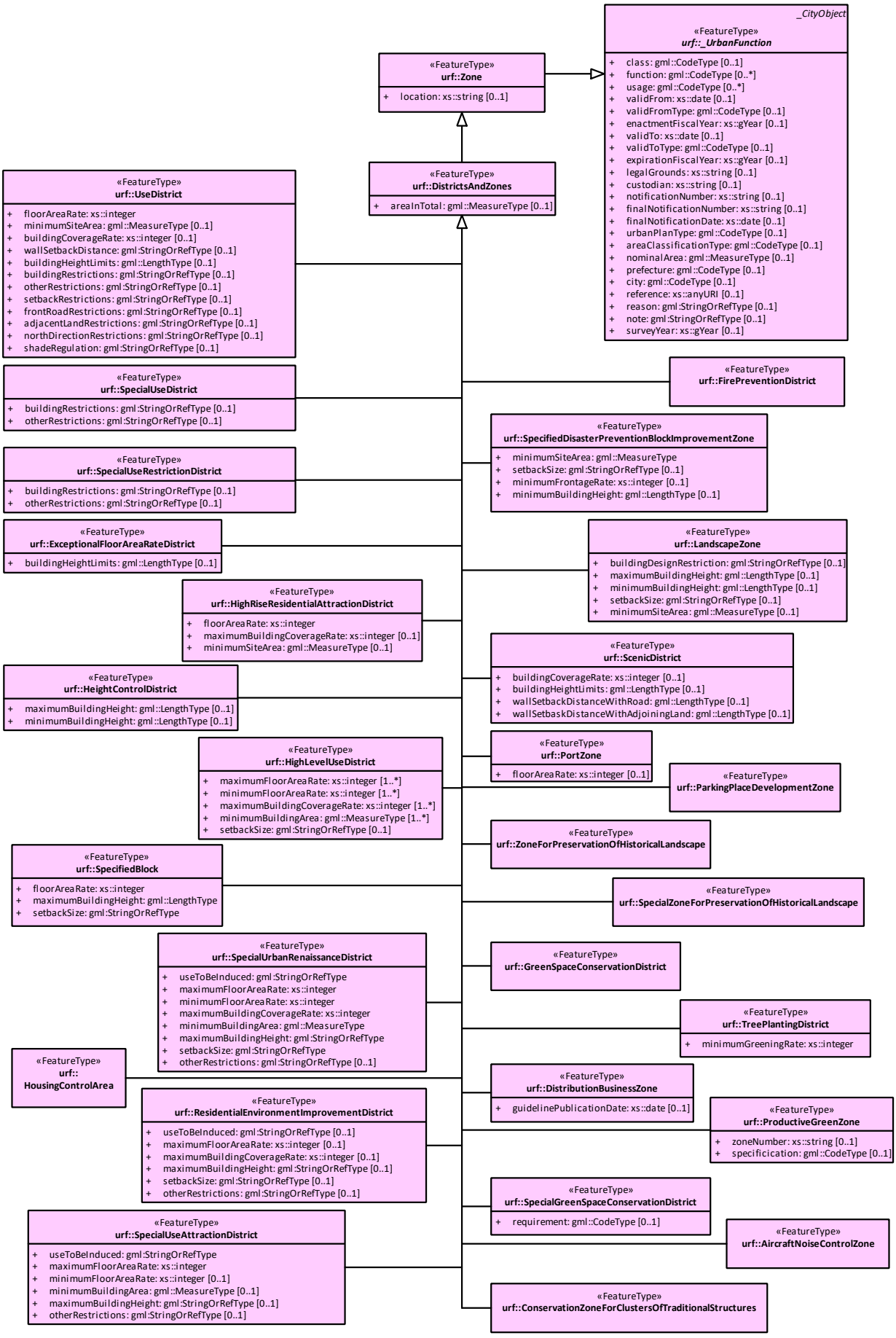
(2) 都市計画区域、準都市計画区域



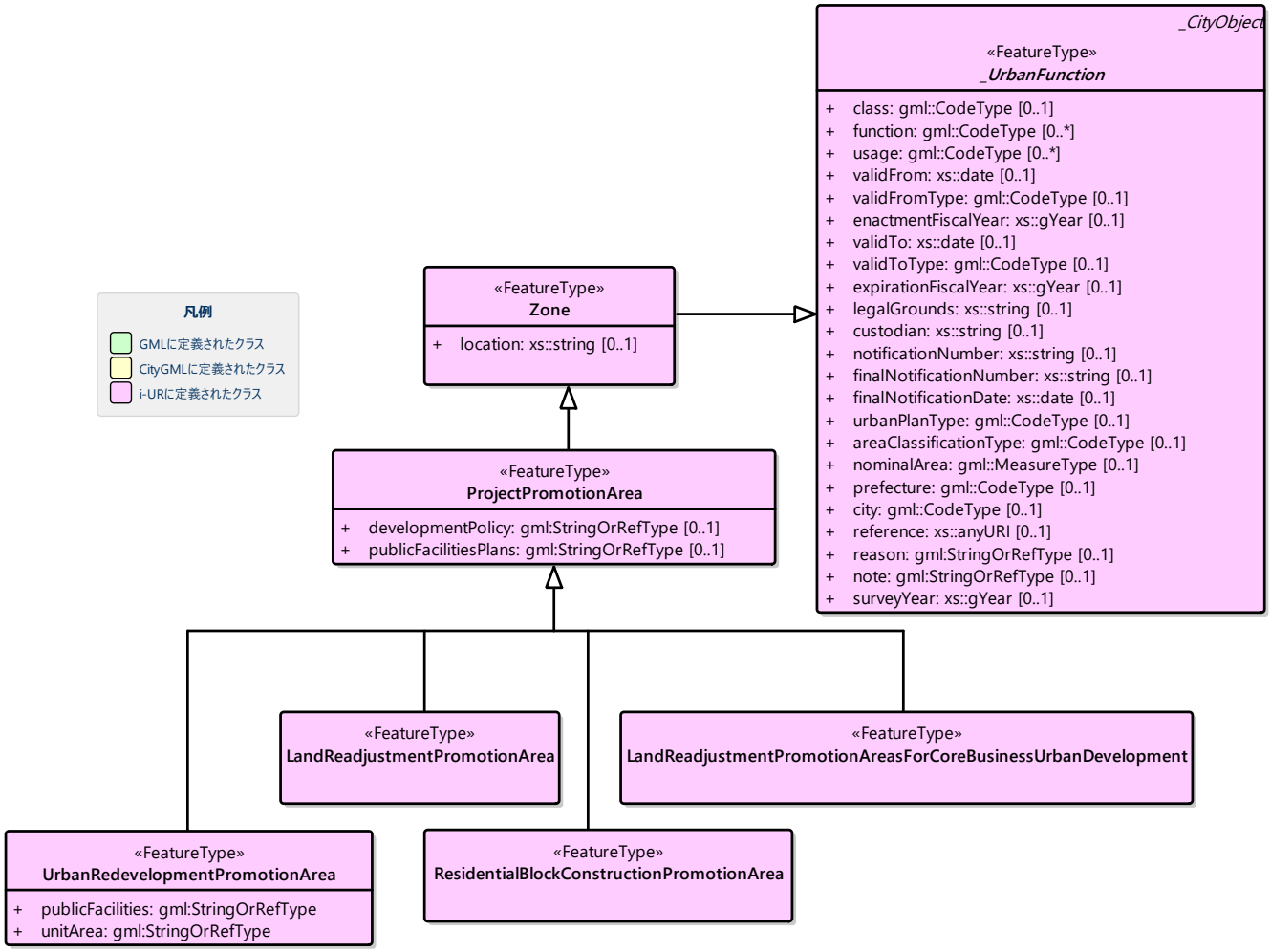
(3) 区域区分


凡例
GMLで定義されたクラス
CityGMLで定義されたクラス
i-URで定義されたクラス
«FeatureType»
urf::Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::AreaClassification
+ population: xs::integer [0..1]
_CityObject
«FeatureType»
urf::_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]

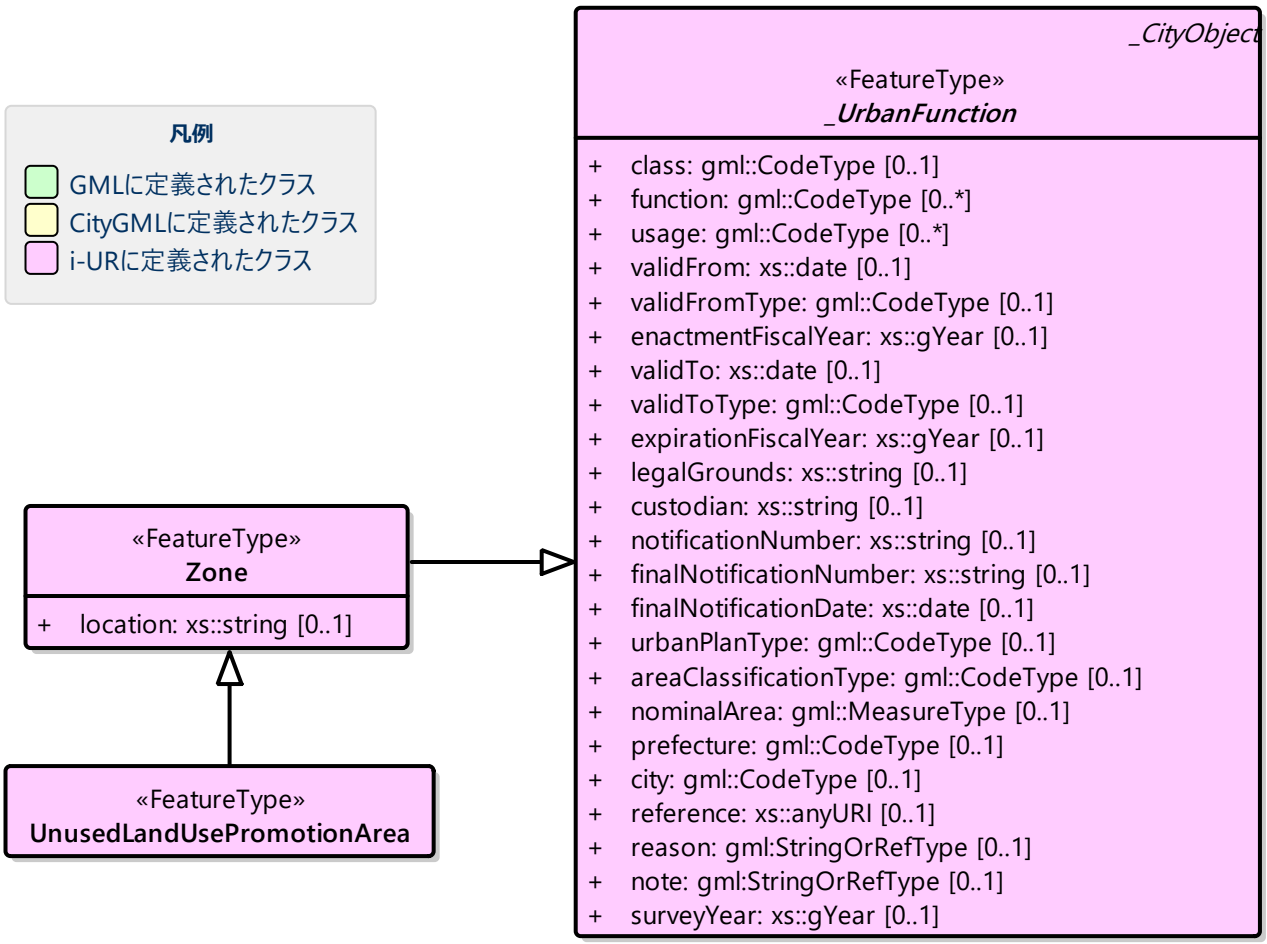
(4) 地域地区及び用途地域



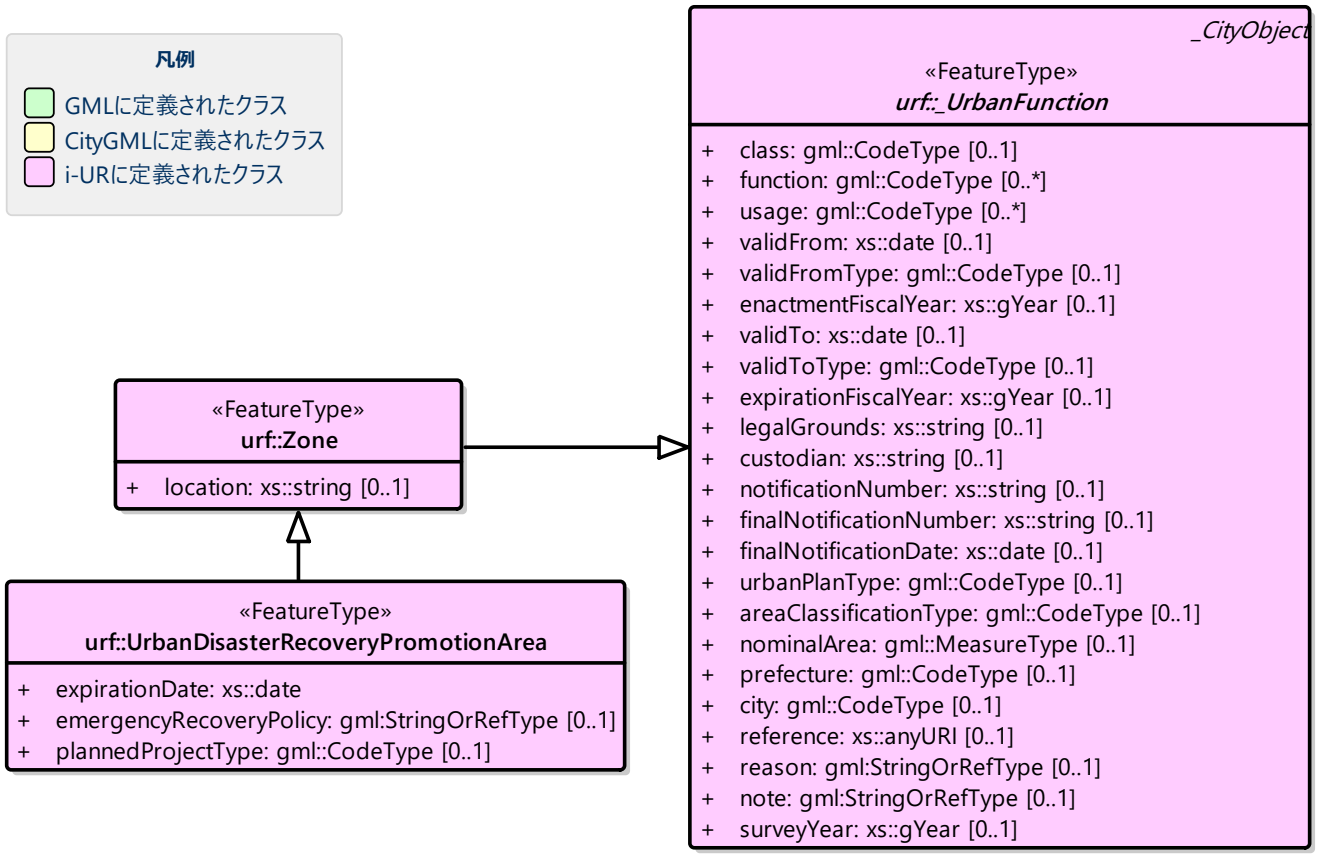
(5) 促進区域


凡例
GMLに定義されたクラス
CityGMLに定義されたクラス
i-URに定義されたクラス
«FeatureType»
Zone
+ location: xs::string [0..1]
_CityObject
«FeatureType»
_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
«FeatureType»
ProjectPromotionArea
+ developmentPolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
+ publicFacilitiesPlans: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
LandReadjustmentPromotionArea
«FeatureType»
LandReadjustmentPromotionAreasForCoreBusinessUrbanDevelopment
«FeatureType»
UrbanRedevelopmentPromotionArea
+ publicFacilities: gml:StringOrRefType
+ unitArea: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
ResidentialBlockConstructionPromotionArea

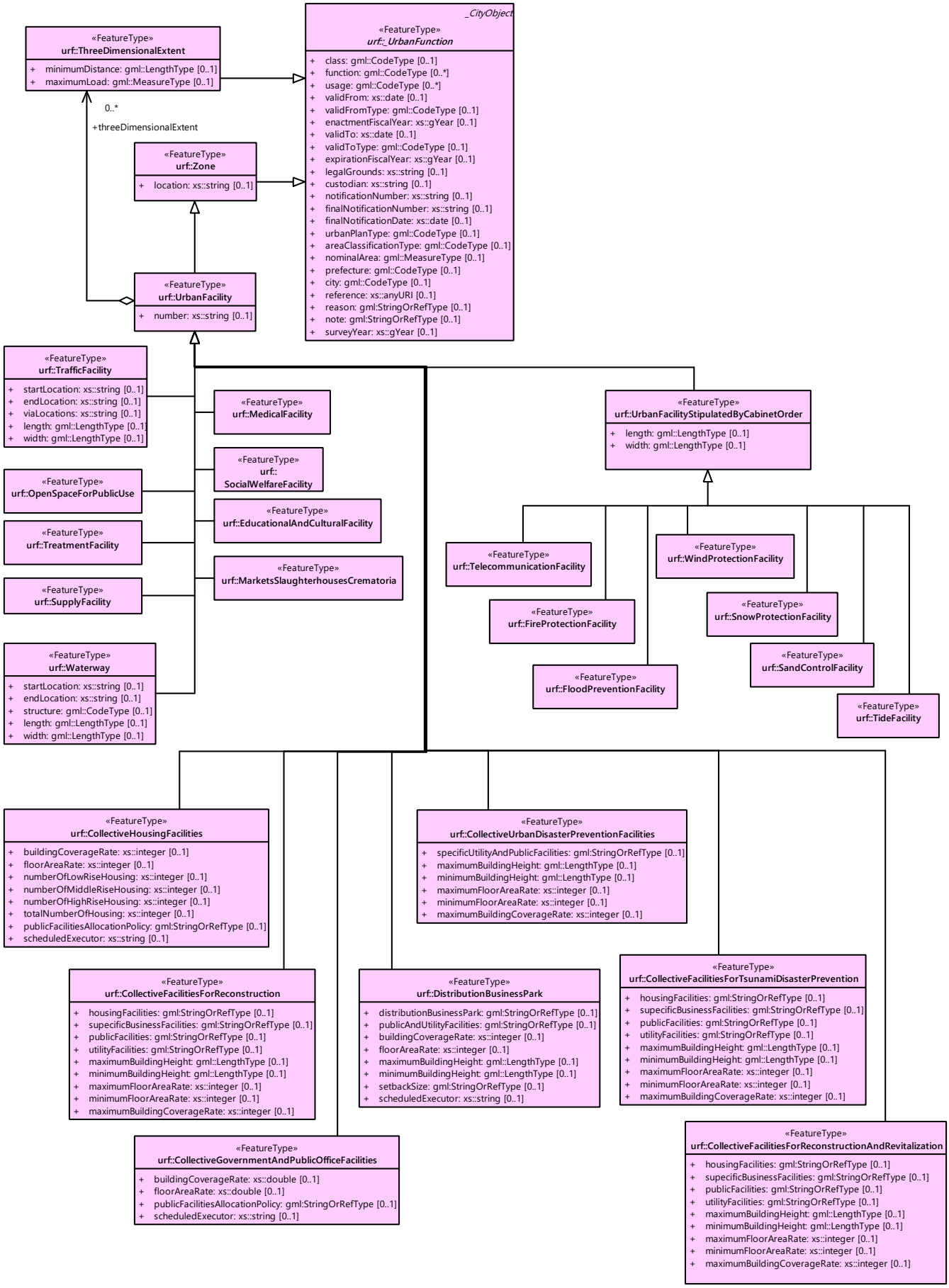
(6) 遊休土地転換利用促進地区



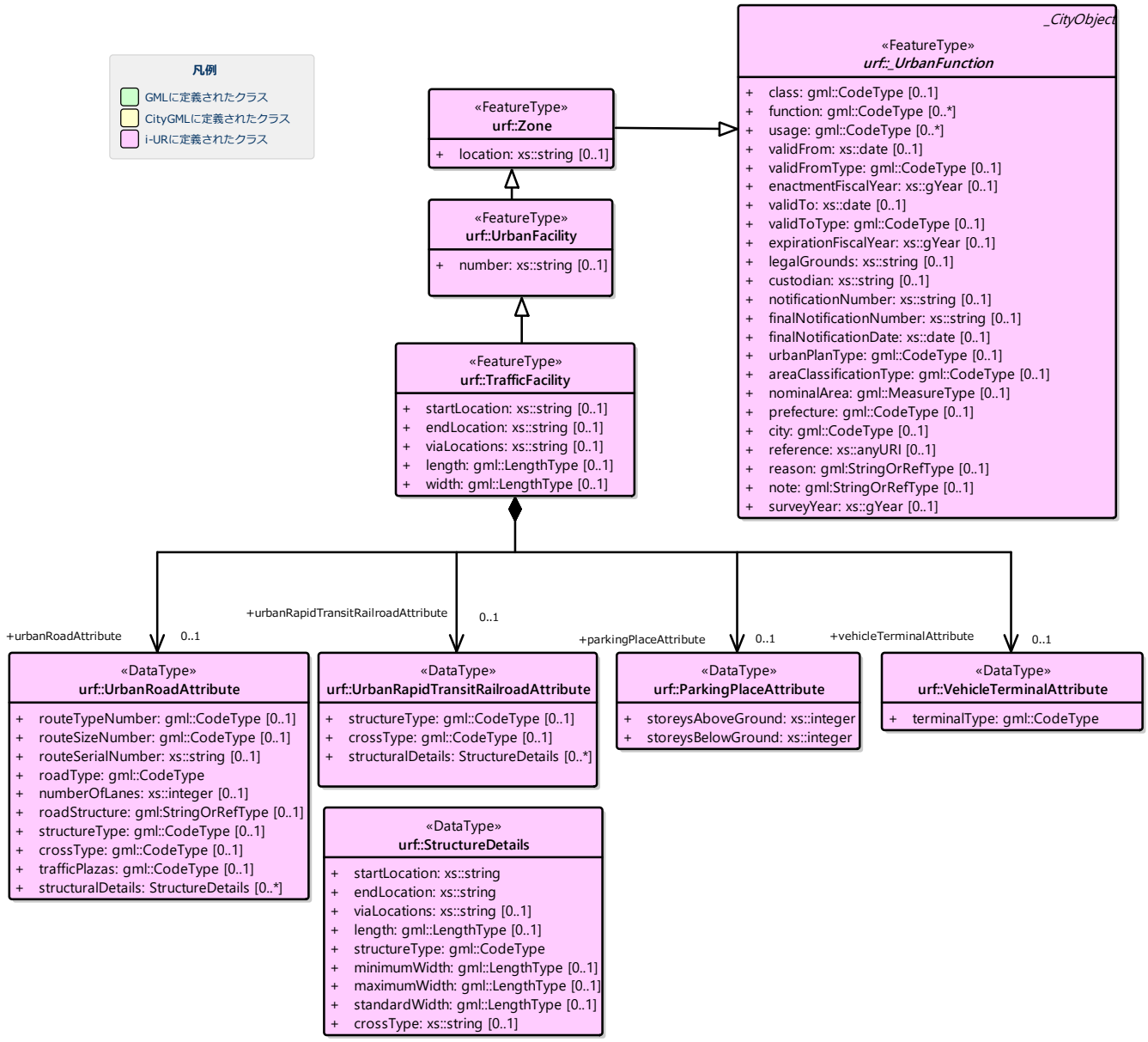
(7) 被災市街地復興推進地域



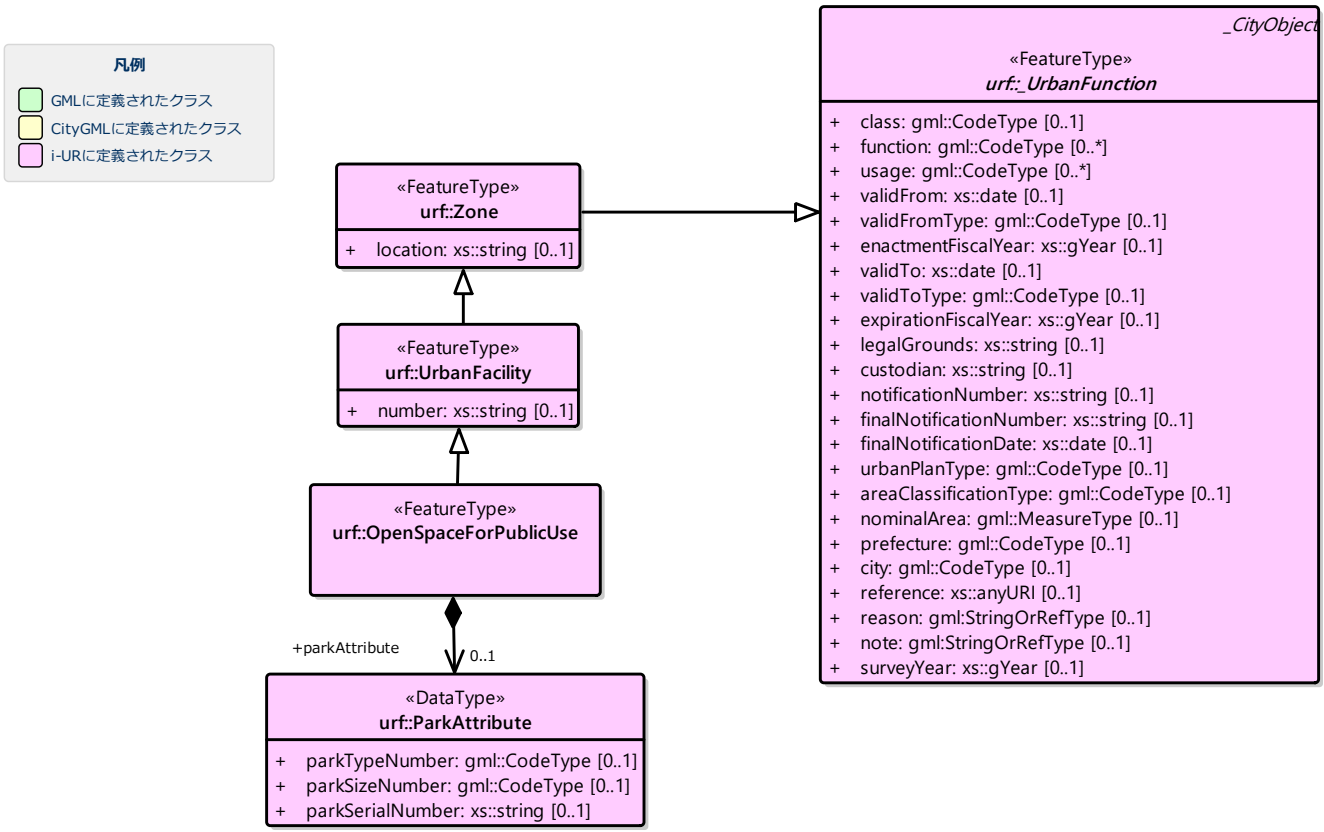
(8) 都市施設


«FeatureType»
urf::ThreeDimensionalExtent
+ minimumDistance: gml::LengthType [0..1]
+ maximumLoad: gml::MeasureType [0..1]
0..*
+threeDimensionalExtent
_CityObject
«FeatureType»
urf::_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
«FeatureType»
urf::Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::UrbanFacility
+ number: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::TrafficFacility
+ startLocation: xs::string [0..1]
+ endLocation: xs::string [0..1]
+ viaLocations: xs::string [0..1]
+ length: gml::LengthType [0..1]
+ width: gml::LengthType [0..1]
«FeatureType»
urf::MedicalFacility
«FeatureType»
urf::
SocialWelfareFacility
«FeatureType»
urf::OpenSpaceForPublicUse
«FeatureType»
urf::EducationalAndCulturalFacility
«FeatureType»
urf::TreatmentFacility
«FeatureType»
urf::MarketsSlaughterhousesCrematoria
«FeatureType»
urf::SupplyFacility
«FeatureType»
urf::Waterway
+ startLocation: xs::string [0..1]
+ endLocation: xs::string [0..1]
+ structure: gml::CodeType [0..1]
+ length: gml::LengthType [0..1]
+ width: gml::LengthType [0..1]
«FeatureType»
urf::UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder
+ length: gml::LengthType [0..1]
+ width: gml::LengthType [0..1]
«FeatureType»
urf::TelecommunicationFacility
«FeatureType»
urf::WindProtectionFacility
«FeatureType»
urf::FireProtectionFacility
«FeatureType»
urf::SnowProtectionFacility
«FeatureType»
urf::SandControlFacility
«FeatureType»
urf::FloodPreventionFacility
«FeatureType»
urf::TideFacility
«FeatureType»
urf::CollectiveHousingFacilities
+ buildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
+ floorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ numberOfLowRiseHousing: xs::integer [0..1]
+ numberOfMiddleRiseHousing: xs::integer [0..1]
+ numberOfHighRiseHousing: xs::integer [0..1]
+ totalNumberOfHousing: xs::integer [0..1]
+ publicFacilitiesAllocationPolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
+ scheduledExecutor: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::CollectiveUrbanDisasterPreventionFacilities
+ specificUtilityAndPublicFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ maximumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ minimumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
«FeatureType»
urf::CollectiveFacilitiesForReconstruction
+ housingFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ supecificBusinessFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ publicFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ utilityFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ maximumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ minimumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
«FeatureType»
urf::DistributionBusinessPark
+ distributionBusinessPark: gml:StringOrRefType [0..1]
+ publicAndUtilityFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ buildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
+ floorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ setbackSize: gml:StringOrRefType [0..1]
+ scheduledExecutor: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::CollectiveFacilitiesForTsunamiDisasterPrevention
+ housingFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ supecificBusinessFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ publicFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ utilityFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ maximumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ minimumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
«FeatureType»
urf::CollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities
+ buildingCoverageRate: xs::double [0..1]
+ floorAreaRate: xs::double [0..1]
+ publicFacilitiesAllocationPolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
+ scheduledExecutor: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::CollectiveFacilitiesForReconstructionAndRevitalization
+ housingFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ supecificBusinessFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ publicFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ utilityFacilities: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ maximumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ minimumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]

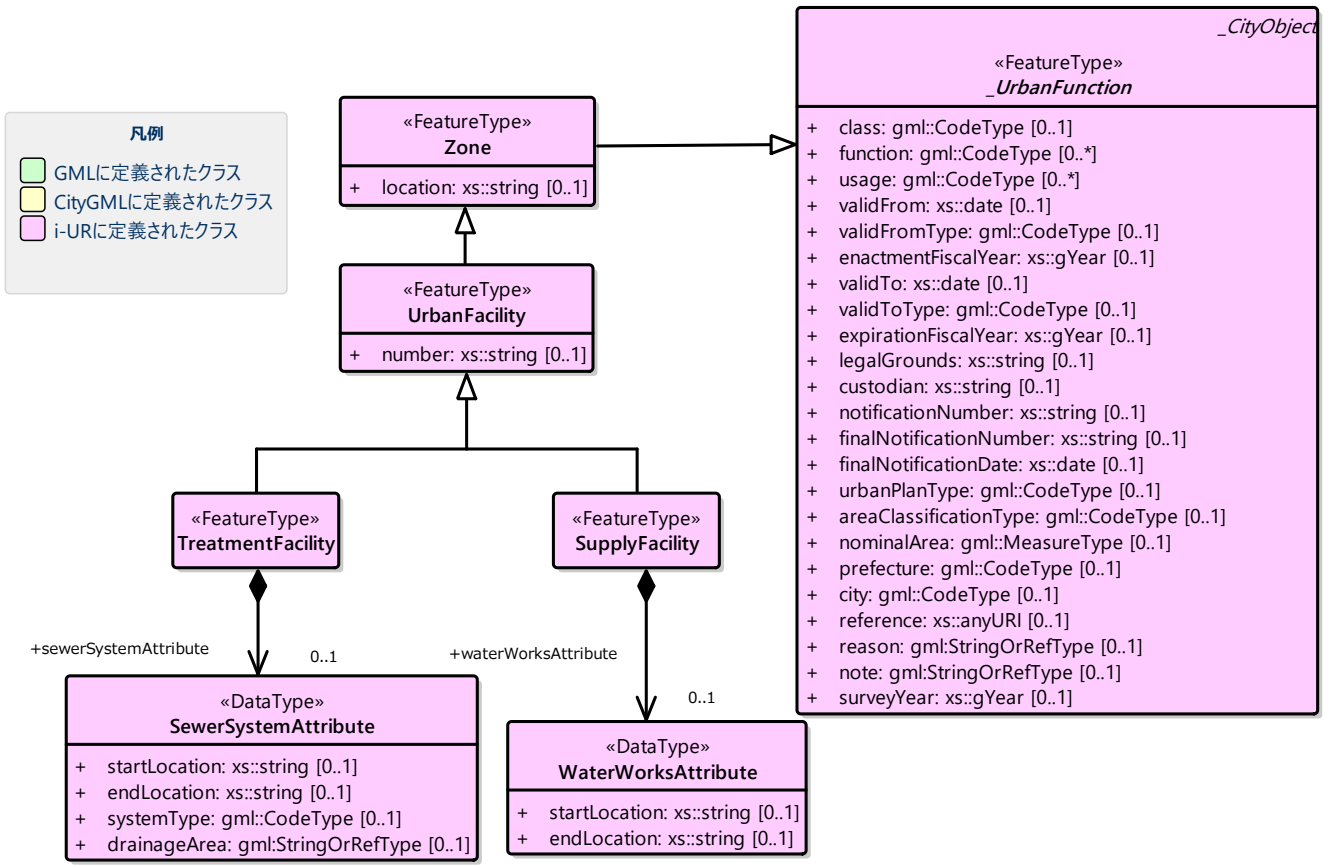
(9) 交通施設


凡例
GMLに定義されたクラス
CityGMLに定義されたクラス
i-URに定義されたクラス
«FeatureType»
urf::Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::UrbanFacility
+ number: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::TrafficFacility
+ startLocation: xs::string [0..1]
+ endLocation: xs::string [0..1]
+ viaLocations: xs::string [0..1]
+ length: gml::LengthType [0..1]
+ width: gml::LengthType [0..1]
_CityObject
«FeatureType»
urf::_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
+urbanRoadAttribute
0..1
+urbanRapidTransitRailroadAttribute
0..1
+parkingPlaceAttribute
0..1
+vehicleTerminalAttribute
0..1
«DataType»
urf::UrbanRoadAttribute
+ routeTypeNumber: gml::CodeType [0..1]
+ routeSizeNumber: gml::CodeType [0..1]
+ routeSerialNumber: xs::string [0..1]
+ roadType: gml::CodeType
+ numberOfLanes: xs::integer [0..1]
+ roadStructure: gml:StringOrRefType [0..1]
+ structureType: gml::CodeType [0..1]
+ crossType: gml::CodeType [0..1]
+ trafficPlazas: gml::CodeType [0..1]
+ structuralDetails: StructureDetails [0..*]
«DataType»
urf::UrbanRapidTransitRailroadAttribute
+ structureType: gml::CodeType [0..1]
+ crossType: gml::CodeType [0..1]
+ structuralDetails: StructureDetails [0..*]
«DataType»
urf::ParkingPlaceAttribute
+ storeysAboveGround: xs::integer
+ storeysBelowGround: xs::integer
«DataType»
urf::VehicleTerminalAttribute
+ terminalType: gml::CodeType
«DataType»
urf::StructureDetails
+ startLocation: xs::string
+ endLocation: xs::string
+ viaLocations: xs::string [0..1]
+ length: gml::LengthType [0..1]
+ structureType: gml::CodeType
+ minimumWidth: gml::LengthType [0..1]
+ maximumWidth: gml::LengthType [0..1]
+ standardWidth: gml::LengthType [0..1]
+ crossType: xs::string [0..1]

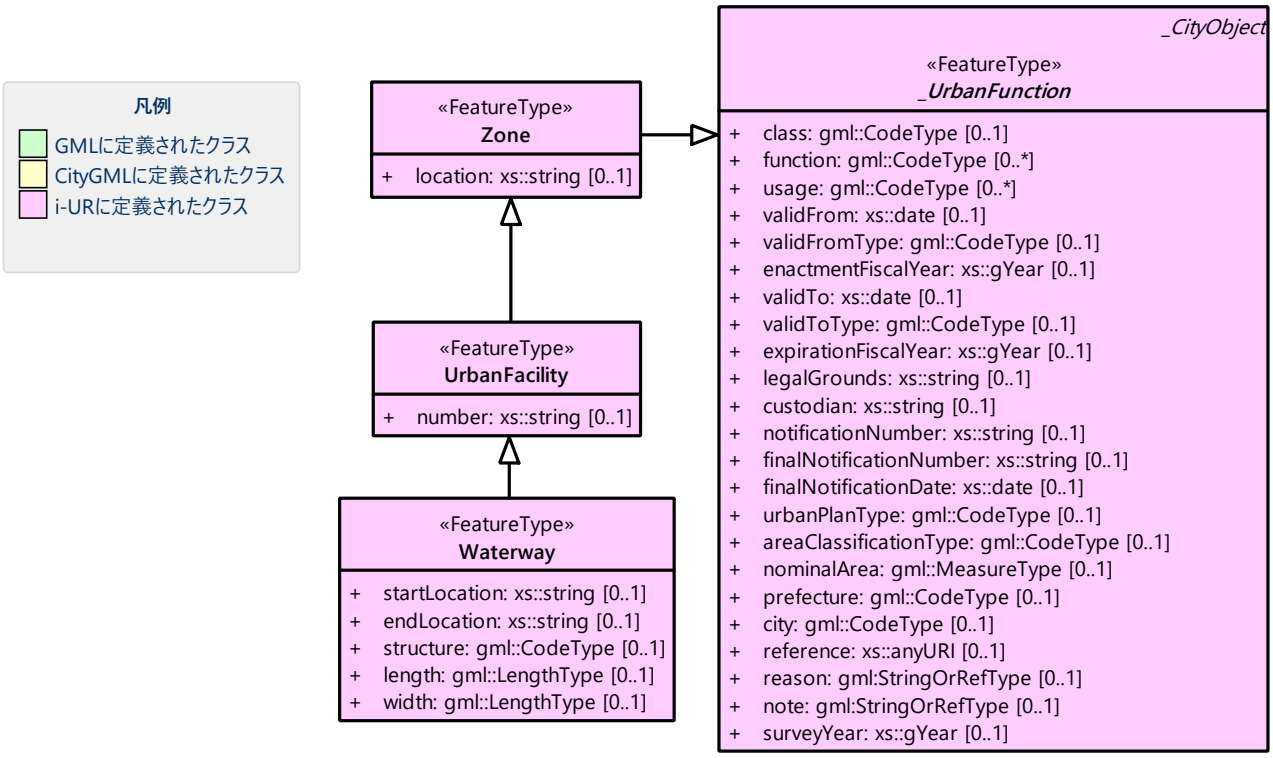
(10) 公共空地



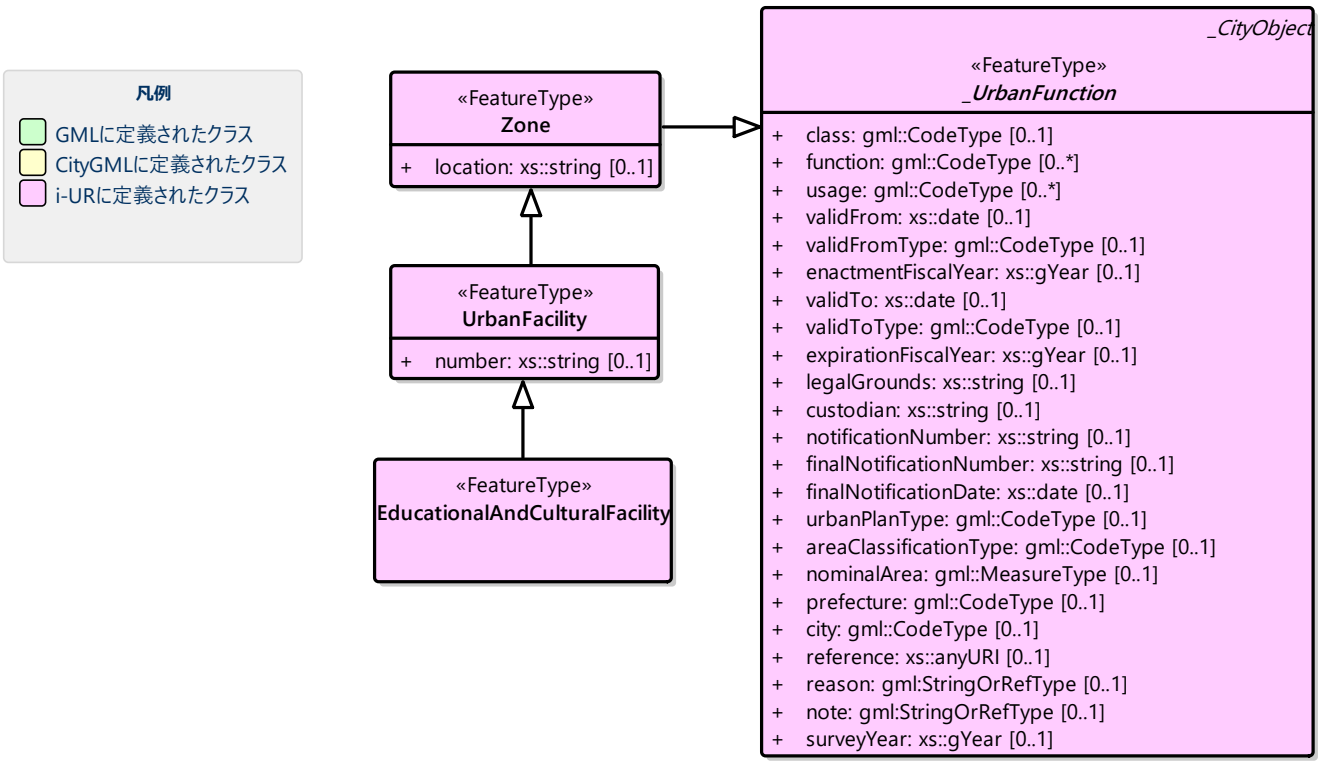
(11) 供給施設及び処理施設



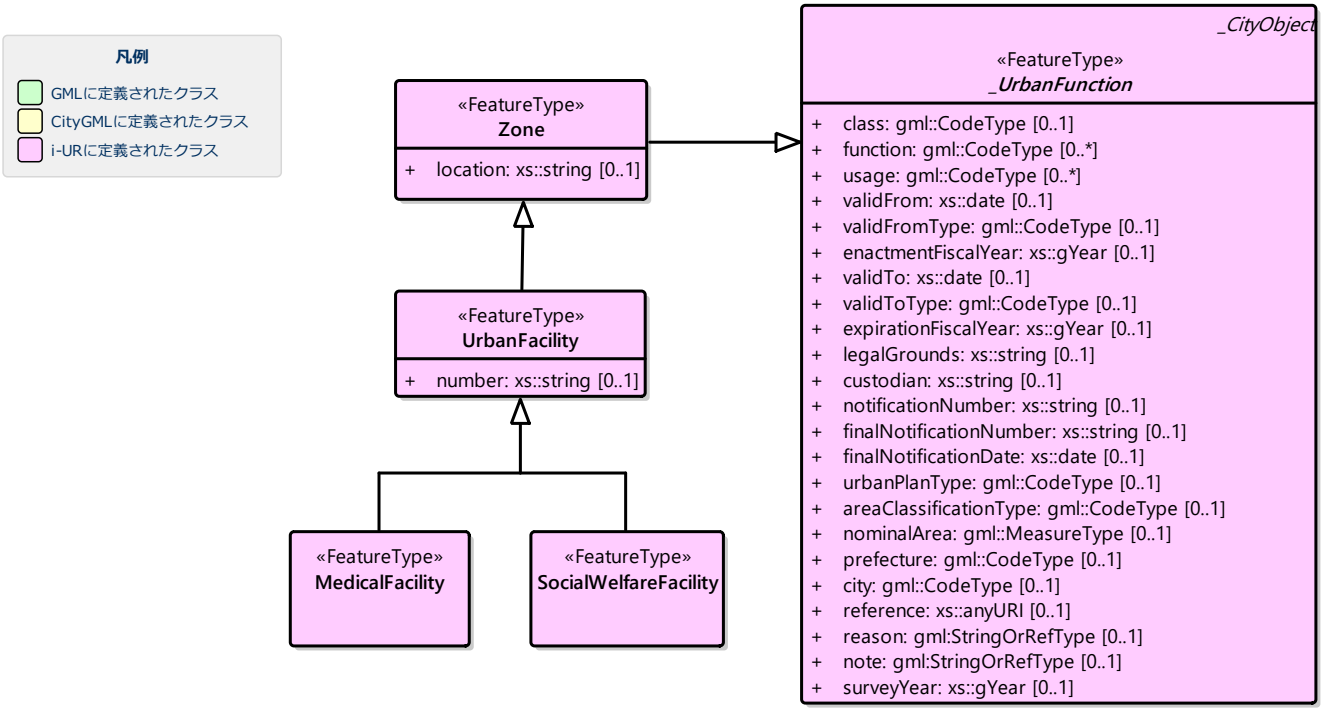
(12) 水路



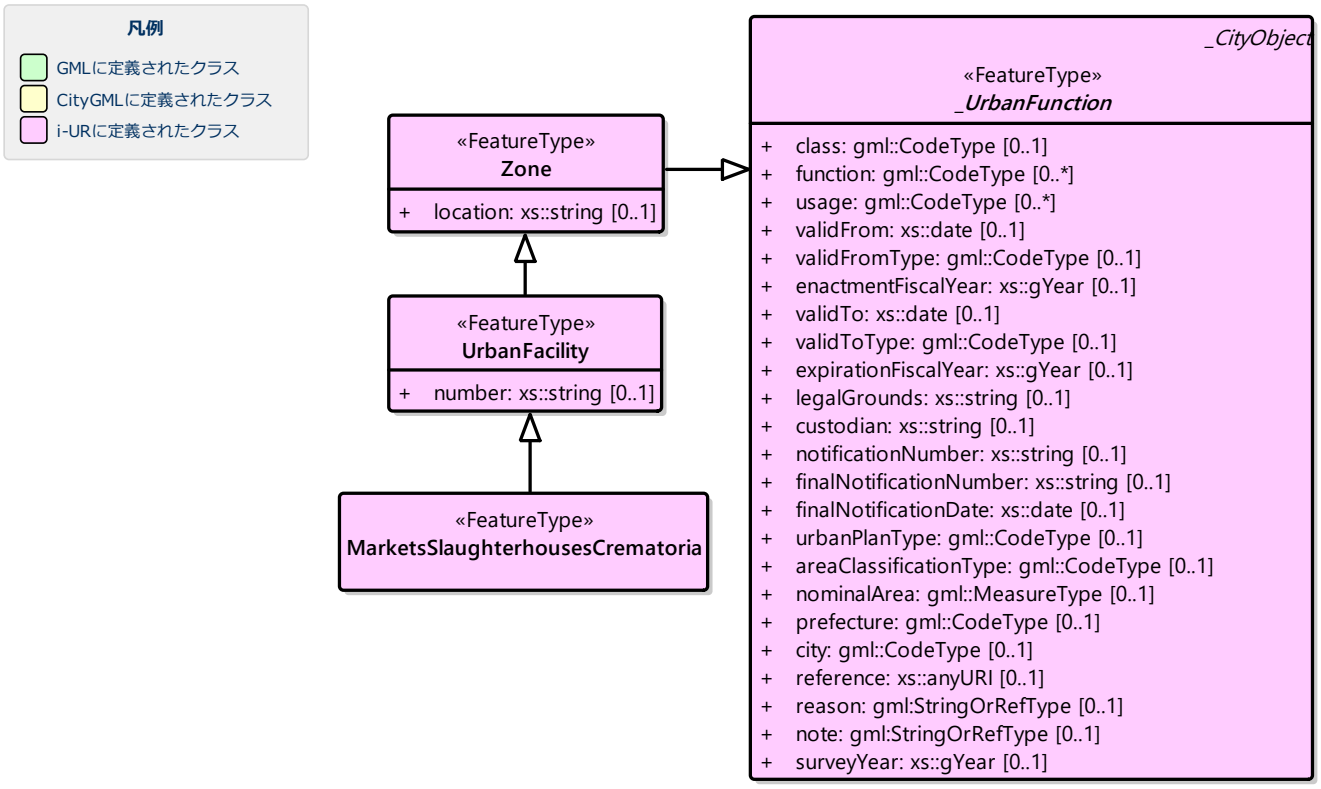
(13) 教育文化施設



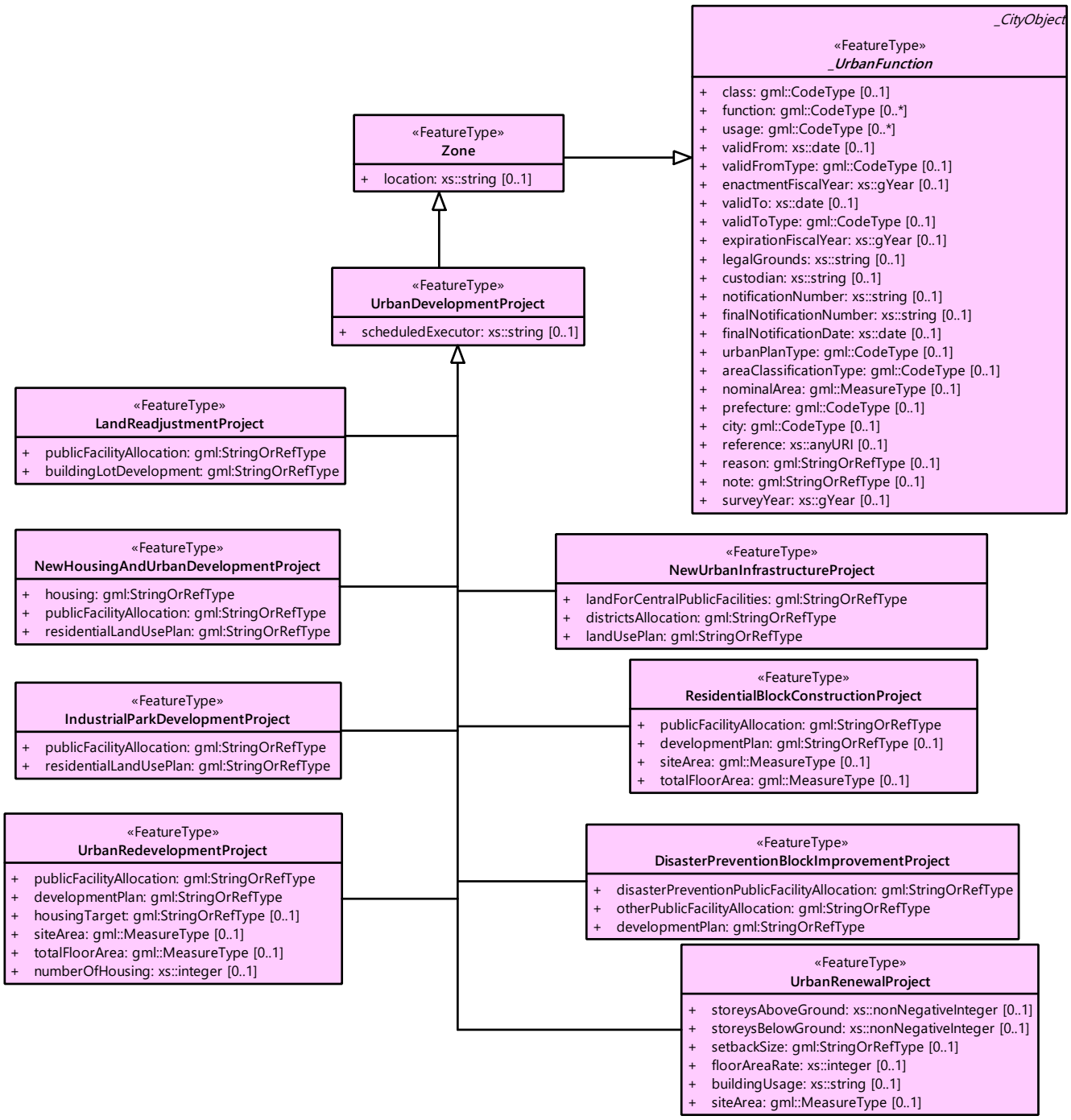
(14) 医療施設及び社会福祉施設



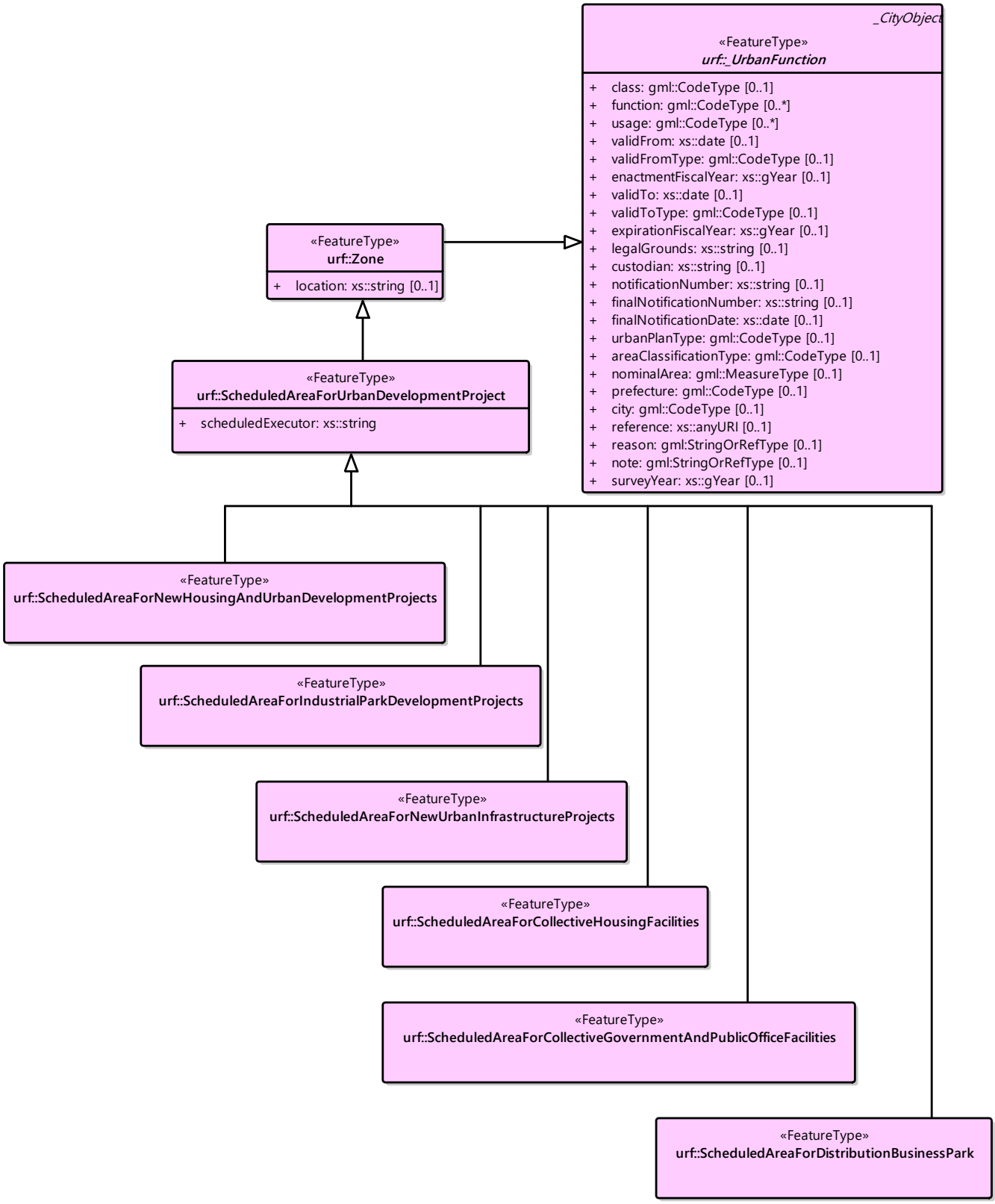
(15) 市場、と畜場、火葬場



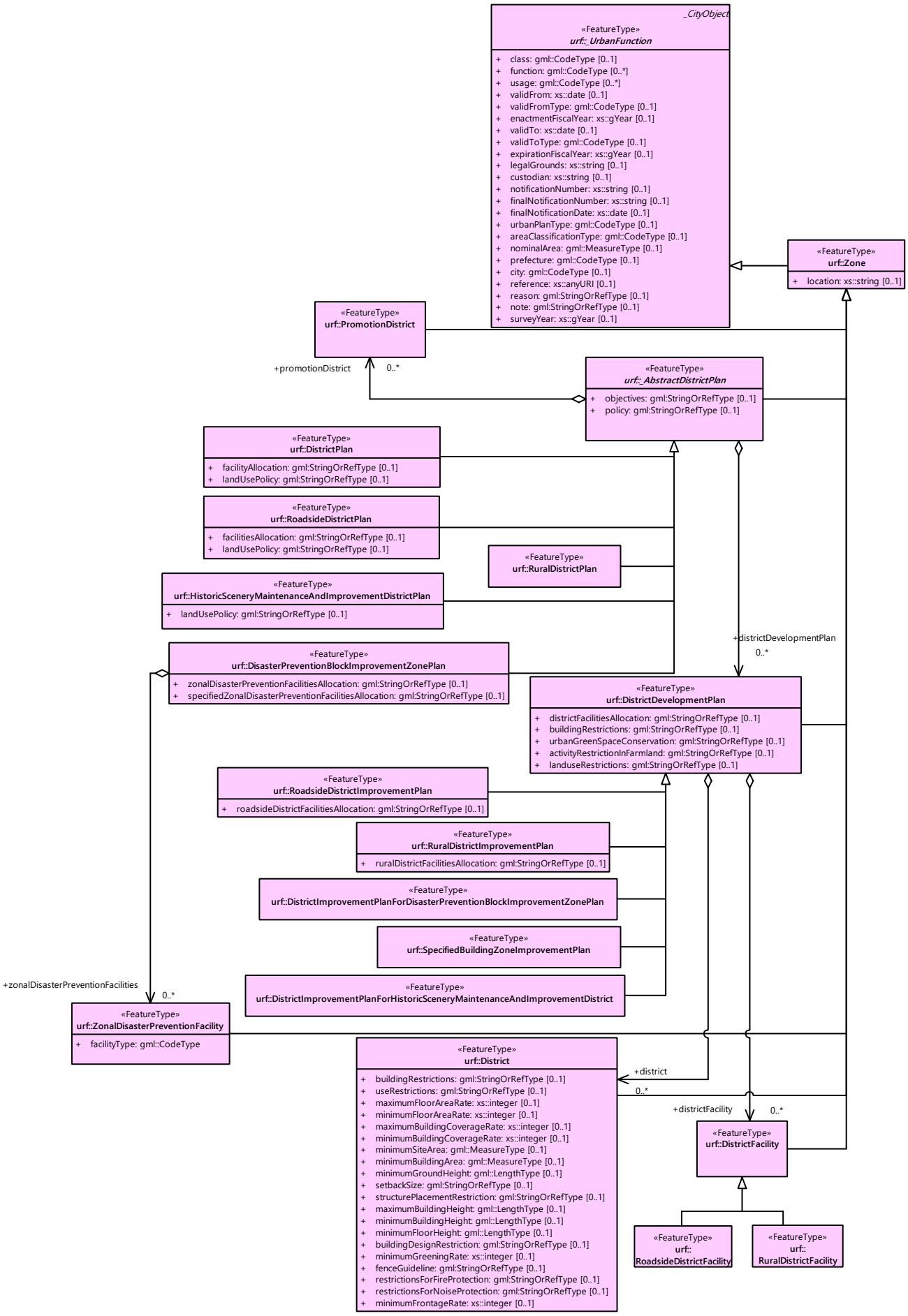
(16) 市街地開発事業


_CityObject
«FeatureType»
_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
«FeatureType»
Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
UrbanDevelopmentProject
+ scheduledExecutor: xs::string [0..1]
«FeatureType»
LandReadjustmentProject
+ publicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ buildingLotDevelopment: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
NewHousingAndUrbanDevelopmentProject
+ housing: gml:StringOrRefType
+ publicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ residentialLandUsePlan: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
NewUrbanInfrastructureProject
+ landForCentralPublicFacilities: gml:StringOrRefType
+ districtsAllocation: gml:StringOrRefType
+ landUsePlan: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
IndustrialParkDevelopmentProject
+ publicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ residentialLandUsePlan: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
ResidentialBlockConstructionProject
+ publicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ developmentPlan: gml:StringOrRefType [0..1]
+ siteArea: gml::MeasureType [0..1]
+ totalFloorArea: gml::MeasureType [0..1]
«FeatureType»
UrbanRedevelopmentProject
+ publicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ developmentPlan: gml:StringOrRefType
+ housingTarget: gml:StringOrRefType [0..1]
+ siteArea: gml::MeasureType [0..1]
+ totalFloorArea: gml::MeasureType [0..1]
+ numberOfHousing: xs::integer [0..1]
«FeatureType»
DisasterPreventionBlockImprovementProject
+ disasterPreventionPublicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ otherPublicFacilityAllocation: gml:StringOrRefType
+ developmentPlan: gml:StringOrRefType
«FeatureType»
UrbanRenewalProject
+ storeysAboveGround: xs::nonNegativeInteger [0..1]
+ storeysBelowGround: xs::nonNegativeInteger [0..1]
+ setbackSize: gml:StringOrRefType [0..1]
+ floorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ buildingUsage: xs::string [0..1]
+ siteArea: gml::MeasureType [0..1]

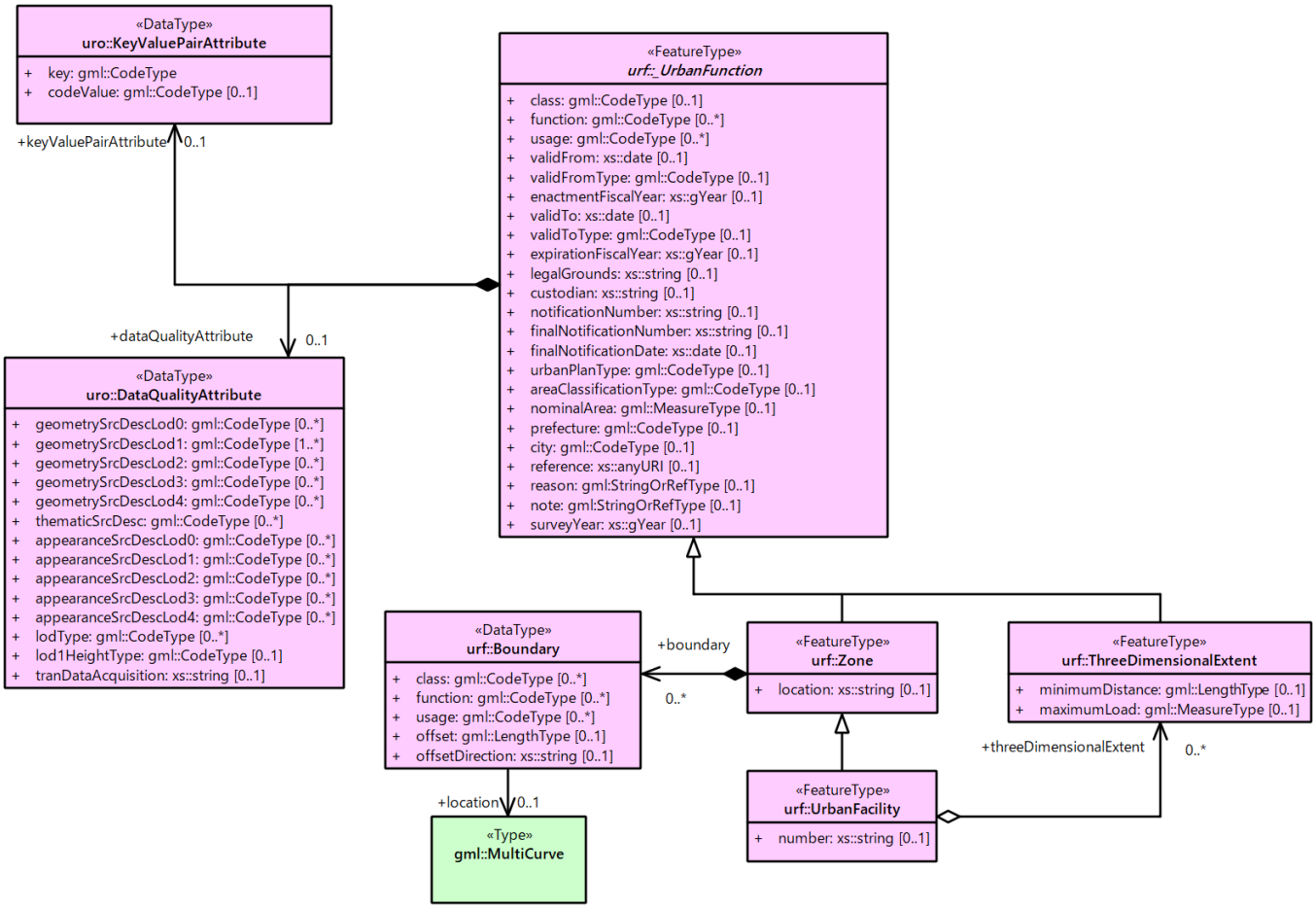
(17) 市街地開発事業等予定区域



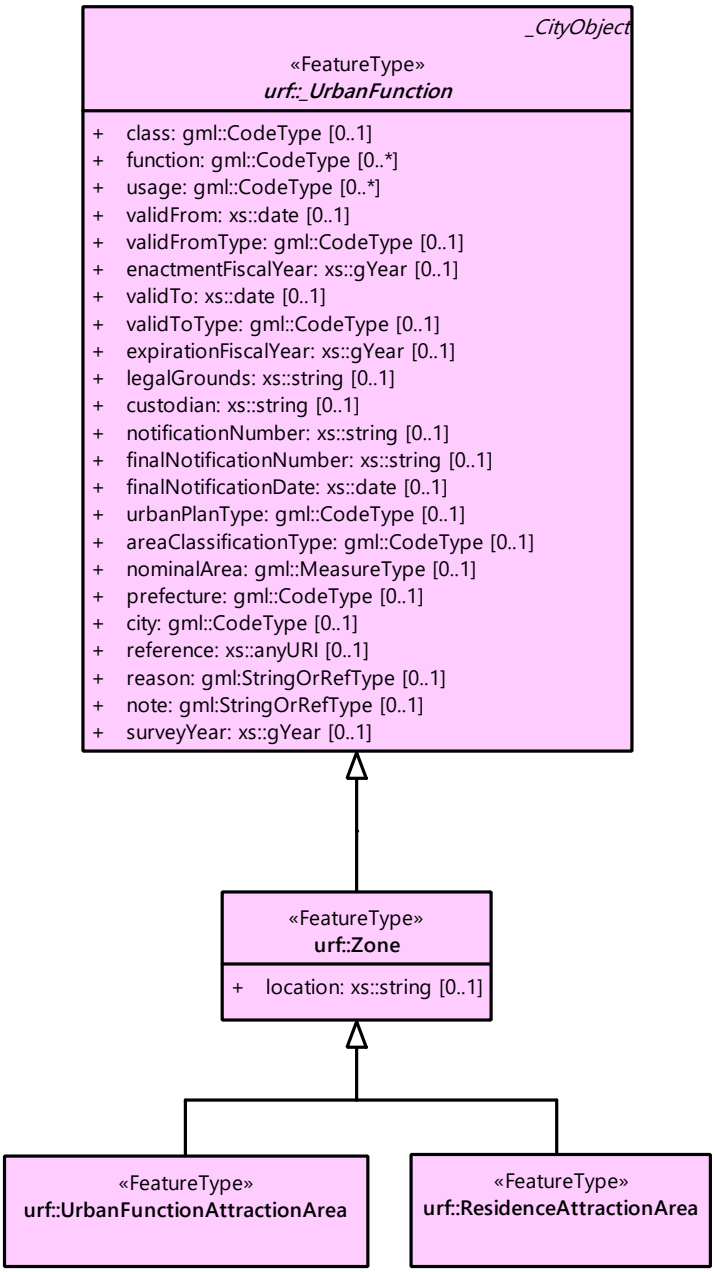
(18) 地区計画等


_CityObject
«FeatureType»
urf::_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
«FeatureType»
urf::Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::PromotionDistrict
+promotionDistrict
0..*
«FeatureType»
urf::_AbstractDistrictPlan
+ objectives: gml:StringOrRefType [0..1]
+ policy: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::DistrictPlan
+ facilityAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
+ landUsePolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::RoadsideDistrictPlan
+ facilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
+ landUsePolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::RuralDistrictPlan
«FeatureType»
urf::HistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrictPlan
+ landUsePolicy: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::DisasterPreventionBlockImprovementZonePlan
+ zonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
+ specifiedZonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
+districtDevelopmentPlan
0..*
«FeatureType»
urf::DistrictDevelopmentPlan
+ districtFacilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
+ buildingRestrictions: gml:StringOrRefType [0..1]
+ urbanGreenSpaceConservation: gml:StringOrRefType [0..1]
+ activityRestrictionInFarmland: gml:StringOrRefType [0..1]
+ landuseRestrictions: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::RoadsideDistrictImprovementPlan
+ roadsideDistrictFacilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::RuralDistrictImprovementPlan
+ ruralDistrictFacilitiesAllocation: gml:StringOrRefType [0..1]
«FeatureType»
urf::DistrictImprovementPlanForDisasterPreventionBlockImprovementZonePlan
«FeatureType»
urf::SpecifiedBuildingZoneImprovementPlan
«FeatureType»
urf::DistrictImprovementPlanForHistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrict
+zonalDisasterPreventionFacilities
0..*
«FeatureType»
urf::ZonalDisasterPreventionFacility
+ facilityType: gml::CodeType
«FeatureType»
urf::District
+ buildingRestrictions: gml:StringOrRefType [0..1]
+ useRestrictions: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ minimumFloorAreaRate: xs::integer [0..1]
+ maximumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
+ minimumBuildingCoverageRate: xs::integer [0..1]
+ minimumSiteArea: gml::MeasureType [0..1]
+ minimumBuildingArea: gml::MeasureType [0..1]
+ minimumGroundHeight: gml::LengthType [0..1]
+ setbackSize: gml:StringOrRefType [0..1]
+ structurePlacementRestriction: gml:StringOrRefType [0..1]
+ maximumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumBuildingHeight: gml::LengthType [0..1]
+ minimumFloorHeight: gml::LengthType [0..1]
+ buildingDesignRestriction: gml:StringOrRefType [0..1]
+ minimumGreeningRate: xs::integer [0..1]
+ fenceGuideline: gml:StringOrRefType [0..1]
+ restrictionsForFireProtection: gml:StringOrRefType [0..1]
+ restrictionsForNoiseProtection: gml:StringOrRefType [0..1]
+ minimumFrontageRate: xs::integer [0..1]
+district
0..*
+districtFacility
0..*
«FeatureType»
urf::DistrictFacility
«FeatureType»
urf::
RoadsideDistrictFacility
«FeatureType»
urf::
RuralDistrictFacility

(19) 立体的な範囲、区域界、データ品質、拡張属性



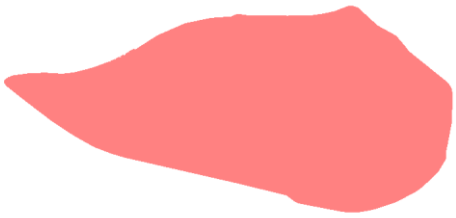
(20) 立地適正化計画


_CityObject
«FeatureType»
urf::_UrbanFunction
+ class: gml::CodeType [0..1]
+ function: gml::CodeType [0..*]
+ usage: gml::CodeType [0..*]
+ validFrom: xs::date [0..1]
+ validFromType: gml::CodeType [0..1]
+ enactmentFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ validTo: xs::date [0..1]
+ validToType: gml::CodeType [0..1]
+ expirationFiscalYear: xs::gYear [0..1]
+ legalGrounds: xs::string [0..1]
+ custodian: xs::string [0..1]
+ notificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationNumber: xs::string [0..1]
+ finalNotificationDate: xs::date [0..1]
+ urbanPlanType: gml::CodeType [0..1]
+ areaClassificationType: gml::CodeType [0..1]
+ nominalArea: gml::MeasureType [0..1]
+ prefecture: gml::CodeType [0..1]
+ city: gml::CodeType [0..1]
+ reference: xs::anyURI [0..1]
+ reason: gml:StringOrRefType [0..1]
+ note: gml:StringOrRefType [0..1]
+ surveyYear: xs::gYear [0..1]
«FeatureType»
urf::Zone
+ location: xs::string [0..1]
«FeatureType»
urf::UrbanFunctionAttractionArea
«FeatureType»
urf::ResidenceAttractionArea

4.4.3　応用スキーマ文書

(1)　都市計画区域、準都市計画区域

1)　urf:UrbanPlanningArea

型の定義	都市計画区域。都市の実態や将来の計画を勘案して、一体の都市地域となるべき区域として指定された区域。（都市計画法第 5 条第 1 項）  図　都市計画区域の例 複数の市区町村にまたがる都市計画区域の場合は、市区町村の境界で区切る。
上位の型	urf:Zone
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画区域の種類。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。 都市計画区域の総面積とし、複数の市区町村に跨っている場合は合計とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	都市計画区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:areaClassification	gml:CodeType [1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 1 号に定める区域区分の決定の有無。コードリスト（Common_availabilityType.xml）より選択する。
urf:reasonForAreaClassification	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画区域内に区域区分を設定する又はしない理由。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:policyForAreaClassification	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 1 号に定める区域区分を定める場合のその方針。
urf:purposeForUrbanPlan	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 2 号に定める目標。
urf:policyForUrbanPlanDecision	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 6 条の 2 第 2 項第 3 号に定める土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する主要な都市計画の決定の方針。
urf:population	xs:integer [0..1]	都市計画区域内の総人口。単位は人とする。

urf:cityArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:cityPopulation	xs:integer [0..1]	都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

2) urf:QuasiUrbanPlanningArea

型の定義	準都市計画区域。そのまま土地利用を整序し、又は環境を保全するための措置を講ずることなく放置すれば、将来における一体の都市としての整備、開発及び保全に支障が生じるおそれがあると認められる一定の区域。（都市計画法第 5 条の 2 第 1 項） 複数の市区町村にまたがる準都市計画区域の場合は、市区町村の境界で区切る。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	区域の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。 準都市計画区域の総面積とし、複数の市区町村に跨っている場合は合計とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	準都市計画区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	準都市計画区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	準都市計画区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:population	xs:integer [0..1]	準都市計画区域内の総人口。単位は人とする。
urf:cityArea	gml:MeasureType [0..1]	準都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:cityPopulation	xs:integer [0..1]	準都市計画区域が複数市区町村に跨っている場合の、当該市区町村内の人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	準都市計画区域の範囲。高さを 0 とする。

		計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。準都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

(2) 区域区分

1) urf:AreaClassification

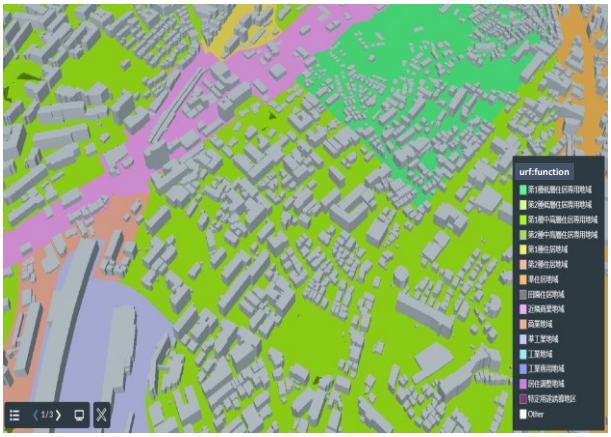
型の定義	都市計画法第 7 条に基づき、無秩序な市街地の拡大による環境悪化の防止、計画的な公共施設整備などによる良好な市街地の形成などを行うため、都市計画区域について区分された、計画的な市街化を図るべき区域「市街化区域」と、市街化を抑制すべき「市街化調整区域」。（都市計画法第 7 条） 図　区域区分（市街化調整地域）の例 複数の市区町村にまたがる市街化区域又は市街化調整区域の場合は、市区町村の境界で区切る。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	区域の名称。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
(urf:location)	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:population	xs:integer [0..1]	都市計画法第 13 条第 1 項第 2 号で定められる整備、開発、保全の方針に記載される人口。単位は人とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	市街化区域又は市街化調整区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。準都市計画区域の外周及び内周となる境界線。

(3) 地域地区

1) urf:DistrictsAndZones

型の定義	地域地区。都市計画法第 8 条に基づき、都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などに対するルールを決め、土地の合理的な利用を図るために指定された区域。 下位の地物型として定義されていない地域地区を記述したい場合にのみ、この地物型を使用し、属性「urf:function」でその内容を識別する。下位の地物型として定義されている場合は、必ず下位の地物型を使用すること。  図 urf:DistrictsAndZones 及び下位型の例 (3D 地形の上で LOD1 の bldg:Building と重畳表示している)	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）に定義されていない地

		域地区を記述する場合のみ、文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

2) urf:UseDistrict

型の定義	都市計画法第八条第 1 項第一号で定められる用途地域。 第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、田園住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域又は工業専用地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:integer [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める容積率（延べ面積の敷地面積に対する割合）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める建築物の敷地面積の最低限度。

urf:buildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロ及びハに定める建ぺい率（建築面積の敷地面積に対する割合）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:wallSetbackDistance	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロに定める外壁の後退距離。 一律に距離が指定されている場合は、半角数字と単位(m）を記述する。複数の上限が設定されている場合はその条件を列挙する。
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロに定める建築物の高さの限度。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、用途地域内の建築物の制限。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
urf:setbackRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築物の各部分の高さの制限。
urf:frontRoadRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	用途地域に適用される、建築基準法第 56 条第 1 項第 1 号に定める道路斜線制限。
urf:adjacentLandRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	用途地域に適用される、建築基準法第 56 条第 1 項第 2 号に定める隣接斜線制限。
urf:northDirectionRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	用途地域に適用される、建築基準法第 56 条第 1 項第 3 号に定める北側斜線制限。
urf:shadeRegulation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、日影による中高層の建築物の制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

3) urf:SpecialUseDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号で定められる特別用途地区。 用途地域内の一定の地区における当該地区の特性にふさわしい土地利用の増進、環境の保護等の特別の目的の実現を図るため当該用途地域の指定を補完して定める地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。コードリスト（SpecialUseDistrict_usage.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 49 条で定められるその地区の指定の目的のためにする建築物の建築の制限又は禁止に関して必要な規定。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 50 条で定められる特別用途地区における建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

4) urf:SpecialUseRestrictionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号で定められる特定用途制限地域。 用途地域が定められていない土地の区域（市街化調整区域を除く。）内において、その良好な環境の形成又は保持のため当該地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	制限すべき特定の建築物等の用途の概要。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。

		単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 49 条の 2 で定められる建築物の用途の制限。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条に定める用途地域における地域地区内における建築物その他の工作物に関する制限のうち、建築基準法第 50 条で定められる特定用途制限地域における建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

5) urf:ExceptionalFloorAreaRateDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号の 3 で定められる特例容積率適用地区。 第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域、商業地域、準工業地域又は工業地域内の適正な配置及び規模の公共施設を備えた土地の区域において、建築基準法第 52 条第 1 項から第 9 項までの規定による建築物の容積率の限度からみて未利用となっている建築物の容積の活用を促進して土地の高度利用を図るため定める地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。

		単位は ha（uom="ha"）とする。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定める当該地区における市街地の環境を確保するために必要な場合に定められた建築物の高さの最高限度。 単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

6) urf:HighRiseResidentialAttractionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 2 号の 4 で定められる高層住居誘導地区。 住居と住居以外の用途とを適正に配分し、利便性の高い高層住宅の建設を誘導するため、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域又は準工業地域でこれらの地域に関する都市計画において建築基準法第五十二条第一項第二号に規定する建築物の容積率が十分の四十又は十分の五十と定められたものの内において、建築物の容積率の最高限度、建築物の建蔽率の最高限度及び建築物の敷地面積の最低限度を定める地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:integer [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める容積率（延べ面積の敷地面積に対する割合）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ロ及びハに定める（建ぺい率建築面積の敷地面積に対する割合）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号イに定める建築物の敷地面積の最低限度。単位は m2（uom="m2"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

7) urf:HeightControlDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号で定められる高度地区。 用途地域内において市街地の環境を維持し、又は土地利用の増進を図るため、建築物の高さの最高限度又は最低限度を定める地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	高度地区の区分。コードリスト（HeightControlDistrict_usage.xml）より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ト に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号ト に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

8) urf:HighLevelUseDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 3 号で定められる高度利用地区。 用途地域内の市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、建築物の容積率の最高限度及び最低限度、建築物の建蔽率の最高限度、建築物の建築面積の最低限度並びに壁面の位置の制限を定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定める容積率の最高限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定める容積率の最低限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定めるに定める建ぺい率の最高限度（建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [1..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定める建築物の建築面積の最低限度。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号チに定めるに定める外壁の後退距離。文字列又は計画図への参照とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

9) urf:SpecifiedBlock

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号で定められる特定街区。 市街地の整備改善を図るため街区の整備又は造成が行われる地区について、その街区内における建築物の容積率並びに建築物の高さの最高限度及び壁面の位置の制限を定める街区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第4条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第8条第3項第1号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第8条第3項第3号に定める区域の「面積」。 単位はha（uom="ha"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。 多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:integer [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号リに定める容積率（延べ面積の敷地面積に対する割合）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号リに定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 2 号リに定める外壁の後退距離。文字列又は計画図への参照とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

10) urf:SpecialUrbanRenaissanceDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる都市再生特別地区。都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第三十六条第一項の規定による都市再生特別地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。

core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom=”ha”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。

urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める容積率の最高限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%） 複数存在する場合は、最高となる値とし、詳細は属性 reference により計画書
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める容積率の最低限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建ぺい率の最高限度（建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建築物の建築面積の最低限度。
urf:maximumBuildingHeight	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 36 条第 2 項に定める外壁の後退距離。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

11) urf:HousingControlArea

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。 都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第八十九条の規定による居住調整地域。

上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

12) urf:ResidentialEnvironmentImprovementDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第九十四条の二第一項の規定による居住環境向上用途誘導地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める容積率の最高限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める建ぺい率の最高限度（建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingHeight	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める建築物の高さの最高限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再生特別措置法第 94 条の 2 第 2 項に定める外壁の後退距離。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType[0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

13) urf:SpecialUseAttractionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 4 号の 2 で定められる地区。 都市再生特別措置法（平成十四年法律第二十二号）第百九条第一項の規定による特定用途誘導地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:useToBeInduced	gml:StringOrRefType [1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 1 号に定める当該地区において建築物その他の構造物の誘導すべき用途。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 1 号に定める容積率の最高限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 1 項第 2 号に定める容積率の最低限度（延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType[0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 1 項第 2 号に定める建築物の建築面積の最低限度。単位はm2（uom="m2"）とする。
urf:maximumBuildingHeight	gml: StringOrRefType[0..1]	都市再生特別措置法第 109 条第 2 項第 3 号に定める建築物の高さの最高限度。
urf:otherRestrictions	gml:StringOrRefType[0..1]	建築基準法第 50 条で定める建築物の敷地、構造又は建築設備に対する制限。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

14) urf:FirePreventionDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号で定められる防火地域又は準防火地域。 市街地における火災の危険を防除するため定める地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称。文字列とする。

(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	防火地域又は準防火地域の種類。コードリスト（FirePreventionDistrict_usage.xml）より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。

urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。種類が「防火地域」の場合は、防火地域の合計面積とし、種類が「準防火地域」の場合は、準防火地域の合計面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

15) urf:SpecifiedDisasterPreventionBlockImprovementZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 5 号の 2 で定められる地区。 密集市街地整備法第三十一条第一項の規定による特定防災街区整備地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）

		より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 1 号に定める建築物の敷地面積の最低限度。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める外壁の後退距離。制限を設けない場合は「無」とする。
urf:minimumFrontageRate	xs:integer [0..1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める間口率の最低限度（建築物の防災都市計画施設に面する部分の長さの敷地の防災都市計画施設に接する部分の長さに対する割合の最低限度）。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	密集市街地整備法第 31 条第 3 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

16) urf:LandscapeZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 6 号で定められる景観地区。 景観法（平成十六年法律第百十号）第六十一条第一項の規定による景観地区。		
上位の型	urf:DistrictsAndZones		
ステレオタイプ	<<FeatureType>>		
継承する属性			
属性名	属性の型及び多重度	定義	
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。	
gml:name	gml:CodeType [0..1]	景観地区を識別する名前。文字列とする。	
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。	
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。	
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。	
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。	
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。	
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。	

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:arealnTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingDesignRestriction	gml:StringOrRefType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 1 号に定める建築物の形態にかかる制限。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 3 号に定める外壁の後退距離。
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	景観法第 61 条第 2 項第 4 号に定める建築物の敷地面積の最低限度。単位は m2（uom="m2"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

17) urf:ScenicDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 7 号で定められる風致地区。都市の風致を維持するため定める地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	風致地区を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）

		より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	風致地区の種類。コードリスト（ScenicDistrict_usage.xml）より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建ぺい率の規制。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:buildingHeightLimits	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物等の高さの規制。単位は m（uom="m"）とする。
urf:wallSetbackDistanceWithRoad	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物の壁面から敷地境界までの距離(道路に接する部分)。単位は m（uom="m"）とする。
urf:wallSetbackDistanceWithAdjoiningLand	gml:LengthType [0..1]	風致地区内における建築等の規制に関する条例附則第 4 条第 1 項で定める建築物の壁面から敷地境界までの距離(道路に接しない部分)。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

18) urf:ParkingPlaceDevelopmentZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 8 号で定められる地区。 駐車場法（昭和三十二年法律第百六号）第三条第一項の規定による駐車場整備地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

19) urf:PortZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 9 号で定められる臨港地区。港湾を管理運営するため定める地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	分区の種類。コードリスト（PortZone_usage.xml）より選択する。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。

urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

20) urf:SpecialZoneForPreservationOfHistoricalLandscape

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 10 号で定められる地区。古都における歴史的風土の保存に関する特別措置法（昭和四十一年法律第一号）第六条第一項の規定による歴史的風土特別保存地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。

urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

21） urf:ZoneForPreservationOfHistoricalLandscape

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 11 号で定められる地区。 明日香村における歴史的風土の保存及び生活環境の整備等に関する特別措置法（昭和五十五年法律第六十号）第三条第一項の規定による第一種歴史的風土保存地区又は第二種歴史的風土保存地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第4条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第8条第3項第1号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第15条第1項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第8条第3項第3号に定める区域の「面積」。

		単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

22) urf:GreenSpaceConservationDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法（昭和四十八年法律第七十二号）第五条の規定による緑地保全地域。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）

		より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

23) urf:SpecialGreenSpaceConservationDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法（昭和四十八年法律第七十二号）第十二条の規定による特別緑地保全地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。

urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:requirement	gml:CodeType [0..1]	都市緑地法第 3 条で定める指定の要件。コードリスト（SpecialGreenSpaceConservationDistrict_requirement.xml）から選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

24) urf:TreePlantingDistrict

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 12 号で定められる地区。 都市緑地法（昭和四十八年法律第七十二号）第三十四条第一項の規定による緑化地域。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地域地区の名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:minimumGreeningRate	xs:integer [1]	都市緑地法第 34 条第 3 項で定める最低限度の緑化率。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

25) urf:DistributionBusinessZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 13 号で定められる地区。流通業務市街地の整備に関する法律（昭和四十一年法律第百十号）第四条第一項の規定による流通業務地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:guidelinePublicationDate	xs:date [0..1]	流通業務市街地の整備に関する法律第 5 条の 2 で定める流通業務施設の整備に関する基本方針が定められた日。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

26) urf:ProductiveGreenZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 14 号で定められる地区。 生産緑地法（昭和四十九年法律第六十八号）第三条第一項の規定による生産緑地地区。
上位の型	urf:DistrictsAndZones
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:zoneNumber	xs:string [0..1]	生産緑地地区番号。
urf:specification	gml:CodeType [0..1]	特定生産緑地指定の有無。コードリスト（Common_availabilityType.xml）より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

27) urf:ConservationZoneForClustersOfTraditionalStructures

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 15 号で定められる地区。文化財保護法（昭和二十五年法律第二百十四号）第百四十三条第一項の規定による伝統的建造物群保存地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 4 条に定める名称（当該地区又は地域を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。

(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区 が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。

(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

28) urf:AircraftNoiseControlZone

型の定義	都市計画法第 8 条第 1 項第 16 号で定められる地区。 特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法（昭和五十三年法律第二十六号）第四条第一項の規定による航空機騒音障害防止地区及び航空機騒音障害防止特別地区。	
上位の型	urf:DistrictsAndZones	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	当該地区又は地域を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める地域地区（及び用途地域）の区分。コードリスト（Common_districtsAndZonesType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された地域地区が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	地域地区が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地域地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 1 号に定める当該地区又は地域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:areaInTotal	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 8 条第 3 項第 3 号に定める区域の「面積」について、同一の種類となる区域の当該市区町村内における合計。単位は ha（uom="ha"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。地域地区の外周及び内周となる境界線。

(4) 促進区域

1) urf:ProjectPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 に基づき、都市計画区域に定められた促進区域。 下位の地物型として定義されていない促進区域を記述したい場合には、この地物型を使用し、属性「urf:function」でその内容を識別する。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	促進区域の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト（ProjectPromotionArea_function.xml）に定義されていない促進区域を記述する場合のみ、文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域の開発に必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

2) urf:UrbanRedevelopmentPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 1 号で定められる区域。 都市再開発法第七条第一項の規定による市街地再開発促進区域。
上位の型	urf:ProjectPromotionArea

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称（促進区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト（ProjectPromotionArea_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。町丁目又は字まで記載する。 多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:developmentPolicy)	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の開発の方針。
(urf:publicFacilitiesPlans)	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域の開発に必要な公共施設に関する都市計画。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 7 条第 2 項に定める道路、公園、広場その他政令で定める公共の用に供する施設の配置及び規模。
urf:unitArea	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 7 条第 2 項に定める市街地再開発促進区域内における建築敷地の造成及び公共施設の用に供する敷地の造成を一体として行うべき土地の区域としてふさわしいものとなるように定められた整備区の単位。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

3) urf:LandReadjustmentPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 2 号で定められる区域。大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第五条第一項の規定による土地区画整理促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称（促進区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト（ProjectPromotionArea_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。

		単位は ha（uom=”ha”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第 5 条第 2 項に示される住宅市街地としての開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域が良好な住宅市街地として開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

4) urf:ResidentialBlockConstructionPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 3 号で定められる区域。大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第二十四条第一項の規定による住宅街区整備促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称（促進区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト（ProjectPromotionArea_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法第 5 条第 2 項に示される住宅市街地としての開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	当該区域が良好な住宅市街地として開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

5) urf:LandReadjustmentPromotionAreasForCoreBusinessUrbanDevelopment

型の定義	都市計画法第 10 条の 2 第 1 項第 4 号で定められる区域。 地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律第十九条第一項の規定による拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域。	
上位の型	urf:ProjectPromotionArea	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める名称（促進区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める促進区域の区分。コードリスト（ProjectPromotionArea_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 2 第 2 項に定める促進区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:developmentPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再開発の促進に関する法律第 19 条第 2 項に示される開発の方針。
urf:publicFacilitiesPlans	gml:StringOrRefType [0..1]	地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再開発の促進に関する法律第 19 条第 4 項に示される、当該区域が良好な拠点業務市街

		地として整備され、又は開発されるために必要な公共施設に関する都市計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(5) 遊休土地転換利用促進地区

1) urf:UnusedLandUsePromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 3 第 1 項で定められる遊休土地転換利用促進地区。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める名称（遊休土地転換利用促進地区を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。

urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域（区域の範囲）。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(6) 被災市街地復興推進地域

1) urf:UrbanDisasterRecoveryPromotionArea

型の定義	都市計画法第 10 条の 4 第 1 項で定められる被災市街地復興推進地域。
上位の型	urf:Zone

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項に定める名称（被災市街地復興推進地域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める面積。 単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:expirationDate	xs:date [1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項で定める別に法律で定める事項のうち、被災市街地復興特別措置法第 5 条の 2 で定められる期間満了の日。
urf:emergencyRecoveryPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 10 条の 4 第 2 項で定める別に法律で定める事項のうち、緊急かつ健全な復興を図るための市街地の整備改善の方針。
urf:plannedProjectType	gml:CodeType [0..1]	当該区域で実施される事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 10 条の 3 第 2 項に定める区域（区域の範囲）。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(7) 都市施設

1) urf:UrbanFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項各号に掲げる施設。 下位の地物型として定義されていない都市施設を記述したい場合には、この地物型を使用し、属性「urf:function」で地物型の内容を識別する。
上位の型	urf:Zone
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない都市施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:number	xs:string [0..1]	都市計画施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

2) urf:TrafficFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項各号に掲げる施設。 道路、都市高速鉄道、駐車場、自動車ターミナルその他の交通施設。
上位の型	urf:UrbanFacility
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。

(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない交通施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。

(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［起点の地名］。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［終点の地名］。
urf:viaLocations	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［起点から終点までに存在する主な地名］。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定められる区域［起点から終点までの延長距離］。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定められる区域［幅員］。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:urbanRoadAttribute	urf:UrbanRoadAttribute [0..1]	交通施設が道路の場合の追加情報。
urf:urbanRapidTransitRailroadAttribute	urf:UrbanRapidTransitRailroadAttribute [0..1]	交通施設が都市高速鉄道の場合の追加情報。
urf:parkingPlaceAttribute	urf:ParkingPlaceAttribute [0..1]	交通施設が駐車場の場合の追加情報。
urf:vehicleTerminalAttribute	urf:VihicleTerminalAttribute [0..1]	交通施設が自動車ターミナルの場合の追加情報。

3) urf:UrbanRoadAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める道路について定めるべき事項。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

urf:routeTypeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる区分。コードリスト（UrbanRoadAttribute_routeTypeNumber.xml）より選択する。
urf:routeSizeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる規模。コードリスト（UrbanRoadAttribute_routeSizeNumber.xml）より選択する。
urf:routeSerialNumber	xs:string[0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(2)③で定められる一連番号。
urf:roadType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める道路の種別。コードリスト（UrbanRoadAttribute_roadType.xml）より選択する。
urf:numberOfLanes	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める車線の数。
urf:roadStructure	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号で定める道路の構造。
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 2 号で定める構造種別。コードリスト（TrafficFacility_trafficFacilityStructureType.xml）より選択する。
urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 1 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 2 号で定める交差種別（道路構造が地表式のみ）。コードリスト（ TrafficFacility_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。
urf:trafficPlazas	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 1 項で定める施設における交通広場の有無。コードリスト（Common_availabilityType.xml）より選択する。
urf:structuralDetails	urf:StructureDetails [0..*]	道路の構造の内訳。

4)　urf:UrbanRapidTransitRailroadAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める都市高速鉄道について定めるべき事項。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 4 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 6 号で定められる構造(鉄道構造)。コードリスト（TrafficFacility_trafficFacilityStructureType.xml）より選択する。
urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 4 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 6 号で定められる構造（鉄道構造が地表式のみ）。コードリスト（ TrafficFacility_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。
urf:structuralDetails	urf:StructureDetails [0..*]	道路の構造の内訳。

5)　urf:StructureDetails

型の定義	道路及び都市高速鉄道の構造を区間ごとに記述するために使用する型。
上位の型	―
ステレオタイプ	<<DataType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [1]	起点の位置。
urf:endLocation	xs:string [1]	終点の位置。
urf:viaLocations	xs:string [0..1]	起点から終点までに存在する主な地名。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	区間の長さ。単位は m（uom="m"）とする。
urf:structureType	gml:CodeType [0..1]	道路又は鉄道の構造の形式。コードリスト（TrafficFacility_trafficFacilityStructureType.xml）より選択する。
urf:minimumWidth	gml:LengthType [0..1]	最小の幅員。単位は m（uom="m"）とする。
urf:maximumWidth	gml:LengthType [0..1]	最大の幅員。単位は m（uom="m"）とする。
urf:standardWidth	gml:LengthType [0..1]	標準的な幅員。単位は m（uom="m"）とする。
urf:crossType	gml:CodeType [0..1]	交差の種別。コードリスト（TrafficFacility_trafficFacilityCrossingType.xml）より選択する。

6) urf:ParkingPlaceAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める駐車場について定めるべき事項。	
上位の型	－	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:storeysAboveGround	xs: integer [1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 2 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 3 号に定める駐車場の地上階数。
urf:storeysBelowGround	xs:integer [1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 2 号及び都市計画法施行規則第 7 条第 1 項第 3 号に定める駐車場の地下階数。

7) urf:VehicleTerminalAttribute

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 1 号に定める自動車ターミナルについて定めるべき事項。	
上位の型	－	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:terminalType	gml:CodeType [1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（VehicleTerminalAttribute_terminalType.xml）から選択する。

8) urf:OpenSpaceForPublicUse

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号に定める公園、緑地、広場、墓園その他の公共空地。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義

gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない公共空地を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:parkAttribute	urf:ParkAttribute [0..1]	公共空地が公園の場合の追加情報。

9)　urf:ParkAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 2 号に定める公園について定めるべき事項。	
上位の型	―	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:parkTypeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる区分。コードリスト（ParkAttribute_parkTypeNumber.xml）より選択する。
urf:parkSizeNumber	gml:CodeType [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる規模。コードリスト（ParkAttribute_parkSizeNumber.xml）より選択する。
urf:parkSerialNumber	xs:string [0..1]	都市局長通達(昭和 44 年　建設省都計発第 102 号)IV(4)②にて定められる一連番号。

10) urf:SupplyFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める水道、電気供給施設、ガス供給施設その他の供給施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない供給施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。

urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第11条第2項に定める面積。単位はm2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:waterWorksAttribute	urf:WaterWorksAttribute [0..1]	供給施設が水道の場合の追加情報。

11) urf:WaterWorksAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める水道について定めるべき事項。	
上位の型	urf:SupplyFacilityAttribute	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［起点の町丁目又は字］。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［終点の町丁目又は字］。

12) urf:TreatmentFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める下水道、汚物処理場、ごみ焼却場その他の処理施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない処理施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。

urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:sewerSystemAttribute	urf:SewerSystemAttribute [0..1]	処理施設が下水道の場合の追加情報。

13) urf:SewerSystemAttribute

型の定義	都市計画法第 11 条第 1 項第 3 号に定める下水道について定めるべき事項。
上位の型	－
ステレオタイプ	<<DataType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［起点の町丁目又は字］。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める位置［終点の町丁目又は字］。
urf:systemType	gml:CodeType [0..1]	下水道法施行規則第 19 条第 1 項第 3 号で定められる種別。コードリスト（SewerSystemAttribute_systemType.xml）より選択する。
urf:drainageArea	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 6 号に定められた排水区域。

14） urf:Waterway

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 4 号に定める河川、運河、その他の水路。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない水路を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:startLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める「位置」を表す水路の起点位置。
urf:endLocation	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める「位置」を表す水路の終点位置。
urf:structure	gml:CodeType[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 4 号に定める「構造」。コードリスト（Waterway_structure.xml）より選択する。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。

		計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

15) urf:EducationalAndCulturalFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 5 号に定める学校、図書館、研究施設その他の教育文化施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない教育施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第11条第2項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

16) urf:MedicalFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第11条第1項第6号に定める病院その他の医療施設。
上位の型	urf:UrbanFacility
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない医療施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第11条第2項に定める面積。単位はm2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

17) urf:SocialWelfareFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 6 号に定める保育所その他の社会福祉施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない社会福祉施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

18) urf:MarketsSlaughterhousesCrematoria

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 7 号に定める市場、と畜場又は火葬場。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom=”m2”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。

		計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

19) urf:CollectiveHousingFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 8 号に定める、一団地における 50 戸以上の集団住宅及びこれらに附帯する通路その他の施設（一団地の住宅施設）。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第11条第2項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:integer[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める建ぺい率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める容積率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:numberOfLowRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める低層住宅の予定戸数。
urf:numberOfMiddleRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める中層住宅の予定戸数。
urf:numberOfHighRiseHousing	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める高層住宅の予定戸数。
urf:totalNumberOfHousing	xs:integer [0..1]	住宅予定戸数の合計。

urf:publicFacilitiesAllocationPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 7 号に定める公益的施設、住宅及び公共施設の配置方針。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。区域の面積が二十ヘクタール以上の一団地の住宅施設の場合に適用する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

20) urf:CollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 9 号に定める、一団地の国家機関又は地方公共団体の建築物及びこれらの付帯に関する通路その他の施設（一団地の官公庁施設）。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingCoverageRate	xs:integer[0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める建ぺい率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める容積率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）

urf:publicFacilitiesAllocationPolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法施行令第 6 条第 1 項第 8 号に定める公益的施設、住宅及び公共施設の配置方針。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

21) urf:DistributionBusinessPark

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 11 号に定める施設（流通業務団地）。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:distributionBusinessPark	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 2 項に定める流通業務施設の敷地の位置及び規模。
urf:publicAndUtilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 2 項に定める公共施設及び公益的施設の位置及び規模。

urf:buildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建ぺい率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める容積率の限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	流通業務市街地整備法第 7 条第 3 項に定める外壁の後退距離。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 5 項に定める都市施設に関する都市計画事業の施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

22) urf:CollectiveFacilitiesForTsunamiDisasterPrevention

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 12 号に定める施設。 津波防災地域づくりに関する法律（平成二十三年法律第百二十三号）第二条第十五項に規定する一団地の津波防災拠点市街地形成施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom=”m2”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	津波防災地域づくり法第 17 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は％）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

23) urf:CollectiveFacilitiesForReconstructionAndRevitalization

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 13 号に定める施設。 福島復興再生特別措置法（平成二十四年法律第二十五号）第三十二条第一項に規定する一団地の復興再生拠点市街地形成施設。
上位の型	urf:UrbanFacility

ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第11条第2項に定める面積。単位はm2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	福島復興再生特措法第 32 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。

		計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

24) urf:CollectiveFacilitiesForReconstruction

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 14 号に定める施設。 大規模災害からの復興に関する法律（平成二十五年法律第五十五号）第二条第八号に規定する一団地の復興拠点市街地形成施設。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。

urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housingFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める住宅施設の位置及び規模。
urf:supecificBusinessFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める特定業務施設の位置及び規模。
urf:publicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める公共施設の位置及び規模。
urf:utilityFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 1 号に定める公益的施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。

urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	大規模災害復興法第 41 条第 2 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

25) urf:CollectiveUrbanDisasterPreventionFacilities

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 10 号に定める施設（一団地の都市安全確保拠点施設）。 溢水、湛水、津波、高潮その他の自然現象による災害が発生した場合における居住者等（居住者、来訪者又は滞在者をいう。以下同じ。）の安全を確保するための拠点となる一団地の特定公益的施設（避難場所の提供、生活関連物資の配布、保健医療サービスの提供その他の当該災害が発生した場合における居住者等の安全を確保するために必要な機能を有する集会施設、購買施設、医療施設その他の施設をいう。）及び公共施設をいう。	
上位の型	urf:UrbanFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:specificUtilityAndPublicFacilities	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 1 号に定める特定公益施設及び公共施設の位置及び規模。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	都市計画法第 11 条第 4 項第 2 号に定める建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

26) urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める施設。
上位の型	urf:UrbanFacility
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）に定義されていない政令で定める施設を記述する場合は、その種類を文字列で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

27) urf:TelecommunicationFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める電気通信事業の用に供する施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom=”m2”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。

urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

28) urf:WindProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防風の施設。
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

29) urf:FireProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防火の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。

urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

30） urf:TideFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防潮の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

31) urf:FloodPreventionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防水の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日マンホール）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:threeDimensionalExtent	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

32) urf:SnowProtectionFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防雪の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。

(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom="m"）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom="m"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

33) urf:SandControlFacility

型の定義	都市計画において定められるべき都市計画法第 11 条第 1 項第 15 号の政令で定める防砂の施設。	
上位の型	urf:UrbanFacilityStipulatedByCabinetOrder	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	都市施設の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項で定める名称（都市施設を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める面積。単位は m2（uom=”m2”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:number	xs:string [0..1]	都市施設を識別するための番号。
urf:length	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す延長。単位は m（uom=”m”）とする。
urf:width	gml:LengthType [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項の区域を示す幅員。単位は m（uom=”m”）とする。

継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 11 条第 2 項に定める都市施設の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:threeDimensionalExtent)	urf:ThreeDimensionalExtent [0..*]	都市施設に設定された立体的な範囲。

(8) 市街地開発事業

1) urf:UrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条に定める市街地開発事業	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。

urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第12条第5項に定める事業の実施予定機関の名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

2) urf:LandReadjustmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 1 号に定める事業。 土地区画整理法（昭和二十九年法律第百十九号）による土地区画整理事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。

urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 12 条第 3 項に定める公共施設の配置。
urf:buildingLotDevelopment	gml:StringOrRefType [1]	都市計画法第 12 条第 3 項に定める宅地の整備に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

3) urf:NewHousingAndUrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 2 号に定める事業。 新住宅市街地開発法（昭和三十八年法律第百三十四号）による新住宅市街地開発事業。
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:housing	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める住区。
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める公共施設の配置及び規模。
urf:residentialLandUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	新住宅市街地開発法第 4 条に定める宅地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

4) urf:IndustrialParkDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 3 号に定める事業。 首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律（昭和三十三年法律第九十八号）による工業団地造成事業又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律（昭和三十九年法律第百四十五号）による工業団地造成事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。

(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。

urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律第 5 条第 1 項又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律第 7 条第 1 項に定める公共施設の配置及び規模。
urf:residentialLandUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	首都圏の近郊整備地帯及び都市開発区域の整備に関する法律第 5 条第 1 項又は近畿圏の近郊整備区域及び都市開発区域の整備及び開発に関する法律第 7 条第 1 項に定める宅地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

5) urf:UrbanRedevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 4 号に定める事業。都市再開発法による市街地再開発事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	市街地再開発事業の種類。コードリスト（UrbanRedevelopmentProject_usage.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。

(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 4 条第 1 項に定める公共施設の配置及び規模。
urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [1]	都市再開発法第 4 条第 1 項に定める建築物及び建築敷地の整備計画。
urf:housingTarget	gml:StringOrRefType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の戸数その他住宅建設の目標。
urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の敷地面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の延床面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:numberOfHousing	xs:integer [0..1]	都市再開発法第 5 条に定める当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の戸数。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

6) urf:NewUrbanInfrastructureProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 5 号に定める事業。 新都市基盤整備法（昭和四十七年法律第八十六号）による新都市基盤整備事業。
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。

自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:landForCentralPublicFacilities	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める根幹公共施設の用に供すべき土地の区域。
urf:districtsAllocation	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める開発誘導地区の配置及び規模。
urf:landUsePlan	gml:StringOrRefType [1]	新都市基盤整備法第 4 条第 1 項に定める開発誘導地区内の土地の利用計画。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

7) urf:ResidentialBlockConstructionProject

型の定義	都市計画法第 12 条第 1 項第 6 号に定める事業。 大都市地域における住宅及び住宅地の供給の促進に関する特別措置法による住宅街区整備事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:publicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	大都市における住宅及び住宅地の供給促進に関する特別措置法第 31 条第 2 項に定める公共施設の配置及び規模。

urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [0..1]	大都市における住宅及び住宅地の供給促進に関する特別措置法第31条第2項に定める施設住宅の建設に関する計画。
urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の敷地面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:totalFloorArea	gml:MeasureType [0..1]	当該市街地再開発事業により確保されるべき住宅の延床面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第12条第2項に定める市街地開発事業の区域。高さを0とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

8) urf:DisasterPreventionBlockImprovementProject

型の定義	都市計画法第12条第1項第7号に定める事業。密集市街地整備法による防災街区整備事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第12条第2項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第12条第2項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:scheduledExecutor)	xs:string [0..1]	事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:disasterPreventionPublicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定める防災公共施設の配置及び規模。
urf:otherPublicFacilityAllocation	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定めるその他の公共施設の配置及び規模。
urf:developmentPlan	gml:StringOrRefType [1]	密集市街地整備法第 120 条第 1 項に定める防災施設建築物の整備に関する計画。

継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

9) urf:UrbanRenewalProject

型の定義	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律(昭和 36 年法律第 109 号)第 3 条で定められる、旧都市計画法(大正 8 年法律第 36 号)第 3 条の定める手続きによって都市計画として決定された市街地改造事業。	
上位の型	urf:UrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	市街地開発事業の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める名称（市街地開発事業を識別する名前）。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の種類。コードリスト（UrbanDevelopmentProject_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項で定める事業の実施予定機関の名称。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:storeysAboveGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築物の地上階数。
urf:storeysBelowGround	xs:nonNegativeInteger [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築物の地下階数。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される壁面の位置の限度。
urf:floorAreaRate	xs:integer [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される容積の限

		度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:buildingUsage	xs:string [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される主な用途。
urf:siteArea	gml:MeasureType [0..1]	旧公共施設の整備に関連する市街地の改造に関する法律第 4 条第 2 項で定められる建築物の整備に関する計画に示される建築敷地の面積。単位は m2（uom="m2"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(9) 市街地開発事業の予定区域

1) urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 に定める予定区域。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。

(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

2) urf:ScheduledAreaForNewHousingAndUrbanDevelopmentProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 1 号に定める新住宅市街地開発事業の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。

urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める市街地開発事業の区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

3) urf:ScheduledAreaForIndustrialParkDevelopmentProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 2 号に定める工業団地造成事業の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。

gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。

urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

4) urf:ScheduledAreaForNewUrbanInfrastructureProjects

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 3 号に定める新都市基盤整備事業の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopm

		ent_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義

urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

5) urf:ScheduledAreaForCollectiveHousingFacilities

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 4 号に定める区域の面積が 20ha 以上の一団地の住宅施設の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。

urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

6) urf:ScheduledAreaForCollectiveGovernmentAndPublicOfficeFacilities

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 5 号に定める一団地の官公庁施設の予定区域。
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject
ステレオタイプ	<<FeatureType>>
継承する属性	

属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。

urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

7) urf:ScheduledAreaForDistributionBusinessPark

型の定義	都市計画法第 12 条の 2 第 1 項第 6 号に定める流通業務団地の予定区域。	
上位の型	urf:ScheduledAreaForUrbanDevelopmentProject	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項で定める名称（市街地開発事業等予定区域を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める市街地開発事業予定区域の種類。コードリスト（ScheduledAreaForUrbanDevelopment_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法第 12 条第 2 項に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	区域が設定された位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:scheduledExecutor	xs:string [1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める施行予定者。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 2 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(10) 地区計画等

1) urf:DistrictPlan

型の定義	建築物の建築形態、公共施設その他の施設の配置等からみて、一体としてそれぞれの区域の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境の各街区を整備し、開発し、及び保全するための計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。 促進区を定める場合、当該地区計画は、再開発等促進区又は開発整備促進区を定める地区計画となる。コードリスト（DistrictPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。

urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 3 号に定める当該区域の整備、開発及び保全に関する方針。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:facilityAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	道路、公園その他の政令で定める施設（都市計画施設及び沿道地区施設を除く。）の配置及び規模。

		地区計画に促進区を定める場合に作成する。（都市計画法第 12 条の 5 第 5 項第 1 号）
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用に関する基本方針。 地区計画に促進区を定める場合に作成する。（都市計画法第 12 条の 5 第 5 項第 2 号）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..*]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 1 号に定める当該地区計画等に定められた地区整備計画。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	当該地区計画等に再開発等促進区や開発整備促進区を定める場合の促進区。促進区を定める場合、「再開発促進区を定める地区計画」又は「開発整備促進区を定める地区計画」となる。

2)　urf:RoadsideDistrictPlan

型の定義	幹線道路の沿道の整備に関する法律（昭和五十五年法律第三十四号）第九条第一項の規定による沿道地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。 沿道再開発等促進区を定める場合は、沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画となる。コードリスト

		（DistrictPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。

urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 2 項第 3 号に定める当該区域の整備、開発及び保全に関する方針。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf: facilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	道路、公園その他の政令で定める施設（都市計画施設及び沿道地区施設を除く。）の配置及び規模。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合に作成する（幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 4 項）。
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	土地利用に関する基本方針。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合に作成する（幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 4 項）。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..*]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 2 項第 1 号に定める当該沿道地区計画に定められた沿道地区整備計画(urf:RoadsideDistrictImprovementPlan)。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	沿道再開発等促進区。沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合にのみ作成する。

3) urf:RuralDistrictPlan

型の定義	集落地域整備法（昭和六十二年法律第六十三号）第五条第一項の規定による集落地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト（DistrictPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha（uom=”ha”）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	集落整備法第 5 条第 4 項に定める集落地区計画の目標。

urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	集落整備法第 5 条第 4 項に定める区域の整備、開発及び保全に関する方針。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..*]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 2 項第 1 号に定める当該沿道地区計画に定められた沿道地区整備計画(urf:RoadsideDistrictImprovementPlan)。
urf:promotionDistrict	urf:PromotionDistrict [0..*]	沿道再開発等促進区。 沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画の場合にのみ作成する。

4) urf:HistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrictPlan

型の定義	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（平成二十年法律第四十号）第三十一条第一項の規定による歴史的風致維持向上地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト（DistrictPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 2 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 4 号に定める当該地区計画の方針。
自身に定義された属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:landUsePolicy	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 3 号に定める土地利用に関する基本方針。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..*]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 2 項第 1 号に示される「歴史的風致維持向上地区整備計画」(urf:DistrictImprovementPlanForHistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrict)。
(urf:promotionDistrict)	urf:PromotionDistrict [0..*]	

5) urf:DisasterPreventionBlockImprovementZonePlan

型の定義	密集市街地整備法第 32 条第 1 項の規定による防災街区整備地区計画。	
上位の型	urf:_AbstractDistrictPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項で定める名称（地区計画を識別する名前）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区計画の種類。コードリスト（DistrictPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。

urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。不明な場合は文字列で「Null」と入力する。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。コードリスト（Common_urbanPlanType.xml）より選択する。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。コードリスト（Common_areaClassificationType.xml）より選択する。
urf:nominalArea	gml:MeasureType [0..1]	都市計画法施行令第 7 条の 3 に定める面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他当該区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める位置。町丁目又は字まで記載する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:objectives	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 2 項第 3 号に定める当該地区計画の目標。
urf:policy	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 2 項第 3 号に定める当該地区計画の方針。
自身に定義された属性		

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:zonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	地区防災施設の区域。
urf:specifiedZonalDisasterPreventionFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	特定地区防災施設の区域。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtDevelopmentPlan	urf:DistrictDevelopmentPlan [0..*]	防災街区整備地区計画に定められた特定建築物地区整備計画(urf:SpecifiedBuildingZoneImprovementPlan)及び防災街区整備地区整備計画(urf:DistrictImprovementPlanForDisasterPreventionBlockImprovementZonePlan)。
(urf:promotionDistrict)	urf:PromotionDistrict [0..*]	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:zonalDisasterPreventionFacilities	urf:ZonalDisasterPreventionFacility [0..*]	防災街区整備地区計画に計画された地区防災施設及び特定地区防災施設(urf:ZonalDisasterPreventionFacility)。

6) urf:DistrictDevelopmentPlan

型の定義	主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（地区施設）及び建築物等の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。

urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。関連役割「urf:districtFacility」により地区施設の区域を示さない場合は、この属性により地区施設を記述する。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
urf:activityRestrictionInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 4 号に定める現に存する農地（耕作の目的に供される土地）で農業の利便の増進と調和した良好な

		居住環境を確保するため必要なものにおける土地の形質の変更その他の行為の制限に関する事項
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 5 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	当該地区整備計画に設定された都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 1 号に定める地区施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

7) urf:SpecifiedBuildingZoneImprovementPlan

型の定義	当該区域における特定防災機能を確保するための防災公共施設（都市計画施設を除く。以下「地区防災施設」という。）の区域（地区防災施設のうち建築物等と一体となって当該特定防災機能を確保するために整備されるべきもの（特定地区防災施設）にあっては、当該特定地区防災施設の区域及び当該建築物等の整備に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。

(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:districtFacilitiesAllocation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
(urf:urbanGreenSpaceConservation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
(urf:activityRestrictionInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	
(urf:landuseRestrictions)	gml:StringOrRefType [0..1]	
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた防災地区。

8) urf:DistrictImprovementPlanForDisasterPreventionBlockImprovementZonePlan

型の定義	防災街区整備地区整備計画。主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（地区施設）及び建築物等（特定建築物地区整備計画の区域内の建築物等を除く。）の整

	備並びに土地の利用に関して、地区防災施設の区域以外の防災街区整備地区計画の区域について定める計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。

urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
urf:activityRestrictionInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	都市計画法第 12 条の 5 第 7 項第 4 号に定める現に存する農地（耕作の目的に供される土地）で農業の利便の増進と調和した良好な居住環境を確保するため必要なものにおける土地の形質の変更その他の行為の制限に関する事項。
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	密集市街地整備法第 32 条第 4 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた防災地区。

9) urf:RoadsideDistrictImprovementPlan

型の定義	沿道地区整備計画。 緑地その他の緩衝空地及び主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路その他政令で定める施設（都市計画施設を除く。「沿道地区施設」）並びに建築物その他の工作物の整備並びに土地の利用その他の沿道の整備に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
(urf:districtFacilitiesAllocation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:activityRestrictionInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 4 号に定める土地の利用に関する事項その他沿道の整備に関する事項。

自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:rodsideDistrictFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 項第 1 号に定める沿道地区施設の配置及び規模。関連役割「urf:districtFacilities」により沿道地区施設の区域を示さない場合は、この属性により沿道地区施設を記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	幹線道路の沿道の整備に関する法律第 9 条第 6 号第 1 号に定められた当該地区整備計画に定められた沿道地区施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

10) urf:RuralDistrictImprovementPlan

型の定義	集落地区整備計画。主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（集落地区施設）及び建築物その他の工作物（建築物等）の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。

(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:urbanGreenSpaceConservation)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:activityRestrictionInFarmland	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定める集落地区施設の配置及び規模。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:ruralDistrictFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定める集落地区施設の配置及び規模。 関連役割「urf:districtFacilities」により集落地区施設の区域を示さない場合は、この属性により集落地区施設を記述する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

urf:districtFacility	urf:DistrictFacility [0..*]	集落地域整備法第 5 条第 5 項第 1 号に定められた当該地区整備計画に定められた集落地区施設。
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

11) urf:DistrictImprovementPlanForHistoricSceneryMaintenanceAndImprovementDistrict

型の定義	歴史的風致維持向上地区整備計画。 主として街区内の居住者、滞在者その他の者の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設（都市計画施設を除く。地区施設）及び建築物等の整備並びに土地の利用に関する計画。	
上位の型	urf:DistrictDevelopmentPlan	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区整備計画を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める地区整備計画の種類。コードリスト（DistrictDevelopmentPlan_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。

(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	区域が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区整備計画の位置。町丁目又は字まで記載する。
urf:districtFacilitiesAllocation	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 1 号に定める地区施設の配置及び規模。
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 2 号に定める建築物等の制限。
urf:urbanGreenSpaceConservation	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 3 号に定める現に存する樹林地、草地等で良好な居住環境を確保するため必要なものの保全に関する事項。
(urf:activityRestrictionInFarmland)	gml:StringOrRefType [0..1]	
urf:landuseRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第 31 条第 4 項第 4 号に定める土地の利用に関する事項。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市計画法第 12 条の 4 第 2 項に定める区域。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。
(urf:districtFacility)	urf:DistrictFacility [0..*]	
urf:district	urf:District [0..*]	当該地区整備計画に定められた地区。

12) urf:PromotionDistrict

型の定義	地区計画に定められる促進区。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	促進区を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。

(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	促進区の種類。コードリスト（PromotionArea_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	促進区が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	促進区の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	促進区の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	促進の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

13) urf:District

型の定義	地区整備計画に定められる地区。
上位の型	urf:Zone
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区の概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区を識別する名前。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区の種類。コードリスト（District_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。沿道地区整備計画の場合は沿道地区、防災街区整備地区整備計画の場合はの防災地区となる。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	区域の用途。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
urf:reason	gml:StringOrRefType [0..1]	地区が指定された理由。
urf:note	gml:StringOrRefType [0..1]	その他区域に関して特筆すべき事項。

(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:buildingRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物に関する制限事項。
urf:useRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物等の用途の制限。
urf:maximumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumFloorAreaRate	xs:integer [0..1]	延べ面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:maximumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	建築基準法第 53 条で定められる建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumBuildingCoverageRate	xs:integer [0..1]	建築基準法第 53 条で定められる建築面積の敷地面積に対する割合の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:minimumSiteArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の敷地面積の最低限度。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:minimumBuildingArea	gml:MeasureType [0..1]	建築物の建築面積の最低限度。単位は m2（uom="m2"）とする。
urf:minimumGroundHeight	gml:LengthType[0..1]	建築物の敷地の地盤面の高さの最低限度。高さは m（uom="m"）とする。
urf:setbackSize	gml:StringOrRefType [0..1]	外壁の後退距離。
urf:strucuturePlacementRestrictions	gml:StringOrRefType [0..1]	壁面後退区域における工作物の設置の制限。
urf:maximumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築物の高さの最高限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumBuildingHeight	gml:LengthType [0..1]	建築物の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:minimumFloorHeight	gml:LengthType [0..1]	床面の高さの最低限度。単位は m（uom="m"）とする。
urf:buildingDesignRestriction	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の形態及び意匠にかかる制限。
urf:minimumGreeningRate	xs:integer [0..1]	都市緑地法第 34 条第 3 項で定められる最低限度の緑化率。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
urf:fenceGuideline	gml:StringOrRefType [0..1]	垣及びさくの構造にかかる制限。
urf:restrictionsForFireProtection	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の構造に関する防火上必要な制限。
urf:restrictionsForNoiseProtection	gml:StringOrRefType [0..1]	建築物の構造に関する防音上又は遮音上必要な制限。
urf:minimumFrontageRate	xs:integer [0..1]	建築物の特定地区防災施設に係る間口率の最低限度。全体を「100」とする割合（百分率）で記述する。（単位は%）
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区の範囲。高さを 0 とする。

		計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

14) urf:DistrictFacility

型の定義	地区計画において定められる、主として街区内の居住者等の利用に供される道路、公園その他政令で定める施設。 道路、公園、避難路、避難施設、雨水貯留浸透施設、緑地及び広場その他公共空地。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類。コードリスト（Common_districtFacilityType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。

(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

15) urf:RuralDistrictFacility

型の定義	集落地区計画において定められる、主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路、公園その他の政令で定める施設。	
上位の型	urf:DistrictFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類。コードリスト（Common_districtFacilityType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。

(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

16) urf:RoadsideDistrictFacility

型の定義	沿道地区計画において定められる、緑地その他の緩衝空地及び主として当該区域内の居住者等の利用に供される道路その他政令で定める施設。（都市計画施設は除く）	
上位の型	urf:DistrictFacility	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区施設を識別する名前。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。

(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	地区施設の種類。コードリスト（Common_districtFacilityType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区施設の用途。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。
urf:location	xs:string [0..1]	地区施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区施設の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

17) urf:ZonalDisasterPreventionFacility

型の定義	防災街区整備地区計画において定められる、当該区域における特定防災機能を確保するための防災公共施設。（都市計画施設は除く）

上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	地区防災施設の内容
gml:name	gml:CodeType [0..1]	地区防災施設を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	地区防災施設の種類。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	地区防災施設の用途。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。
(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）。

urf:location	xs:string [0..1]	地区防災施設の位置。町丁目又は字まで記載する。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:facilityType	gml:CodeType [1]	地区防災施設の区分。コードリスト（ZonalDisasterPreventionFacility_facilityType.xml）より選択する。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	地区防災施設の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す区域の境界線に囲まれた平面的な範囲を指す。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	地区防災施設の区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(11) 立体的な範囲

1) urf:ThreeDimensionalExtent

型の定義	都市計画法第 11 条第 3 項に定められる，都市施設について，適正かつ合理的な土地利用を図るため必要があるときに当該都市施設の区域の地下又は空間設けられる当該都市施設を整備する立体的な範囲。	
上位の型	urf:_UrbanFunction	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	区域の概要。
(gml:name)	gml:CodeType [0..1]	区域を識別する名前。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	データが作成された日。運用上必須とする。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	データが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:RelativeToTerrainType [0..1]	地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:RelativeToWaterType [0..1]	水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	区域の分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	区域の種類。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	対象となる都市施設の種類。コードリスト（UrbanFacility_function.xml）より選択する。
(urf:validFrom)	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validFromType)	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。
(urf:enactmentFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	決定された年度（西暦）。
(urf:validTo)	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
(urf:validToType)	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。
(urf:expirationFiscalYear)	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
(urf:legalGrounds)	xs:string [0..1]	法的背景。
(urf:custodian)	xs:string [0..1]	都市計画法第 15 条第 1 項で規定する都市計画を定める者の名称。

(urf:notificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号。
(urf:finalNotificationNumber)	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
(urf:finalNotificationDate)	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
(urf:urbanPlanType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
(urf:areaClassificationType)	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する区域区分。
(urf:nominalArea)	gml:MeasureType [0..1]	公式の面積。単位は ha（uom="ha"）とする。
(urf:prefecture)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する都道府県の都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
(urf:city)	gml:CodeType [0..1]	区域が所在する市区町村の市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI [0..1]	外部の参照情報。
(urf:reason)	gml:StringOrRefType [0..1]	地区施設が指定された理由。
(urf:note)	gml:StringOrRefType [0..1]	その他地区施設に関して特筆すべき事項。
(urf:surveyYear)	xs:gYear [0..1]	調査が実施された年（西暦）。
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:minimumDistance	gml:LengthType [0..1]	立体的な範囲からの離隔距離の最小限度。単位は、m（uom="m"）とする。
urf:maximumLoad	gml:MeasureType [0..1]	立体的な範囲からの 1m2 当たりの載荷重の最大限度。単位は、kN（uom=" kN"）とする。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	区域の範囲。高さを 0 とする。 計画図に示す立体的な範囲が指定された平面的な範囲を指す。

(12) 区域の境界

1) urf:Boundary

型の定義	区域の境界線。 都市計画決定された区域を区分する境界線。都市計画決定された区域の境界に確定根拠等の情報を付与したい場合に作成する。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	境界線の区分。
urf:function	gml:CodeType [1..*]	境界線の種類。コードリスト（Boundary_function.xml）より選択する。
urf:usage	gml:CodeType [0..*]	境界界が区切る区域の種類。コードリスト（UrbanPlan_areaType.xml）より選択する。

		都市計画の区域を区分する境界の場合に、区域の種類を特定する。
urf:offset	gml:LengthType [0..1]	オフセットされている場合の量。単位は m（uom="m"）とする。
urf:offsetDirection	xs:string [0..1]	基準となる線に対するオフセットの方向。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:location	gml:MultiCurve [0..1]	境界線の位置。高さを 0 とする。

(13) 立地適正化計画

1) urf:UrbanFunctionAttractionArea

型の定義	都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画に記載された、都市機能増進施設の立地を誘導すべき区域（都市機能誘導区域）。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	決定主体。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	公式な面積。単位は ha（uom="ha"）と基本する。

urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI	位置図対応番号。
urf:reason	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
urf:location	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市機能誘導区域の外周により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

1) urf:ResidenceAttractionArea

型の定義	都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画に記載された、都市の居住者の居住を誘導すべき区域（居住誘導区域）。	
上位の型	urf:Zone	
ステレオタイプ	<<FeatureType>>	
継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
(urf:function)	gml:CodeType [0..*]	機能。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	決定主体。

urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	公式な面積。単位は m2。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI	位置図対応番号。
urf:reason	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
urf:location	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	居住誘導区域の外周により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。
urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

(14) データ品質

1) uro:DataQualityAttribute

型の定義	都市オブジェクトの品質を記述するためのデータ型。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
(uro:geometrySrcDescLod0)	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
uro:geometrySrcDescLod1	gml:CodeType [1..*]	LOD1 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。コードリスト（DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml）より選択する。
(uro:geometrySrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
(uro:geometrySrcDescLod4)	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトの作成に使用した原典資料の種類。
uro:thematicSrcDesc	gml:CodeType [0..*]	主題属性の作成に使用した原典資料の種類。コードリスト（DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml）より選択する。

		主題属性が作成対象となっている場合は必須とする。
(uro:appearanceSrcDescLod0)	gml:CodeType [0..*]	LOD0 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod1)	gml:CodeType [0..*]	LOD1 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod2)	gml:CodeType [0..*]	LOD2 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:appearanceSrcDescLod3)	gml:CodeType [0..*]	LOD3 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
uro:appearanceSrcDescLod4	gml:CodeType [0..*]	LOD4 の幾何オブジェクトのアピアランスに使用した原典資料の種類。
(uro:lodType)	gml:CodeType[0..*]	オブジェクトに適用された LOD の詳細な区分。
(uro:lod1HeightType)	gml:CodeType [0..1]	LOD1 の立体図形を作成する際に使用した高さの算出方法。
(uro:tranDataAcquisition)	xs:string [0..1]	「道路基盤地図情報（整備促進版）製品仕様書（案）」（平成 27 年 5 月）に定める「取得レベル(level)」を記述するための属性。
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
(uro:publicSurveyDataQualityAttribute)	uro:PublicSurveyDataQualityAttribute [0..1]	使用した公共測量成果の地図情報レベルと種類。

(15) 拡張属性及び拡張のための区域

1) uro:KeyValuePairAttribute

型の定義	都市オブジェクトに付与する追加情報。都市オブジェクトが継承する属性及び都市オブジェクトに定義された属性以外にコード型の属性を追加したい場合に使用する。 属性名称と属性の値の対で構成される。コード値以外の属性を追加する場合は、gen:_GenericAttribute を使用すること。	
上位の型	—	
ステレオタイプ	<<DataType>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
uro:key	gml:CodeType [1]	拡張する属性の名称。名称は、コードリスト（KeyValuePairAttribute_key.xml）を作成し、選択する。
uro:codeValue	gml:CodeType [1]	拡張された属性の値。値は、コードリスト（KeyValuePairAttribute_key[key].xml）を作成し、選択する。 [key]は、属性 uro:key の値に一致する。

2) urf:Zone

型の定義	法令で定められた区域。 拡張製品仕様書において標準製品仕様書に定義のない都市計画の区域を記述するために使用する。
上位の型	urf:Zone
ステレオタイプ	<<FeatureType>>

継承する属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
gml:description	gml:StringOrRefType [0..1]	概要。
gml:name	gml:CodeType [0..1]	名称。文字列とする。
(gml:boundedBy)	gml:Envelope [0..1]	オブジェクトの範囲と空間参照系。
core:creationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが作成された日。
core:terminationDate	xs:date [0..1]	オブジェクトが削除された日。
(core:relativeToTerrain)	core:relativeToTerrainType [0..1]	オブジェクトと地表面との相対的な位置関係。
(core:relativeToWater)	core:relativeToWaterType [0..1]	オブジェクトと水面との相対的な位置関係。
(urf:class)	gml:CodeType [0..1]	分類。
urf:function	gml:CodeType [0..*]	機能。この地物型を使用する場合は、コードリスト（Zone_function.xml）を作成する。 拡張製品仕様書では、コードは 9000～9999 までの任意の半角数字 4 桁を使用する。
(urf:usage)	gml:CodeType [0..*]	用途。
urf:validFrom	xs:date [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。年月日が不明な場合は、0001-01-01 とする。
urf:validFromType	gml:CodeType [0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。多重度は任意となっているが、運用上必須とする。
urf:enactmentFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を生じる日（当初の決定日）の年度（西暦）。
urf:validTo	xs:date [0..1]	効力を失う日の年月日を西暦（YYYY-MM-DD）で記述する。
urf:validToType	gml:CodeType [0..1]	効力を失う日の種類。コードリスト（Common_validType.xml）より選択する。
urf:expirationFiscalYear	xs:gYear[0..1]	効力を失う日の年度（西暦）。
urf:legalGrounds	xs:string [0..1]	法的背景。
urf:custodian	xs:string [0..1]	決定主体。
urf:notificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（当初）。
urf:finalNotificationNumber	xs:string [0..1]	告示番号（最終）。
urf:finalNotificationDate	xs:date [0..1]	告示（最終）の日付。
urf:urbanPlanType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域が属する都市計画区域の区分。
urf:areaClassificationType	gml:CodeType [0..1]	指定された区域 が属する区域区分。
urf:nominalArea	gml:MeasureType	公式な面積。単位は ha（uom="ha"）と基本する。
urf:prefecture	gml:CodeType [0..1]	都道府県コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:city	gml:CodeType [0..1]	市区町村コード。コードリスト（Common_localPublicAuthorities.xml）より選択する。
urf:reference	xs:anyURI	位置図対応番号。
urf:reason	xs:string [0..1]	指定された理由。
urf:note	xs:string [0..1]	備考。
(urf:surveyYear)	xs:gYear[0..1]	調査が実施された年（西暦）
urf:location	xs:string [0..1]	区域の位置を示す名称。
継承する関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
urf:lod1MultiSurface	gml:MultiSurface [0..1]	都市機能誘導区域の外周により囲まれた範囲。
(urf:keyValuePairAttribute)	uro:KeyValuePairAttribute [0..*]	コード属性を拡張するための仕組み。コード値以外の属性を拡張する場合は、gen:_GenericAttribute の下位型を使用する。

urf:dataQualityAttribute	uro:DataQualityAttribute [0..1]	作成したデータの品質に関する情報。必須とする。
urf:boundary	urf:Boundary [0..*]	区域を構成する境界。区域の外周及び内周となる境界線。

4.4.4　都市計画決定情報で使用するコードリスト及び列挙型

コードリスト及び列挙型は、属性の型として使用されるクラスである。ここで指定されたコード又は値から選択し、属性の値とする。本項で示すコードリスト及び列挙型は標準製品仕様書で使用するもののみである。拡張製品仕様書においてコードリストを追加又は変更した場合には、それぞれの拡張製品仕様書においてそのリストを示さなければならない。また、列挙型は変更することができない。

(1)　Common_urbanPlanType.xml

ファイル名	Common_urbanPlanType.xml
コード	説明
21	都市計画区域
26	準都市計画区域
27	都市計画区域外

(2)　Common_areaClassificationType.xml

ファイル名	Common_areaClassificationType.xml
コード	説明
22	市街化区域
23	市街化調整区域

(3)　Common_districtsAndZonesType.xml

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
0	用途地域の指定をしない区域
1	第 1 種低層住居専用地域
2	第 2 種低層住居専用地域
3	第 1 種中高層住居専用地域
4	第 2 種中高層住居専用地域
5	第 1 種住居地域
6	第 2 種住居地域
7	準住居地域
8	田園住居地域
9	近隣商業地域
10	商業地域
11	準工業地域
12	工業地域
13	工業専用地域
14	特別用途地区
15	特定用途制限地域
16	特例容積率適用地区
17	高層住居誘導地区
18	高度地区
19	高度利用地区
20	特定街区
21	都市再生特別地区
22	居住調整地域

ファイル名	Common_districtsAndZonesType.xml
コード	説明
23	特定用途誘導地区
24	防火地域
25	準防火地域
26	特定防災街区整備地区
27	景観地区
28	風致地区
29	駐車場整備地区
30	臨港地区
31	歴史的風土特別保存地区
32	第 1 種歴史的風土保存地区
33	第 2 種歴史的風土保存地区
34	緑地保全地域
35	特別緑地保全地区
36	緑化地域
37	流通業務地区
38	生産緑地地区
39	伝統的建造物群保存地区
40	航空機騒音障害防止地区
41	航空機騒音障害防止特別地区
42	居住環境向上用途誘導地区

(4) Common_validType.xml

ファイル名	Common_validType.xml
コード	説明
1	決定
2	廃止
3	変更
9	不明

(5) Common_availabilityType.xml

ファイル名	Common_availabilityType.xml
コード	説明
1	有り
2	無し
3	不明

(6) SpecialUseDistrict_usage.xml

ファイル名	SpecialUseDistrict_usage.xml
コード	説明
1	特別工業地区
2	文教地区
3	小売店舗地区

ファイル名	SpecialUseDistrict_usage.xml
コード	説明
4	事務所地区
5	厚生地区
6	娯楽レクリエーション地区
7	観光地区
8	特別業務地区
9	中高層階住居専用地区
10	商業専用地区
11	研究開発地区
12	その他

(7) HeightControlDistrict_usage.xml

ファイル名	HeightControlDistrict_usage.xml
コード	説明
1	最高限高度地区
2	最低限高度地区

(8) FirePreventionDistrict_usage.xml

ファイル名	FirePreventionDistrict_usage.xml
コード	説明
1	防火地域（地域）
2	防火地域（路線）
3	準防火地域（地域）
4	準防火地域（路線）

(9) ScenicDistrict_usage.xml

ファイル名	ScenicDistrict_usage.xml
コード	説明
1	第一種風致地区
2	第二種風致地区
3	第三種風致地区
4	第四種風致地区

(10) PortZone_usage.xml

ファイル名	PortZone_usage.xml
コード	説明
1	商港区
2	特殊物資港区
3	工業港区
4	鉄道連絡港区
5	漁港区
6	バンカー港区
7	保安港区

8	マリーナ港区
9	修景厚生港区

(11) SpecialGreenSpaceConservationDistrict_requirement.xml

ファイル名	SpecialGreenSpaceConservationDistrict_requirement.xml
コード	説明
1	無秩序な市街地化の防止、公害又は災害の防止等の為必要な遮断地帯、緩衝地帯又は非難地帯として適切な位置、規模及び形態を有するもの
2	神社、寺院等の建造物、遺跡等と一体となって、又は伝承若しくは風俗慣習と結びついて当該地域において伝統的又は文化的意義を有するもの
3	風致又は景観が優れていて、かつ当該地域の住民の健全な生活環境を確保するため必要なもの
4	動植物の生息地又は生育地として適正に保全する必要があり、かつ当該地域の住民の健全な生活環境を確保するため必要なもの
5	雨水の貯留浸透等のグリーンインフラとしての機能を有する緑地

(12) ProjectPromotionArea_function.xml

ファイル名	ProjectPromotionArea_function.xml
コード	説明
1	市街地再開発促進区域
2	土地区画整理促進区域
3	住宅街区整備促進区域
4	拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域

(13) UrbanRoadAttribute_routeTypeNumber.xml

ファイル名	UrbanRoadAttribute_routeTypeNumber.xml
コード	説明
1	自動車専用道路
3	幹線街路
7	区画街路
8	特殊街路（歩行者、自転車道）
9	特殊街路（都市モノレール）
10	特殊街路（路面電車）

(14) UrbanRoadAttribute_routeSizeNumber.xml

ファイル名	UrbanRoadAttribute_routeSizeNumber.xml
コード	説明
1	幅員 40m 以上
2	幅員 30m 以上 40m 未満
3	幅員 22m 以上 30m 未満

4	幅員 16m 以上 22m 未満
5	幅員 12m 以上 16m 未満
6	幅員 8m 以上 12m 未満
7	幅員 8m 未満

(15) UrbanRoadAttribute_roadType.xml

ファイル名	UrbanRoadAttribute_roadType.xml
コード	説明
1	自動車専用道路
2	幹線街路
3	区画街路
4	特殊街路

(16) Common_trafficFacilityStructureType.xml

ファイル名	Common_trafficFacilityStructureType.xml
コード	説明
1	嵩上式
2	地下式
3	掘割式
4	地表式

(17) Common_trafficFacilityCrossingType.xml

ファイル名	Common_trafficFacilityCrossingType.xml
コード	説明
1	立体交差
2	平面交差

(18) VehicleTerminalAttribute_terminalType.xml

ファイル名	VehicleTerminalAttribute_terminalType.xml
コード	説明
1	トラックターミナル
2	バスターミナル

(19) ParkAttribute_parkTypeNumber.xml

ファイル名	ParkAttribute_parkTypeNumber.xml
コード	説明
2	街区公園
3	近隣公園
4	地区公園
5	総合公園
6	運動公園
7	特殊公園（風致の享受に供する）
8	特殊公園（動物、植物、歴史公園等）
9	広域公園

(20) ParkAttribute_parkSizeNumber.xml

ファイル名	ParkAttribute_parkSizeNumber.xml
コード	説明
2	面積 1ha 未満
3	面積 1ha 以上 4ha 未満
4	面積 4ha 以上 10ha 未満
5	面積 10ha 以上 50ha 未満
6	面積 50ha 以上 300ha 未満
7	面積 300ha 以上

(21) Waterway_structure.xml

ファイル名	Waterway_structure.xml
コード	説明
1	単断面式
2	複断面式
3	築堤式単断面
4	堤防式単断面
5	堤防式複断面
6	堀込式単断面
7	堀込式複断面
8	地下トンネル式単断面
9	地下式単断面
10	堀込式
11	暗渠式
12	ブロック単断面
13	ブロック堤防式

(22) SewerSystemAttribute_systemType.xml

ファイル名	SewerSystemAttribute_systemType.xml
コード	説明
1	公共下水道
2	流域下水道
3	都市下水路

(23) UrbanRedevelopmentProject_usage.xml

ファイル名	UrbanRedevelopmentProject_usage.xml
コード	説明
1	第一種
2	第二種

(24) Common_urbanDevelopmentProjectType.xml

ファイル名	Common_urbanDevelopmentProjectType.xml
コード	説明

1	土地区画整理事業
2	新住宅市街地開発事業
3	工業団地造成事業
4	市街地再開発事業
5	新都市基盤整備事業
6	住宅街区整備事業

(25) Common_scheduledAreaType.xml

ファイル名	Common_scheduledAreaType.xml
コード	説明
1	新住宅市街地開発事業の予定区域
2	工業団地造成事業の予定区域
3	新都市基盤整備事業の予定区域
4	区域の面積が二十ヘクタール以上の一団地の住宅施設の予定区域
5	一団地の官公庁施設の予定区域
6	流通業務団地の予定区域

(26) Common_districtPlanType.xml

ファイル名	Common_districtPlanType.xml
コード	説明
1	地区計画
2	再開発等促進区を定める地区計画
3	開発整備促進区を定める地区計画
4	地区計画（誘導容積型）
5	地区計画（容積適正配分型）
6	地区計画（高度利用型）
7	地区計画（用途別容積型）
8	地区計画（街並み誘導型）
9	地区計画（立体道路制度）
10	防災街区整備地区計画
11	歴史的風致維持向上地区計画
12	沿道地区計画
13	沿道再開発等促進区を定める沿道地区計画
14	集落地区計画

(27) Common_districtDevelopmentPlanType.xml

ファイル名	Common_districtDevelopmentPlanType.xml
コード	説明
1	地区整備計画
2	特定建築物地区整備計画
3	防災街区整備地区整備計画
4	沿道地区整備計画
5	集落地区整備計画

6	歴史的風致維持向上地区整備計画

(28) ZonalDisasterPreventionFacility_facilityType.xml

ファイル名	ZonalDisasterPreventionFacility_facilityType.xml
コード	説明
1	地区防災施設
2	特定地区防災施設

(29) Common_districtFacilityType.xml

ファイル名	Common_districtFacilityType.xml
コード	説明
1	地区施設
2	沿道地区施設
3	集落地区施設

(30) District_function.xml

ファイル名	District_function.xml
コード	説明
1	地区
2	沿道地区
3	集落地区

(31) PromotionArea_function.xml

ファイル名	PromotionArea_function.xml
コード	説明
1	再開発促進区
2	開発整備促進区
3	沿道再開発等促進区

(32) Boundary_function.xml

ファイル名	Boundary_function.xml
コード	説明
11	行政界
21	地番界
22	現地杭界
23	見通し界
24	境界未確定
31	道路区域（道路法により定められる）
32	道路区域（現況）
33	河川区域（河川法により定められる）
34	河川区域（現況）
35	水路界
36	鉄道界
37	護岸界、河川界、埋立界

38	都市公園法に定める公園界
41	道路中心線

(33) UrbanPlan_areaType.xml

ファイル名	UrbanPlan_areaType.xml
コード	説明
1001	都市計画区域
1002	準都市計画区域
1100	区域区分
2000	地域地区
2100	用途地域
2200	特別用途地区
2201	特定用途制限地域
2202	特例容積率適用地区
2203	高層住居誘導地区
2204	高度地区
2205	高度利用地区
2206	特定街区
2207	都市再生特別地区
2208	居住調整地域
2209	特定用途誘導地区
2210	防火地域又は準防火地域
2211	特定防災街区整備地区
2212	景観地区
2213	風致地区
2214	駐車場整備地区
2215	臨港地区
2216	歴史的風土特別保存地区
2217	第 1 種・第 2 種歴史的風土保存地区
2218	緑地保全地域
2219	特別緑地保全地区
2220	緑化地域
2221	流通業務地区
2222	生産緑地地区
2223	伝統的建造物群保存地区
2224	航空機騒音障害防止地区
2225	航空機騒音障害防止特別地区
2226	居住環境向上用途誘導地区
2300	促進区域
2301	市街地再開発促進区域
2302	土地区画整理促進区域
2303	住宅街区整備促進区域
2304	拠点業務市街地整備土地区画整理促進区域
2400	遊休土地転換利用促進地区

ファイル名	UrbanPlan_areaType.xml
コード	説明
2500	被災市街地復興推進地域
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河
3060	教育文化施設
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3070	医療施設
3071	病院
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設

ファイル名	UrbanPlan_areaType.xml
コード	説明
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設
3200	防火施設
3210	防水施設
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3240	防砂施設
4000	市街地開発事業
4001	土地区画整理事業
4002	新住宅市街地開発事業
4003	工業団地造成事業
4004	市街地再開発事業
4005	新都市基盤整備事業
4006	住宅街区整備事業
4100	市街地開発事業等予定地域
4102	新住宅市街地開発事業の予定区域
4103	工業団地造成事業の予定区域
4105	新都市基盤整備事業の予定区域
4107	一団地の住宅施設の予定区域
4108	一団地の官公庁施設の予定区域
4109	流通業務団地の予定区域
5000	地区計画
5010	防災街区整備地区計画
5020	歴史的風致維持向上地区計画
5030	沿道地区計画
5040	集落地区計画
5100	地区整備計画
5110	特定建築物地区整備計画
5111	防災街区整備地区整備計画
5130	沿道地区整備計画
5140	集落地区整備計画
5120	歴史的風致維持向上地区整備計画
5200	地区
5210	地区施設
5220	地区防災施設
5221	特定地区防災施設
6001	都市機能誘導区域

ファイル名	UrbanPlan_areaType.xml
コード	説明
6002	居住誘導区域

(34) UrbanFacility_function.xml

ファイル名	UrbanFacility_function.xml
コード	説明
3000	都市施設
3010	交通施設
3011	道路
3012	都市高速鉄道
3013	駐車場
3014	自動車ターミナル
3015	空港
3016	港湾
3017	軌道
3020	公共空地
3021	公園
3022	緑地
3023	広場
3024	墓園
3025	運動場
3030	供給施設
3031	水道
3032	電気供給施設
3033	ガス供給施設
3034	地域冷暖房施設
3035	石油パイプライン
3040	処理施設
3041	下水道
3042	汚物処理場
3043	ごみ焼却場
3044	ごみ処理場
3050	水路
3051	河川
3052	運河
3060	教育文化施設
3061	学校
3062	図書館
3063	研究施設
3064	博物館
3065	美術館
3070	医療施設
3071	病院

ファイル名	UrbanFacility_function.xml
コード	説明
3072	診療所
3073	保健所
3074	助産所
3080	社会福祉施設
3081	保育所
3082	乳児院
3083	母子寮
3084	養護老人ホーム
3090	市場、と畜場、火葬場
3091	市場
3092	と畜場
3093	火葬場
3100	一団地の住宅施設
3110	一団地の官公庁施設
3120	一団地の都市安全確保拠点施設
3130	流通業務団地
3140	一団地の津波防災拠点市街地形成施設
3150	一団地の復興再生拠点市街地形成施設
3160	一団地の復興拠点市街地形成施設
3170	政令で定める都市施設
3180	電気通信施設
3190	防風施設
3200	防火施設
3201	防火水槽
3210	防水施設
3211	河岸堤防
3220	防雪施設
3230	防潮施設
3231	防潮堤
3240	防砂施設
3241	地滑り防止施設

(35) DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果
101	（公共測量ではない）現地測量の測量成果
102	（公共測量ではない）UAV 写真測量の測量成果
103	（公共測量ではない）空中写真測量の測量成果
104	（公共測量ではない）既成図数値化の測量成果
105	（公共測量ではない）修正測量の測量成果
106	（公共測量ではない）写真地図作成の測量成果

107	（公共測量ではない）地図編集の測量成果
108	（公共測量ではない）地上レーザ測量の測量成果
109	（公共測量ではない）UAV 写真点群測量の測量成果
110	（公共測量ではない）UAV レーザ測量の測量成果
111	（公共測量ではない）車載写真レーザ測量の測量成果
112	（公共測量ではない）航空レーザ測量の測量成果
113	（公共測量ではない）航空レーザ測深測量の測量成果
114	（公共測量ではない）路線測量の測量成果
115	（公共測量ではない）河川測量の測量成果
116	（公共測量ではない）用地測量の測量成果
117	（公共測量ではない）その他の応用測量の測量成果
118	（公共測量ではない）LidarSLAM 計測の測量成果
119	（公共測量ではない）高密度航空レーザ測量の測量成果
120	（公共測量ではない）写真点群測量の測量成果
121	（公共測量ではない）三次元数値図化の測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ
500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
700	その他の資料
801	現地調査
803	GIS データ演算
901	推定
999	未作成

参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

(36) DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml

ファイル名	DataQualityAttribute_thematicSrcDesc.xml
コード	説明
000	公共測量成果
022	基盤地図情報
023	数値地形図データ
100	公共測量成果ではない測量成果
201	都市計画基礎調査
202	都市計画図書
300	台帳（分類しない）
301	道路台帳
400	その他の GIS データ
500	BIM モデル、CAD データ、設計図、完成図、一般図（平面図、配置図、断面図等）
600	統計データ

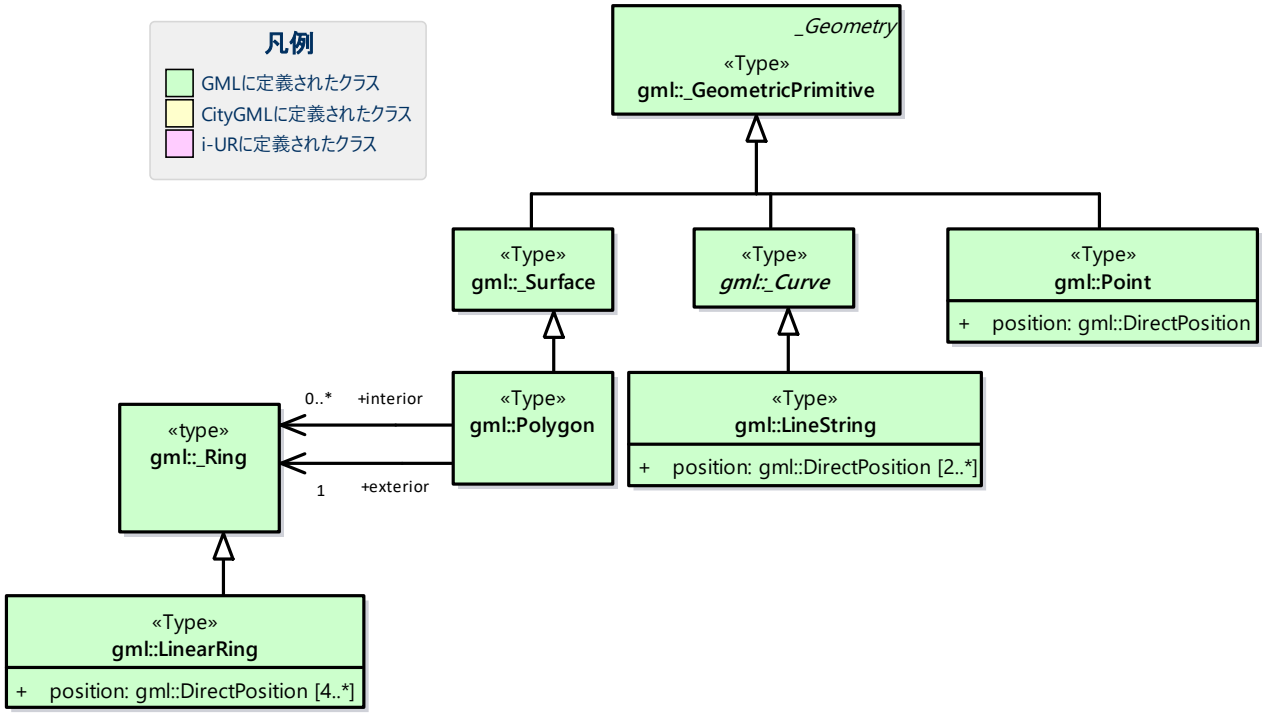
700	その他の資料
701	建築計画概要書
801	現地調査
802	写真判読
803	GIS データ演算
999	未作成

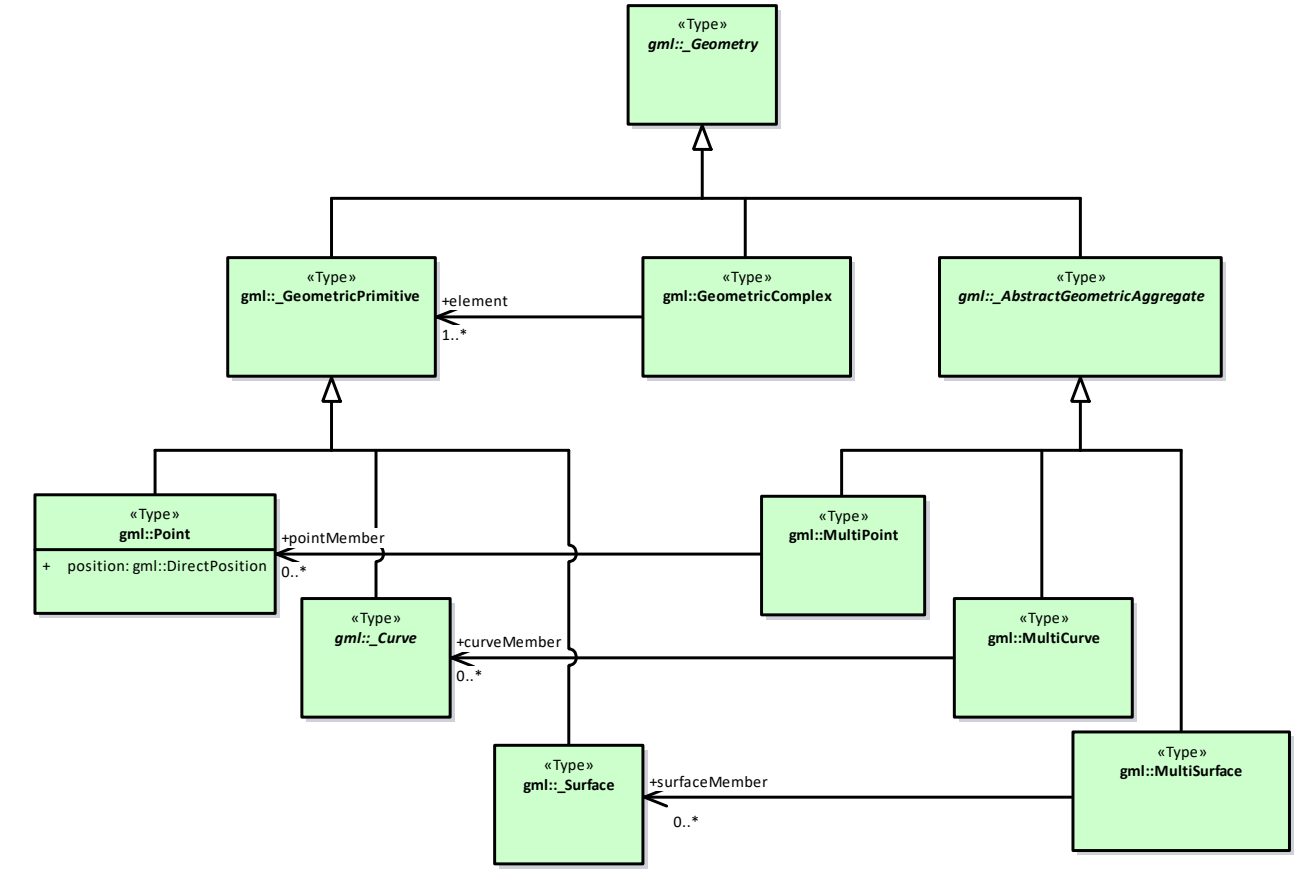
参考：作業規程の準則、3D 都市モデル整備のための測量マニュアル、3D 都市モデル標準作業手順書

4.5 空間スキーマプロファイル

4.5.1 応用スキーマクラス図

空間スキーマプロファイルは、地物の空間属性（位置や形状）の記述に使用する型を定義する。





4.5.2 応用スキーマ文書

(1) gml:Point

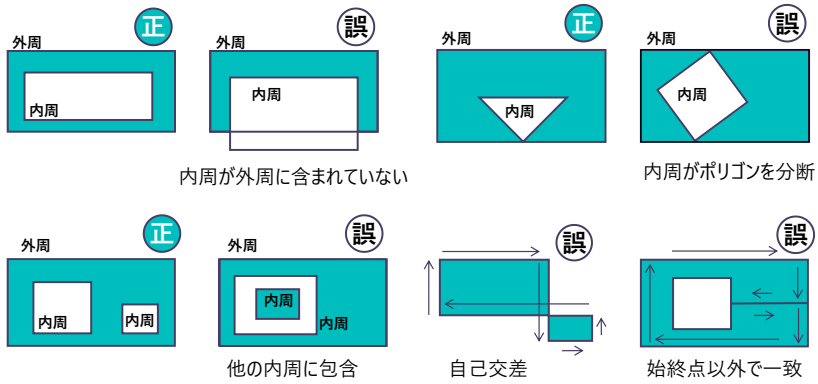
クラスの定義	点。	
上位の型	gml:_GeometricPrimitive	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [1]	座標値。 座標値の記述は空間参照系（日本測地系 2011 における平面直角座標系）に従う。X 及び Y の座標値は、小数点第 2 位（センチメートル）とする。

(1) gml:LineString

クラスの定義	線。 2 点以上の点から構成され、それらの点の順序は始点から終点までの順列になっていなければならない。始点と終点以外の点の座標が、他の点の座標と一致していてはならず、また、一つの折れ線に自己交差や重なりがあってはならない。 データ製品に含まれる曲線の記述には、*gml:_Curve* の下位型である gml:LineString を使用しなければならない。	
上位の型	gml:_Curve	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された属性		
属性名	属性の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [2..*]	線を構成する座標値の列。 座標値の列は、gml:posList を用いて記述する。この時、gml:posList には 2 点以上の座標値が含まれてなければならず、すべての座標値には同じ空間参照系が適用されなければならない。 座標値の記述は空間参照系（日本測地系 2011 における平面直角座標系）に従う。X 及び Y の座標値は、小数点第 2 位（センチメートル）とする。

(2) gml:Polygon

クラスの定義	多角形。 gml:Polygon は 1 個の外周（exterior）を必ずもち、また、0 個以上複数個の内周（interior）をもってもよい。内周がある場合は、外周と内周とは同じ平面上に存在しなければなければならない。 外周の頂点の順列が gml:Polygon の向き（法線）を決める。頂点の順列が左回りの gml:Polygon は正の向きとなる。データ集合に含まれる gml:Polygon の向きは必ず正でなければならない。 gm:Polygon は、以下を満たさなければならない。 1) 内周が、外周に完全に含まれている。 2) 内周が他の内周と重なっておらず、他の内周に包含されてもいない。 3) 内周が外周に接していてもよいが、gml:Polygon の内部を分断しない。 4) 内周と外周が線分で重ならない。 5) 外周及び内周に自己交差がなく、始終点以外の点で一致する点がない。

	 データ製品に含まれる曲面の記述には、gml:_Surface の下位型である gml:Polygon を使用しなければならない。
上位の型	gml:_Surface
ステレオタイプ	<<Type>>
自身に定義された関連役割	
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
exterior	gml:_Ring [1]	多角形の外周。 外周を構成する座標列は、常に多角形の内部を左に見る順序（左回り）となる。
interior	gml:Ring [0..*]	多角形の内周。 内周を構成する座標列は、常に多角形の内部を左に見る順序（右回り）となる。

(3) gml:LinearRing

クラスの定義	線形から構成する輪。多角形の境界として使用される。 3 点以上の順列から構成され、始点と終点が一致する。gml:LinearRing を構成する全ての点は、始点と終点を除き、一致しない。自己交差してはならない。
上位の型	gml:_Ring
ステレオタイプ	<<Type>>
自身に定義された関連役割	
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
position	gml:DirectPosition [2..*]	輪を構成する座標値の列。 座標値の記述は空間参照系（日本測地系 2011 における平面直角座標系）に従う。X 及び Y の座標値は、小数点第 2 位（センチメートル）とする。

(4) gml:MultiPoint

クラスの定義	点の集まり。
上位の型	gml:_AbstractGeometricAggregate
ステレオタイプ	<<Type>>
自身に定義された関連役割	
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
pointMember	gml:Point [1..*]	構成要素となる点。

(5) gml:MultiCurve

クラスの定義	線の集まり。
上位の型	gml:_AbstractGeometricAggregate
ステレオタイプ	<<Type>>

自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
curveMember	gml:_Curve[1..*]	構成要素となる線。

(6) gml:MultiSurface

クラスの定義	面の集まり。	
上位の型	gml:_AbstractGeometricAggregate	
ステレオタイプ	<<Type>>	
自身に定義された関連役割		
関連役割名	関連役割の型及び多重度	定義
surfaceMember	gml:_Surface [1..*]	構成要素となる面。

5　参照系

5.1 空間参照系

データ製品には、以下の空間参照系を適用する。

空間参照系の名称
日本測地系 2011 における平面直角座標系

なお、等高線等に付与する高さを示す属性は、東京湾平均海面を基準とする標高に基づく高さとする。

5.2 時間参照系

データ製品に適用する時間参照系は、「グレゴリオ暦及び日本標準時」とする。

6　データ品質

データ製品が保証すべき品質の基準（品質要求）及び品質評価の手法（品質評価手順）を示す。

6.1 標準製品仕様の品質要求

都市計画データは、国土交通省公共測量作業規程に準ずる位置精度を有し、概ね 1/2,500 精度を満足するものとする。

なお、CityGML では、時間オブジェクトを定義する時間スキーマ（ISO19108）を使用していないことから、標準製品仕様書でも時間スキーマは使用していない。そのため、時間正確度は本標準仕様書では対象外とする。

ただし、年や日付の値が設定された地物属性は主題正確度による品質要求を行い、参照データとの比較による品質評価手法を示す。

6.2 品質評価手順に関する共通事項

標準製品仕様では、品質評価手法を以下の 5 種類に大別する。

- 全数・自動検査
- 全数・目視検査
- 抜取・目視検査
- 抜き取り検査（目視検査か自動検査かを規定しない）
- 特定のアルゴリズムで算出された値による検査

このうち、抜取検査を実施する場合、標準製品仕様書では、抜取方法と合否判定を「地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書（案）」[1]を参考に、以下の通り設定する。

検査ロット	整備対象となる全域
検査量	総面積の 2%
検査単位の抽出方法	整備地区を 国土基本図の地図情報レベル 2500 の図郭単位で分割し、さらにこれを東西 500m、南北 500m の距離方眼（0.25 k ㎡）で区切り、検査単位とする。検査量 2%のうち、半分の 1%は監督員の任意抽出、1%は無作為抽出で複数の検査単位を抽出することにより、全体の検査量を確保する。 検査単位の抽出方法は、地区の左上隅より順次一連番号を付し、監督員が危険度の高い地域から任意に 1%になるまで検査単位を抽出し、別に乱数表により無作為に 1%を抽出する。 無作為抽出の結果、監督員が既に抽出した検査単位や、市町村境界の外側、海などの白部が一部含まれる地区が抽出されたときは、その次の番号を採用する。また、整備地域が狭いために、白部が含まれない検査単位を抽出することが困難な場合は、出来る限り白部の比率が小さい検査単位を選択する。 最小検査単位数は 4 とする。すなわち、総面積が 50 k ㎡未満の場合にも 4 検査単位で実施する。 なお、同一の測量成果では、異なる品質評価項目に対しても原則として同一の検査単位を使用する。
アイテム（品質評価の対象）の定義	個別に規定する。
抜取率（母集団からサンプルを抽出する割合）	検査単位内の全数を対象とする。 各検査単位を 10×10 サブメッシュ（品質評価手順によっては 2×2）に分割し、サブメッシュ毎に全数を点検する。

検査方法	個別に規定する。
合否判定	次式により検査単位ごとに誤率を求める。 誤率（%）＝　エラーが一つでも含まれるサブメッシュ数／検査単位ごとの全サブメッシュ数×100 検査単位ごとの全サブメッシュ数は 100 に等しく、検査単位の一部に白部が含まれる場合にも 100 として誤率を計算する。 一つ以上の検査単位で誤率が適合品質水準を超えたら「不合格」とする。不合格となった場合、全般について再点検を行う。再点検が終了したら、3%の面積に相当する検査単位の抽出を行うものとし、その結果不適合が認められた場合には、さらに 4%の追加実施を行うか、再作業を行う。

6.3 品質要求及び品質評価手順

データ製品に対する品質要求及び品質評価手順を示す。

6.3.1　都市計画基本図に対する品質要求及び品質評価手順

都市計画基本図の品質要求及び評価手順は、「地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書（案）」[1]に準じる。

(1)　完全性

完全性とは、データ集合内の過剰なデータの存在（過剰）とデータ集合内のデータの欠落（漏れ）である。

No	C01
品質要求	データ製品内に、gml:id が同一となるインスタンスがない。
品質要素	完全性・過剰
品質適用範囲	データ製品内の全ての gml:id をもつインスタンス。
品質評価尺度	インスタンスに与えられた gml:id と同じ gml:id をもつ他のインスタンスがデータ製品内に存在しない。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．データ製品に含まれる全てのインスタンスについて、gml:id の値が同じインスタンスの数をエラーとして数える。

No	C02
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰・漏れ
品質適用範囲	分類コードが 7301～7311 となるインスタンス（基準点）
品質評価尺度	データセットのインスタンス数と参照データのインスタンス数の差。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．参照データに含まれるデータ数を分類コード毎に数える。 2．データセットのインスタンス数を分類コード毎に数える。 3．1．と 2．の結果より、分類コード毎に差を計算し、その絶対値の和をエラー数とする。

No	C03
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰
品質適用範囲	境界等、道路、道路施設、鉄道、鉄道施設、建築物のインスタンス。
品質評価尺度	参照データに存在しないのにデータセットに存在する箇所、参照データに存在するのにデータセットに存在しない箇所をエラーとする。エラーが 1 つ以上存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとする。 （例外）接続編集、接合編集時に追加した図形は過剰としない。 誤率（%）＝エラーサブメッシュ数／100×100
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 5%以下なら合格、5%を超える検査単位が 1 つでもあれば不合格
品質評価手法	抜取・目視検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3．検査単位の範囲について、データセットより対象クラスの全インスタンスを出力する。 4．検査単位毎に全サブメッシュについて、参照データ（空中写真、現地調査資料、既成図原図等の元資料）と 3．とを目視で比較して、どちらかと対応がとれない地物インスタンスがあった場合、そのサブメッシュをエラーとして、エラーサブメッシュ数を数える。 5．4．の結果より、検査単位毎に誤率を算出する。

No	C04
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰
品質適用範囲	C02 及び C03 で対象としない全ての地物のインスタンス。
品質評価尺度	参照データに存在しないのにデータセットに存在する箇所、参照データに存在するのにデータセットに存在しない箇所をエラーとする。エラーが 1 つ以上存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとする。 （例外）接続編集、接合編集時に追加した図形は過剰としない。 誤率（%）＝エラーサブメッシュ数／100×100
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 10%以下なら合格、10%を超える検査単位が 1 つでもあれば不合格
品質評価手法	抜取・目視検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3．検査単位の範囲について、データセットより対象クラスの全インスタンスを出力する。 4．検査単位毎に全サブメッシュについて、参照データ（空中写真、現地調査資料、既成図原図等の元資料）と 3．とを目視で比較して、どちらかと対応がとれない地物インスタンスがあった場合、そのサブメッシュをエラーとして、エラーサブメッシュ数を数える。 5．4．の結果より、検査単位毎に誤率を算出する。

(2) 論理一貫性

論理一貫性とは、データの構造、属性及び関係に関する論理的規則の遵守の度合いであり、以下の 4 つから構成される。

- 概念一貫性：応用スキーマに一致しているか否か
- 定義域一貫性：定義域に含まれているか否か
- 書式一貫性：XML のフォーマットに従っているか否か
- 位相一貫性：応用スキーマに定義した位相的な特性が正しいか否か

No	L01
品質要素	論理一貫性・書式一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル（core:CityModel）のインスタンス。
品質評価尺度	整形式（Well-Formed XML)になっていない箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラム（XML パーサなど）によって、都市モデルの書式が、XML 文書の構文として正しくない箇所を数える。

No	L02
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル（core:CityModel）のインスタンス。
品質評価尺度	妥当（Valid）な XML 文書になっていない箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラム（XML パーサなど）によって、都市モデルに含まれる地物型の構造が、7.1 に符号化仕様として示す i-UR 及び CityGML の XMLSchema が規定する構造と合致しない箇所を数える。

No	L03
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	データ製品に含まれる全ての都市モデル（core:CityModel）のインスタンス。
品質評価尺度	応用スキーマに定義していない地物型の出現箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、各都市の拡張製品仕様書の 4 章に示す応用スキーマ（応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書）に定義されている地物以外の地物インスタンスが、都市モデルの子要素として出現する箇所を数える。 なお、応用スキーマは以下より取得する。 ・http://schemas.opengis.net/citygml/ ・https://www.geospatial.jp/iur/schemas/

No	L04
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
品質適用範囲	gml:CodeType を型としてもつ地物属性のうち、コードリストを参照している地物属性。
品質評価尺度	指定されたコードリストに定義されていない値となっている箇所数。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. gml:CodeType に含まれるコードリストへの相対パスを取得する。 2. 相対パスで指定されたコードリストに定義された全てのコード値（gml:name により記述）を取得する。 3. 検査プログラムにより、地物属性の値と取得したすべてのコード値との比較を行い、地物属性の値が、コード値と合致しない箇所を数える。 補足：コードリストへの相対パスは、gml:CodeType の属性である codeSpace の値として記述されている。

No	L05
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
品質適用範囲	全ての都市モデル（core:CityModel）のインスタンス。
品質評価尺度	都市モデルに指定された空間参照系の識別子が、製品仕様書で指定された識別子ではない。
適合品質水準	エラーの箇所数が 0 の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 都市モデルに含まれる gml:Envelope に記述された空間参照系の URI が、製品仕様書に示された URI に合致しない箇所を数える。 補足：空間参照系の URI は、gml:Envelope の属性である srsName の値として記述されている。

No	L06
品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
品質適用範囲	全ての幾何オブジェクトのインスタンス。
品質評価尺度	幾何オブジェクトインスタンスの座標値に含まれる、緯度、経度、標高が、この幾何オブジェクトインスタンスを含む都市モデル（core:CityModel）の空間範囲に含まれる。
適合品質水準	エラーとなる幾何オブジェクトが 0 個の場合に合格。エラーとなる幾何オブジェクトが 1 個以上の場合は不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 都市モデルに含まれる gml:Envelope の属性 boundedBy に記述された、緯度、経度及び標高の下限値及び上限値を超える座標値を有する幾何オブジェクトをエラーとする。

No	L07
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:LineString 及び gml:LinearRing のインスタンス
品質評価尺度	同一座標又は頂点間での距離が近接閾値（0.01m）未満の頂点が連続する、又は gml:LineString 及び gml:LinearRing のインスタンスを構成する点が 2 点未満のインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L08
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:LineString のインスタンス
品質評価尺度	単一インスタンスに始終点以外の「自己交差」又は「自己接触」が存在する場合にエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L09
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:LinearRing のインスタンス
品質評価尺度	全ての gml: LineaRing のインスタンスの始終点の座標が一致していない、「自己交差」、「自己接触」、又は、始終点以外に重複する座標値が存在するインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L10
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:Polygon 及び gml:_SurfacePatch の下位クラスのインスタンス。
品質評価尺度	座標列の向きが不正なインスタンスをエラーとする。外周は反時計回り、内周は時計回りが正しい。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L11
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	内周が存在する gml:Polygon のインスタンス。
品質評価尺度	gml:Polygon を構成する点が 3 点未満のインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L12
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	内周が存在する gml:LineString のインスタンス。
品質評価尺度	gml:LineString を構成する点が 2 点未満のインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

No	L13
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	全ての gml:Polygon のインスタンス。
品質評価尺度	gml:Polygon に内周が存在する場合に、以下に示す条件に 1 つ以上に合致する場合にエラーとする。 1. 内周が外周と交差している。 2. 内周と外周が接することにより、gml:Polygon が 2 つ以上に分割されている。 3. 内周同士が重なったり、包含関係にあったりする。
適合品質水準	エラーの数が 0 個の場合に合格。1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1. 検査プログラムによって、対象となる幾何オブジェクトインスタンスごとに、エラーの数を数える。

(3) 位置正確度

位置正確度とは、空間参照系内の地物の位置の正確さのことである。標準製品仕様書では、位置正確度として、報告された座標値と採択された値又は真とみなす値との近さを示す絶対正確度（外部正確度とも呼ぶ）を採用する。

No	P01
品質要求	測量成果と等しい座標をもつ
品質要素	位置正確度・絶対位置正確度
品質適用範囲	分類コードが 7301～7311 となるインスタンス（基準点）
品質評価尺度	座標成果と平面座標が異なるインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．データセット内のデータの平面座標と、座標成果の平面座標を比較して、値が異なるインスタンスをエラーとする。

No	P02
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	空中写真測量又は現地実測により取得した、データ集合内の全ての地物型のインスタンス。（分類コード 7301～7311 を除く）
品質評価尺度	データ集合内の水平位置の座標と、より正確度の高い参照データである点検測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、水平位置の標準偏差が、水平距離 1.75m 以内であれば、”合格”、1.75m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6．抽出した地物の点に対応する現地（又は現地とみなす資料）の点検測量成果を取得する。 7．5．及び 6．より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P03
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	分類コードが 7312 となるインスタンス
品質評価尺度	データ集合内の標高と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の標高との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、図化機測定標高点の標高の標準偏差が、0.66m 以内であれば、”合格”、0.66m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとにサブメッシュに含まれる全ての図化機測定による標高点を抽出する。 5．抽出した点について、データセット上のインスタンスの標高値主題属性の値を取得する。 6．抽出した点に対応する現地の水準測量成果（又は現地とみなす資料）の標高値を取得する。 7．5．6．より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

No	P04
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	分類コードが 7101～7108 となるインスタンス（等高線）
品質評価尺度	データ集合内の標高と、より正確度の高い参照データである水準測量成果の標高との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、等高線の標高の標準偏差が、1.00m 以内であれば、”合格”、1.00m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに他の地物との関係から位置が明確な点を 10 点以上抽出する。 5．抽出した点について、データセット上のインスタンスの標高値主題属性の値を取得する。 6．抽出した点に対応する現地の水準測量成果（又は現地とみなす資料）の標高値を取得する。 7．5．6．より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

(4) 主題正確度

主題正確度は、定量的属性の正確度、非定量的属性、地物分類及び地物間関係の正しさである。

なお、定量的属性とは、長さや大きさなど、値が大小関係のある数値となる属性である。また、非定量的属性とは文字列やコードのような値の大小関係がない属性である。

No	T01
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	分類コードが 7301～7311 となるインスタンス（基準点）
品質評価尺度	インスタンスに設定された主題属性のうち、uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が正しく設定されていないインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・目視検査を実施する。 1．対象クラスのインスタンスの uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が識別できるように検査単位の範囲に含まれるインスタンスを出力する。 2．1．を参照データ（行政区域の元資料、座標成果等）に含まれるデータと比較して、正しいことを確認する。 3．確認の結果、正しくないインスタンスをエラーとする。

No	T02
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	境界等、道路、道路施設、鉄道、鉄道施設、建築物
品質評価尺度	インスタンスに設定された主題属性のうち、uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が正しく設定されていないインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 5%以下なら合格、5%を超える検査単位が 1 つでもあれば不合格
品質評価手法	抜取・目視検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位を 10×10 のサブメッシュに分割する。 3． uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が識別できるように検査単位の範囲に含まれるインスタンスを出力する。 4．検査単位毎に全サブメッシュについて、参照データ（空中写真、現地調査資料、既成図原図等の元資料）と 3．とを目視で比較して、サブメッシュに含まれる全てのインスタンスの DM 分類コード、DM 図形区分、可視フラグの値が妥当であるかどうかを確認する。 5．確認の結果、妥当でないエラーインスタンスが一つでも存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとして数を数える。 6．5．の結果より、検査単位毎に誤率を算出する。

No	T03
品質要素	主題正確度・分類の正しさ
品質適用範囲	T01 及び T02 に示された以外の全ての地物のインスタンス
品質評価尺度	インスタンスに設定された主題属性のうち、uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が正しく設定されていないインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	全ての検査単位の誤率が 5%以下なら合格、5%を超える検査単位が 1 つでもあれば不合格
品質評価手法	抜取・目視検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位を 10×10 のサブメッシュに分割する。 3． uro:dmCode、uro:geometryType、uro:visibility が識別できるように検査単位の範囲に含まれるインスタンスを出力する。 4．検査単位毎に全サブメッシュについて、参照データ（空中写真、現地調査資料、既成図原図等の元資料）と 3．とを目視で比較して、サブメッシュに含まれる全てのインスタンスの DM 分類コード、DM 図形区分、可視フラグの値が妥当であるかどうかを確認する。 5．確認の結果、妥当でないエラーインスタンスが一つでも存在するサブメッシュをエラーサブメッシュとして数を数える。 6．5．の結果より、検査単位毎に誤率を算出する。

6.3.2 都市計画基礎調査情報に対する品質要求及び品質評価手順

(1) 完全性

C01 に加え、以下を対象とする。

No	C05
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰・漏れ
品質適用範囲	全てのインスタンス
品質評価尺度	データセットのインスタンス数と参照データのインスタンス数の差。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．参照データに含まれるデータ数をクラス毎に数える。 2．データセットのインスタンス数をクラス毎に数える。 3．1．と 2．の結果より、クラス毎に差を計算し、その絶対値の和をエラー数とする

(2) 論理一貫性

L01～L13 と同様する。

(3) 位置正確度

No	P05
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	建物利用現況（bldg:Building）のインスタンス。
品質評価尺度	データ集合内の水平位置の座標と、より正確度の高い参照データである点検測量成果の座標との誤差の標準偏差を計算する。また、誤差の母平均は 0 とする。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、水平位置の標準偏差が、水平距離 1.75m 以内であれば、”合格”、1.75m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6．抽出した地物の点に対応する現地（又は現地とみなす資料）の点検測量成果を取得する。 7．5．及び 6．より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P05
品質要素	位置正確度・相対正確度
品質適用範囲	土地利用現況（luse:LandUse）のインスタンス。
品質評価尺度	標準偏差 1.75m の地形図に表された基準の地物（道路縁、区域界、植生界、耕地界、へい、かき）との相対距離。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、標準偏差が 0m であれば“合格、0m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6．抽出した地物の点に対応する地形図上の座標値を取得する。 7．5．及び 6．より、誤差の標準偏差を計算する。

No	P06
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	都市計画基礎調査情報モデルのインスタンスのうち、GIS データからの変換により取得した、データ集合内の全て（ただし、bldg:Bulding と luse:LandUse を除く）の幾何オブジェクトのインスタンス。
品質評価尺度	「データ集合内の座標」と「原典資料の座標」との誤差の標準偏差を計算する。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュ別に、標準偏差が 0m であれば“合格、0m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに他の地物との関係から位置が明確な点を 10 点以上抽出する。 5．抽出した点について、データ集合上のインスタンスの座標値を取得する。 6．原典資料を用いて、5．で抽出した地物の点の座標値を取得する。 7．5．及び 6．より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

No	P07
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	都市計画基礎調査情報モデルのインスタンスのうち、既成図数値化により取得した、データ集合内の全ての幾何オブジェクトのインスタンス。
品質評価尺度	「データ集合内の水平位置の座標」と「データ取得時に使用した原典資料を用いて図化したデータ集合内の水平位置の座標」との誤差の標準偏差を計算する。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、図上の水平位置の標準偏差が 0.3mm 以内であれば“合格、0.3mm を超えれば不合格。
品質評価手法	既成図の図郭四隅の残存誤差を計測し、図郭四隅の残存誤差が 0.2mm 以内であれば、以降の手順に従い、地物の空間属性の誤差の標準偏差を計測する。 抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6．抽出した地物の点に対応する既成図上の座標を測定する。 7．5．及び 6．より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

(4) 主題正確度

No	T04
品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
品質適用範囲	非定量的主題属性をもつ全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	インスタンスに設定された地物属性のうち、型が xs:string、gml:CodeType、xs:boolean、xs:date、xs:gYear、gml:MeasureOrNullListType 又は、gml:StringOrRefType となる主題属性について、設定された値が参照データの属性値と一致しないインスタンスをエラーインスタンスとする。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、属性値が識別できるようにインスタンスを表示又は出力する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. とを比較し、サブメッシュに含まれるすべてのインスタンスの値が妥当であるかを確認する。

No	T05
品質要素	主題正確度・定量的主題属性の正しさ
品質適用範囲	定量的主題属性をもつ全ての地物型のインスタンス。
品質評価尺度	インスタンスに設定された地物属性のうち、型が xs:integer、xs:nonNegativeInteger、 xs:double、gml:MeasureType、gml:LengthType 又は gml:MeasureOrNullListType となる主題属性について、設定された値が参照データの属性値と一致しないインスタンスをエラーとする。
適合品質水準	エラーの箇所が 0 個の場合に合格。エラーの箇所数が 1 以上の場合は不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1. 抜取検査手法に従い、検査単位を抽出する。 2. 検査単位の各メッシュを 10×10 のサブメッシュに分割する。 3. 検査単位の範囲について、属性値が識別できるようにインスタンスを表示又は出力する。 4. 検査単位ごとに全サブメッシュについて、参照データと 3. とを比較し、サブメッシュに含まれるすべてのインスタンスの値が妥当であるかを確認する。

6.3.3　都市計画決定情報に対する品質要求及び品質評価手順

(1)　完全性

C01 に加え、以下を対象とする。

No	C05
品質要求	参照データとインスタンス数が等しい。
品質要素	完全性・過剰・漏れ
品質適用範囲	全ての都市計画決定情報モデルのインスタンス
品質評価尺度	データセットのインスタンス数と参照データのインスタンス数の差。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．参照データに含まれるデータ数をクラス毎に数える。 2．データセットのインスタンス数をクラス毎に数える。 3．1．と 2．の結果より、クラス毎に差を計算し、その絶対値の和をエラー数とする

(2)　論理一貫性

L01～L13 に加え、以下を対象とする。

No	L14
品質要求	法令による包含関係を満たす。
品質要素	論理一貫性・概念一貫性
品質適用範囲	全ての都市計画決定情報モデルのインスタンス
品質評価尺度	応用スキーマに適合しない（親要素と子要素との入れ子関係が成立していない）インスタンスの出現箇所数。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．検査プログラムによって、応用スキーマ（応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書）に定義されている集成関係をもつ地物インスタンスについて、全体となる地物インスタンスと部品となる地物インスタンスとの関係が正しくない場合にエラーとする。対象となる地物型及びエラーとして数える対象は以下の通り： ・地区計画と地区整備計画 　地区整備計画が地区計画のインスタンスの内部に記述されていない場合にエラーとする。 ・地区計画と促進区 　促進区が地区計画のインスタンスの内部に記述されていない場合にエラーとする。 ・地区整備計画と地区 　地区が地区整備計画のインスタンスの内部に記述されていない場合にエラーとする。 ・地区整備計画と地区施設 　地区施設が地区整備計画のインスタンスの内部に記述されていない場合にエラーとする。 ・都市施設と立体的な範囲 　立体的な範囲が都市施設のインスタンスの内部に記述されていない場合にエラーとする。

No	L15
品質要求	区域と境界との関係
品質要素	論理一貫性・位相一貫性
品質適用範囲	urf:Boundary をもつ全ての都市計画決定情報モデルのインスタンス
品質評価尺度	応用スキーマに適合しないインスタンスの出現箇所数。
適合品質水準	エラー数が 0 なら合格、1 以上なら不合格。
品質評価手法	全数・自動検査を実施する。 1．検査プログラムによって、区域（urf:_Zone を継承する地物）のインスタンスと、urf:boundary 関連によって保持する境界（urf:Boundary）のインスタンスを抽出する。 2．区域の幾何オブジェクト（gml:MultiSurface）に含まれる gml:LinearRing と、境界の幾何オブジェクト（gml:MultiCurve）に含まれる gml:LineString の座標値が一致しない場合にエラーとする。

(3) 位置正確度

No	P08
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	都市計画決定情報モデルのインスタンスのうち、既成図（計画図）の数値化により取得した、データ集合内の全ての幾何オブジェクトのインスタンス。
品質評価尺度	「データ集合内の水平位置の座標」と「既成図上の座標」との誤差の標準偏差を計算する。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、図上の水平位置の標準偏差が 0.3mm 以内であれば“合格、0.3mm を超えれば不合格。
品質評価手法	既成図の図郭四隅の残存誤差を計測し、図郭四隅の残存誤差が 0.2mm 以内であれば、以降の手順に従い、地物の空間属性の誤差の標準偏差を計測する。 抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、データ集合上の位置座標を測定する。 6．抽出した地物の点に対応する既成図上の座標を測定する。 7．5．及び 6．より、250m サブメッシュ毎に誤差の標準偏差を計算する。

No	P09
品質要素	位置正確度・絶対正確度
品質適用範囲	都市計画基本図モデルのインスタンスを背景として区域の境界線を作図した、都市計画決定情報モデルのインスタンス。
品質評価尺度	都市計画基本図モデルに含まれる、背景として使用した地物（行政界、道路縁）との相対距離。
適合品質水準	全ての 250m サブメッシュについて、標準偏差が 0m であれば“合格、0m を超えれば不合格。
品質評価手法	抜取検査を実施する。 1．抜取検査手法に従い検査単位を抽出する。 2．検査単位の各メッシュを 2×2 の 250m サブメッシュに分割する。 3．検査単位に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 4．250m サブメッシュごとに明瞭な地物から 21 辺以上（2 点以上／辺）を抽出する。 5．抽出した地物の点について、背景として使用した都市計画基本図の地物との距離を測定する。 6．測定した距離に対応する計画図上の距離（真値）を取得する。 7．5．及び 6．より、誤差の標準偏差を計算する。 なお、道路中心線を境界としている場合は、6. において道路縁より道路中心線を作成し、道路中心線との相対距離を計測すること。

(4) 主題正確度

T04 及び T05 と同様する。

7　データ製品配布

データ製品配布とは、配布書式情報と配布媒体情報から構成される。配布書式情報は、どのようなデータフォーマットで都市計画データが記録されているかを示す情報である。配布媒体情報は、どのような媒体に記録されているかを示す情報である。

7.1 配布書式情報

7.1.1　書式名称

都市計画データの書式（データフォーマット）には、GML（i-UR 3.1 及び CityGML 2.0）及び CSV を採用する。

幾何オブジェクトを含むデータの書式には、GML を採用し、幾何オブジェクトを含まないデータの書式には CSV を採用する。

なお、CSV を適用する対象は、都市計画基礎調査の調書及び集計表に対応するデータ型である。

7.1.2　GML による符号化仕様

(1)　符号化要件

【符号化の対象とする応用スキーマとスキーマ言語】

符号化の対象とする応用スキーマは、標準製品仕様書の第 4 章において、UML クラス図（ISO/IEC 19505-2:2012, Information technology — Object Management Group Unified Modeling Language (OMG UML) — Part 2:Superstructure）を用いて示す。

【使用する文字レパートリ】

使用する文字レパートリ（符号化の対象となる識別された文字の集合）は i-UR 3.1 及び CityGML 2.0 が採用している UTF-8 とし、W3C XML Schema 及びそれに従って作成されるインスタンス文書のヘッダに以下の文を記述する。

<?xml version=”1.0” encoding=”UTF-8” ?>

【データ集合とオブジェクトの識別】

データ集合とオブジェクトの識別は CityGML2.0 に従う。

すなわち、基本となるオブジェクト単位は、CityGML2.0 又は i-UR 3.1 に定義された core:_CityObject を継承する地物型及び GML に定義された幾何オブジェクトとする。また、データ集合は、core:CityModel とする。

さらに、データ集合とオブジェクトの識別には、gml:id を用いる。

(2)　入力データ構造

入力データ構造は、応用スキーマクラス図と実装される個々のインスタンスとの関係を示すものである。入力データ構造は、CityGML が参照する GML[4]において定義される Annex F GML-to-UML Application Schema Encoding Rules に従う。

(3)　出力データ構造

出力データ構造には、i-UR 3.1 及び CityGML2.0 を使用する。拡張子は、「.gml」とする。

(4)　変換規則

1)　スキーマ変換規則

スキーマ変換規則は、i-UR 3.1 及び CityGML 2.0 に従う。

なお、標準製品仕様書は、応用スキーマクラス図及びこれに対応する XMLSchema を新規に作成するのではなく、i-UR 3.1 及び CityGML 2.0 から必要な部分のみを選択し、使用している。

応用スキーマクラス図に示す、クラス名、属性名及び関連役割名は、i-UR 3.1 及び CityGML 2.0 において定義されたタグに一致させている。
また、複数の名前空間から選択しているため、全てのクラス名に、i-UR 3.1 又は CityGML 2.0 名前空間の接頭辞を付ける。

2) インスタンス変換規則
GML に準拠する。

- オブジェクト識別子（gml:id）
データ製品に含まれるすべての地物及び幾何オブジェクトには、*gml:id* による識別可能な値を与えることとする。地物の *gml:id* の値には[接頭辞]_[UUID]を使用する。
[接頭辞]は、半角英字 4 文字以内の任意の文字列とする。
[UUID]は、Universally Unique Identifier（UUID）[3]とする。UUID とは、ソフトウェア上でオブジェクトを一意に識別するための識別子であり、128 ビット（16 バイト）の値で表す。先頭から 4 ビットごとに 16 進数の値（0～F）に変換し、8 桁-4 桁-4 桁-4 桁-12 桁に区切って表現する。

- 集成の実装
応用スキーマに示された地物間の集成は、部品となるオブジェクトを、全体となるオブジェクトの子要素として記述する。この時、部品となるオブジェクトの識別子（*gml:id*）を、全体となるオブジェクト以外のオブジェクトが参照してもよい。

- 空間参照系の識別
幾何オブジェクトに適用される空間参照系は、都市モデル（*core:CityModel*）に挿入される *Envelop* 要素の属性 *snsName* において、以下の EPSG コードを挿入することにより識別する。

オブジェクトに適用される空間参照系	srsName に挿入する値
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅰ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6669
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅱ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6670
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅲ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6671
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅳ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6672
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅴ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6673
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅵ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6674
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅶ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6675
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅷ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6676
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅸ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6677
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅹ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6678
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅺ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6679
日本測地系 2011 における平面直角座標系第Ⅻ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6680
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅢ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6681
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅣ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6682
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅤ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6683
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅥ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6684
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅦ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6685
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅧ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6686
日本測地系 2011 における平面直角座標系第ⅩⅨ系	http://www.opengis.net/def/crs/EPSG/0/6687

- schemaLocation の指定
  i-UR の符号化仕様は、都市計画データ内の schemas フォルダ（7.2.4）に格納した XMLSchema ファイルへの相対パスにより schemaLocation を指定する。

- 仮想的な「高さ」の座標値の挿入別
  高さ方向の座標値として 0.0 を入れる。

7.1.3 CSV による符号化仕様

(1) 符号化要件

【符号化の対象とする応用スキーマとスキーマ言語】

符号化の対象とする応用スキーマは、標準製品仕様書の第 4 章において、UML クラス図（ISO/IEC 19505-2:2012, Information technology — Object Management Group Unified Modeling Language (OMG UML) — Part 2:Superstructure）を用いて示す。

データ型（ステレオタイプが<<DataType>>）のみを対象とする。

【使用する文字レパートリ】

使用する文字レパートリは i-UR 3.1 及び CityGML 2.0 が採用している UTF-8 とする。

【データ集合とオブジェクトの識別】

データ集合は、*urf:UrbanPlanningBasicSurveyTable* とする。

オブジェクトは、*urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecourd* を継承する型とする。

urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecourd を継承する型は、データ型でありオブジェクトの識別子を持たない。ただし、各々に定義された属性値又はこの組合せにより識別可能となる。

(2) 入力データ構造

入力データ構造は、応用スキーマクラス図と実装される個々のインスタンスとの関係を示すものである。

- 都市計画基礎調査テーブルクラス（*urf:UrbanPlanningBasicSurveyTable*）のインスタンスは、都市計画基礎調査の各データ項目で定義される、1 つの調書及び集計表となる。
- 都市計画基礎調査テーブルクラスのインスタンスが 1 つのファイルとなり、この中に含まれる都市計画基礎調査レコードクラス（*urf:UrbanPlanningBasicSurveyRecord*）のインスタンスは、個々のレコードとなる。
- 1 つの都市計画基礎調査テーブルクラスのインスタンスに含まれる都市計画基礎調査レコードクラスのインスタンスは、同じクラスのインスタンスでなければならない。

(3) 出力データ構造

出力データ構造には、CSV を使用する。拡張子は、「.csv」とする。

CSV の基本構造を以下に示す。

文字コード	UTF-8（BOM 付）
改行コード	CRLF
区切り文字	カンマ（,）
ヘッダ行の有無	あり
ヘッダ行の行数	3
ヘッダ行の内容	1 行目：都道府県コード、市区町村コード、データ項目、表名称、基準日 2 行目：項目名（日本語） 3 行目：項目名コード（半角英数字）
文字列でのダブルクォートの有無	あり
null 値の指定方法	,,（区切り文字の連続）
1 項目内で、複数の値を列挙する場合に使用する区切り文字	;（セミコロン）
禁則文字	区切り文字として使用する;（セミコロン）は使用してはならない。

(4) 変換規則

- 都市計画基礎調査テーブルクラスのマッピングルール
  - 属性値を、CSV ファイルの 1 行目に記述する。（属性名は符号化しない）
  - 全ての属性値を、区切り文字で区切り、列挙する。

- 都市計画基礎調査レコードクラスの下位クラスのマッピングルール
  - 列見出しとして、属性の属性名の日本語表記を 2 行目に、項目名コードを 3 行目に記述する。
    - 日本語表記及び項目名コードは、Annex B に示すテンプレートに従う。
    - 拡張製品仕様書において拡張する属性は、標準製品仕様書が定める属性の後ろに列挙する。
  - 各行の属性名は、区切り文字で区切る。
  - 4 行目以降には、全ての属性の属性値を 1 行に記述し、インスタンスごとに改行する。
  - 属性値は、区切り文字で区切る。
  - 属性値の出力順序は、属性名の出力順序に従う。
  - 属性の多重度が[0..1]となる属性を採用しない場合は、null 値の指定方法に従う。

- 属性の繰り返し
  - 属性の多重度[1..*] 及び[0..*]は、その属性を複数繰り返し記述できることを意味する。
  - 繰り返し記述可能な属性の型はデータ型（ステレオタイプが、DataType）で定義され、項目名を示す属性（class）と、項目ごとの値を示す属性（value）の組となる。
  - 多重度をもつ属性を CSV に出力する際に、2 行目及び 3 行目に記述する項目名は、属性 class の値を使用する。
  - 属性 class の値が複数存在する場合は、区切り文字（;）で区切る。

7.1.4　文字集合

符号化したデータ集合を記述する文字集合には、「UTF-8」を使用する。

7.1.5　言語

属性値を記述する言語は、日本語とする。

7.1.6　CSV 形式テンプレート

CSV 形式により符号化する調書及び集計表のテンプレートを、Annex B に示す。

7.2 配布媒体情報

7.2.1　ファイル単位

(1)　GML ファイルのファイル単位

ファイル単位を表 7-1 に示す。ファイル単位は、含むべき地物の種類と、空間範囲との組合せにより決定し、都市計画データの種類ごとに指定する。

表 7-1　ファイル単位

都市計画データ	ファイル単位	
	地物の種類	空間範囲
都市計画基本図	i-UR 及び CityGML に定義されたモジュール	地図情報レベル 2500 の国土基本図の図郭
都市計画基礎調査情報	都市計画基礎調査のデータ項目	
都市計画決定情報	都市計画の種類 （都市計画区域及び準都市計画区域、区域区分、地域地区、促進区域、遊休土地転換利用促進地区、被災市街地復興推進地域、都市施設、市街地開発事業、市街地開発事業等の予定区域、地区計画等）	

(2)　CSV ファイルのファイル単位

ファイル単位は、調書又は集計表となる *urf:UrbanPlanningBasicSurveyTable* のインスタンスとする。

(3)　ファイルサイズとファイル分割

1 ファイルのデータ量の上限は最大 50MB とする。

1 ファイルのデータ量が 50MB を超える場合は、ファイルを分割する。

CityGML 形式ファイルの場合は、地図情報レベル 1000 の国土基本図の図郭に分割する。分割してもファイルサイズが上限を超える場合は、ファイル名称の[オプション]を使用し、ファイルを分割する。

CSV 形式ファイルの場合は、ファイル名称の[分割番号]を使用し、ファイルを分割する。このとき、レコードの重複や順序の変更がないように分割することとし、最初のレコードが含まれるファイルにのみヘッダを付ける。

7.2.2　境界線上の地物の取り扱い

国土基本図の図郭の境界線上に存在する地物は分割を行わない。

図郭の境界線上に存在する地物は、空間属性の第 1 点が含まれる図郭に含めることとする。

7.2.3　ファイル名称

(1)　GML ファイルのファイル名称

ファイル名称（拡張子を除いた部分）は、[図郭番号]_[地物型]_[オプション]とする。

表 7-2　ファイル名の構成要素

ファイル名称の構成要素	説明	使用可能な文字
[図郭番号]	ファイル単位となる国土基本図郭の番号	半角英数字
[地物型]	格納された地物の種類を示す接頭辞	半角英字
[オプション]	必要に応じてファイルを細分したい場合の識別子（オプション）	半角英数字。区切り文字を使用したい場合は半角のハイフンのみ。
_	ファイル名称の構成要素同士の区切り文字	ファイル名称の構成要素同士を区切る場合には、アンダースコア（_）のみを用いる。ファイル名称の構成要素の中を区切る場合は、ハイフン（-）を用いる。いずれも半角とする。

[地物型]にはファイルに含まれる地物を識別する接頭辞（表 7-3）を付与する。

表 7-3　接頭辞

地物型	接頭辞
bldg:Building	bldg
brid:Bridge	brid
tran:Road, tran:Track, tran:Railway	tran
tun:Tunnel	tun
urf:Zone を継承する全ての都市計画の区域	urf
luse:LandUse	luse
wtr:WaterBody	wtr
frn:CityFurniture	frn
veg:Vegetation	veg
dem:ReliefFeature	dem
uro:OtherConstruction	cons
その他の都市計画データに含まれる地物	ups

[オプション]は、ファイルをさらに分割する場合に使用する。使用しない場合は区切り文字と共に省略する。

標準製品仕様書では表 7-4 に示す文字を使用し、ファイルをさらに分割する。

表 7-4　オプションに使用する文字

	オプション文字列
都市計画基礎調査	半角英数字 5 桁から構成される都市計画基礎調査のデータ項目の番号。
都市計画決定情報	以下に示す半角数字とハイフンの組み合わせ。 都市計画区域及び準都市計画区域　05、区域区分　07、地域地区 08、促進区域 10-2、遊休土地転換利用促進地区 10-3 、被災市街地復興推進地域 10-4、都市施設 11、市街地開発事業 12、市街地開発事業等の予定区域 12-2、地区計画等 12-4

(2) CSV ファイルのファイル名称

urf:UrbanPlanningBasicSurveyTable のインスタンスのファイル名称は、以下とする。

[データ項目番号]_[調書・集計表の別]_[番号]_[オプション]_[分割番号]

表 7-5 ファイル名の構成要素

ファイル名称の構成要素	説明	使用可能な文字
[データ項目番号]	都市計画基礎調査実施要領に示された、調査の区分（データ項目）を示す識別子。	半角小文字の“c”と半角数字 4 桁の組み合わせ。（例：c0101）
[調書・集計表の別]	当該ファイルが調書か集計表かの区分。	調書の場合は“report”、集計表の場合は“sum”とする。いずれも半角小文字。
[番号]	一つのデータ項目に対して、調書又は集計表を複数種類作成する場合に、それぞれを識別するための番号。	半角数字とする。一つのデータ項目に対して作成する調書又は集計表が 1 種類のみの場合は、“1”とする。
[オプション]	必要に応じてファイルを細分したい場合の識別子（オプション）	半角英数字。区切り文字を使用したい場合は半角のハイフンのみ。
[分割番号]	ファイルサイズが上限を超え分割した場合に、それぞれを識別し、順序を明らかにするための番号。	1 から始まる半角数字とする。 分割しない場合は省略する。
_	ファイル名称の構成要素同士の区切り文字	ファイル名称の構成要素同士を区切る場合には、アンダースコア（_）のみを用いる。ファイル名称の構成要素の中を区切る場合は、ハイフン（-）を用いる。いずれも半角とする。

(3) 拡張製品仕様書のファイル名称

データ製品には、都市計画データ（GML ファイル及び CSV ファイル）に加えて、各都市で作成する拡張製品仕様書を付す。拡張製品仕様書は、応用スキーマ、品質要求、座標参照系等を示す PDF 形式の製品仕様書と、標準製品仕様書 Annex A に示す様式に従い作成した取得項目等の表から構成する。

都市計画データ製品仕様書のファイル名称は、[都市コード]_[整備年度]_specification2d（拡張子 .pdf）とする。また、取得項目等の表のファイル名称は、[都市コード]_[整備年度]_objectlist2d（拡張子 .xlsx）とする。

[都市コード]は、都市計画データの作成範囲となる市区町村又は都道府県のコードとし、都道府県コード（2 桁）と市区町村コード（3 桁）の組み合わせからなる 5 桁の数字、都道府県の場合は都道府県コード（2 桁）とする。

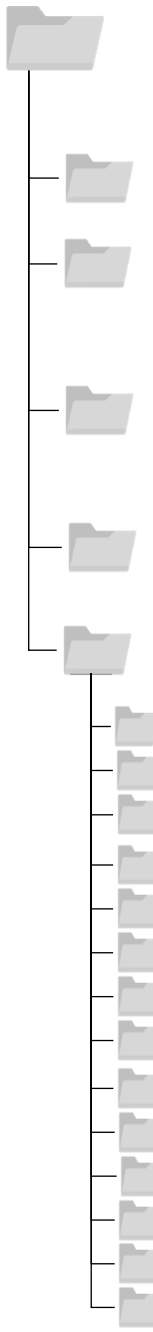
[整備年度]は都市計画データを作成した西暦年とする。

7.2.4　フォルダ構成とフォルダ名称

(1)　フォルダ構成

データ製品のフォルダ構成を示す。

表 7-6　フォルダ構成

フォルダ構成	フォルダ名	フォルダの説明
	[市区町村コード]_[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml_[更新回数]_[オプション]	成果品を格納するフォルダのルート。 このフォルダの直下に格納するファイルは索引図のみであり、その他のファイルはこのフォルダに設けたサブフォルダに格納する。 フォルダ名称は、（2）に示す規則に従う。
	codelists	ルートフォルダ直下に作成された、コードリストを格納するフォルダ。 都市計画データが参照する全てのコードリストを格納する。 最新のコードリストは以下より入手できる。 https://www.geospatial.jp/iur/codelists/3.1/
	metadata	ルートフォルダ直下に作成された、メタデータ（JMP2.0 及び原典資料リスト）を格納するフォルダ。
	schemas	都市計画データの GMLSchema を格納するフォルダ。GMLSchema は指定された版の i-UR を G 空間情報センター（https://www.geospatial.jp/iur/schemas/）より入手する。 以下に示す構造でサブフォルダを設け、都市計画データが参照する GMLSchema ファイルを格納する。 /iur/uro/3.1/urbanObject.xsd /iur/urf/3.1/urbanFunction.xsd /iur/urf/3.1/statisticalGrid.xsd
	specification	ルートフォルダ直下に作成された、拡張製品仕様書（PDF 形式、エクセル形式）を格納するフォルダ。
	upd	ルートフォルダ直下に作成された、都市計画データを格納するフォルダ。 このフォルダの直下に、接頭辞ごとのサブフォルダ（例：bldg）を作成し、そのサブフォルダの中に指定されたファイル単位で区切られた全ての都市計画データのファイルを格納する。
	bldg	接頭辞が bldg となる地物のデータを格納するフォルダ。
	brid	接頭辞が brid となる地物のデータを格納するフォルダ。
	cons	uro:OtherConstruction のデータを格納するフォルダ。
	csv	CSV 形式の都市計画基礎調査情報を格納するフォルダ。
	dem	接頭辞が dem となる地物のデータを格納するフォルダ。
	frn	接頭辞が frn となる地物のデータを格納するフォルダ。
	gen	接頭辞が gen となる地物のデータを格納するフォルダ。
	luse	接頭辞が luse となる地物のデータを格納するフォルダ。
	tran	接頭辞が tran となる地物のデータを格納するフォルダ。
	tun	接頭辞が tun となる地物のデータを格納するフォルダ。
	ups	他のフォルダに該当しない CityGML 形式の都市計画データを格納するフォルダ。
	urf	都市計画決定情報を格納するフォルダ。
	veg	接頭辞が veg となる地物のデータを格納するフォルダ。
	wtr	接頭辞が wtr となる地物のデータを格納するフォルダ。

(2)　ルートフォルダの名称

ルートフォルダの名称は、「[市区町村コード]_[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml_[更新回数]_[オプション]」とする。

[市区町村コード]は、都市計画データを作成する範囲となる都道府県コード（2 桁）と市区町村コード（3 桁）の組み合わせからなる 5 桁の数字とする。

[市区町村名英名]は、デジタル庁が定める「行政基本情報データ連携モデル_住所」に従う。
[整備年度]は、都市計画データを整備した年度（半角数字 4 桁の西暦）とする。
[更新回数]は、履歴管理用に半角数字を付す。初回に作成した成果物は 1 とする。以降、修正等を行った場合はバージョンアップごとに数字を加算していく。
[更新回数]は[整備年度]ごとに加算する。[整備年度]が変わった場合は、1 から開始する。
[オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別する任意の文字列とする。半角英数字のみ使用可とする。成果品が 1 種類の場合は、_[オプション]は省略する。

7.2.5　媒体名

DVD、HDD 又はウェブサイトからのダウンロード
ルートフォルダを ZIP 形式（拡張子 zip）又は 7Z 形式（拡張子 7z）に圧縮する。
圧縮後のファイル名称は、以下とする。

[市区町村コード] _[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml2d_[更新回数]

（オープンデータの場合は、[市区町村コード]_[市区町村名英名]_citygml2d_[更新回数]_op）

[市区町村コード]、[市区町村名英名]_及び[更新回数]の表記は、「7.2.4」に従う。

圧縮後のファイルサイズが 1GB を越えた場合は分割する。
分割は、成果品と同じフォルダ構成を複数作成し、成果品のファイルを作成したフォルダに振り分けることにより行う。この時、それぞれの成果品フォルダ内に、同じファイルが重複して存在してはならない。ファイルを振り分けたのち、成果品のフォルダごとに圧縮する。
圧縮後のファイル名称は、 [市区町村コード] _[市区町村名英名]_[整備年度]_citygml2d_[更新回数]_[オプション]_[分割番号]とする。
[分割番号]は、1 から始まる連番とする。

表　分割したファイルの概要

分割後ファイル名称	格納したフォルダ又はファイルの種類

7.2.6　オープンデータのための配布媒体情報

作成したデータ製品から、オープンデータを作成する場合には、以下に従う。

- 「ファイル単位」は「7.2.1」に従う。
- 「境界線上の地物の取り扱い」は、「7.2.2」に従う。
- 都市計画データの「ファイル命名規則」は[図郭番号]_[地物型]_[CRS] _[オプション]_op とする。[図郭番号]、 [地物型]、[CRS] [オプション]の表記は「7.2.3」に従う。また、オープンデータであることを明らかにするため、末尾に「_op」を付する。
- ファイル構成は「7.2.4」に従う。ただし、ルートフォルダの名称の末尾に「_op」を付与する。
- 媒体名は「7.2.5」に従う。

8　メタデータ

データ製品に関する説明情報として、JMP2.0 形式のメタデータと、原典資料リストを作成する。

データ製品にはかならずこれらを作成しなければならない。

8.1 メタデータの形式

メタデータの形式は、JMP2.0 とする。

なお、都市計画基礎調査に使用する原典資料は、別途リスト化する。この原典資料リストの仕様は、8.5 に示す。

8.2 メタデータの記載項目

メタデータの記載項目を表 8-1 に示す。

表 8-1　メタデータに含めるべき項目

メタデータ項目	記述する内容	記述例
メタデータ>ファイル識別子	upd_[市区町村コード]_[整備年度]_[地物型]_[オプション]とする。 [市区町村コード]は、2 桁の都道府県コードと 3 桁の市区町村コードからなる 5 桁のコードとする。 [整備年度]は作成した西暦年度（4 桁）を記述する。 [市区町村コード]及び[整備年度]は、いずれも半角数字とする。 [地物型]は、地物型又はモジュールを示す接頭辞（3 文字又は 4 文字のアルファベット）とする。 なお、_[地物型]は、メタデータを地物型又はモジュールごとに作成せず、まとめて作成した場合は省略する。 [オプション]は、成果品が複数種類作成される場合に、これらを識別するために使用する任意の文字列とする。半角英数字のみを使用可とする。成果品を格納するルートフォルダに使用する[オプション]の文字列に一致させること。成果品が 1 種類の場合は省略する。	upd_27100_2022
メタデータ>言語	メタデータの記述に使用する言語。日本語とする。	jpn　（固定値）
メタデータ>文字集合	メタデータに使用する文字コード。UTF-8 とする。	004　（固定値）
メタデータ>階層レベル	メタデータの作成対象。データ集合とする。	005　（固定値）
メタデータ>問い合わせ先	発注者の問合せ先を記述する。組織名、電話番号、オンライン情報源を記述する。 役割は「010（刊行者）」とする。	
メタデータ>日付	メタデータの作成日付を YYYY-MM-DD により記述する。	2021-02-25
メタデータ>規格の名称	メタデータの仕様。	JMP　（固定値）
メタデータ>規格の版	メタデータの版。	2.0　（固定値）
参照系情報	データ集合に適用される座標参照系の識別子。製品仕様書で指定された空間参照系の識別子を記述する。識別子は、JMP2.0 を参照する。	
識別情報>題名	都市計画データ_[市区町村コード]_[整備年度] [市区町村コード]は、2 桁の都道府県コードと 3 桁の市区町村コードからなる 5 桁のコードとする。 [整備年度]は都市計画データを整備した時点であり、作成した西暦年度（4 桁）を記述する。	都市計画データ_27100_2020
識別情報>日付及び日付型	データの作成日付を YYYY-MM-DD により記述する。 日付型は以下より選択する。 001：作成日、002：刊行日、003：改訂日	2021-02-25, 003
識別情報 > 要約	都市計画データの概要を記載する。 都市計画基本図、都市計画基礎調査情報、都市計画決定情報それぞれについて記載する。	

メタデータ項目	記述する内容	記述例
	都市計画基本図 ・作成に使用した航空写真の撮影時点。 都市計画基礎調査情報 ・調査実施年度及び調査の基準年度、データ項目 都市計画決定情報 ・都市計画図書の反映時点、含まれる都市計画の種類。 また、空間範囲が行政区域に一致していない場合はその範囲を記載する。 なお、以下に示すデータの利用上の注意事項を入れること。 「ただし、原典資料の位置の正しさの違いや、作成された時期の違いにより、現状を正確に反映していない場合があることにご注意ください。」	
識別情報 >目的	都市計画データのユースケースを記述する。	都市計画行政の高度化
識別情報>状態	「完成」を示す固定値とする。	001　(固定値)
識別情報>問い合わせ先	発注者の問合せ先を記述する。組織名、電話番号、オンライン情報源等を記述する。 役割は「010（刊行者）」とする。	
	作成者の問合せ情報を記述する。 役割名は「060（創作者）」とする。	
識別情報 > 記述的キーワード	キーワードを、複数グループ化して記述する。 ➢ 「type=002」として、データ製品に含まれる都市の名称を入れる。 ➢ 「type=005」として、データ製品に含まれる都市計画データの内容（都市計画基本図、都市計画基礎調査、都市計画決定情報のうち、いずれか一つ以上）を入れる。	
識別情報>利用制限	固定値とし、Licensed under CC BY 4.0 を記述する。	Licensed under CC BY 4.0
識別情報>空間表現型	ベクトルを意味する「001」を入力する。	001　(固定値)
識別情報>空間解像度	等価縮尺の分母にデータ集合に適用する地図情報レベルを入力する。 複数のレベルが混在する場合は、それぞれ記述する。	2500
識別情報>言語	メタデータの記述に使用する言語。日本語とする。	jpn　(固定値)
識別情報>文字集合	メタデータに使用する文字コード。UTF-8 とする。	004　(固定値)
識別情報>主題分類	構造物を意味する「017」を入力する。	017　(固定値)
識別情報> 範囲	➢ 作成範囲を包含する最小の矩形を、東西の経度、南北の緯度により記述する。 ➢ 地理記述には、都道府県及び市区町村名を記述する。	
配布情報>配布書式	CityGML2.0、i-UR 3.1 をそれぞれ書式情報として入れる。	
配布情報>オンライン	G 空間情報センターから公開する場合は、G 空間情報センターの URL を入れる。	
データ品質情報>データ品質	製品仕様書に示す品質要求の各項目について品質評価結果を記述する。	

8.3 メタデータの作成単位

メタデータは、都市計画データ全体について、一つのメタデータを作成することを原則とする。

ただし、都市計画データの一部のみ作成又は更新する場合は、作成又は更新した都市計画データに限定したメタデータを別途作成する。

8.4 メタデータのファイル名称

メタデータのファイル名称は、メタデータの記載項目である「ファイル識別子」に一致させる。

メタデータの拡張子は、.xml とする。

8.5 原典資料リストの仕様

JMP2.0 では、データ製品を作成する際に使用した原典資料の諸元を詳細に記述できないことから、標準製品仕様書では、原典資料リストのための仕様を定める。都市計画基礎調査情報を作成する際には、必ずこの原典資料リストを作成しなければならない。

(1) 原典資料リストの記載項目

原典資料リスト項目	記述する内容	記述例
データ項目	都市計画基礎調査のデータ項目	C0603
属性項目	調書・集計表の属性名 都市計画基礎調査のデータ項目全てで同じ原典資料が使用されている場合は省略してよい。	乗降客数
原典資料	使用した原典資料の名称。	国土数値情報　鉄道データ
年次	原典資料が作成された年次。 4 桁の西暦とする。	2020
URL	原典資料の諸元やデータを入手可能な URL があれば記載する。	https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-v2_3.html

(2) 原典資料リストの作成単位

データ製品に対して 1 つの原典資料リストを作成する。

(3) 原典資料リストのファイル仕様

出力データ構造には、CSV を使用する。拡張子は、「.csv」とする。

(1)に示す記載項目の組を 1 レコードとし、以下に示す規則に従い出力する。

文字コード	UTF-8（BOM 付）
改行コード	CRLF
区切り文字	カンマ（,）
ヘッダ行の有無	あり
ヘッダ行の行数	1
ヘッダ行の内容	原典資料リスト項目を使用する。
文字列でのダブルクォートの有無	あり
null 値の指定方法	,,（区切り文字の連続）
1 項目内で、複数の値を列挙する場合に使用する区切り文字	;（セミコロン）
禁則文字	指定しない

(4) 原典資料リストのファイル名称

upd_[市区町村コード]_[整備年度]_resource

9　その他

9.1 製品仕様のプロファイル

標準製品仕様を拡張（標準製品仕様に地物や地物属性・地物関連役割を追加）や制限（標準製品仕様を制限し、その一部を使用）することができる。

標準製品仕様の拡張又は制限においては、以下に示す規則に従う。

9.1.1拡張規則

標準製品仕様に定義されていない地物型等を用いたい場合は、以下に示す拡張規則に従う。

なお、地物型等の追加を行った場合には、都市ごとに作成する拡張製品仕様書に記載すること。

製品仕様書の作成は、地理空間データ製品仕様書作成マニュアル[2]に従うこと。

(1)　都市計画基本図に独自の分類コードを追加したい場合

本標準製品仕様書を参考に CityGML または i-UR に定義された地物を使用し、*uro:DmGeographicAttribute* の属性 *uro:dmCode* に該当する分類コードを追加する。

(2)　都市計画基礎調査の調書又は集計表に、独自の項目を追加したい場合

調書に独自の項目を追加したい場合は、*urf:ItemRecordType* の属性 *urf:item* を使用し、項目を追加する。この時、追加する項目の名称及び値の内容及び値の種類（整数、実数、単位付き計測値、文字列から選択）を指定すること。

集計表に独自の項目を追加したい場合は、*urf:SummaryRecordType* の属性 *urf:item* を使用し、項目を追加する。この時、追加する項目の名称及び値の内容及び値の種類（整数、実数、単位付き計測値、文字列から選択）を指定すること。

(3)　独自の都市計画基礎調査の調書又は集計表を作成したい場合

独自の調書を追加したい場合は、*urf:ItemRecordType* を使用し、独自の集計表を追加したい場合は *urf:SummaryRecordType* を使用する。この時、追加する調書や集計表のデータ項目番号（*urf:dataItemNumber*）、名称（*urf:tableName*）を決定するとともに、これに含まれるレコードの定義（追加する項目の名称及び値の内容及び値の種類（整数、実数、単位付き計測値、文字列から選択））を指定すること。

(4)　都市計画基礎調査の位置図に独自の地物又は属性を追加したい場合

標準製品仕様に定義されておらず、i-UR に定義されている地物または地物属性・地物関連を使用したい場合は、i-UR から必要な要素を抽出し、i-UR の定義と矛盾なく使用する。

標準製品仕様に定義されておらず、CityGML に定義されている地物または地物属性・地物関連を使用したい場合は、CityGML から必要な要素を抽出し、CityGML の定義と矛盾なく使用する。

標準製品仕様に定義されておらず、i-UR 及び CityGML のいずれにも定義されていない地物を使用したい場合には、CityGML に定義された *gen:GenericCityObject* を使用して、地物を追加する。

標準製品仕様に定義されておらず、i-UR 及び CityGML のいずれにも定義されていない属性を使用したい場合には、CityGML に定義された *gen:_genericAttribute* の下位型（文字列型、整数型、実数型、日付型、URI 型及び単位付き計測値型）又は *uro:KeyValuePairAttribute*（コード値型）を使用して、属性を追加する。

9.1.2　制限規則

標準製品仕様に定められた地物、属性または関連を使用しない場合には、拡張製品仕様書に使用する地物、属性及び関連の一覧を付し、制限の内容を示す。応用スキーマクラス図及び応用スキーマ文書の削除は行わない。

9.2 データ取得

都市計画基本図の取得にあたっては、各都市において定められた公共測量作業規程に従うこと。

また、都市計画基礎調査情報の取得にあたっては、各都市において定められた都市計画基礎調査実施要領に従うこと。

Annex A
都市計画データのための
拡張製品仕様書テンプレート

A.1　概要

本付属書は、「都市計画データ標準製品仕様書」（以下、「標準製品仕様書」と呼ぶ）の拡張規則及び制限規則に従い、各自治体において拡張製品仕様書を作成する際に使用するテンプレートを示す。

A.2　拡張製品仕様書テンプレートのダウンロード

拡張製品仕様書のテンプレートは、以下の URL よりダウンロードできる。
URL：https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000187.html

A.3　拡張製品仕様書テンプレートの構成

テンプレート一式には、以下が含まれる。

	テンプレート一式の内容	ファイル名	備考	格納先
1	拡張製品仕様書テンプレート	template_specification2d.docx	標準製品仕様書の WORD ファイルに、拡張製品仕様書で追記すべき箇所を示したもの。	specification
2	取得項目一覧	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.1_取得項目一覧	specification
4	拡張製品仕様書：汎用属性	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.2_汎用属性	specification
4	拡張製品仕様書：拡張コード値型属性	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.4_建築物の拡張属性リスト	specification
3	拡張製品仕様書：拡張コードリスト	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A3.2_拡張コードリスト	specification
5	拡張製品仕様書：拡張地物定義	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.5_拡張地物定義	specification
6	拡張製品仕様書：汎用都市オブジェクト	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.6_汎用都市オブジェクト	specification
8	拡張製品仕様書：拡張品質要求	template_objectlist2d.xlsx	シート名：A.3.7_拡張品質要求	specification
9	README テンプレート	README.md		
10	CSV サンプル	―	都市計画基礎調査の調書データ。	udp/csv
11	XMLSchema 一式	―	https://www.geospatial.jp/iur/より取得できる。	schemas
12	コードリスト一式	―	https://www.geospatial.jp/iur/より取得できる。	codelists

Annex B
都市計画基礎調査調書及び集計表のためのテンプレート

B.1 概要

本付属書は、「都市計画データ標準製品仕様書」（以下、「標準製品仕様書」と呼ぶ）に従った、都市計画基礎調査の調書及び集計表の項目を示すとともに、CSV 形式で符号化する場合のテンプレートを示す。

B.2 都市計画基礎調査調書及び集計表のための CSV 形式テンプレート

標準製品仕様書に示す都市計画基礎調査の各調書及び集計表について、CSV 形式で出力した場合のヘッダとサンプルレコードを提供する。

テンプレートは、拡張製品仕様書のテンプレートとともに、以下の URL よりダウンロードできる。

URL：https://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/toshi_tosiko_tk_000187.html

各テンプレートと都市計画基礎調査のデータ項目との対応を下表に示す。

データ項目 (dataItemNumber)	区分	調書・集計表名称(tableName)	表単位（unit）	テンプレート （ファイル名）
C0101	調書	小地域別人口規模調書	小地域	c0101_report_1.csv
C0101	調書	メッシュ単位人口規模調書	メッシュ	c0101_report_2.csv
C0101	集計表	人口規模集計表	―	c0101_sum_1.csv
C0102	調書	DID 調書	―	c0102_report_1.csv
C0103	集計表	将来人口集計表	―	c0103_sum_1.csv
C0104	集計表	人口増減集計表	―	c0104_sum_1.csv
C0105	集計表	通勤・通学移動集計表	―	c0105_sum_1.csv
C0106	調書	小地域別昼間人口調書	小地域	c0106_report_1.csv
C0106	調書	メッシュ単位昼間人口調書	メッシュ	c0106_report_2.csv
C0106	集計表	昼間人口集計表	―	c0106_sum_1.csv
C0201	集計表	常住地別産業分類別就業者数集計表	常住地・産業分類	c0201_sum_1.csv
C0201	集計表	従業地別産業分類別就業者数集計表	従業地・産業分類	c0201_sum_2.csv
C0201	集計表	常住地別職業分類別就業者数集計表	常住地・職業分類	c0201_sum_3.csv
C0201	集計表	従業地別職業分類別就業者数集計表	従業地・職業分類	c0201_sum_4.csv
C0202	調書	小地域別産業別事業所数・従業者数・売上金額調書	小地域	c0202_report_1.csv
C0202	調書	メッシュ単位産業別事業所数・従業者数・売上金額調書	メッシュ	c0202_report_2.csv
C0202	集計表	産業分類別事業所数集計表	事業所	c0202_sum_1.csv
C0202	集計表	産業分類別従業者数集計表	従業者数	c0202_sum_2.csv
C0202	集計表	産業分類別小売販売額集計表	小売販売額	c0202_sum_3.csv
C0202	集計表	産業分類別製造品販売額集計表	製造品販売額	c0202_sum_4.csv
C0301	調書	区域区分の状況調書	―	c0301_report_1.csv
C0302	調書	土地利用現況調書	―	c0302_report_1.csv
C0302	集計表	小地域別土地利用現況集計表	小地域	c0302_sum_1.csv
C0302	集計表	区域別土地利用現況集計表	区域	c0302_sum_2.csv
C0303	調書	国有地の状況調書	―	c0303_report_1.csv
C0304	調書	市街地開発事業等による宅地開発状況調書	市街地開発事業等	c0304_report_1.csv
C0304	調書	開発許可による宅地開発状況調書	開発許可による開発	c0304_report_2.csv
C0304	集計表	宅地開発状況集計表	―	c0304_sum_1.csv
C0305	調書	農地転用状況調書	―	c0305_report_1.csv
C0305	集計表	農地転用状況集計表	―	c0305_sum_1.csv
C0306	調書	林地転用状況調書	―	c0306_report_1.csv
C0306	集計表	林地転用状況集計表	―	c0306_sum_1.csv
C0307	調書	新築動向調書	―	c0307_report_1.csv

データ項目 (dataItemNumber)	区分	調書・集計表名称(tableName)	表単位（unit）	テンプレート （ファイル名）
C0307	調書	新築動向集計表	―	c0307_sum_1.csv
C0308	調書	条例・協定	―	c0308_report_1.csv
C0309	調書	農林漁業関係施策適用状況	―	c0309_report_1.csv
C0401	調書	建物利用現況調書	―	c0401_report_1.csv
C0401	集計表	小地域別用途別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_1.csv
C0401	集計表	区域別用途別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_2.csv
C0401	集計表	小地域別階数別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_3.csv
C0401	集計表	区域別階数別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_4.csv
C0401	集計表	小地域別構造別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_5.csv
C0401	集計表	区域別構造別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_6.csv
C0401	集計表	小地域別建築面積別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_7.csv
C0401	集計表	区域別建築面積別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_8.csv
C0401	集計表	小地域別延床面積別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_9.csv
C0401	集計表	区域別延床面積別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_10.csv
C0401	集計表	小地域別建築年別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_11.csv
C0401	集計表	区域別建築年別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_12.csv
C0401	集計表	小地域別耐火構造別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_13.csv
C0401	集計表	区域別耐火構造別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_14.csv
C0401	集計表	小地域別高さ積別建物利用現況集計表	小地域	c0401_sum_15.csv
C0401	集計表	区域別高さ別建物利用現況集計表	区域	c0401_sum_16.csv
C0402	調書	大規模小売店舗等の立地状況調書	―	c0402_report_1.csv
C0403	集計表	住宅の所有関係別世帯数集計表	住宅の所有関係	c0403_sum_1.csv
C0403	集計表	住宅の建て方別世帯数集計表	住宅の建て方	c0403_sum_2.csv
C0501	調書	都市施設の位置・内容等調書	―	c0501_report_1.csv
C0502	調書	道路の状況調書	―	c0502_report_1.csv
C0502	集計表	道路の状況集計表	―	c0502_sum_1.csv
C0601	調書	主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	―	c0601_report_1.csv
C0602	集計表	自動車流動量集計表	―	c0602_sum_1.csv
C0603	調書	鉄道・路面電車等の状況調書	―	c0603_report_1.csv
C0604	調書	乗降客調書	―	c0604_report_1.csv
C0604	調書	運行状況調書	―	c0604_report_2.csv
C0701	調書	地価の状況調書	―	c0701_report_1.csv
C0701	集計表	地価の状況集計表	―	c0701_sum_1.csv
C0802	調書	気象状況調書	―	c0802_report_1.csv
C0803	集計表	緑の状況集計	―	c0803_sum_1.csv
C0901	調書	災害の発生状況水害（外水）調書	―	c0901_report_1.csv
C0901	調書	災害の発生状況水害（内水）調書	―	c0901_report_2.csv
C0901	調書	災害の発生状況土砂災害調書	―	c0901_report_3.csv
C0902	調書	防災拠点・避難場所調書	―	c0902_report_1.csv
C1001	調書	宿泊容量メッシュ調書	―	c1001_report_1.csv
C1001	集計表	観光入込客数・消費額	―	c1001_sum_1.csv
C1001	集計表	ビジネス目的宿泊施設の状況	―	c1001_sum_2.csv
C1002	調書	景観・歴史資源等の状況調書	―	c1002_report_1.csv
C1003	調書	レクリエーション施設の状況調書	―	c1003_report_1.csv
C1004	調書	公害の発生状況調書	―	c1004_report_1.csv

B.3　都市計画基礎調査調書の及び集計表項目

都市計画基礎調査の調書及び集計表のレコードの識別子と、各項目（列見出し）とその内容を示す。

列見出しのうち、日本語は括弧内に記述する。

調書及び集計表ごとに示す以下の表の 1 行目は、各表のレコードの識別子となり、2 行目は調書及び集計表の項目（列見出し）である（ただし、レコードの識別子の列見出しは除く）。

B.3.1　C0101 人口規模

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	小地域単位の場合は、小地域コードとする。 小地域コードとは、 5 桁の市区町村コードと 6 桁の町丁・字等のコードから構成される半角数字 11 桁のコード。ただし、大字・町名単位の地域の場合は 5 桁の市区町村コードと 4 桁の大字・町名コードからなる 9 桁となる。 メッシュ単位の場合は、メッシュコードとする。 メッシュは 4 分の 1 地域メッシュとし、4 分の 1 地域メッシュのメッシュコードは、第一次地域区画を示す 4 桁、第 3 次地域区画を示す 2 桁、第 3 次地域区画を示す 2 桁、2 分の 1 地域メッシュを示す 1 桁、4 分の 1 地域メッシュを示す 1 桁からなる 10 桁のコード。コードの付与ルールは、統計局ウェブサイト（https://www.stat.go.jp/data/mesh/m_tuite.html）を参照のこと。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 小地域単位の場合：smallAreaCode（小地域コード） メッシュ単位の場合：meshCode（メッシュコード）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	小地域コード又はメッシュコードで指定された範囲に含まれる、年齢及び性別の組み合わせに対応する人口（整数、単位は「人」）とする。 調書の項目（列見出し）は、コードリスト（Common_ageAndSex.xml）より選択する。 値は小地域単位の場合は、urf:CensusBlock がもつ urf:PopulationType の値に一致する。メッシュ単位の場合は、urg:Population の属性と一致する。

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	区域区分で指定された範囲に含まれる、年齢及び性別の組み合わせに対応する人口（整数、単位は「人」）とする。 集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（Common_ageAndSex.xml）より選択する。

B.3.2 C0102 DID

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	DID を特定する識別子。urf:DID の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（地区）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	DID に関する情報。これらは、urf:DID の属性と一致する。 調書の項目（列見出し）は以下とする。 area（面積） population（人口） populationDensity（人口密度） year（年） note（備考） population の値は人口とし、値の型は整数、単位は人とする。 area の値は面積とし、値の型は実数、単位は ha とする。 note の値は備考とし、値の型は文字列とする。

B.3.3 C0103 将来人口

(1) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	年齢の区分とする。 コードリスト（Common_ageGroupClass.xml）のコードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 ageGroup（年齢区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	年齢の区分で指定された範囲に含まれる、推計年及び性別の組み合わせに対応する人口（整数、単位は「人」）とする。 集計表の列見出しは、推計年（西暦半角 4 桁の数字）とコードリスト（Common_sex.xml）の組合せとする。 例：2030 年の場合 2030;T（2023 年;総数） 2030;M（2023 年;男性） 2030;F（2023 年;女性）

B.3.4 C0104 人口増減

(1) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	人口増減要因とする。 コードリスト（C0104_class.xml）に対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 class（人口増減要因）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	人口増減の要因の指定に対応する人口（整数、単位は「人」）とする。 集計表の項目（列見出し）は、調査年度（西暦半角 4 桁の数字）とする。

B.3.5 C0105 通勤・通学移動

(1) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	取りうる値は以下のいずれかとする。 • “常住地;都全体”、“常住地;道全体”、“常住地;府全体”、“常住地;県全体” • “常住地”と市区町村名の組み合わせ 市区町村名は、全角の漢字とする。○○市、○○町のように、市、区、町又は村を付ける。 例：“常住地;千代田区” • “常住地;都外”、“常住地;道外”、“常住地;府外”、“常住地;県外” • “従業地における就業・通学者数計” 集計表の列見出しは空白とする。
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	urf:classLabel で指定された範囲に含まれる、従業地・通学地に対応する人口（整数、単位は「人」）とする。 集計表の項目（列見出し）は、以下のいずれかとする。 • “従業地・通学地;都全体”、“従業地・通学地;道全体”、“従業地・通学地;府全体”、“従業地・通学地;県全体” • “ 従業地・通学地”と市区町村名の組み合わせ 市区町村名は、○○市、○○町のように、市、区、町又は村を付ける。 例：“従業地・通学地;千代田区” • “ 従業地・通学地;不詳” • “常住地における就業・通学者数計” 2 行目及び 3 行目に同じ値を記述する。

B.3.6 C0106 昼間人口

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	小地域単位の場合は、小地域コードとする。 小地域コードとは、5 桁の市区町村コードと 6 桁の町丁・字等のコードから構成される半角数字 11 桁のコード。ただし、大字・町名単位の地域の場合は 5 桁の市区町村コードと 4 桁の大字・町名コードからなる 9 桁となる。 メッシュ単位の場合は、メッシュコードとする。メッシュは 4 分の 1 地域メッシュとする。 4 分の 1 地域メッシュのメッシュコードは、統計局ウェブサイト（https://www.stat.go.jp/data/mesh/m_tuite.html）を参照のこと。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 小地域単位の場合：smallAreaCode（小地域コード） メッシュ単位の場合：meshCode（メッシュコード）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	小地域コード又はメッシュコードにより指定された範囲の昼間人口。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。それぞれ、urf:CensusBlock がもつ。 urf:DaytimePopulationType の属性の値に一致する。

		daytimeOfficeCommuter（昼間従業者数） daytimeSchoolCommuter（昼間通学者数） daytimeUnder15（従業も通学もしない者 15 歳未満） daytimeOver15（従業も通学もしない者 15 歳以上） agriculturalWorker（農林漁業従業者数） nonCommuter（昼間に従業も通学もしない者） daytimePopulation（昼間人口総数） daytimePopulationDensity（昼間人口密度）

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	区域区分で指定された範囲の昼間人口の合計。 集計表の列見出しは、以下とする。それぞれ、urf:CensusBlock がもつ urf:DaytimePopulationType の属性と一致し、urf:class で指定された単位で集計する。 daytimeOfficeCommuter（昼間従業者数） daytimeSchoolCommuter（昼間通学者数） daytimeUnder15（従業も通学もしない者 15 歳未満） daytimeOver15（従業も通学もしない者 15 歳以上） agriculturalWorker（農林漁業従業者数） nonCommuter（昼間に従業も通学もしない者） daytimePopulation（昼間人口総数） daytimePopulationDensity（昼間人口密度）

B.3.7 C0201 産業・職業分類別就業者数

(1) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	産業分類別の場合は、コードリスト（Common_industryType.xml）、 職業分類別の場合は、コードリスト（Common_occupationType.xml）より選択し、コードに対応する説明を入力する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 産業分類別の場合：industryType（産業分類） 職業分類別の場合：occupationType（職業分類）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	産業分類又は職業分類で指定された分類に対応する、市区町村の就業者数（整数、単位は「人」）とする。 列見出しは 5 桁の市区町村コード（市区町村名）とする。

B.3.8 C0202 事業所数・従業者数・売上金額

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	小地域単位の場合は、小地域コードとする。 小地域コードとは、5桁の市区町村コードと6桁の町丁・字等のコードから構成される半角数字11桁のコード。ただし、大字・町名単位の地域の場合は5桁の市区町村コードと4桁の大字・町名コードからなる9桁となる。 メッシュ単位の場合は、メッシュコードとする。 メッシュは2分の1地域メッシュとし、2分の1地域メッシュのメッシュコードは、第一次地域区画を示す4桁、第3次地域区画を示す2桁、第3次地域区画を示す2桁、2分の1地域メッシュを示す1桁からなる9桁のコード。コードの付与ルールは、統計局ウェブサイト（https://www.stat.go.jp/data/mesh/m_tuite.html）を参照のこと。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 小地域単位の場合：smallAreaCode（小地域コード） メッシュ単位の場合：meshCode（メッシュコード）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	小地域コード又はメッシュコードで指定された範囲の事業所数、従業者数、小売販売額及び製造品出荷額。 調書の項目（列見出し）は、コードリスト（C0202_item.xml）より選択する。 事業所数、従業者数、小売販売額、製造品出荷額のいずれも値は整数型とし、事業所数の単位は箇所、従業者数は人、小売販売額及び製造品出荷額はいずれも円とする。

(2) 集計表

事業所数、授業者数、小売販売額及び製造品販売額のそれぞれで集計表を作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	産業分類。コードリスト（Common_industryType.xml）のコードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 industryType（産業分類）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	産業分類で指定された分類の各市区町村の事業所数、授業者数、小売販売額及び製造品販売額。 集計表の項目（列見出し）は5桁の市区町村コード（市区町村名）とする。 値は整数型とする。事業所数の集計表の場合は事業所数、従業者数の集計表の場合は従業者数、小売販売額の集計表の場合は小売販売額、製造品販売額の場合は製造品販売額とし、単位は円とする。

B.3.9 C0301 区域区分の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	区域区分で指定された区域の面積（単位は「ha」）とする。

		調書の項目（列見出し）は area（面積）とする。

B.3.10 C0302 土地利用現況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	土地利用の識別子。uro:id に一致する。 調書の項目（列見出し）は以下とする。 id（ID）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	土地利用の識別子で指定された土地利用の現況。 調書の項目（列見出し）は以下とする。luse:LandUse の属性に一致する。 class（用途） nominalArea（面積） boundary（敷地境界フラグ） boundary には、uro:LandUseDataQualityAttribute.uro:geometrySrcDesc の値（コードリスト LandUseDataQualityAttribute_geometrySrcDesc.xml より選択）を入力する。 面積の単位は m2 とする。

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	小地域単位の集計表の場合は、小地域コードに対応する大字名（townName）及び字・丁目名（blockName）の組とする。 区域区分単位の集計表は、コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）のコードに対応する説明とする。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 小地域単位の場合：town;block（大字・町名;字・丁目名） 区域区分の場合：areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	小地域又は区域区分で指定された範囲の、土地利用用途ごとの面積。 集計表の項目（列見出し）は土地利用用途とし、コードリスト（Common_landUseType.xml）より選択する。 区域区分で集計する場合は、列見出しを追加する。 total（合計） 値は面積とする。値の型は実数、単位は ha とする。

B.3.11 C0303 国公有地の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。uro:PublicLand の属性 id の値とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する国公有地の状況。 列見出しは、以下とする。これらは、uro:PublicLand の属性に一致する。 ownerType（所有者） landCategory（地目） area（面積）

		status（利用状況） note（備考） 面積の単位は ha とする。

B.3.12 C0304 宅地開発状況

(1) 調書

市街地開発事業等と開発許可による開発のそれぞれで作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	市街地開発事業等及び開発許可による開発を識別する ID。 市街地開発事業等の場合、urf:DevelopmentProject が dUrbanDevelopmentProjectType によりもつ属性とする。 開発許可による開発の場合、urf:DevelopmentProject が、 ResidentialDevelopmentType によりもつ属性 id とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	市街地開発事業等の場合、urf:DevelopmentProject が urf:UrbanDevelopmentProjectType によりもつ属性として以下を記述する。 dateOfDecition（決定年月日） projectName（市街地開発事業名称） plannedArea（進捗状況・計画） ongoingArea（進捗状況・事業中） costUpToLastFiscalYear（過年度末までの事業費） cost（総事業費） completedArea（進捗状況・整備済み） projectPeriod（事業期間） note（備考） 面積の単位は ha とする。 開発許可による開発の場合、urf:DevelopmentProject が、 ResidentialDevelopmentType によりもつ属性として以下を記載する。 area（事業面積） projectPeriod（事業期間） purpose（主な用途） status（進捗状況） note（備考） 面積の単位は m2 とする。

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）に対応する説明と調査年又は合計の組合せとする。 例 都市計画区域;2023 非線引き用途白地;合計

		集計表の列見出しは、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes［1..*]	土地利用の区分ごとの合計件数又は合計面積。 行見出しのコードは、コードリスト（C0304_item.xml）のうち、3A から 8B までを使用する。 面積の単位は m2 とする。

B.3.13 C0305 農地転用状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	農地転用状況の識別子（urf:FarmlandConversionType の属性 id）とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	項目（列見出し）は以下とする。urf:LandUseConversion 及び urf:FarmlandConversionType の属性に一致する。 面積（nominalArea） 転用年（yearOfDiversion） 転用用途（function） 農用地指定の有無（isDesignated）

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分と調査年又は合計の組み合わせ。 区域区分は、コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）に対応する説明とする。 例 都市計画区域;2023 　非線引き用途白地;合計 集計表の列見出しは、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	土地利用の区分ごとの合計件数又は合計面積。 列見出しのコードは、コードリスト（C0304_item.xml）を使用する。 面積の単位は m2 とする。

B.3.14 C0306 林地転用状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	林地転用状況の識別子（urf:ForestConversionType の属性 id）とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は以下とする。urf:LandUseConversion 及び urf:FarmlandConversionType の属性に一致する。 nominalArea（面積） function（転用目的）とする。

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）に対応する説明と調査年又は合計の組合せとする。 例 都市計画区域;2023 　非線引き用途白地;合計 集計表の列見出しは以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	土地利用の区分ごとの合計件数又は合計面積。 行見出しのコードは、コードリスト（C0304_item.xml）のうち、3A から 8B までを使用する。 面積の単位は m2 とする。

B.3.15 C0307 新築動向

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	新築動向の識別子（urf:NewHousing の属性 id）とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は以下とする。urf:NewHousing の属性に一致する。 purpose（主な用途） developer（事業者名） nominalArea（開発面積） yearOfConstruction（新築年） とする。 面積の単位は m2 とする。

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	調査年（西暦）とする。4 桁の半角数字とする。 集計表の列見出しは空白とする。
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	土地利用の区分ごとの合計件数又は合計面積。 集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（C0304_item.xml）のうち、3A から 8B までを使用する。 面積の単位は m2 とする。

B.3.16 C0308 条例・協定

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	条例の名称（name）とする。 調書の列見出しは以下とする。 name（名称）

urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は以下とする。urf:Agreement の属性に一致する。 dateOfFirstPublicNotice（当初の公示・決定年月日） dateOfFinalPublicNotice（最終の公示・決定年月日） custodianType（決定主体の区分） custodian（決定主体） nominalArea（面積） description（概要） expiration（期限） note（備考） custodianType は、Agreement_custodianType.xml より選択する。 面積の単位は ha とする。

B.3.17 C0309 農林漁業関係施策適用状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	DevelopmentProject がもつ urf:AgriculturalDevelopmentType の属性 id とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。DevelopmentProject がもつ urf:AgriculturalDevelopmentType の属性に一致する。 blockName（地区名） projectType（事業種別） implementationBody（事業主体） benefitArea（受益面積等） benefitAraeInUrbanArea（市街化区域内受益面積） startFiscalYear（着工年度） status（事業状態） measureType（施策種別） benefitPeriod（受益期間） note（備考） 面積の単位は ha とする。

B.3.18 C0401 建物利用現況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	buildingID のオブジェクト連番とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。bldg:Building 及び uro:BuildingDetailAttribute の属性に一致する。 usage（用途） storeysAboveGround（地上階数） storeysBelowGround（地下階数） buildingStructureType（構造）

		buildingFootprintArea（建築面積） totalFloorArea（延床面積） yearOfConstruction（建築年） fireproofStructureType（耐火構造種別） measuredHeight（高さ） vacancy（空き家フラグ） 面積の単位は m2 とする。

(2) 集計表

小地域別に用途毎の棟数、合計面積（建築面積、延床面積）を集計する。小地域別に集計する場合、棟数、建築面積、延床面積をそれぞれ表として作成し、区域単位に用途ごとの棟数、建築面積、延床面積をセットで集計する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	小地域単位の集計表の場合は、小地域コードに対応する大字名（townName）及び字・丁目名（blockName）の組とする。 区域区分単位の集計表の場合は、コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択したコードに対応する説明とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 小地域単位の場合：town;block（大字・町名;字・丁目名） 区域区分単位の場合：areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	集計表の項目（列見出し）は、建物の属性と、棟数・建築面積又は延床面積との組み合わせとする。 建物の属性は、「用途」、「階数」、「構造」、「建築面積」、「延床面積」、「建築年」、「耐火構造」、「高さ」のいずれかとする。 各々、以下のコードリストより選択する。 用途は、コードリスト（C0401_use.xml）より選択する。 ただし、区域区分による集計表について、用途を細分類まで収集している場合は、コードリスト（BuildingDetailAttribute_detailedUsage.xml）の 4 桁コードから選択する。 階数は、コードリスト（C0401_floor.xml）より選択する。 構造は、コードリスト（C0401_structure.xml）より選択する。 建築面積は、コードリスト（C0401_buildingArea.xml）より選択する。 延床面積は、コードリスト（C0401_floorArea.xml）より選択する。 建築年は、コードリスト（C0401_constructionYear.xml）より選択する。 建物耐火構造は、コードリスト（C0401_fireproof.xml）より選択する。 高さは、コードリスト（C0401_height.xml）より選択する。 また、値の種類は、コードリスト（C0401_total.xml）より選択する。 棟数・建築面積又は延床面積は、コードリスト（C0401_sumTarget.xml）から選択する。 組み合わせの例 ・業務施設の棟数の場合：“401;1” ・地下階なし_地上 1 階の建築面積の場合：“501;2” 値は、建物棟数の整数とし、単位は件とする。建築面積又は延べ床面積の場合は単位付き計測値とし、単位は m2 とする。

B.3.19 C0402 大規模小売店舗等の立地状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	buildingID のオブジェクト連番とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。 isLargeRetailStore（大規模小売店舗の区分） isLargeEnclosure（大規模集客施設の区分） yearOpened（開設年） yearClosed（廃止年） totalFloorArea（延床面積） name（施設名称） class（施設用途分類） 大規模小売店舗の区分（isLargeRetailStore）は大規模小売店舗の場合に 1 とする。 大規模集客施設の区分（isLargeEnclosure）は、大規模集客施設の場合に 1 とする。 開設年（yearOpened）、廃止年（yearClosed）、延床面積（totalFloorArea）、施設名称（name）、施設用途分類（class）の値は、uro:LargeCustomerFacilityAttribute の値と一致する。 面積の単位は m2 とする。

B.3.20 C0403 住宅の所有関係別・建て方別世帯数

(1) 集計表

住宅の所有関係別と建て方別のそれぞれの集計表を作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	住宅の所有関係別の場合、集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（C0403_ownership.xml）より選択する。 住宅の建て方別の場合、集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（C0403_structure.xml）より選択する。 いずれも値は世帯数とする。値の型は整数、単位は世帯とする。

B.3.21 C0501 都市施設の位置・内容等

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	識別子（urf:UrbanFacilityStatus の urf:id）とする。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）

urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。urf:UrbanFacilityStatus の属性と一致する。 dateOfDecision（決定年月日） facilityName（都市施設名称） isPlanned（進捗状況・計画） isImplemented（進捗状況・事業中） costUpToLastYear（進捗状況・事業費） totalCost（総事業費） isCompleted（進捗状況・整備済） startDate（事業開始日） completedDate（事業完了日） note（備考）

B.3.22 C0502 道路の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	道路の識別子。uro:RoadType の属性 id と一致する。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。それぞれ、uro:RoadType 及び uro:RoadStructureAttribute の属性と一致する。 creationDate（データ登録日） isTemporary（暫定フラグ） roadType（道路分類） widthType（幅員区分） tollType（有料区分） separatorType（分離帯区分） isHighway（自動車専用道路）

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	列見出しは、コードリスト（RoadStructureAttribute_widthType.xml）より選択する。 値は道路延長とする。値の型は実数、単位は m とする。

B.3.23 C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	交通調査基本区間番号とする。uro:TrafficVoumeAttribute の属性 sectionID に一致する。

		調書の列見出しは以下とする。 sectionID（基本区間番号）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は、以下とする。uro:TrafficVoumeAttribute の属性に一致する。 routeName（路線名） observationPointName（観測地点名） weekday12hourTrafficVolume（平日昼間 12 時間交通量） weekday24hourTrafficVolume（平日 24 時間交通量） largeVehicleRate（大型車混入率） congestionRate（混雑度） averageInboundTravelSpeedInCongestion（混雑時平均旅行速度・上り） averageOutboundTravelSpeedInCongestion（混雑時平均旅行速度・下り） averageInboundTravelSpeedNotCongestion（昼間非混雑時平均旅行速度・上り）、 averageOutboundTravelSpeedNotCongestion（昼間非混雑時平均旅行速度・下り）

B.3.24 C0602 自動車流動量

(1) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	市区町村名とする。 集計表の項目（列見出し）は空白とする。
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	列見出しは、市区町村コード（市区町村名）とする。 値は 1 日当たりのトリップ数とし、実数型とする。単位はトリップ/日。

B.3.25 C0603 鉄道・路面電車等の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	属性 urf:id と一致する。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目は以下とする。urf:PublicTransitFacility の属性と原則一致しているが、gml:name は、路線の場合は routeName、駅の場合は、stationName とする。 facilityType（鉄道区分） companyType（事業者種別） routeName（線名） stationName（駅名） companyName（運営会社） frequencyOfService（運行本数） numberOfCustomers（利用客数）

B.3.26 C0604 バスの状況

(1) 調書

乗降客調書及び運行状況調書を作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	属性 urf:id と一致する。 調書の列見出しは以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目（列見出し）は以下とする。いずれも、urf:PublicTransitFacility の属性に一致する。 ● 乗降客調書の場合 name（路線名） numberOfCustomer（総数） ● 運行状況調書の場合 companyType（区分） companyName（事業者名） sectionName（系統） frequencyOfService（運行本数）

B.3.27 C0701 地価の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	基準値コードとする。urf:LandPrice の属性 pointCode と一致する。 調書の列見出しは以下とする。 pointCode（基準値コード）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調書の項目は以下とする。urf:LandPrice の属性と一致する。 pointCodeOfLastYear（前年度基準値コード） fiscalYear（年度） landPrice（調査価格） variability（対前年度変動率） cityCode（基準値行政コード） cityName（基準値市区町村名称） location（所在地並びに地番） address（住居表示） acreage（地籍） useStatus（利用状況） useStatusDescription（利用状況表示） useType（利用区分） buildingStructure（建物構造） water（供給施設有無（水道） gas（供給施設有無（ガス） sewerage（供給施設有無（下水） shape（形状） frontageRate（間口比率） depthRate（奥行比率） storeysAboveGround（地上階層） storeysBelowGround（地下階層） frontageRoad（前面道路状況） frontageRoadDirection（前面道路の方位） frontageRoadWidth（前面道路の幅員） stationSquare（前面道路の駅前状況） frontageRoadSurface（前面道路の舗装状況）

		sideRoad（側道状況） sideRoadDirection（側道の方位） transportationFacilities（交通施設との近接状況） surroundings（周辺の土地利用の状況） stationName（駅名） distanceFromStation（駅からの距離） useDistrict（用途区分） firePrevention（防火区分） urbanPlanType（都市計画区分） heightControl（高度地区） buildingCoverageRate（建蔽率） floorAreaRate（容積率） extraFloorAreaRate（割増容積率） isSame（共通地点） selectionStatus（選定年次ビット） landPriceHistory（調査時点価格）

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:classLabel	xs:string [0..1]	区域区分。 コードリスト（Common_urbanAreaClass.xml）より選択し、コードに対応する説明を記述する。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 areaType（区域区分）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（C0701_useType.xml）より選択する。 値は地下の平均値とし、単位は円/m2 とする。

B.3.28 C0801 地形・水系・地質条件

調書及び集計表は作成しない。

B.3.29 C0802 気象状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	観測地点名。WeatherObservation の属性 weatherObservationType の属性 observationPoint の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 observationPoint（地点）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する観測地点の気象状況。 調書の項目（列見出し）は以下とする。これらは、WeatherObservation の属性 weatherObservationType に一致する。 date（年月日） totalRainfall（降水量総量） maxRainfallPerHour（降水量 1 時間最大） averageTemprature（平均気温）

		maxTemprature（最高気温） minTemprature（最低気温） averageWindSpeed（風向・風速平均風速） frequentWindDirection（最多風向）

B.3.30 C0803 緑の状況

(2) 集計表

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:classCode	gml:CodeType [0..1]	使用しない。
urf:classLabel	xs:string [0..1]	市区町村名とする。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 city（市区町村名）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	市区町村名で指定された市区町村に含まれる緑の状況。 集計表の項目（列見出し）は、コードリスト（GreenSpace_function.xml）より選択する。 値は面積とし、単位は ha とする。 urf:GreenSpace の属性 nominalArea を属性 function の値ごとに集計する。

B.3.31 C0804 動植物調査

調書及び集計表は作成しない。

B.3.32 C0901 災害の発生状況

(1) 調書

水害（外水（洪水、高潮、津波））、水害（内水）、土砂災害（土石流、がけ崩れ等）のそれぞれで作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。urf:DisasterDamage の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する災害の発生状況。 調書の項目（列見出し）は以下とする。これらは、urf:DisasterDamage の属性に一致する。 ● 水害（外水（洪水、高潮、津波））の場合は、列見出しは以下とする。 name（名称・地区名） date（発生年月日） damagedArea（浸水面積） numOfHousesFloodedAboveFloorLevel（床上浸水） numOfHousesFloodedBelowFloorLevel（床下浸水） note（備考） ● 水害（内水）の場合、調書の項目（列見出し）は以下とする。 name（名称・地区名） date（発生年月日） danagedArea（浸水面積） numOfHousesFloodedAboveFloorLevel（床上浸水） numOfHousesFloodedBelowFloorLevel（床下浸水） maximumRainfallPerHour（最大時間雨量） totalRainfall（総雨量） 備考（note） ● 土砂災害（土石流・がけ崩れ等）の場合、列見出しは以下とする。 name（名称・地区名） date（発生年月日） danagedArea（被害面積） numOfDamagedHouses（被害建物棟数） note（備考） 面積の単位は ha とする。

B.3.33 C0902 防災施設の位置及び整備の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。urf:DisasterPreventionBase の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する防災施設の位置及び整備の状況。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。これらは、 urf:DisasterPreventionBase の属性に一致する。 name（名称） function（種別） capacity（収容可能人数）

B.3.34 C1001 観光の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	基準地域メッシュ（3 次メッシュ）のメッシュコードとする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 mesh（メッシュ）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	基準地域メッシュで指定された範囲の観光の状況。 調書の項目（列見出し）は以下とする。これらは、urg:StatusOfSightSeeing の属性に一致する。 numOfHotels（施設数（ホテル）） numOfRyokan（施設数（旅館）） numOfPublicInn（施設数（公共宿泊施設）） numOfInn（施設数（民宿）） numOfCotage（施設数（ペンション）） numOfTempleHotel（施設数（宿坊）） numOfRentaVilla（施設数（コテージ、貸別荘、山荘）） numOfYouthHostel（施設数（ユースホステル）） numOfCapsuleHotel（施設数（カプセルホテル）） numOfTrainingCenter（施設数（研修センター）） totalAccomodations（施設総数） totalCapacity（収容人数） totalRooms（客室数）

(1) 集計表

観光目的、ビジネス目的のそれぞれで作成する。

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:class	gml:CodeType	調査年度（西暦、半角数字 4 桁）とする。 集計表の項目（列見出し）は、以下とする。 year（年次）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	調査年度で指定された年における観光の状況。 観光目的の場合は、集計表の項目（列見出し）はコードリスト（C1001_consumption.xmlI）より選択する。 入込客数の単位は人とし、観光消費額の単位は円とする。 ビジネス目的の場合は、集計表の項目（列見出し）は以下とする。 totalAccomodations（宿泊施設総数） totalCapacity（収容人数） totalRooms（客室数） 宿泊施設総数、収容人数、客室数とする。 宿泊施設総数の単位は箇所、収容人数は人、客室数は室とする。

B.3.35 C1002 景観・歴史資源等の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。urf:ScenicResourse の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する景観・歴史資源等の状況。調書の項目（列見出し）は、以下とする。これらは、urf:ScenicResource の属性に一致する。 name（観光資源名） prefecture（都道府県コード） city（行政区域コード） typeName（種別名称） address（所在地住所） function（観光資源分類コード）

B.3.36 C1003 レクリエーション施設の状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。urf:Recreation の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応するレクリエーション施設の状況。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。これらは、urf:Recreation の属性に一致する。 name（施設名） function（施設種別） custodian（設置主体） capacity（設置規模） numberOfUsers（利用者数）

B.3.37 C1004 公害の発生状況

(1) 調書

属性名	属性の型及び多重度	定義
urf:id	xs:string	位置図上で識別する ID。urf:Pollution の属性 id の値とする。 調書の項目（列見出し）は、以下とする。 id（位置）
urf:item	urf:ValueByCodes [1..*]	位置図上で識別する ID に対応する公害の発生状況。調書の項目（列見出し）は、以下とする。これらは、urf:Pollution の属性に一致する。 function（種類） year（発生年） cause（発生源） damagedArea（被害面積） description（被害の概要） 面積の単位は ha とする。

Annex C
原典資料一覧
CSV 形式テンプレート

C.1　概要

本付属書は、「都市計画データ標準製品仕様書」第 8 章に示すメタデータ仕様のうち、原典資料を CSV 形式により作成するためのテンプレートを示す。

C.2　原典資料一覧テンプレート

1 行目はヘッダである。2 行目は記載例である。

“データ項目”	“属性項目”	“原典資料”	“年次”	“URL”
“C0603”	“乗降客数”	“国土数値情報鉄道データ”	2020	“https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N02-v2_3.html”

参考文献

[1] 地図情報レベル 2500 数値地形図データ作成のための標準製品仕様書（案）第 1.1 版, 国土交通省国土地理院, 2014 年 4 月, https://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyou/seihinsiyou_index.html

[2] 地理空間データ製品仕様書作成マニュアル JPGIS 2014 版, 国土交通省国土地理院, 令和 2 年 11 月, (https://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/public/seihinsiyou/seihinsiyou_index.html)

[3] RFC 4122 A Universally Unique IDentifier (UUID) URN Namespace, IETF, 2005 年 7 月, https://datatracker.ietf.org/doc/html/rfc4122

[4] OpenGIS® Geography Markup Language (GML) Implementation Specification version : 3.1.1, Open Geospatial Consortium, 2004 年 2 月, https://www.ogc.org/standards/gml

改訂履歴

日付	版	説明
2023-06-28	1.0	都市計画基礎調査実施要領（第 5 版）の修正内容を反映
2023-09-28	1.1	・3D 都市モデル標準製品仕様書第 3.2 版の内容を反映 ・urf:_UrbanFunction への属性（urf:finalNotificationNumber/告示番号（最終）及び urf:finalNotificationDate/告示日（最終））の追加 ・ urf:UseDistrict への属性（ urf:frontRoadRestrictions/ 道路斜線制限、adjacentLandRestrictions/隣地斜線制限、northDirectionRestrictions/北側斜線制限）の追加 ・ bldg:Building の定義を建築基準法の建築物の定義から作業規程の準則（付録 7　公共測量標準図式）の建物の定義に変更 ・クラス図と文書の不整合を修正 ・不足するコードリストを追加し、アルファベット順に掲載 ・文書に記載する接頭辞とクラス名/属性名/関連役割名との接続に使用する文字をコロン（:）に統一
2024-05-31	1.2	3D 都市モデル標準製品仕様書第 4.0 版の改定内容反映。 ・ 引用する i-UR の版を改定。 ・ 都市機能誘導区域及び居住誘導区域を都市計画決定情報モデルに移動。 ・ 都市計画決定情報モデルの建ぺい率及び容積率等の割合で記述する属性の値を百分率とし、属性の型を xs:integer（整数）に変更。 ・ 都市計画基本図、都市計画基礎調査（建物利用現況、土地利用現況）及び都市計画決定情報のそれぞれのモデルに品質属性を追加。 ・ 都市計画基本図は、LOD0 となるため交通施設（歩道、分離帯）は tran:Road を使用して記述するよう修正。 ・ 値が不明な場合の取り扱いを追記。 ・ コード型拡張属性を追加。 その他の誤記修正。

都市計画データ標準製品仕様書　第 1.2 版

令和 6 年 5 月　改定

国土交通省都市局